

ON1 PHOTO RAW 2020 公式ユーザーガイド



ON1 Photo RAW 2020

AからZ

内容

パート1: ON1 Photo RAW 2020 概要	1
ヘルプシステムの使用	2
システム要求	2
設置	2
macOS	3
Windows	3
以前のバージョンからのアップグレード	3
ON1 Photo RAW 2020起動	3
macOS	3
Windows7	4
Windows 8.1および Windows 10.....	4
ライセンスと登録	4
ON1 Photo RAW 2020 を購入した場合:	4
体験版	5
製品改善プログラム	5
ON1 Photo RAW 2020アンインストール	5
macOS	5
Windows.....	6
ファイルの操作	6
ON1 Photo RAW 2020を使用する場合のファイルアクセス スタンドアロンアプリケーションとして	6
Photo RAW 2020をプラグインとして使用する場合のファイルアクセス	7
ON1 Photo RAW 2020モジュール	7
モジュールセクター	7
ON1 Photo RAW 2020をRawエディターとして使用する	8
ON1 Photo RAW 2020ワークフロー	8
ON1 Photo RAW 2020 の編集パイプライン.....	8
使用 ON1 Photo RAW 2020 で Adobe ®Photoshop®	10
Photo RAW行った変更を保存せずにPhotoshop から写真を編集する	10
Photo RAW 行った変更を保持するために Photoshop から写真を編集する.....	10
使用 ON1 Photo RAW 2020 でAdobe ® PhotoshopElements®	11
PhotoshopElementsで写真を編集する.....	11
ON1 Photo RAW 2020 を使用して Adobe ® Lightroom®クラシックCC	12
「プラグインエクストラ」の使用	12
Lightroom から「編集」を使用する	13
編集インを使用する場合のファイル作成特性	14
Lightroom カタログをPhoto RAW 移動する	14
どの Lightroom 設定が移行されますか?	17
使用 ON1 Photo RAW 2020で Apple ®写真	19
ApplePhotosを使用した非破壊編集.....	19
エクストラ	20
エクストラをインポートする方法.....	20
プリセットを整理する	21
エクストラとしてインポートできる画像の種類は?	21
編集モジュールのレイヤーでのエクストラの使用	21

エフェクトでのエクストラの使用.....	22
エクストラを削除する方法	22

パート2: ブラウズで整理する.....23

ON1 ブラウズメイン画面の概要	24
参照パネルとプリセットパネル	25
ブラウザパネル	25
フォルダーペイン	26
カタログ化されたフォルダー.....	26
ローカルドライブ	27
クラウドストレージサービス.....	27
ソースのナビゲート	27
ショートカットを使用する	27
参照でファイルとフォルダーを管理する	28
フォルダーを削除する.....	28
ファイルまたはフォルダーの名前を変更する.....	28
新しいフォルダーを作成する	28
ファイルとフォルダーのコピーと移動	29
Finderで表示/エクスプローラーで表示.....	29
フォルダのサムネイルプレビューの変更.....	29
アルバムペイン	29
アルバムを作成する.....	29
既存のアルバムに写真を追加する.....	30
アルバムから写真を削除する.....	30
アルバムを削除する.....	30
アルバムのサムネイルプレビューの変更.....	30
アルバムのネスト.....	30
日付ペイン	31
フィルターペイン	32
[フィルター]ペインを使用する	32
高度なフィルタリングオプションの使用	33
フィルターの保存と変更	33
テザー撮影	34
最近.....	35
プレビューエリアでの作業	35
高速プレビューモード	36
永続的サムネイルキャッシュ	36
フォーカスおよびクリッピングビュー.....	36
クリッピング.....	36
フォーカスマスク	37
グリッドビューでの作業	37
グリッドビューで写真を並べ替える	38
詳細ビューでの作業.....	38
フィルムストリップビューでの作業.....	39
比較ビューでの作業.....	40
マップビューでの作業	42
写真パネル	43
T彼ナビゲータペイン（詳細とフィルムストリップビューのみ）	43
レベルペイン（詳細およびフィルムストリップビューのみ）	43

情報ペイン (すべてのビュー)	44
適用される設定	44
GPSメタデータ	44
メタデータペイン	45
メタデータテンプレート	45
メタデータの埋め込み	46
メタデータの読み取り	46
キーワードリストペイン	46
キーワードリストの改良	47
Photo RAW 階層キーワードを使用する	47
ブラウザに写真をインポートする	48
ブラウザで写真を編集する	50
評価、ラベル、いいね	50
写真を選別するときに自動送riを使用する	50
ブラウザ中pplying編集モジュールのプリセット	51
設定のコピーと編集の同期	52
すべての設定を同期	53
参照で編集をリセットする	53
に送る	53
バージョン	54
2つのディスプレイでON1 Photo RAW 2020 を使用する	55
デュアルモードをオンにする	55

パート3: 編集モジュールでの作業 57

ON1編集メイン画面の概要	58
ナビゲーター、レベル、情報および履歴ペイン	59
T彼はナビゲータペイン	59
レベルペイン	60
情報ペイン	60
適用される設定	60
GPSメタデータ	61
T彼は歴史ペイン	61
ツールウェル	62
切り抜きツール	63
切り抜きツールのオプションバー:	63
変換 (移動) ツール	64
レイヤーの再配置	64
レイヤーのサイズ変更	64
レイヤーの回転	64
レイヤーの反転	64
移動後のレイヤーの復元	65
変換ツールのオプションバー	65
テキストツール	65
テキストツールオプションバー	66
調整ブラシ (ローカルグループ)	67
調整ブラシツールオプション	67
Wacomサポート	69
調整可能なグラデーションツール (ローカルグループ)	69
調整可能なグラデーションツールオプションバー:	69

グラデーションマスクの操作	70
ポートレート（顔）ツール	70
ポートレートツールのオプション	70
Wacomサポート	71
マスキングブラシ（マスクグループ）	72
マスキングブラシツールオプション	72
Wacomサポート	73
マスキングバグ（マスクグループ）	74
マスキングバグツールのオプションバー：	74
グラデーションマスクの操作	75
複数のマスキングバグの処理	75
AIクイックマスクツール（マスクグループ）	75
AIクイックマスクツールのオプションバー	77
ブラシの調整（グループの調整）	78
ブラシツールオプションの調整	78
チゼルマスクツール（精製グループ）	78
チゼルマスクツールオプション	78
ぼかしマスクツール（リファイングループ）	79
ぼかしマスクツールオプション	79
完全消しゴム（修正グループ）	79
完璧な消しゴムオプション	79
レタッチブラシ（修正グループ）	80
レタッチブラシオプション	80
クローンスタンプ（グループの修正）	80
クローンスタンプツールのオプション：	80
表示（ズーム） ツール	81
プリセット	82
プリセットを適用する	83
プリセットの挿入（[効果]タブのみ）	84
独自のプリセットを作成する	84
プリセットとカテゴリの管理	85
プリセットのインポートとエクスポート	85
プリセットを削除する	85
カテゴリを管理する	85
ネスティングプリセット	86
設定のコピーと編集の同期	86
編集のリセット	87
ソフトブルーフ	88
その他のモジュール編集プレビューオプション	89
拡大表示の変更	89
プレビューの前後	90
マスクの表示/非表示	90
フォーカスおよびクリッピングビュー	91
クリッピング	91
フォーカスマスク	92
編集モジュールの調整の表示または非表示	92
調整ペインを開発する	93
ペインの操作	93

トーン&カラー	94
カメラプロファイル	94
トーン	94
色	95
詳細	96
研ぎ	96
ノイズ減少	96
スタイル	97
レンズ補正	97
変換する	98
カスタムカメラプロファイルの作成と追加	99
フィルター	102
フィルターの概要	102
[フィルターの追加]ボタンを使用してフィルターを適用する	102
フィルターブラウザーでフィルターを適用する	103
フィルターブラウザー内でフィルタースタイルを検索する	104
フィルタースタイルをお気に入りとして保存する	104
フィルターペインの操作	104
スタイル	105
フィルターマスク	105
輝度マスク	106
色範囲の選択	107
マスキングのヒント	107
フィルターを削除する	107
フィルターの不透明度	107
ブレンドモード	108
ブレンドモードの仕組み	108
マスター不透明度、ブレンド、マスクのオプション	109
フィルターの種類	109
アンティーク	109
黒、白	110
トーン	110
トナー	110
フィルムグレイン	110
ブリーチバイパス	111
ぼかし	111
ボーダーズ	112
チャンネルミキサー	112
色調整	113
カラーバランス	113
カラーエンハンサー	114
色	114
色の範囲	114
クロスプロセス	115
曲線	115
ダイナミックコントラスト	115
フィルムグレイン	116
グロー	116
グランジ	116

HDRロック	117
レンズのボケ	117
LUT.....	117
ノイズ減少	118
写真フィルター	118
研ぎ	119
肌のレタッチ	119
スプリットトーン	120
サンフレア	120
日光.....	121
テクスチャー	121
トーンエンハンサー	122
ピネット	122
ビンテージ.....	123
天気	123
ポートレートでの作業.....	125
ポートレートワークフロー	126
ローカルタブ.....	129
ブレンドモードについて.....	130
色で塗る	131
ローカル調整の使用.....	131
線形グラデーションマスクの操作.....	132
その他のマスキングオプション	132

パート4: 写真を ON1 Photo RAW 2020と組み合わせる 133

空の階層化ファイルを作成する	135
レイヤー化されたPhotoshopファイルを開く	135
レイヤーペインでの作業.....	135
ccessingレイヤーコマンド	136
レイヤーの可視性	136
不透明度の変更	136
レイヤーの順序を変更する	136
レイヤーの名前を変更する	136
レイヤーを削除する.....	136
レイヤーマスクと変換操作のリセット	136
レイヤーの複製	136
レイヤーの結合.....	136
レイヤーからコンボジットを作成する	137
ブレンドモードの変更.....	137
レイヤーマスク	137
既存のドキュメントにレイヤーを追加する	137
フィルムストリップビューでレイヤーを追加する.....	137
レイヤーでの変換ツールの使用	138
レイヤーの再配置.....	138
レイヤーのサイズ変更	139
レイヤーの回転	139
レイヤーの反転	139
レイヤーの整列	139
素晴らしいパノラマを作成するためのヒント	142
Photo RAW パノラマエッジオプション	143

パート5: 出力と共有 148

ON1 サイズ変更を使用する必要がある場合	149
ON1サイズ変更メイン画面の概要	150
プレビューエリアのナビゲート	151
ナビゲーター、レベル、情報	151
ナビゲーターペイン	151
レベルペイン	151
情報ペイン	152
切り抜きツール	152
切り抜きツールオーバーレイの使用	153
切り抜きツールのオプションバー	153
切り抜きツールモード	153
画像の水平化	154
画像サイズの調整	154
ドキュメントサイズプリセットの使用	154
設定ペイン	156
画像タイプ	156
方法	156
テキストチャコントロール	156
シャープニングペイン	157
フィルムグレインペイン	158
タイルペイン	159
ギャラリーラップ	160
プリセット	161
プリセットを保存する	161
サイズ変更のソフトプルーフ	162
サイズ変更について: 印刷できるサイズは?	163
どのくらいの解像度が必要ですか?	164
ファイルタイプ	165
ロケーション	165
リネーム	166
写真サイズ	166
透かし	167
研ぎ	167
タイリング	168
ギャラリーラップ	168
プリセットのエクスポート	169
エクスポートオプション	169
印刷オプション	171
プリンターペイン	171
ファイルへの印刷	171
印刷領域ペイン	172
ページサイズと印刷サイズ	172
透かしペイン	173
シャープニングペイン	173
Photo RAW 基本的な印刷	173
複数の写真を印刷する	174
コンタクトシートの印刷	175

パート6: ON1 Photo RAW 2020リファレンス..... 179

ON1 Photo RAW (MacOS のみ)	180
ファイルメニュー	180
編集メニュー	181
アルバムメニュー	181
写真メニュー	182
設定メニュー	182
ON1Sync (プレビュー)	183
表示メニュー	184
ウィンドウメニュー	185
助けて	185
ON1 Photo RAW (MacOS のみ)	186
ファイルメニュー	186
編集メニュー	186
レイヤーメニュー	187
写真メニュー	187
マスクメニュー	187
設定メニュー	188
表示メニュー	189
窓	190
HのELP.....	190
ON1Photo RAW (MacOSのみ)	191
ファイルメニュー	191
編集メニュー	191
設定メニュー	192
表示メニュー	192
窓	193
助けて	193
一般設定	195
スクロールコントロール.....	195
背景色のプレビュー	195
アクセントの色.....	195
アプリケーション言語.....	195
起動時に更新を確認する	195
デフォルトの参照場所.....	196
ファイル	196
編集するもの.....	196
サイドカーオプション	196
レンズ補正を自動的に適用する	196
RAW + JPGペアを単一の写真として扱う	196
プラグイン	197
Photoshop	197
Lightroom.....	197
システム	198
メモリ使用量	198
スクラッチフォルダーの場所.....	198
キャッシュを参照	198
性能.....	198
Lightroom移行キャッシュ	199

パート1: ON1 PHOTO RAW 2020 概要



ON1 Photo RAW 2020 は、最新の写真オーガナイザーと洗練された生処理エンジンを中心に構築された完全な写真エディターです。Photo RAW 使用すると、すばやく非破壊的な編集と様式化された効果を写真に適用でき、完全な再編集性を維持しながら、画像をすばやく簡単に合成するための洗練されたレイヤー機能が含まれます。また、ボタンをクリックするだけで、写真を美しいパノラマ、見事なHDR画像、完全にフォーカスが積み重ねられた写真にまとめることができます。また、編集が完了したら、写真に業界標準の画像拡大を実行し、完全な印刷機能を使用して、友人やソーシャルメディアで画像を簡単に共有できます。

ON1 Photo RAW 2020 には最新のRawプロセッサが組み込まれているため、完全に非破壊的なワークフローで作業できます ON1 Photo RAW 2020 生の写真をすばやくインポート、並べ替え、表示し、編集モジュールですぐに仕上げる必要があります。編集内容の保存について心配する必要があります。次回写真を開いたときにすべての設定が記憶され、写真の追加バージョンを保存することなく、設定を簡単に変更したり、新しい設定を追加したり、最初からやり直したりできます。Photo RAW 2020 は、JPEG、Photoshop (PSD)、PNG、TIFFなどの非生のフォーマットで作業する場合でも非破壊的です。

AdobeのPhotoshop、Lightroom Classic CC、Photoshop Elements、Apple Photosなどの既存の生編集およびワークフローアプリがある場合、ON1 Photo RAW 2020はこれらのアプリのプラグインとしても機能し、高度な編集タスクを実行できます従来のワークフローを維持しながら、写真を保存します。

ヘルプシステムの使用

あなたは見つけるとで無料のビデオチュートリアルを見ることができますON1 Photo RAW 2020 プロダクト・トレーニング・サイトでは、利用可能 ON1.com。これは、 ON1 ワークフローを掘り下げ、写真の編集と整理に役立つ新しいテクニックを発見するための最良かつ最速の方法です。そこで、 ナレッジベース でよくある質問、一般的な問題などを検索できます。

ON1 Photo RAW 2020[ヘルプ]メニューには、トレーニングサイトへのリンク、ビデオチュートリアルなどの豊富なライブラリが含まれています。

システム要求

	最小	お勧め
オペレーティング・システム	macOS10.12から10.15; Windows7、8、または10リリース、64ビットのみ	macOS10.14または10.15; Windows10現在のリリース、64ビットのみ
プロセッサー	Intel Core i5、Xeon以上のプロセッサー	4コアIntel Core i5、Xeon以上のプロセッサー
羊	8 GB	16ギガバイト
ハードドライブ	インストール用に1.5 GB	インストール用に1.5 GB 高速 (7200 RPM) またはSSDドライブ
表示	512 MBビデオRAM、解像度 1280x720のOpenGL 3.3互換ビデオカード	2 GBの専用ビデオRAM、解像度 1920x1080のOpenGL 4.2互換ビデオカード
サポートされているサードパーティアプリ (プラグイン)	PhotoshopCS6; PhotoshopElements 14 LightroomClassic 6; Apple写真	PhotoshopCC 2018; PhotoshopElements 2018 LightroomClassic CC 2018; Apple写真
その他	アクティブ化および自動更新チェックのためのインターネット接続。	アクティベーションと自動更新チェックのためのインターネット接続。 感圧入力用のWacomタブレット。 ハードウェアディスプレイキャリブレーションツール

設置

ON1 Photo RAW 2020 をインストールするには、インストーラーアイコンをダブルクリックし、インストーラーがガイドを表示します。 インストールまたは更新する前に、Adobe Photoshop、 Photoshop Elements、Lightroom、ApplePhoto s などのサポートされているホストアプリケーション、 およびON1製品の以前のバージョンをON1ます。

MACOS

アプリケーションは、アプリケーションフォルダーの ON1 Photo RAW 2020フォルダーにインストールされます。

インストールプロセス中に見つかった、サポートされているホストアプリケーション（Adobe Photoshop、Lightroom、Photoshop Elements、ApplePhotosなど）のすべてのプラグインファイルが自動的にインストールされます。インストールの終了時に、インストールされているプラグインの概要が表示されます。

ON1's Photo RAW、Perfect Photo 10またはPerfect Photo SuiteON1's 以前のバージョンが ON1's場合、インストール中の設定に基づいて維持または置換されます。

サポートファイルは/Library/Application Support/および~/Library/Application Support/フォルダーにインストールされます。

WINDOWS

アプリケーションは、\Program Files\ON1\ディレクトリのON1 Photo RAW 2020 フォルダーにインストールされます。

インストールプロセス中に検出された、サポートされているホストアプリケーション（Adobe Photoshop、Lightroom、Photoshop Elementsなど）のすべてのプラグインファイルが自動的にインストールされます。インストールの終了時に、インストールされているプラグインの概要が表示されます。

ON1'sPhoto RAW、Perfect Photo 10 または Perfect Photo Suite ON1's 以前のバージョンが ON1's 場合、インストール中の設定に基づいて維持または置換されます。

サポートファイルは\ProgramData\ ON1\にインストールされます。

以前のバージョンからのアップグレード

コンピューターに以前のバージョンのON1 Photo RAW 2018または2019がインストールされている場合、インストールプロセスはカタログ化されたフォルダー、アルバム、およびメタデータプリセットに移動します。

注：以前のバージョンの Photo RAW のスマートアルバム機能は、拡張されたフィルターペインに置き換えられました。アップグレードプロセス中に、スマートアルバムはすべて静的アルバムとカスタムフィルタープリセットに変換されます。詳細については、[ページ<OV>](#)（アルバムペイン）および[ページ<?>](#)（フィルターペイン）。

ON1 Photo RAW 2020起動

Photo RAW 2020をスタンドアロンアプリとして起動し、すべてのモジュールにアクセスするには、次の手順を実行します。

MACOS

1. Finderを開きます。
2. アプリケーションフォルダに移動します。

3. ON1 Photo RAW 2020 フォルダーに移動します。
4. ON1 Photo RAW 2020 アプリケーションアイコンをダブルクリックします。

ON1 Photo RAW 2020 をドックに追加して、簡単にアクセスできるようにするには、ドックのアイコンをクリックしてホールドし、[ドックに保持]オプションを選択します。Launchpadを使用する場合、Launchpadもそこにあります。

WINDOWS7

1. [スタート]メニューに移動します。
2. ON1グループを選択します。
3. ON1 Photo RAW 2020を選択します。
4. インストール時に「デスクトップにアイコンを追加」オプションを選択した場合、そこから ON1 Photo RAW 2020 アクセスすることもできます。

WINDOWS 8.1および WINDOWS 10

1. Windowキーを押して、スタート画面を開きます。
2. ON1 Photo RAW 2020を選択します。
3. インストール時に「デスクトップにアイコンを追加」オプションを選択した場合、そこからON1 Photo RAW 2020 アクセスすることもできます。

Adobe Photoshopや Lightroom などの外部アプリケーションからON1 Photo RAW 2020 を起動するには、以下のセクションを参照してください。

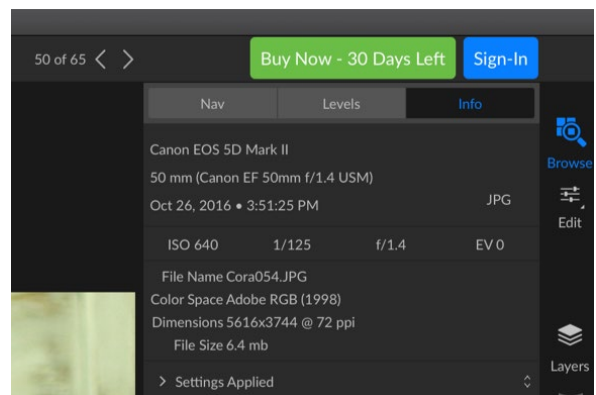
ライセンスと登録

ON1 Photo RAW 2020 を初めて起動すると、メインウィンドウの左上に[今すぐ購入]と[サインイン]の2つのボタンが表示されます。

ON1 PHOTO RAW 2020 を購入した場合：

[サインイン]ボタンをクリックし、ON1 アカウント情報（メールとパスワード）を入力してアプリを登録します。（ソフトウェアの購入時にアカウントを設定しておく必要があります。）サインインに使用するコンピューターがインターネットにアクセスできない場合は、ライセンスの「インターネット接続なし」リンクをクリックしてソフトウェアを手動で登録できます。ダイアログ。

ライセンスにより、ON1 Photo RAW 2020 を5台のコンピューターにインストールできます。ON1アカウント情報を入力すると、Photo RAW 2020 はON1アクティベーションサーバーと通信し、そのコンピューターのソフトウェアを登録します。



初めてON1 Photo RAWを起動したとき、ON1ユーザーID（ソフトウェアの購入時に設定したもの）でサインインします。試してみるためにアプリをダウンロードした場合、無料トライアルの残り日数を確認できます。

Photo RAWコピーを1台の登録済みコンピューターから新しいコンピューターに移動する場合で、古いコンピューターを使用しない場合は、最初に古いコンピューターからサインアウトすることをお勧めします。Photo RAWを開き、[ヘルプ]メニューから[サインアウト]を選択します。これにより、現在のマシンでPhoto RAW 2020が非アクティブになり、別のマシンにインストールしてサインインできます。

ON1 ユーザーアカウント領域 (<https://www.on1.com/login/>) にいつでも ログインして ソフトウェアをダウンロードし、登録したコンピューターの数を確認し、アカウント情報に基本的な変更を加えることができます。メールアドレス、パスワード、通知など。

インストールまたは活性化に関連する問題がある場合はPhoto RAW、してください接触 ON1 をクリックすることで到達することができ、顧客サポート、ON1 Webサイトの[サポート]タブ (<https://on1help.zendesk.com>)。

体験版

ON1 Photo RAW 2020は、最初に起動してから30日間、フル機能の試用版として動作することもできます。これにより、製品を評価し、ニーズに合っているかどうかを確認する時間が与えられます。試用期間中にPhoto RAWを起動するたびに、[今すぐ購入]ボタンが試用期間の残り日数を示します。

[今すぐ購入]ボタンをクリックすると、ON1 Photo RAW 2020 をいつでも購入できます。それを行ったら、次に製品を起動するときにサインインボタンをクリックし、ON1 アカウント情報を入力します。試用期間が終了すると、アプリを起動したときに Photo RAWアクティベーションウィンドウが表示されます。ここで、ON1 アカウント情報を入力してアプリをアクティブ化できます。

製品改善プログラム

お客様の声に耳を傾けることで最高の製品が作られると信じています。メール、アンケート、直接の会話、市場分析、製品改善プログラムなど、さまざまな方法でアイデアやフィードバックを収集します。製品改善プログラムはソフトウェアに組み込まれており、ソフトウェアの使用方法に関する情報を収集します。これは、お客様にとって重要な機能と、当社の製品がワークフローにどのように適合するかを知る最も正確な方法です。

プログラムへの登録は任意です。参加すると、プログラムの使用方法に関する基本情報とコンピューターに関する基本情報が収集されます。この情報は、お客様にとって重要な機能と、ソフトウェアを使いやすくする方法を知るのに役立ちます。個人情報は収集されず、連絡もありません。

ON1 Photo RAW 2020初めて起動するときに、製品改善プログラムに参加することを選択できます。参加を後で変更するには、[ヘルプ]メニューをクリックし、[ON1 製品の改善にごON1ください]をクリックします。

製品改善プログラムの詳細については、ON1.comWebサイトのサポートエリアにON1.comください。

ON1 Photo RAW 2020アンインストール

ON1 Photo RAW 2020をアンインストールするには、次の指示に従ってください。

まず、製品を非アクティブ化しますON1 Photo RAW 2020 を開き、[ヘルプ]メニューから[サインアウト]を選択します。（これにより、ライセンスを別のコンピューターに転送できます。）

MACOS

1. Applications / ON1 Photo RAW 2020/ Documentationフォルダーに移動します。

2. RemoveON1 Photo RAW 2020アプリケーションをダブルクリックします。

WINDOWS

1. コントロールパネルに移動します。
2. [プログラム]で[プログラムのアンインストール]を選択します。
3. 表示されるリストで、ON1 Photo RAW 2020を選択し、[アンインストール]ボタンをクリックします。

ファイルの操作

ON1 Photo RAW 2020は、ピクセルあたり8ビットまたは16ビットで、RGBカラーモードで次のファイルタイプを表示および開くことができます。

- ほとんどの主要なカメラメーカーの生ファイル（ファイル拡張子はメーカーによって異なります）
- デジタルネガティブ（DNG）
- Photoshop（PSD）
- Photoshop Large Document（PSB）
- タグ付き画像ファイル形式（TIFF）
- 共同写真専門家グループ（JPEG）
- ポータブルネットワークグラフィック（PNG）
- 高効率画像フォーマット（HEIC）

画像をエクスポートまたは共有する場合、Photo RAW はファイルをPSD、PSB、TIFF、JPEG、およびPNG形式で保存できます。

注：ON1 Photo RAW 2020 は、参照モジュール内のほとんどの標準ビデオ形式を表示およびカタログ化することもできます。Photo RAW 内からビデオを再生または編集することはできませんが、ファイル管理タスクを実行してメタデータを編集できます。Photo RAWビデオファイルをダブルクリックすると、コンピューターのデフォルトのビデオプレーヤーが起動します。

ON1 PHOTO RAW 2020を使用する場合のファイルアクセス スタンドアロンアプリケーションとして

スタンドアロンアプリケーションとして使用する場合、ON1 Photo RAW 2020 は、写真を編集するときに、カメラメーカーの生の形式をデフォルトの形式として使用します。ON1 Photo RAW 2020 の非破壊編集機能を使用すると、RAWファイル（または上記のリストからサポートされているその他のファイルタイプ）を参照で表示し、中間ファイルを作成せずに編集モジュールで作業できます。ディレクトリを乱雑にする画像の複数のバージョンはありません。ON1 Photo RAW 2020は、写真に加えた編集を記憶し、元の写真に非破壊的に適用します。

つまり、ファイルを編集するためにファイルを「開く」必要はありません。必要に応じて作業するだけで、ON1

Photo RAW 2020は、レイヤー化された写真を使用している場合でも、モジュール間を移動するときに編集内容を記憶します。非生の形式でエクスポートまたは共有する場合、またはサイズ変更モジュールを使用する場合にのみ、別のフォームに保存する必要があります。

PHOTO RAW 2020をプラグインとして使用する場合のファイルアクセス

ON1 Photo RAW 2020 を別の画像編集アプリ（Lightroom など）のプラグインとして使用する場合、互換性を最大限に高めるために交換ファイル形式としてPhotoshop形式（.PSD）を使用することをお勧めします。保存したファイルが2GBを超える場合、または1辺が30,000ピクセルを超える場合、画像は自動的に.PSB（または大きなドキュメント）形式で保存されます。これは、より大きなファイルサイズ用に設計されたPSD形式の新しいバージョンであり、Photo RAWと完全に互換性があります。

ON1 Photo RAW 2020モジュール

ON1 Photo RAW 2020 は、参照、編集、サイズ変更の3つのモジュールがあります。各モジュールは1つのタスクに焦点を合わせており、そのタスクを完了するために必要なものだけにアクセスできます。Browseはファイル管理操作を処理し、Editは非破壊的なピクセル編集を実行します（選択した場合、階層化されたワークフローで）。Resizeは、主に大判プリンターへの印刷に使用されます。

スタンドアロンアプリケーションとして使用する場合、Browseはデフォルトモジュールです。ドライブやクラウドサービスをナビゲートして画像を検索したり、写真をインポートしたり、特別な画像合成タスク（HDR画像の作成など）を実行したりするために使用されます。このモードでは、画像を[参照]から[編集]モジュールに移動すると、Photo RAW 2020非破壊的に機能し、作業中の編集を保持します。

注: Resizeで画像を開くのは 破壊的な。最終結果は通常、印刷を目的とした新しいスケーリングされたファイルであるため、ResizeはイメージのPSDベースのコピーを作成し、元のイメージと同じディレクトリに保存します。

[編集]モジュールには、[現像]、[効果]、[ローカル調整]、[ポートレート]の4つのタブがあります。各タブには特定の機能領域があります。基本編集用の現像、スタイル設定用の効果、画像内の特定領域のターゲット編集用のローカル調整、ポートレートレタッチ用のポートレートです。

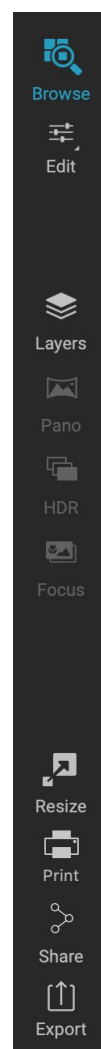
モジュールセクター

Module Selectorは画面の右側にあり、常に表示されています。セクターの上部には、参照および編集のアイコンがあります。これらのアイコンのいずれかをクリックすると、そのモジュールに移動します。

ブラウズで作業している場合、セクターの中央には、写真を結合するときに使用する4つのアイコンがあります：レイヤー、パノラマ、HDR、フォーカス。（詳細については、「[と写真を組み合わせ](#) Photo RAWページの」<?>。）

セクターの下部には、サイズ変更アイコンと、画像またはグループを印刷、共有、またはエクスポートするためのアイコンがあります。（ページの「[共有](#)」<?>。）

作業中のモジュール、開始した場所（スタンドアロンモード、またはプラグインとして ON1 Photo RAW 2020を使用している場合）に応じて、次の条件によって一部またはすべてのモジュールが無効に



なる場合があります。

- Photo RAW をスタンドアロンアプリケーションとして使用する場合は、任意のモジュールをクリックしてそのモジュールに移動できます。
- Photoshop、PhotoshopElements、または Apple Photos内から Photo RAWアクセスする場合、編集モジュール内でのみ作業します。他のモジュールは無効になります。異なるタブ間を自由に移動できます このモードのときに編集し、レイヤーを作成できます。また、Photo RAW内から現在の画像を印刷、共有、エクスポートすることもできます。
- LightroomClassic CC内から Photo RAW アクセスする場合、Lightroom内から選択したモジュールのみを使用できます。編集モジュール（[現像]、[効果]、[ポートレート]、[ローカル調整]タブを含む）、または[サイズ変更]ただし、現在の画像を印刷、エクスポート、または共有することはできません。

注：ブラウズは、ON1 Photo RAW 2020 をスタンドアロンアプリとして使用する場合にのみアクセスできます。

ON1 Photo RAW 2020をRawエディターとして使用する

ON1 Photo RAW 2020 は、Photoshop、Lightroomまたは他の編集アプリケーションから独立したスタンドアロンアプリケーションとして使用する場合に最も強力です。この方法で使用すると、すべてのモジュールと非破壊編集機能を備えた完全な生ベースのワークフローにアクセスできます。

ON1 PHOTO RAW 2020ワークフロー

ON1 Photo RAW 2020 は、スタンドアロンのフォトエディターとして使用すると、真の非破壊的なRaw編集機能を提供します。つまり、画像を参照モジュールで表示し、編集モジュールの任意の部分で生ファイルを開いて、トリミング、修復、ローカル調整などの編集を適用すると、Photo RAWは常に元のファイルで機能します。どの時点でも、現像、エフェクト、ローカル調整、またはポートレートに戻って、行った設定の一部またはすべてを変更できます。さらに、レイヤーで作業している場合、Photo RAW はPhoto RAW固有の「onphoto」ファイル形式を使用して、非破壊的な形式でも作業を保存します。この形式はすべてのレイヤーと編集情報を保持し、共有またはその他の用途のために合成画像をエクスポートする場合、Photo RAW サポートされる任意の形式で簡単にエクスポートできます。

ON1 PHOTO RAW 2020 の編集パイプライン

ON1 Photo RAW 2020、ON1 Photo RAW 2020 ファイル（またはその他のサポートされているファイル形式）に対して行うことができる編集操作は数多くあります。ON1 Photo RAW 2020、露出と色のグローバルな調整から、エフェクトの適用、写真のセクションに。編集が未加工ファイルに適用される方法には何らかの構造が必要であるため、編集が未加工ファイルに適用される順序を理解することが役立つ場合があります。追加のレイヤーなしで編集済みの画像を表示するときは常に、これが ON1 Photo RAW 2020が編集を適用する順序です。

1. ベースイメージは常にスタックの一番下にあります。これがオリジナルであり、いつでもそのファイルに戻ることができます。

2. レタッチ（ほこりの除去、傷や肌の欠陥の編集などの操作）は多くの写真家が画像に対して最初に行うことが多いため、Photo RAW はこれらの操作を最初に適用します。これにより、以降のすべての編集にこれらの変更が組み込まれます。
3. 次に、[開発]タブで適用される設定です。これには、カラープロファイルの適用、グローバルな露出、色補正、シャープニング、ノイズリダクションが含まれますが、変換ペインで行われた調整が含まれます。
4. 次に、画像に対して行われたローカル調整が適用されます。
5. 変換操作は、ローカル調整後に適用されます。
6. [ポートレート]タブで行った編集は次に適用されます。
7. [効果]タブで適用されたフィルターは最後に適用されます。
8. テキストレイヤーは画像スタックの上にあります。
9. 最後に、画像に対して行われたトリミングまたは回転情報がファイルに適用されます。

複数のレイヤーを使用する場合、各レイヤーに手順1〜7が適用され、「スタック」の一番下のレイヤーが一番上になります。すべてのレイヤーの編集が適用された後、Photo RAW はテキストを追加し、続いてトリミングおよび回転情報を追加して、ドキュメントパイプラインを完成させます。

この順序で写真を編集する必要はありません。これは、Photo RAW 2020が画像に行った編集を適用する方法です。たとえば、現像で露出設定を変更するか、エフェクトでフィルターを適用した後にのみ、ほこりの斑点が見つかることがあります。その後、Perfect Eraserを使用してスポットを削除し、編集を続行すると、Photo RAW 2020 がスタック内の適切な場所に適用します。

注： ON1 Photo RAWやLightroom などのエディターは、ON1 Photo RAW ファイルを開いて編集できますが、相互に互換性はありません。1つのプログラムで生ファイルに加えられた編集は、他のプログラムでは表示されません。ベストプラクティスについては、通常、組織/編集ツールとして1つのプログラムを選択する必要があります。主な編集ツールをLightroom からPhoto RAW に切り替えたい場合は「[Lightroom カタログをPhoto RAW2019に移動する](#)」ページ14。

使用 ON1 Photo RAW 2020 で Adobe®Photoshop®

Photoshop からON1 Photo RAW 2020に送信された画像を編集すると、現在 Photoshop 選択されているレイヤーが編集されます。デフォルトでは、Photo RAWはレイヤーのコピーを作成するため、元のレイヤーはスマートオブジェクト（以下を参照）でない限り保存されます。この設定を変更する場合は、[ページ<?>](#)。

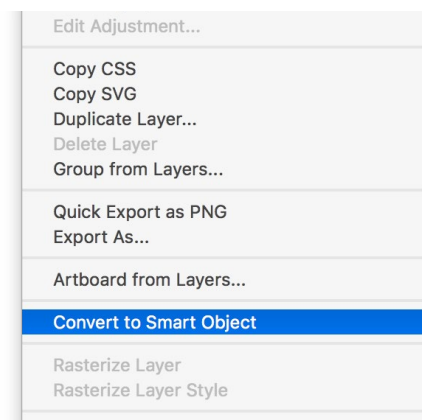
ON1 Photo RAW 2020 は、Photoshop内から、[ファイル]>[自動化]メニューと[ON1]> [ON1]メニューの2つの方法でアクセスできます。[自動化]メニューから、[編集]モジュールと[サイズ変更]モジュールの[現像]、[効果]、および[ポートレート]タブにアクセスできます。[フィルター]メニューから、[現像]、[効果]および[ポートレート]タブにアクセスできます（Photoshop 内から参照にはアクセスできません）。

ON1 Photo RAW 2020画像を編集するには、2つのオプションがあります。どの方法を選択するかは、Photo RAW 画像を再編集できるようにするかどうかによって異なります。

PHOTO RAW行った変更を保存せずにPHOTOSHOP から写真を編集する

Photoshop内で Photo RAWを使用するには、操作を再編集できないようにするには、次の手順に従います。

1. Photoshop作業する画像を開きます。
2. 作業するレイヤーを選択します。（プラグインの設定に応じて、元のレイヤーを保持する場合は複製を作成します（レイヤー>複製））
3. [フィルター]メニューから[ON1]を選択し、次に[モジュールの編集]タブを選択します。
4. 写真の編集が終了したら、ON1 Photo RAW 2020[完了]ボタンをクリックします。

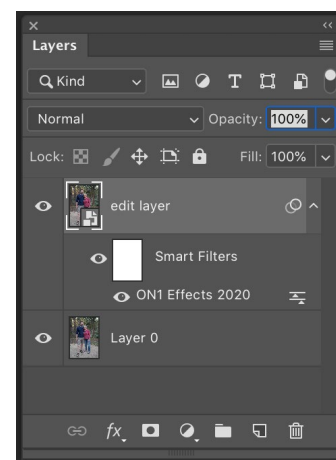


Photoshopのレイヤーパネルでレイヤーを右クリックすると、レイヤーをスマートオブジェクトに変換するオプションが表示されます。

PHOTO RAW 行った変更を保持するためにPHOTOSHOP から写真を編集する

あなたの再編集できるように Photoshop 内部の後の時点での画像ON1 Photo RAW 2020、あなたが使用する Photoshop のスマートオブジェクト技術を。これを行うには、次の手順を実行します。

1. Photoshop 作業する画像を開きます。
2. 作業するレイヤーを選択します。
3. レイヤーを右クリックして、[スマートオブジェクトに変換]を選択します。
4. [フィルター]メニューから[ON1]を選択し、使用するタブを選択します。
5. 写真の編集が終了したら、Photo RAW 2020 [完了]ボタンをクリックします。



再編集するにはPhoto RAWの Photoshopレイヤーで、レイヤーパレットのスマートフィルターセクションにあるモジュール名をダブルクリックします。

ON1 Photo RAW 2020 内でスマートオブジェクトレイヤーを再度編集するには、Photoshop編集したスマートオブジェクトレイヤーの ON1 モジュール名をダブルクリックします。Photo RAW

はそのモジュールを起動し、以前の設定を変更したり、新しい設定を作成したりできます。

注: Photo RAW でPhoto RAWレイヤーを追加する場合（元のベースレイヤーに加えて）、スマートオブジェクトの再編集はできません。作業を保存すると、Photo RAW は画像を平坦化してからPhotoshop に送り返します。

使用 ON1 Photo RAW 2020 でAdobe® PhotoshopElements®

Photoshop Elementsから ON1 Photo RAW 2020に送信された画像を編集すると、Photoshop Elementsで現在選択されているレイヤーが編集されます。デフォルトでは、Photo RAW はレイヤーのコピーを作成するため、元のレイヤーが保存されます。この設定を変更する場合は、[設定]ウィンドウ（[ページ <?>](#)）。

ON1 Photo RAW 2020 は、Photoshop Elementsから2つの方法でアクセスできます。ファイル>オートメーションツールメニューから、またはフィルター> ON1 メニューからです。[自動化]メニューから、[編集]モジュールと[サイズ変更]モジュールの[現像]、[効果]、および[ポートレート]タブにアクセスできます。[フィルター]メニューから、[現像]、[効果]および[ポートレート]タブにアクセスできます（Photoshop Elements内から参照にはアクセスできません）。

PHOTOSHOPELEMENTSで写真を編集する

Photoshop Elements内でPhoto RAWを使用するには、次の手順を実行します。

1. Photoshop Elementsで作業する画像を開きます。
2. 作業するレイヤーを選択します。
3. [フィルター]メニューから[ON1]を選択し、次に[モジュールの編集]タブを選択します。
4. 写真の編集が終了したら、ON1 Photo RAW 2020[完了]ボタンをクリックします。

注: PhotoshopElementsはスマートオブジェクトをサポートしていないため、Elementsに戻ると、ON1 Photo RAW 2020 内で行われたすべての編集が最終的なものになります。

ON1 Photo RAW 2020 を使用して Adobe® Lightroom® クラシック CC

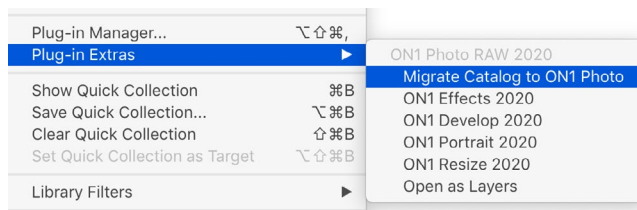
ON1 Photo RAW 2020はLightroom Classic CC内からアクセスでき、画像の統合されたラウンドトリップワークフローを提供します。

注：Lightroom はON1 Photo RAW 2020似た生のエディターです。両方のプログラムは生ファイルを開いて編集できますが、相互に互換性はありません。1つのプログラムで生ファイルに加えられた編集は、他のプログラムでは表示されません。ベストプラクティスについては、通常、組織および生の編集ツールとして1つのプログラムを選択する必要があります。プライマリRAWエディタとして ON1 Photo を使用する場合は [詳細については、「Lightroom カタログを Photo RAW 2019に 移動 する」ページ14](#) を 参照 してください。

Lightroom でON1 Photo RAW 2020 を使用するには、[ファイル]メニューの[プラグインエクストラ]コマンドと[写真]メニューの[編集]コマンドを使用する2つの主な方法があります。写真>編集でメニューを使用すると、ファイルが>プラグインのエクストラはあなたが編集し、サイズ変更モジュールへのアクセスを提供しながら、あなたの編集モジュールへの迅速なアクセスを提供し、そしてあなたが内部で複数の画像を開くことができます Photo RAW 編集モジュール内の個々の層として。

「プラグインエクストラ」の使用

アプリにアクセスするには、[ファイル]>[プラグインエクストラ]メニューから ON1 Photo RAW 2020アクセスするON1 Photo RAW 2020します。インストールされているすべてのモジュール（参照を除く）にアクセスでき、ファイルの処理方法が最も柔軟になります。ON1 Photo RAW 2020 で画像を編集するには、Lightroomで画像を選択し、[ファイル]メニューの[プラグインエクストラ]サブメニューを選択して、開始する場所を選択します。何が起こるかは、選択内容によって異なります。



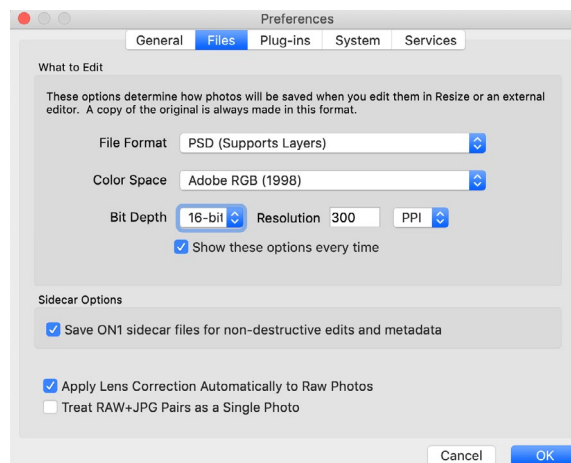
Plug-In Extrasサブメニューは、LightroomClassicの[ファイル]メニューにあります。

- [効果]、[現像]、または[ポートレート]を選択すると、編集モジュール内のそのタブでON1 Photo RAWが開きますが、編集セッション中に他のタブ間を移動できます。このプロセス中にレイヤーを作成することもできますが、Lightroom 戻るとフラットになります。
- [サイズ変更]を選択した場合、そのモジュールでのみ作業できます。
- 複数のファイルを選択し、「レイヤーとして開く」を選択すると、Photo RAW's編集モジュール内にレイヤードドキュメントが作成されます。Photo RAW 内のレイヤードドキュメントは他のアプリで読み取ることができないため、Photo RAWは新しいレイヤード.onphotoファイルを作成し、それをベースレイヤー画像として元のフォルダーに保存します。

プラグインエクストラを使用する場合のファイル作成特性

Plug-In ExtrasメニューからON1 Photo RAW 2020 アクセスする場合、Photo RAW PreferencesウィンドウのFilesタブで制御される重要なファイル処理オプションがあります。これらは、目的のワークフローに基づいて事前に構成する必要があります。これらが設定されると、Plug-In Extrasサブメニューを介してPhoto RAW 2020送信されるすべての画像は、次の特性を使用します。

- **ファイル形式** : ファイルタイプのドロップダウンメニューで、作成するファイルのタイプを決定します。デフォルトはPSDで、レイヤーを維持します。JPGまたはTIFFを選択することもできます（これらの形式が必要な場合）。
- **カラースペース** : カラースペースドロップダウンメニューにより、使用するRGB作業カラースペースが決まります。Adobe RGB 1998、sRGBまたはProPhoto RGB。
- **ビット深度** : ビット深度ドロップダウンメニューは、ビット深度を決定します。8ビットまたは16ビット/ピクセルです。
- **解像度** : 解像度ドロップダウンメニューにより、ファイルの解像度が決まります。



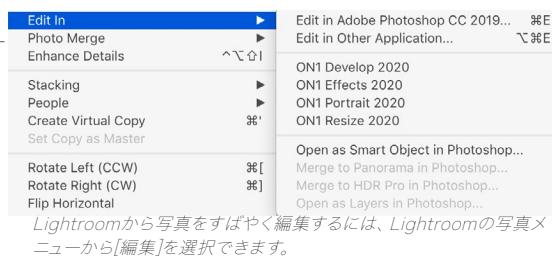
LightroomのPlug-In Extrasメニューを介してLightroomからPhoto RAWにファイルを送信すると、Photo RAWの[環境設定]ウィンドウの[ファイル]セクションの設定に従って、編集されたファイルが作成されます。

注: ON1 Photo RAW 2020は、Photo RAW 以前のバージョンで使用されていたSmart Photos形式をサポートしていません。画像の再編集性を維持したい場合は「[Adobe Photoshop ON1 Photo RAW 2019を使用する](#)」ページ 9。

LIGHTROOM から「編集」を使用する

現像、エフェクト、ポートレート、またはサイズ変更で写真をすばやく編集するには、Lightroom で画像を選択し、[写真]メニューに移動して[編集]サブメニューを選択し、作業するモジュールを選択します。メニューから、Photo RAW 内での編集セッション中に他のタブ間を移動できます。

[写真]>[編集]を使用する場合の編集条件は、[ファイル]>[プラグインエクストラ]を使用する場合と同じです。この方法で作成されたレイヤー化ファイルは、Photo RAW を終了するとフラット化されます。

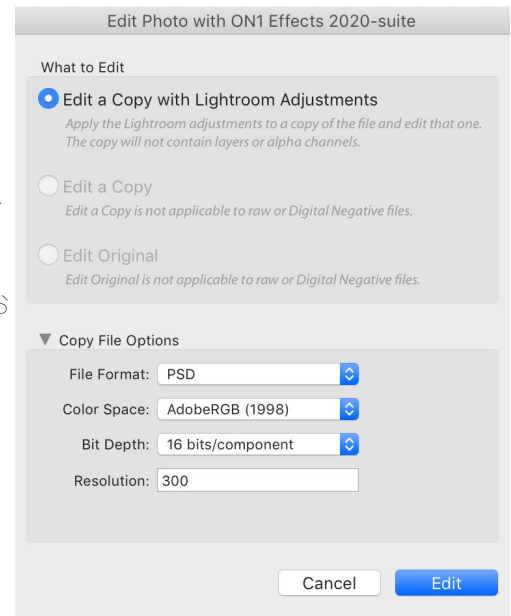


Lightroomから写真をすばやく編集するには、Lightroomの写真メニューから[編集]を選択できます。

編集インを使用する場合のファイル作成特性

あなたは写真>編集でサブメニューを使用すると、Lightroom あなたが選択した画像を編集する方法を毎回聞いてきます。3つの編集オプションがあります Lightroom 調整でコピーを編集します。これにより、写真に行った編集を含むファイルのコピーが作成されます。Lightroom 変更を加えずに元の写真をコピーするコピーを編集します。ON1 Photo に送信さ ON1 Photo が生ファイルの場合は利用できません。

また、ファイルタイプ (TIFF、Photoshop またはJPEG)、色空間、および結果のファイルのビット深度を設定することもできます。



Lightroom カタログをPhoto RAW 移動する

Lightroom ユーザーで、ON1 Photo RAWを主な編集アプリケーションにしたい場合、LightroomMigration Assistantを使用して、ほとんどのカタログ設定とメタデータを Lightroom から Photo RAW に転送できます。Lightroom 編集した写真を転送して、ON1 Photo 内に表示し、対応する (非破壊的な) 編集を適用することもできます。また、Lightroomカタログ内の元のファイルやカタログ自体を変更せずにこれを行います。代わりに、機械学習を使用して、再編集可能な非破壊的な方法で実際の Lightroom編集を移行します。

注： このツールは、変更の継続的な同期ではなく、カタログの1回限りの移行用に設計されています。そのため、移行プロセスには時間がかかる場合があります。移行期間中も LightroomClassicおよびON1 Photo RAW 2020 を引き続き使用できます。移行プロセスでは、イメージを保存するドライブ (またはドライブ) 上の大量のディスク領域を一時的に使用することもできます。開始する前に十分なスペースがあることを確認してください。

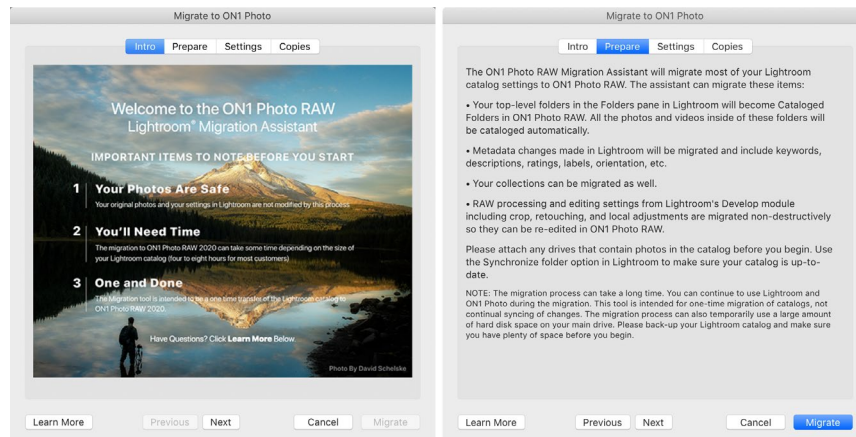
このツールは次のタスクを実行します。

- Lightroom [フォルダー]ペインの最上位フォルダーは、Photo RAW カatalog化フォルダーになります。それらのフォルダー内のすべての写真とビデオは自動的にカatalog化されます。
- メタデータはで行われた変更Lightroom、移行され、nは 等評価、フラグ、キーワード、記述、GPSデータ、カラーラベル、向き、等が挙げられるdは。
- 標準のLightroom コレクションも移行されます。ただし、Lightroom スマートコレクションは変換されません。
- Lightroom のDevelopモジュール内で行われたほとんどの生の処理および編集設定は、Photo RAW内で非破壊的に移行され、編集可能です。これらの操作には、トリミング、レタッチ、ローカル調整、ビネット、ノイズの低減とシャープニングなどが含まれます。(「どのLightroom設定が移

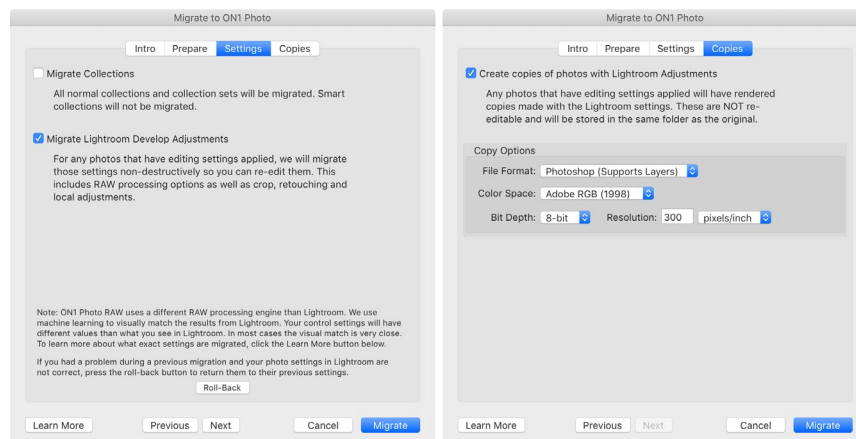
行されますか?」ページ17での設定が転送され、どの設定が転送されないかの正確な詳細については)

カタログを移行するには、Lightroom内でカタログを開き、[ファイル]>[プラグインエクストラ]から[カタログをON1 Photo移行]を選択します。アシスタントウィンドウが開きます。最初と2番目ウィンドウのタブには、プロセスに関する紹介があります。移行アシスタントで追加の最新情報を確認する場合は、[詳細]ボタンをクリックして、ON1 Webサイトのヘルプページに ON1 ます。

準備ができれば、[次へ]ボタンをクリックします。これは、あなたがアシスタントが標準転送するかどうかを選択することができます[設定]タブに表示されます Lightroom コレクションを (スマートコレクションは譲渡できません) といずれかで行われた調整の開発Lightroom。選択したら、[次へ]ボタンをクリックして[コピー]タブに移動します。



[イントロ]タブと[準備]タブには、Lightroom Migrationアシスタントに関する情報が表示されます。プロセスの詳細については、[詳細]ボタンをクリックしてON1 Webサイトにアクセスしてください。



[設定とコピー]タブには、変換操作のための複数のオプションがあります。

注: あなたが移行した場合 Lightroom カatalogを、そして中にあなたの写真の設定Lightroom正しくない、[設定]タブに移動し、タブの下部にロールバックボタンをクリックし、もう一度移行アシスタントを起動します。これにより、Lightroom 設定が移行プロセスを開始する前の状態に戻ります。(ロールバック手順が完了したら、[キャンセル]ボタンをクリックします。)

[コピー]タブを使用すると、Lightroom 内で[現像]調整が行われた写真のコピーを、すべての編集を含む新しいファイルにエクスポートできます。これらのコピーは、[コピー]タブで選択したオプションに基づいて作成され、次のオプションが含まれます。

- **ファイルの種類** : ファイルの種類のドロップダウンメニューで、作成するファイルの種類を決定します。デフォルトはPSDで、レイヤーを維持します。JPGまたはTIFFを選択することもできます。これらの形式が好まれ、レイヤーの維持を気にしない場合です。
- **色空間** : 色空間のドロップダウンメニューは、使用するRGB作業色空間を決定します。Adobe RGB 1998、sRGBまたはProPhoto RGB。
- **ビット深度** : ビット深度ドロップダウンメニューは、ピクセルごとに8ビットまたは16ビットのビット深度を決定します。
- **解像度** : 解像度ドロップダウンメニューにより、ファイルの解像度が決まります。

[コピー]オプションを Lightroom すると、Lightroom 内で編集されたすべての写真に新しいコピーが作成され、元の画像と同じフォルダーに保存されます。移行プロセスが完了すると、両方の画像が ON1 Photo RAW 2020 内に表示されます。

注: [コピーの作成]オプションを選択すると、メジャーまたはマイナーにかかわらず、調整が加えられたすべての写真のコピーが作成されます。これには、自動レンズプロファイリングやデフォルトのノイズリダクションなどが含まれます。一部の人は、写真を Lightroom に取り込む際にインポートプリセットとして使用します。カタログを調べて、移行を続行する方法を決定することをお勧めします。いくつかのケースでは、使用する方が有利であるかもしれないLightroom 新しいフォルダに選択的に輸出編集した写真への書き出しダイアログを、そしてそれらを追加 ON1 Photo RAW 新しいカタログさフォルダ-か、内部でそれらを整理したいかもしれませんが ON1 Photo。

[アシスタント]ウィンドウでオプションを設定したら、[移行]ボタンをクリックします。開始されると、次の手順が実行されます。

1. Photo RAW プラグインを使用すると、カタログ内のすべての画像の小さなJPEGバージョン（移行中の比較に使用）が一時的な場所にエクスポートされ、メタデータ (.on1) と編集情報を含む個別のサイドカーファイルもエクスポートされます (.on1meta) 各画像に対して。
2. [コピー]オプションをオンにした場合、これらの画像もエクスポートされ、元の画像と同じフォルダーに保存されます。
3. Lightroom 内からプロセスが完了すると、Photo RAW が起動し、Lightroom カatalogのフォルダーが[参照]モジュールの[フォルダー]ペイン内にカタログ化フォルダーとして表示されます。（画像のサムネールは、最初は上記の手順1でエクスポートされた一時的なJPEGに基づいています。）
4. バックグラウンドで、Photo RAW はカタログ化されたフォルダーを通過し、.on1meta ファイルに保存されている情報を使用して、Lightroom バージョンと新しいON1 Photo RAW バージョン間で編集を調整する変換プロセスを実行します。
5. [参照]内で移行されたカタログフォルダを表示すると、まだ変換されていない画像には、サムネールの右下隅に小さな「LR」バッジが表示されます。Photo RAW がその画像の変換を完了すると、バッジは小さな「+/-」バッジに変わります。
6. Photo RAW が各画像の変換を完了すると、一時ファイルが削除され、.on1 サイドカーファイルが更新されます。



前述のように、Lightroomエクスポートコンポーネントが完了したら、Photo RAW内で作業を続行できますが、このプロセスにはかなり時間がかかる場合があります。Photo RAWを終了して後で再起動した場合、移行されたすべての画像が ON1 Photo RAW 編集に変換されるまで、アプリはバックグラウンドで動作し続けます。

注: Lightroom Developの調整を移行しても、元の写真や Lightroom カタログ内の設定には影響しません。ON1 Photo RAW が行うことは、Lightroom 編集の現像設定の「翻訳」をPhoto RAW の現像設定に適用し、それらの編集をON1 固有のサイドカーファイルに保存することです。移行した写真を編集モジュール内で開くと、Lightroom行った編集のON1 の近似値が表示されます。

どの LIGHTROOM 設定が移行されますか？

編集設定をある開発環境から別の開発環境に移動することは複雑であるため、カタログを移行するときに Lightroom すべての設定が変換されるわけではありません。次の表は、Lightroom 主要な機能を変換した場合のリストと、言及した特定の機能に関する注意事項を示しています。

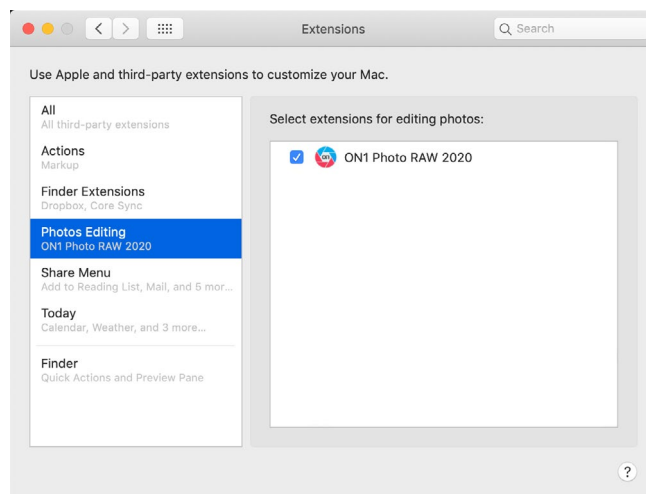
特徴	変換されましたか？	ノート
フォルダー	はい	Lightroom すべての最上位フォルダーは、Photo RAW 最上位カタログ化フォルダーになります。
写真/ビデオ	はい	カタログ化されたフォルダー内のすべての写真/ビデオが追加されます。これには、Lightroom カタログ化されていない写真が含まれる場合があります。Photo RAW は、利用可能な写真のみを移行し、オフラインボリュームから写真を移行しません。
バーチャルコピー	はい	Lightroom Virtual Copiesは Photo RAW 内のバージョンになります。
スタック	番号	
コレクション	はい	通常のコレクションはすべてアルバムに移行されます。コレクションセットはアルバムセットになります。スマートコレクションは移行されません。
切り抜き	はい	
スポット除去	はい	クローンモードで使用すると、スポットの削除はクローンスタンプに移行されます。修復モードで使用すると、完全消しゴムに移行されます。結果はピクセルに完全に一致するわけではありませんが、通常、同じスポットを削除して同等の結果が得られます。
基礎	はい	カメラプロファイルはのために一致しているAdobe ®とカメラプロファイル。他のLUTまたはカスタムプロファイルは移行されません。明快さは Photo RAW 構造と呼ばれます。DehazeはHazeと呼ばれ、少し異なって見えます。
黒、白	はい	
トーンカーブ	はい	パラメトリック曲線の調整は移行されませんが、ポイントベースの曲線は移行されます。
HSL /カラー	はい	これは、エフェクトの色調整フィルターにあります。
スプリットトーン	はい	これは、エフェクトのスプリットトーンフィルターにあります。

特徴	変換されましたか？	ノート
詳細	はい	シャープニングとノイズリダクションのアルゴリズムには大きな違いがあります。それらを調整するために最善を尽くしましたが、出力する前に手動で調整する必要があります。
レンズ補正	はい	一致するレンズプロファイルがある場合は、自動レンズ補正を適用します。手動の歪み設定は移行されません。
変換する	番号	残念ながら、Lightroom の変換機能は非常に異なっており、これらの設定を移行する実用的な方法を見つけることができませんでした。Photo RAW で現像の変換ペインを使用して、同様の結果を得ることができます。
効果	はい	これらは、エフェクトのビネットフィルターとフィルムグレインフィルターにあります。
カメラプロファイル	番号	プロファイルは、未加工エンジンの開発者が所有します。
赤眼	番号	ポートレートモジュールで赤目を自動的に減らすことができます。
段階フィルター	はい	これらは、調整可能なグラデーションを使用して、ローカルモジュールの調整レイヤーとして見つけることができます。現時点では、レンジマスク、モアレ、およびデフリンジは移行されません。
ラジアルフィルター	はい	これらは、調整可能なグラデーションを使用して、ローカルモジュールの調整レイヤーとして見つけることができます。現時点では、レンジマスク、モアレ、およびデフリンジは移行されません。
調整ブラシ	はい	これらは、自動ブラシ機能を含む調整ブラシを使用して、ローカルモジュールに調整レイヤーとして表示されます。現時点では、レンジマスク、モアレ、およびデフリンジは移行されません。

使用 ON1 Photo RAW 2020で Apple®写真

ON1 Photo RAW 2020、Apple Photos (macOSのみ) と緊密に統合され、画像を強化するためのシームレスなエクスペリエンスを提供します。

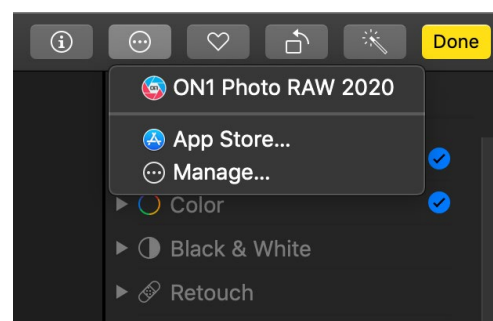
ON1 Photo RAW 2020をインストールするときにコンピュータに写真がある場合は、適切なプラグインがインストールされますが、使用するには手動でアクティブ化する必要があります。これを行うには、Apple のシステム環境設定に移動し、拡張機能アイコンをクリックします。[拡張機能]ペインで[写真]をクリックし、[ON1 Photo RAW 2020]オプションをON1 Photo RAW 2020 ます。これにより、Apple Photosから Photo RAW 2020 画像を送信できます。（これを機能させるには、システム環境設定でファイル共有もオンにする必要があります。）



れますMacにON1 Photo RAW 2020をインストールしたら、Appleの Extensions System Preference経由。

ON1 Photo RAW 2020画像を編集するには、次の手順を実行します。

1. [写真]で編集する画像を選択します。
2. [編集]ボタンをクリックします。
3. ウィンドウの右側、編集コントロールの下部に、拡張機能ポップアップが表示されます。そのボタンをクリックし、ON1 Photo RAW 2020 を選択します。（画像が Photo RAWたら、すべての[編集]タブを切り替えることができます。）



Apple 写真を編集するときに、[拡張機能]ラベルの横にあるポップアップメニューをクリックすると、写真をPhoto RAW 2020に送信するためのオプションが表示さ

APPLEPHOTOSを使用した非破壊編集

Apple PhotosからPhoto RAW に画像を送信すると、適用した設定はすべて画像とともに保存されるため、編集したままで画像を Photo RAW送信できます。その後、Photos内でその画像を編集しない限り。Photo RAW内で処理された画像を再編集するには、[Photo RAW]で画像をクリックし、上記の3つの同じ手順に従います。Photo RAW内で画像を開くと、前のセッションで行ったすべての変更が表示されます。

Photos内の画像に編集変更を加えると、Photo RAW 編集は画像に「焼き付け」られます。画像を Photo RAW に再度送信できますが、元の設定は表示されません。

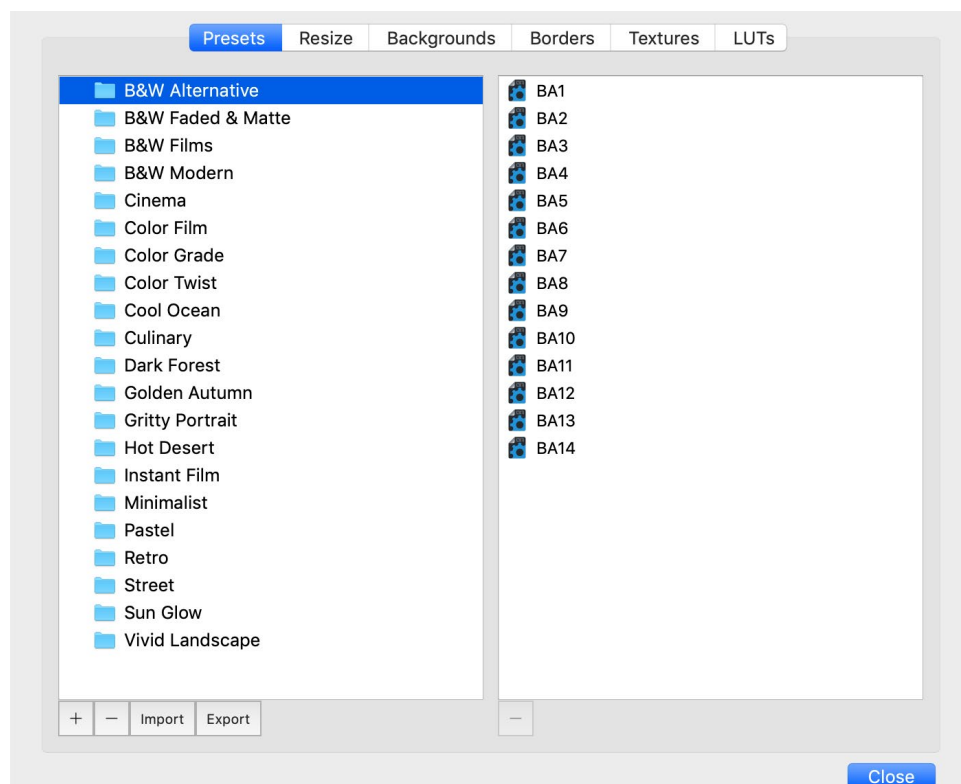
元のPhoto RAW編集を保持する場合は、Photos内で画像を複製し（画像>複製）、ファイルの新しい仮想コピーを作成します。その後、Photosのバージョンの1つを編集し、もう1つのバージョンを使用して Photo RAW 編集内容を保持できます。

エクストラ

ON1 Photo RAW 2020 は、さまざまなモジュールで使用できる多くの追加ファイルタイプをサポートしています。これらのファイルはエクストラと呼ばれ、ファイルタイプには次のものがあります。

- 編集モジュール内で使用するためのプリセット。
- Resize内で使用するための用紙（タイプとサイズ）プリセット。
- Photo RAWのレイヤー機能でインポートして使用できる背景。
- インポートしてレイヤーやエフェクトで使用できる境界線。
- インポートして、レイヤーとエフェクトで使用できるテクスチャ。
- エフェクトのLUTフィルターで使用するルックアップテーブル（LUT）。

ON1は、Photo RAWをインストールするときに製品に多数の追加ON1含まれています。独自に作成したり、ON1Webサイトからダウンロードした追加機能を追加したりできます。Extras Managerを使用して、独自のエクストラをインポートおよび管理し、各タイプのカテゴリを作成し、不要になったエクストラを削除できます。



Extras Managerを使用すると、ON1 Photo RAW 2020さまざまなモジュールで使用するプリセット、テクスチャ、背景、境界線、ルックアップテーブル（LUT）をインポートできます。

エクストラをインポートする方法

エクストラをインポートするには、[参照とレイヤー]の[ファイル]メニューから[エクストラの管理]を選択し、次の手順に従います。

1. 上部のタブのリストからインポートするエクストラのタイプを選択します（プリセット、サイズ変更、背景、境界線、テクスチャ、LUT）。一度にインポートできるエクストラは1種類のみです。

2. 左の列のフッターにある[インポート]ボタンをクリックします。インポートするファイルを選択できるダイアログボックスが表示されます。フォルダー全体をインポートする場合は、フォルダーを開き、最初のファイルを選択してから、最後のファイルをShiftキーを押しながらクリックします。選択が完了したら、「インポート」をクリックします。
3. エキストラが住むカテゴリを選択します。ここで、ON1 Photo RAW 2020 内でON1 Photo RAW 2020 を見つけることができます。既存のカテゴリから選択するか、新しいカテゴリを作成できます。

エキストラがインポートされると、選択したカテゴリのエキストラマネージャーに、エキストラが属するエキストラのタイプが表示されます。

プリセットを整理する

エキストラマネージャーの[プリセット]タブには、[現像]および[エフェクト]内の大きなプリセットグループを操作するための追加オプションがあります。[プリセット]タブを使用している場合、[+]ボタンと[-]ボタンが表示され、カテゴリを追加または削除できますプリセットのリストに。

プリセットカテゴリのいずれかにサブフォルダを追加することもできます。これにより、プリセットの大規模なコレクションを整理および管理できます。ドラッグアンドドロップを使用して既存のカテゴリを別のカテゴリに移動するか、カテゴリをクリックしてから[エキストラマネージャ]ウィンドウの[+]ボタンをクリックして、カテゴリサブフォルダを既存のカテゴリに追加できます。（プリセットをインポートする場合、Photo RAWを使用すると、任意のカテゴリフォルダーまたはサブフォルダーにプリセットを追加できます。）

[インポート]オプションに加えて、エキストラマネージャーの[プリセット]セクションでは、プリセットをエクスポートして、他のユーザーと共有したり、アーカイブ目的で使用頻度の低いプリセットを保存したりできます。完全なカテゴリをエクスポートするには、ウィンドウの左側にあるリストのカテゴリをクリックして、[エクスポート]ボタンをクリックします。これにより、そのカテゴリのすべてのプリセットが含まれる単一の.ONpresetファイルを含むフォルダーがエクスポートされます。単一のプリセットをエクスポートする場合は、ウィンドウの右側にあるリストからプリセットをクリックして、[エクスポート]をクリックします。

エキストラとしてインポートできる画像の種類は？

背景とテクスチャは、JPEG、TIFF、rawまたはPhotoshop ファイルなど、Photo RAW開くことができる任意の画像ファイルです。ボーダーファイルには、透明な大きな中央領域が必要であるため、PNGなどの透明度をサポートするファイルのみをボーダーとしてインポートできます。LUTは.3DL形式または.CUBE形式のいずれかです。

注意：.ONPresetまたは.ONPファイル（DevelopまたはEffectsで使用するため）をダウンロードする場合、それを単にダブルクリックしてインストールできます。詳細については、このガイドの<?>。

編集モジュールのレイヤーでのエキストラの使用

新しいレイヤーを追加することにより、編集モジュールで開いているドキュメントを表示および追加できます。[レイヤー]> [レイヤーを追加]をクリックします 画面上のファイルブラウザウィンドウを開くための[ファイル]メニューで、インストール済みを選択できますエキストラまたはコンピューターのファイル。詳細については、「レイヤーの操作」ページ<?>。

エフェクトでのエクストラの使用

エフェクトの内部で、境界線やテクスチャなどの特定のエクストラにアクセスできます。それらを使用するには、次の手順を実行します。

1. 画像をエフェクトで開きます。
2. [フィルターオプション]ウィンドウで、[境界線]または[テクスチャ]フィルタータイプを選択します。
3. [カテゴリ]ポップアップから、インポートしたカテゴリを選択します。ユーザーが追加した追加カテゴリは、カテゴリリストの下部に表示されます。
4. [テクスチャ]または[境界線]ポップアップから、目的のカテゴリからテクスチャまたは境界線を選択します。

注意：境界線、テクスチャ、およびLUTフィルターの詳細については、このガイドの「効果」セクションの [<?>](#) (境界線)、 [ページ <?>](#) (LUT) および [ページ <?>](#) (テクスチャ)。

エクストラを削除する方法

エクストラマネージャを使用して、インポートされたエクストラを削除できます。次の手順を実行します：

1. 任意のモジュールでエクストラマネージャーを開きます ([ファイル]> [エクストラの管理])。
2. 削除したいコンテンツを含むエクストラタイプをクリックします。これにより、そのタイプ内のカテゴリが表示されます。
3. カテゴリ全体を削除するには、左側の列で選択し、左側の列のフッターにある[削除]ボタンをクリックします。
4. 個々のエクストラを削除するには、右側の列でそれらを選択し、右側の列のフッターにある[削除] ([プリセット]タブの[－]) ボタンをクリックします。

余分なものの削除は永続的であり、元に戻すことはできません。

パート2: ブラウズで整理する

ON1 Photo RAW 2020のブラウズモジュールは、強力で非常に高速なフォトブラウザーおよびマネージャーです。画像の場所に関係なく、画像を検索、表示、管理する1つの場所を提供します。

ブラウズは、撮影後にクイックソートと編集を実行するのに理想的な環境です。長時間のカatalog作成やプレビュー作成プロセスを待たずに、写真をすぐにインポートして表示できます。キーワードやフラグを評価したり、追加したり、写真を削除したりすることも、すべてブラウズから行えます。

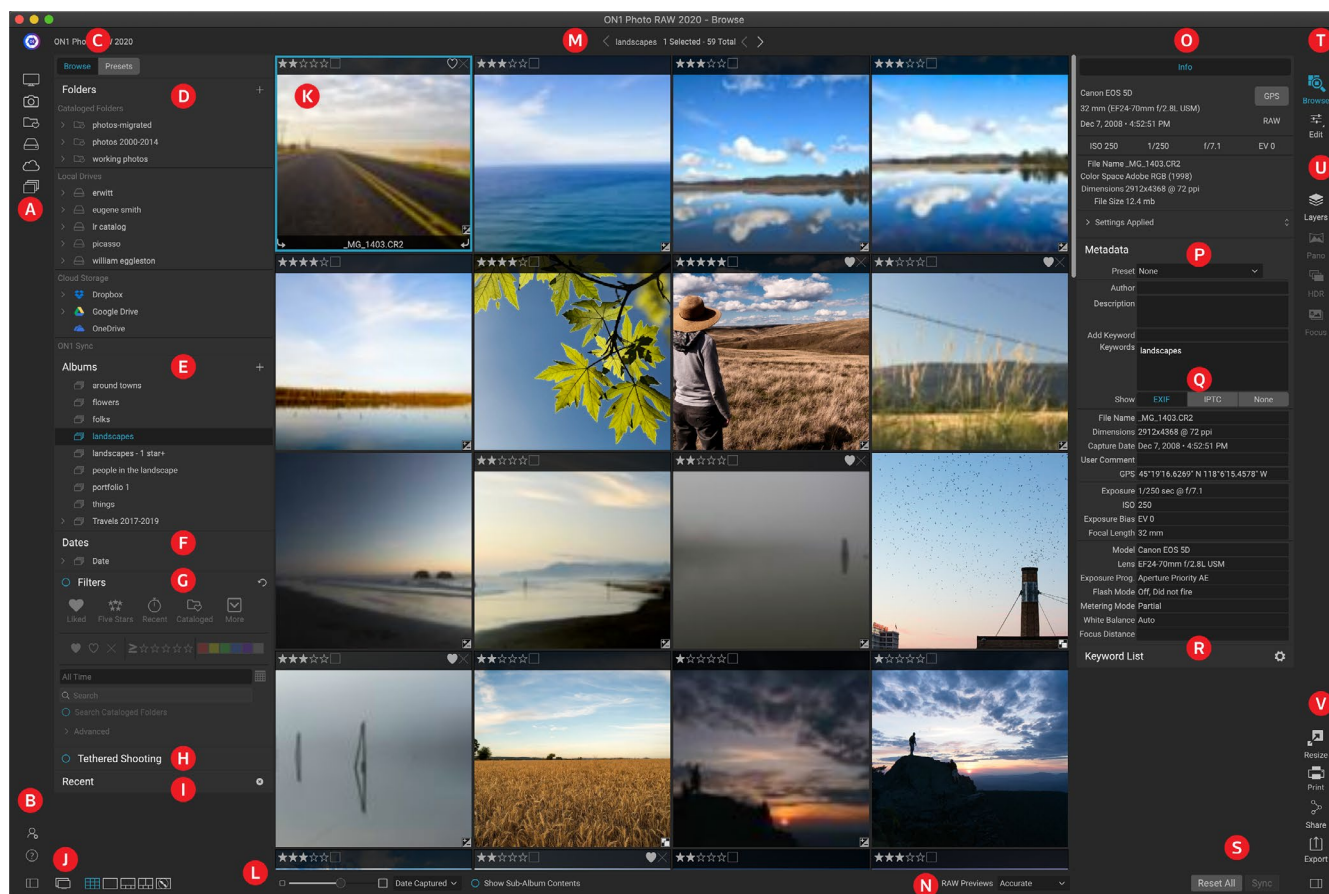
しかし、Browseには洗練されたインデックスシステムも組み込まれており、一瞬でお気に入りの画像フォルダーにアクセスできるように設計されています。Catalog化されたフォルダーペインにフォルダーを追加するだけで、どこにある場合でもバックグラウンドで写真のインデックスが作成され、検索機能が向上し、最も重要な写真へのアクセスがさらに速くなります。

また、参照を使用すると、ON1 Photo RAW 2020 編集プリセットを編集モジュールから画像または画像グループに直接適用できます。また、ある写真で行った編集をコピーして、別の写真または写真のグループに貼り付けることもできます。

ブラウズの主な機能の一部：

- ローカルドライブまたはネットワークドライブ、クラウドベースのサービスなど、どこにいても写真をすばやく見つけられます。
- カメラ、メモリーカード、その他のデバイスから写真をすばやく簡単にインポートします。
- 作成者からキーワードやGPSなど、あらゆるメタデータを写真または写真のグループにすばやく追加し、メタデータテンプレートを使用して、インポートプロセス中によく使用されるメタデータ情報を適用します。
- 写真の重要なフォルダーをCatalog化して、フォルダーの階層と場所を維持しながら、複数のソースで最も重要な写真に最速でアクセスできるようにします。
- 撮影の写真を、グリッドビュー、フィルムストリップビュー、詳細ビュー、比較ビューの4つの異なる方法で最適な方法で表示および選択します。さらに、マップビューを使用して、写真を撮影した場所を確認したり、GPSメタデータのない写真に位置情報を追加したりします。
- より効率的に作業できるデュアルディスプレイ機能。1つのディスプレイのグリッドビューと別のディスプレイの詳細ビューを参照するか、このモードを使用してテレビまたはプロジェクターで写真を表示します。
- 編集モジュールの編集プリセットを単一の画像または画像のグループに適用するか、既存の編集を1つの画像からグループに同期します。
- ブラウズ内から直接パノラマ、ハイダイナミックレンジ (HDR) 画像を作成します。
- 異なる焦点距離で複数の写真をブレンドして、被写界深度を増やします。
- テザー撮影モードでは、Nikon または Canon カメラを接続し、完全な手動カメラのサポートにより、写真を直接キャプチャできます。
- 作成日、または時刻、カメラ/レンズの種類、ファイルの種類などを含むメタデータ情報の組み合わせに基づいて、写真をすばやく見つけます。
- 選択した写真からクイックアルバムを作成するか、フィルターを使用してメタデータに基づいて「仮想」アルバムを作成します。
- ファイルをコピー、移動、削除、および名前変更します。

- 画像の並べ替え、フラグ付け、評価、色分けを行います。



ON1 ブラウズメイン画面の概要

参照モジュールには、画面の左側にある参照/プリセットパネル、中央にあるプレビューウィンドウ、右側にある写真情報パネルの3つのメインセクションがあります。

参照モジュールの主なコンポーネントは次のとおりです。

- ショートカット**：このパレットはあなたの最も一般的な写真の保管場所へのショートカットが含まれています。
- 設定/ヘルプアイコン**：ON1 ヘルプメニューまたは Photo RAW の設定ウィンドウにアクセスします。
- 参照/プリセットパネル**：タブをクリックして、参照パネルとプリセットを切り替えます。
- フォルダペイン**：カタログ化されたフォルダ、ローカルディスク、クラウドソースを表示します。
- アルバムペイン**：このペインでは、アルバムまたは画像のコレクションを作成できます。アルバムは、整理しやすいようにサブフォルダーにグループ化できます。
- 日付ペイン**：キャプチャ日に基づいて写真を検索します。
- フィルターペイン**：メタデータに基づいてライブラリ内の写真を検索し、検索結果を保存して後で見つけます。

- H. **テザー撮影ペイン**: これにより、カメラをコンピューターに接続できます。カメラから ON1 Photo RAW 直接画像をキャプチャできます。
- I. **Recent Pane**: 最近開いたファイルとフォルダーを追跡します。
- J. **ビューセクター**: (左からアイコン) [参照/プリセット] パネルを開閉します。デュアルディスプレイモードのオンとオフを切り替えます。グリッドビュー、詳細ビュー、フィルムストリップビュー、比較ビュー、マップビューを切り替えます。
- K. **プレビュー**: サムネイルビューまたは詳細ビューで画像を表示できるウィンドウ。
- L. **サムネイルサイズ/並べ替えオプション**: スライダーはサムネイルサイズを調整し、[並べ替え] ポップアップはファイル名、キャプチャされた日付などの標準の選択基準に基づいて並べ替え順序を調整します。(独自のカスタムソート順を作成することもできます。)
- M. **パンくずリスト**: プレビュー領域で選択した画像またはフォルダーのパスを表示し、表示しているファイルとフォルダーの数を表示します。
- N. **Rawプレビューモード**: 詳細モードで写真を表示する方法を設定できます。Fastは写真の埋め込みプレビューを使用し、Accurateはカラーバランスのプレビューを生成します。
- O. **情報ペイン**: このセクションでは、利用可能な場合、画像に関する詳細なメタデータを提供します。(フィルムストリップ、詳細、および比較モードで表示するときに、ナビゲーターとヒストグラムのペインも表示されます。)
- P. **メタデータペイン**: このペインには、選択した画像のメタデータが表示されます。
- Q. **EXIF / IPTC情報**: 選択したファイルに関する追加の詳細情報を表示します。
- R. **キーワードリスト**: 画像カタログ内のすべてのキーワードのリスト。
- S. **すべてリセット/同期**: これらのボタンを使用すると、1つの画像の編集設定を別の(またはグループ)で同期できます。[すべてリセット]は、選択した画像または画像グループから[編集]で行ったすべての編集調整を削除します。
- T. **モジュールセクター**: これを使用して、ON1 Photo RAW 2020内の他のモジュールに切り替えます。
- U. **パノラマ/ HDR /フォーカス**: [参照]で複数の画像が選択されている場合、これらのボタンを使用して、パノラマ、ハイダイナミックレンジ(HDR)またはフォーカススタック画像を作成します。(これらの機能の使用については、<?>「写真とPhoto RAW 組み合わせ」ページを参照してください。)
- V. **エクスポート/印刷/共有**: 選択した写真をエクスポート(サイズ変更)、印刷、共有するためのショートカット。下部のアイコンは、情報ペインを開閉します。

参照パネルとプリセットパネル

画面の左側には、参照とプリセットの2つのパネルがあります。画面上部のタブをクリックすると、そのパネルが表示されます。パネルの左下と右下にあるパネルの表示/非表示アイコンをクリックして、左パネルを完全に非表示にできます。(Tabキーを使用して、両方のパネルを同時に表示および非表示にすることもできます。)

ブラウズパネル

参照パネルは、ファイル関連のアクティビティを実行または表示する5つのペイン(フォルダー、アルバム、日付、フィルター、および最近)と、選択した Nikon または Canon カメラから直接画像をキャプチャするために使用されるテザー撮影で構成されますUSB接続経由のコンピューター。

ヒント: 各ペインは、ペインのタイトルバーをクリックして折りたたむことができます。タイトルバーの上にカーソルを移動すると、非表示/表示リンクが表示されますが、タイトルバー全体はクリック可能です。

フォルダーペイン

フォルダペインは、写真を探す場所です。これには、コンピューター上のすべてのディスクドライブ、マウントされたドライブ、サーバー共有、クラウドストレージサービスのリストが含まれています。フォルダーペインには、カタログ化フォルダー、ローカルドライブ、クラウドストレージの3つのコンポーネントがあります。これらのセクションのいずれかの項目をクリックすると、そのフォルダーの内容がプレビュー領域に表示されます。

カタログ化されたフォルダー

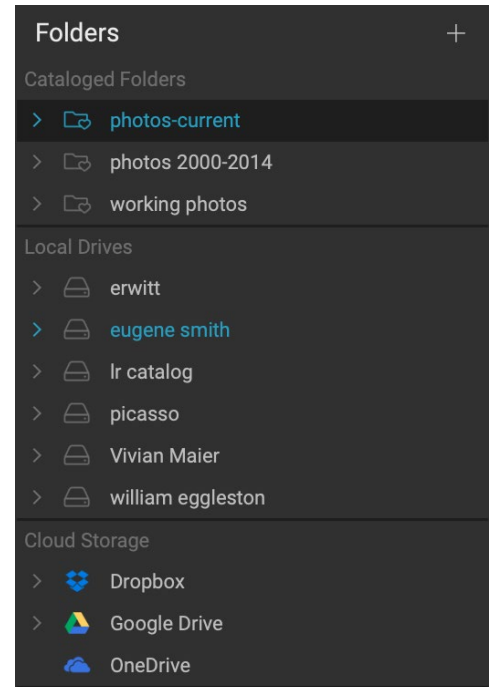
カタログ化されたフォルダは、写真のお気に入りまたは最も使用されているフォルダへのショートカットです。カタログに指定されたフォルダーは、それらのフォルダー（およびサブフォルダー）とその写真の読み込み速度を向上させるためにバックグラウンドでキャッシュされ、ポートフォリオ、最高の写真、または写真のプライマリライブラリーに最適です。

カタログ化されたフォルダーは、フィルター機能を使用して複数のフォルダーで写真を検索する場合にも必要です。

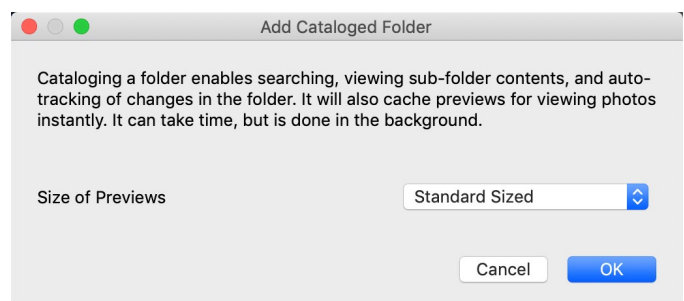
[フォルダ]ペインの上部にある[+]ボタンをクリックするか、プレビューエリアから[+]ボタンにフォルダをドラッグして、使用可能なフォルダをカタログ化フォルダにできます。カタログ作成プロセスはバックグラウンドで動作するように設計されているため、ON1 Photo RAW 2020 モジュールで行う他の作業には影響しません。アプリがフォルダーをカタログ化している間、フォルダー名の横に進行状況の円が表示されます。フォルダがカタログ化されると、円は消えます。

カタログ化されたフォルダーを追加すると、カタログ化プロセス中に生成されるプレビューのサイズを選択するように求められます。3つのサムネイルオプションは次のとおりです。

- **Standard.** 画像メタデータとEXIFサムネイルを抽出し、高品質のサムネイルと画面サイズに合ったプレビューを作成します。
- **中、**メタデータ、EXIFサムネイルを抽出し、高品質のサムネイルを作成します。
- **Minimal.** メタデータとEXIFサムネイルのみを抽出します。



[フォルダ]ウィンドウは、カタログ化フォルダ、ローカルドライブ、クラウドストレージの3つのカテゴリに分かれています。



カタログ化されたフォルダーのデフォルトのプレビューサイズは標準ですが、ディスクスペースが限られているシステムで作業している場合、またはカタログ化されたフォルダーにネットワーク接続している場合は、プレビューサイズを小さくする方が良いオプションであることがわかります。

ほとんどの場合、デフォルトのプレビューサイズ（標準）を選択しますが、ディスク容量に制限があるシステムを使用している場合、またはカタログ化フォルダーにネットワーク接続している場合は、[中]または[最小]を選択します。

カタログ化されたフォルダーを削除するには、ペイン内のフォルダーを右クリックし、「カタログ化されたフォルダーの削除」を選択します。

ローカルドライブ

ブラウズは、コンピューター内部またはコンピューターに接続されているディスク（ボリューム）を自動的に認識します。これには、内部および外部ハードドライブ、光学式ドライブ、サムドライブ、デジタルカメラのメモ리카ード、デジタルカメラ、USB大容量記憶装置をサポートするデバイス、およびネットワーク接続サービス（Windowsマップボリュームを含む）が含まれWindows。

ディスクは、[ローカルドライブ]セクションの下に[フォルダー]ペインに表示され、その横にハードドライブアイコンが表示されます。一部のディスク（光学ドライブなど）は多くの場合読み取り専用であることに注意してください。写真のコピーを開くことはできますが、画像を新しい場所に保存するように求められます。

クラウドストレージサービス

Browseは、Dropbox、Google Drive、Microsoft OneDrive クラウドストレージサービスを Microsoft OneDrive。これらのサービスは、コンピューターや他のデバイスにインストールされると、コンピューター上の画像のローカルコピーを保持し、Browseはこれらの場所を自動的に検出して監視します。これらの場所のいずれかに保存されている画像を編集すると、画像は自動的にクラウドに更新されます。

インストールプロセス中に、ON1 Photo RAW 2020はこれらのサービスのデフォルトのインストール場所を自動的に検索します。これらのサービスのいずれかがインストールされていない場合、または標準以外の場所にインストールされている場合は、ソースをクリックしたときにフォルダーをインストールまたは検索するように求められます。設定で使用しないサービスを非表示にすることができます。

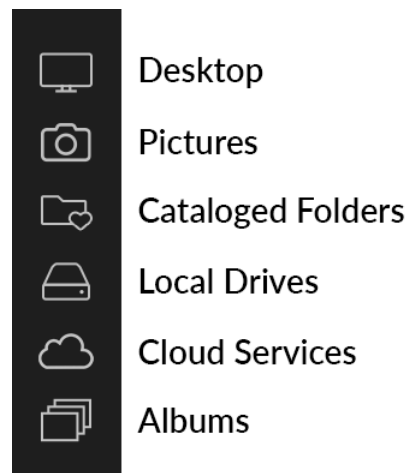
ソースのナビゲート

[フォルダー]ペインでフォルダーの内容を表示するには、フォルダー名の横にある三角形をクリックします。これにより、プレビューエリア内の選択したフォルダー内の写真とサブフォルダーが表示されます。サブフォルダーの内容を表示するには、フォルダーペイン内のサブフォルダーをクリックするか、プレビューエリアでサブフォルダーをダブルクリックします。（プレビューエリアの上部にあるパンくずバーを使用して、フォルダシステムの上に戻ることができます。）

ショートカットを使用する

参照パネルの左側にあるショートカットセレクターは、6つの特定の場所に移動し、その内容をプレビューウィンドウに表示するように設計されています。上から下に、アイコンはデスクトップ、ピクチャフォルダー、カタログ化フォルダー、ローカルドライブ、クラウドソース、アルバムを表します。アイコンのいずれかをクリックすると、プレビューウィンドウの表示が選択したショートカットに変わります。

デフォルトでは、ピクチャショートカットはマイピクチャフォルダ（Windows）またはピクチャ（Mac）を使用します。[設定]ウィンドウの[一般]セクションでデフォルトの場所を変更できます（「一般設定」（ページ<?>））。



ショートカットは、[プレビュー]ウィンドウの表示を最大化するために[参照]パネルを非表示にしている場合に便利です。

参照でファイルとフォルダーを管理する

フォルダーを削除する

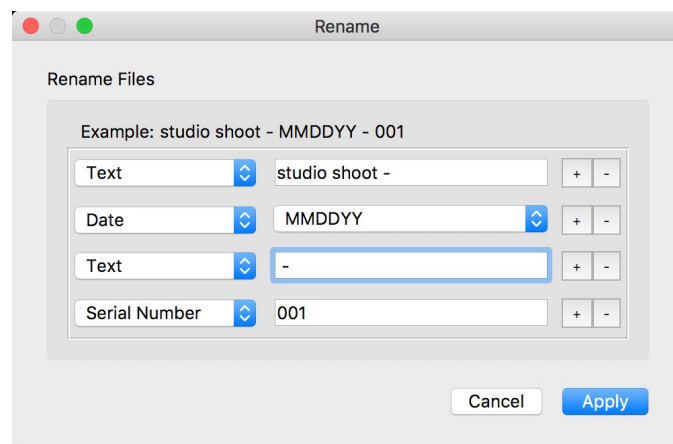
ファイルまたはフォルダーを削除するには、それらをクリックしてDeleteキーを押すか、右クリックしてコンテキストメニューから[削除]を選択します。次に、ファイルをゴミ箱に移動することを確認します。複数のファイルやフォルダを選択している場合、それらはすべてゴミ箱に移動します。間違えた場合は、[元に戻す]コマンドを使用できません。ただし、ネットワークボリューム上のファイルやフォルダーはすぐに削除する必要があり、元に戻すことはできません。

ファイルまたはフォルダーの名前を変更する

ファイルまたはフォルダを選択して、右クリックのコンテキストメニューから[ファイルの名前を変更]を選択すると、ファイルまたはフォルダの名前を変更できます。これにより、画像の新しい名前を入力できるシンプルなウィンドウが表示されます。

複数のファイルを選択する場合、コンテキストメニューから[ファイル名の変更]を選択すると、新しいファイル名のバッチ作成のための追加オプションが表示されます。4つの選択肢があります。

- **現在のファイル名**。新しい名前の一部としてファイルの元の名前を使用します。
- **テキスト**、静的なテキスト（場所、撮影名など）をファイル名に追加できます。
- **シリアル番号**。特定の番号で始まる一連の画像をシーケンスできます。先行ゼロを使用して、ファイル名のソート順を保持できます。また、任意の番号で開始できます。
- **Date**は、画像のキャプチャ日付を自動的に取得し、12種類の日付形式のいずれかで新しいファイル名に適用します。



[名前の変更]ダイアログでは、画像のグループに複雑なファイル名を作成できません。

4つのフィールドのどれでも、好きな順序と量で使用できます。「+」ボタンをクリックして新しいフィールドを追加し、「-」ボタンをクリックして削除します。命名に取り組むと、サンプルのファイル名がウィンドウの上部に表示されます。注文を設定したら、[適用]ボタンをクリックして操作を実行します。

新しいフォルダーを作成する

プレビューエリアの右クリックコンテキストメニューから、または[編集]メニューの[サブフォルダーの追加]を選択し

て、新しいフォルダーを作成できます。これにより、選択したフォルダー内に新しいフォルダーが作成されます。プレビュー領域でファイルを選択している場合は、選択した画像を新しいフォルダーに移動またはコピーするオプションもあります。

ファイルとフォルダーのコピーと移動

コンピュータで慣れている方法でファイルとフォルダをコピーおよび移動できます。ファイルとフォルダーを選択し、[編集]>[コピー]コマンドを使用してそれらをクリップボードにコピーし、[編集]>[貼り付け]を使用して[参照]の内部または外部の新しい場所に貼り付けます。これを使用して、ファイルやフォルダーをある場所から別の場所にコピーしたり、電子メールに画像を添付したりできます。

使い慣れたドラッグアンドドロップ機能を使用して、ファイルやフォルダーをコピーまたは移動することもできます。ファイルまたはフォルダーをドラッグアンドドロップすると、同じドライブにある場合は移動するか、別のドライブにコピーします。[参照]モジュールの内外にドラッグアンドドロップできます。

注： Photo RAW2020のワークフローは非破壊的であるため、写真をコピーして Photo RAW外部に貼り付けると、元のファイルが貼り付けられます。編集モジュールの変更を組み込む場合は、[エクスポート]または[クイックエクスポート]コマンドを使用して、編集した写真のバージョンを取得します。

Finderで表示/エクスプローラーで表示

Finder (MacOS) または Explorer (Windows) でファイルまたはフォルダーを表示するには、プレビューエリアで画像またはフォルダーを右クリックし、ポップアップメニューから[Finderで表示]または[エクスプローラーで表示]を選択します。

フォルダのサムネイルプレビューの変更

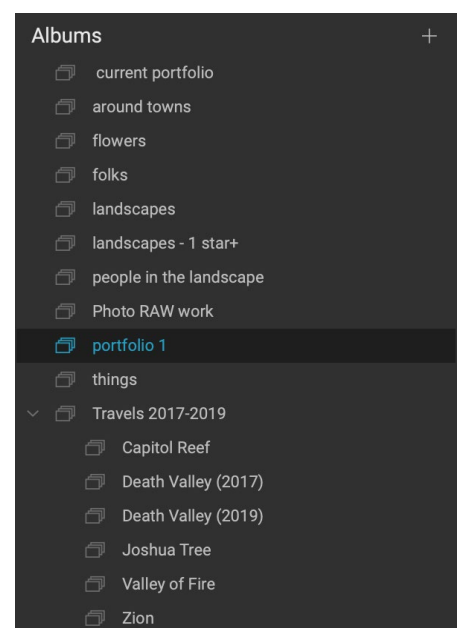
既定では、PhotoRAWはフォルダーから画像を選択し、そのフォルダーのプレビューサムネイルとして使用します。これを変更するには、フォルダアイコンをダブルクリックして、サムネイルとして使用する写真を選択します。写真を右クリックし、ポップアップメニューから[フォルダープレビューの設定]を選択します。

アルバムペイン

ON1 Photo RAW 2020のアルバム機能を使用すると、プロジェクト、イベント、またはポートフォリオなどのより広範なカテゴリの写真を整理または追跡できます。アルバムを作成するには、画像を手動で選択し、写真をペインにドラッグアンドドロップして新しい（または既存のアルバム）に追加します。アルバムを一緒にネストして、コレクションを管理することもできます。

アルバムを作成する

ペインの「+」アイコンをクリックし、ポップアップメニューから「アルバムを作成…」を選択します。写真を選択し、アルバムペインの[+]アイコンにドラッグしてアルバムを作成することもできます。



既存のアルバムに写真を追加する

写真を追加するには複数の方法があります。

- アルバム名に写真をドラッグアンドドロップします。
- 写真または写真のグループを選択し、写真を右クリックして、ポップアップメニューから[アルバムに追加]を選択します。
- [アルバム]>[アルバムに追加]を選択し、メニューから目的のアルバムを選択します。
- 写真をコピーしてアルバムに貼り付けることもできます。写真をクリックし、[編集]>[コピー]を選択し、[アルバム]ペインでアルバムをクリックして、[編集]>[貼り付け]を選択します。

アルバムから写真を削除する

アルバムから写真を削除するには、アルバムで写真を選択し、アルバムメニューからアルバムから削除を選択するか、写真を右クリックしてポップアップメニューからアルバムから削除を選択します。

アルバムを削除する

アルバムを削除するには、アルバム名を右クリックして[削除]を選択します。

注：ON1 Photo RAW 2020 では、以前のバージョンの Photo RAWにあったスマートアルバム機能が削除されました。拡張された[フィルター]ペインでは、特定の基準（日付、カメラの種類など）に基づいて自動的に入力される写真のコレクションを検索して保存できます。Photo RAW 2020インストーラーは、以前のスマートアルバムを[アルバム]ペインの静的アルバムと[フィルター]メニューの保存済みスタイルの両方に変換します。詳細については、「フィルターペイン」を参照32してください。

アルバムのサムネイルプレビューの変更

ネストされたアルバムのプレビューサムネイルを変更するには、アルバム名をダブルクリックし、プレビューに使用する写真を選択します。写真を右クリックして、ポップアップメニューから[アルバムプレビューの設定]を選択します。

アルバムのネスト

ネストされたアルバムのセットを作成するには、まずアルバムペインの[+]アイコンをクリックして空のアルバムを作成します。アルバムペインの新しいアルバムに目的のアルバムをドラッグアンドドロップすることで、その新しいマスターアルバムセットにサブアルバムを簡単に追加できます。マスターアルバムをクリックすると、[参照]をクリックすると、そのコレクションの一部であるアルバムがフォルダスタイルビューのプレビューエリアに表示されます。アルバムアイコンをダブルクリックすると、そのアルバムの内容が表示されます。マスターアルバムセット内のすべての画像を表示するには、[参照]ウィンドウの下部にある[サブアルバムの内容を表示]ボタンをクリックします。



ネストされたアルバムセットをクリックすると、[参照]にサブアルバムが表示されます。サブアルバムをダブルクリックすると、そのアルバムが開きます。ネストされたアルバムセット内のすべての画像を表示する場合は、[参照]ウィンドウの下部にある[サブアルバムの内容を表示]ボタンをクリックします。

注意: 既に画像が含まれている既存のアルバムにアルバムをドラッグすると、トップレベルのアルバムの画像がサブアルバムとともにルートレベルで表示されます。

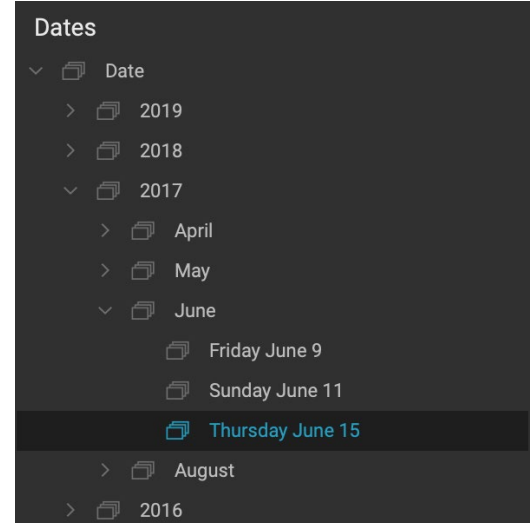
サブアルバムをマスターアルバムからトップアルバムレベルに移動するには、マスターからドラッグアンドドロップするか、サブアルバム名を右クリックして[トップに移動]を選択します。

日付ペイン

Photo RAW[日付]ペインでは、撮影された日時に基づいてカタログ化された画像をすばやく検索できます。シンプルなタイムラインインターフェイスを使用して、年、月、日ごとに写真ライブラリにドリルダウンできます。誕生日や休日の写真などを簡単に検索できます。

[日付]ウィンドウを開くと、年のリストが表示され、現在の年が一番上に表示されます(リストに表示されるのは、撮影中に写真が撮影された年のみです)。年をクリックすると、その年に撮影されたすべての写真が表示されます。年の左にある三角形をクリックすると、写真が含まれるすべての月のリストが表示され、日レベルまでドリルダウンできます。年、月、日のいずれかのレベルをクリックすると、その期間中に撮影されたすべての写真が表示されます。

日付ペインは、カタログ化されたフォルダーでのみ機能します。



フィルターペイン

[フィルター]ペインは、写真とその中に埋め込まれたメタデータに固有のさまざまな基準に基づいて、写真ライブラリで写真を見つけるのに役立つように設計されています。いいね、ラベル、星の評価、日付、キーワード、およびカメラボディやレンズから絞りまでのほぼすべてのメタデータ、ISO設定、時刻などに基づいてフィルタリングできます。

フィルタは検索する場所が柔軟です。現在のフォルダビューまたはアルバムに適用したり、カタログ化されたフォルダを検索したりできます。フィルターをプリセットスタイルとして保存することもできますので、今後も使用できます。

ペインには、シンプルと詳細の2つのモードがあります。シンプルモードでは、いいね!、星評価、カラーラベル、時間、または基本的なテキスト文字列に基づいてフィルタリングできます。このモードのすべての選択は、選択されたすべての検索条件に一致します。

[詳細設定]オプションを使用すると、写真に関連付けられているほぼすべてのメタデータタイプまたはテキスト情報に基づいて写真を検索でき、選択した条件のすべてまたはいずれかに一致するようにフィルターを設定できます。

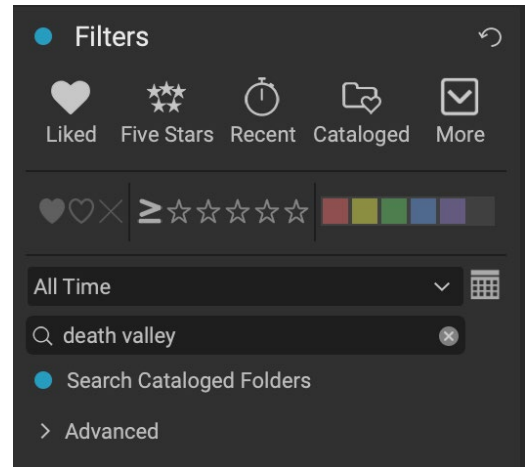
[フィルター]ペインを使用する

[フィルター]ペインを使用するには、フィルターする画像のフォルダ（またはアルバム）に移動し、[フィルター]ラベルの左側にあるボタンをクリックして、条件を設定します。カタログ化されたフォルダに基づいてフィルタリングする場合は、ペインの[カタログ化されたフォルダを検索]オプションをクリックします。（ペインをオフにするには、[フィルター]ボタンをもう一度クリックします。）

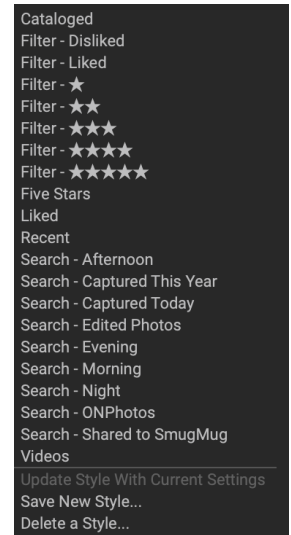
[フィルター]ペインの上部には、一般的なプリセットスタイルのセットがあります：Liked（いいねフラグが設定された写真）、Five Stars、Recent（過去30日間のショット）、およびCataloged。これらのいずれかをクリックすると、カタログ化されたフォルダでそのフィルターが実行されます。ペインの右端にある[その他]アイコンをクリックすると、プリセットおよびユーザー定義のスタイルのリストが表示され、追加のフィルター条件を選択したり、現在のフィルターを新しいスタイルとして保存したりできます。既存のフィルターの1つ）。

スタイルの下には、クイックフィルター操作を実行するための追加オプションがあります。

- **フラグ:** 気に入った（塗りつぶされたハートで表される）、嫌い（X）または設定されていない（空のハート）。アイコンをクリックして、その設定をオンにします。
- **0~5の星評価:** 星の左側にある以上の記号をクリックすると、ポップアップメニューが表示され、フィルターを設定して、星の数以上の正確な星の数を表示できます。星、または星の数以下。
- **カラーラベル:** 色をクリックすると、そのラベルが適用されているすべての写真が検索されます。追加の色をクリックして、複数の色ラベルを選択できます。



シンプルなフィルタービューでは、現在のフォルダビュー、アルバム、またはカタログ化フォルダをフラグ、評価、ラベル、時間、テキストですばやく検索できます。



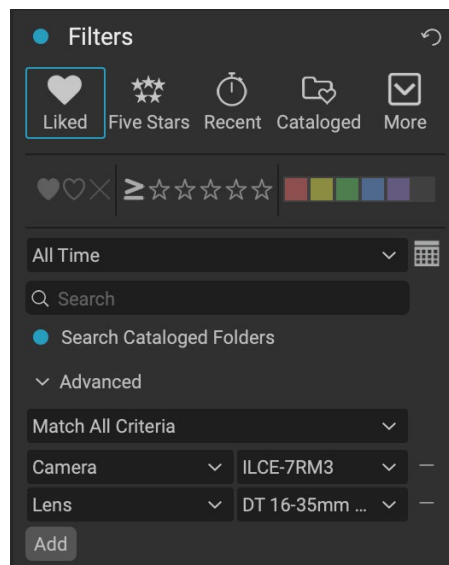
ペイン上部の4つのプリセットスタイルに加えて、[その他]ポップアップからアクセスできる他のスタイルがあります。

- **日付範囲:** ポップアップメニューには、いくつかの事前設定された相対的な日付範囲があります。ポップアップメニューから[カスタム]を選択するか、ポップアップの右側にあるカレンダーアイコンをクリックして、独自の日付範囲を設定することもできます。
- **テキスト検索:** 検索フィールドに入力して、ファイル名、メタデータ、キーワード、または説明にテキストを含む画像を検索できます。
- **カタログ化されたフォルダーの検索:** この設定は、すべてのカタログ化されたフォルダーにフィルターを適用します。

これらのオプションのいずれかを選択すると、選択したすべてのオプション（つまり、3つ星と赤色のラベル）に基づいて写真がフィルタリングされます。追加オプションを使用してフィルタリングするか、任意の基準（3つ星または赤色のラベル）に基づいてフィルタリングするには、[詳細設定]三角形をクリックします。

高度なフィルタリングオプションの使用

[フィルター]ペインの[詳細設定]セクションでは、個別の検索オプションを追加したり、検索する複数の条件を選択したり、選択した条件のいずれかまたはすべてでフィルターするオプションを設定したりできます。高度な三角形をクリックして高度なフィルターを作成し、[詳細設定]タブのすぐ下にあるポップアップメニューから[すべての条件に一致]または[任意の条件に一致]を選択します。



[フィルター]ペインの[詳細]セクションでは、ほぼすべてのメタデータタイプから選択できます。ここでは、フィルターは、Sony A7RIIIカメラと16-35mmレンズで作成されたすべての写真を検索します。

デフォルトでは、Matchメニューの下でのポップアップはEverythingに設定され、オプションの右側に空のテキストボックスがあります。フィルタをより正確なメタデータに絞り込む場合は、ポップアップメニューをクリックして、リストから詳細オプションのいずれかを選択します。これらのオプションは、カメラのメタデータ（カメラ、レンズ、焦点距離、絞り、シャッター速度、ISO）から、記述的なメタデータ（キーワード、作成者、説明）まであります。画像固有の情報（ファイルパス、ファイルタイプ、方向、ピクセル単位の高さ、ピクセル単位の幅）オブジェクトタイプ（バージョン、オリジナル、ビデオ）。もう1つのフィルターであるTime of Dayでは、撮影された時間に基づいて画像を選択できます。朝、午後、夕方、または夜を選択できます。

フィルターを選択したら、フィルターの右側のフィールドをクリックして、フィルターする情報を入力（または選択）します。高度なフィルタリングオプションの多くには、ライブラリ内のインデックス付きメタデータから取得したデータが事前に入力されていますが、他のオプションでは、選択フィールドにテキストを入力できます。（すべてフィルターは、写真に関連付けられているすべてのメタデータでテキストを検索します。）

追加のフィルターオプションを選択するには、[フィルター]ウィンドウの下部にある[追加]ボタンをクリックし、ポップアップから別の条件を選択します。

フィルターの保存と変更

オーバーオーバーで同じフィルター操作を使用している場合は、スタイルとして保存できます。フィルターを作成し、ペイン上部の[その他]ポップアップメニューから[新しいスタイルを保存]を選択して、スタイルにわかりやすい名前を付けます。これは、[詳細]メニューの下部に表示されます。ユーザースタイルを削除するには、[その他]ポップアップから[スタイルの削除]を選択し、削除するスタイルを選択します。（Photo RAWインストールされたデフォルトのセットではなく、生成したスタイルのみを削除できます。）

また、既存のスタイルを、デフォルトのフィルターであるか独自のフィルターであるかに関係なく、フィルターに加えられた変更で更新できます。これを行うには、ペインで目的のフィルターを選択し、必要な変更を加え、[現在の設

定でスタイルを更新]を選択します。

たとえば、今年のキャプチャフィルタを変更して、星が1つ以上ある写真のみをフィルタすることができます。ポップアップからフィルターを選択し、1つ星のアイコンをクリックして、スタイルを更新します。

テザー撮影

テザー撮影ペインでは、USB経由でコンピューターに接続されたカメラをリモートで制御し、カメラからコンピューターに画像をキャプチャできます。テザー撮影は、スタジオ設定で画像を撮影および保存するために使用され、画像をコンピューターのディスプレイにすぐに表示します。スタジオの照明や構図を調整する優れた方法です。

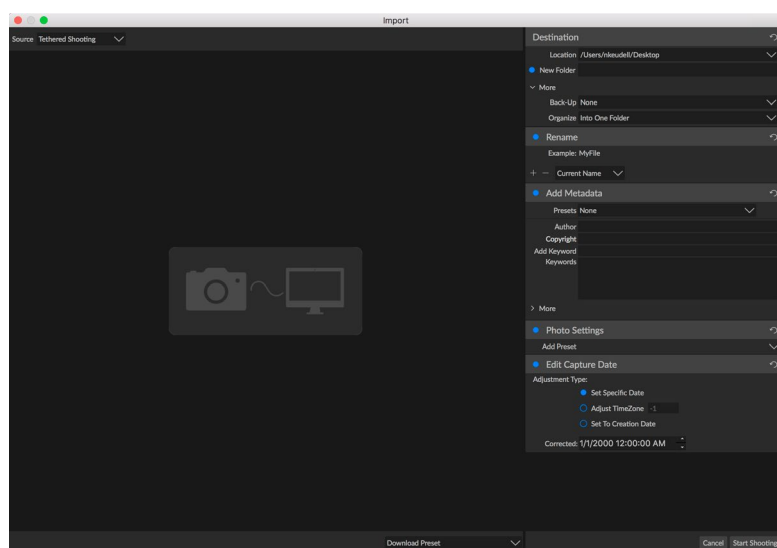
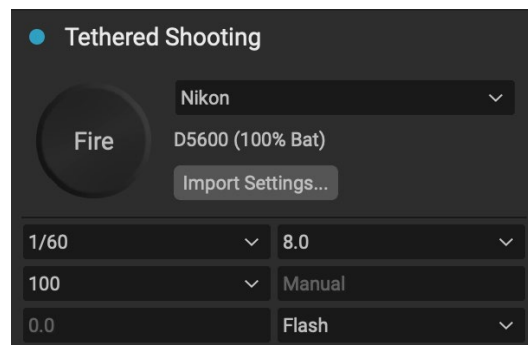
テザー撮影を開始するには、適切なUSBケーブルを使用してカメラをコンピューターに接続します（カメラに付属していない場合は、カメラのマニュアルに必要なケーブルに関する情報が記載されている必要があります）。カメラの電源を入れ、[テザー撮影]ペインで、ペインの名前の左にあるボタンをクリックしてペインをオンにします。

Photo RAW は接続されているカメラを検索し、見つかった場合はインポートウィンドウを開きます。そのウィンドウの右側のパネルで、ファイル名と場所、メタデータ、現像またはエフェクト設定、時間調整など、テザーショットを保存するための多数のオプションを選択できます。[設定のインポート]ウィンドウのファイル名の部分は、バッチの名前変更機能に基づいてい [ページ28](#)。（「ブラウズへの写真のインポート」 [ページ48](#) [インポート]ウィンドウのペインの説明については、こちらをご覧ください）

テザリングインポート設定を選択したら、[インポート]ウィンドウの右下にある[撮影開始]ボタンをクリックして、ウィンドウを閉じます。[テザー撮影]ペインで、カメラのモデルが選択され、ペインの下部のテーブルに現在のショット設定が表示されます。設定は、左から右、上から下、シャッター速度、絞り、ISO、カメラ撮影モード（手動、絞り/シャッター優先）、露出補正、ホワイトバランスです。ドロップダウンがある設定では、その設定を変更できます。

ペインの[Fire]ボタンをクリックすると、現在のカメラ設定でショットが撮影され、[設定のインポート]ウィンドウで選択した場所に保存されます。グリッドビューでは、並べ替え順序の設定方法に応じて、サムネイルグリッドの末尾の先頭に画像が表示されます。詳細ビューまたはフィルムストリップビューを使用している場合、テザリングされた画像はプレビューエリアに表示されます。

撮影が終了したら、ペインのタイトルの横にあるボタンをクリックしてテザー撮影ペインをオフにし、カメラをオフにして、コンピューターから切断します。



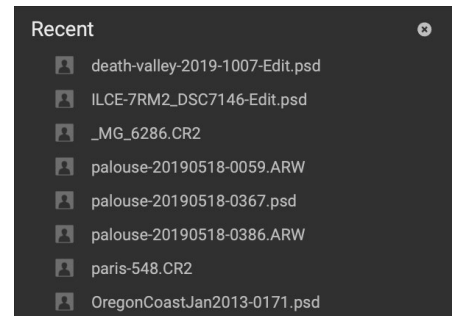
テザー撮影ペインをオンにするか、ペインの[設定のインポート]ボタンをクリックすると、インポートウィンドウが表示され、テザーショットの保存、名前の変更、メタデータの追加などの場所を設定できます。

注： ON1 Photo RAW 2020 のテザー撮影機能は、現在、ほとんどの Canon および Nikon デジタル SLR カメラをサポートしています。ON1 のサポート Web サイト (on1help.zendesk.com) で追加のカメラモデルを確認してください。

最近

[最近] ペインは、最近開いたファイルまたは手動で参照したフォルダーを追跡します。ファイルは最後に開かれた順にリストされます。必要なファイルをクリックすると、このペインの最新のファイルにアクセスでき、メインのプレビューウィンドウに表示されます。[最近] ペインには、[参照] から開いたファイルのみが表示され、Lightroom、Photoshop、Elements、または Apple Photos から開いたファイルは表示されません。

タイトルバーの「x」アイコンを押すと、最近のリストをクリアできます。



プレビューエリアでの作業

プレビューウィンドウは、参照ワークスペースの最大部分です。ここでは、参照パネルで選択したフォルダ、アルバム、またはフィルタに基づいて、サムネイルまたは詳細ビューで画像のフォルダを表示できます。プレビューウィンドウには5つのメインビューがあります。

- **グリッド**、画像のサムネイルのグリッドを表示します。このビューにはフォルダーも表示されるため、フォルダー階層をすばやく上下できます。
- **サムネイルをダブルクリックして取得する** 詳細。この画像を「ウィンドウに合わせる」ビューで表示するか、ズームインして詳細を表示できます。
- **Filmstrip**、画面の下部にあるフォルダーまたはアルバムからの画像のストリップを表示します。現在選択されている画像は、ストリップの上のプレビューエリアに表示されます。矢印キーを使用してフォルダ内を移動するか、フィルムストリップの画像をクリックしてプレビュー領域に表示します。
- **比較**、プレビュー領域内の別々のペインに写真のグループを表示できます。1つまたはすべての選択範囲を拡大し、パンをロックして、1つの写真の周りを移動するときに他の写真も一緒に移動できるようにすることができます。比較を使用すると、構図、シャープネス、表情など、シーケンス内の最適な画像をすばやく見つけることができます。
- **地図**。GPSベースの位置データを含む写真の場所を表示したり、写真または写真のグループに適用できる場所を検索したりするために使用できます。

ウィンドウの下部にあるビューセクターをクリックするか、キーボードショートカット（それぞれG、F、C、E、M）を使用して、異なるビュー間で表示モードを変更できます。

高速プレビューモード

撮影後にコンピュータに戻ったときに、大量の写真をすばやく調べて、最高のショットを探したい場合があります。ON1 Photo RAWの高速プレビューモードでは、まさにそれを行うことができます。[参照]ウィンドウの下部にある[RAWプレビュー]ポップアップから[高速]を選択するだけで、ショット間の遅延を最小限に抑えて、写真から写真にすばやくジャンプできます。

スピーディなプレビューよりも色の正確さを重視する場合は、RAWプレビューポップアップから[正確]を選択します。ON1 Photo RAWは、写真の埋め込みカラープロファイルを使用して、写真のフル解像度のプレビューを生成します。これには、作業している生ファイルのサイズに応じて数秒かかりますが、写真の実際の色をよりよく理解できます。

永続的サムネイルキャッシュ

写真のフォルダを検索すると、参照は抽出されたメタデータと同様にサムネイルとプレビュー画像をキャッシュします。これにより、ユーザーがフォルダを2回目に閲覧するときに高速になります。また、評価、ラベル、キーワード、キャプション、回転、GPSデータなどのユーザーが追加または調整したメタデータも保存します。（キャッシュのサイズを調整し、ON1 Photo RAW 2020 [設定]ウィンドウの[パフォーマンス]タブでキャッシュの保存場所を変更できます。）

フォーカスおよびクリッピングビュー

編集のためにグループ内で最適な画像を選択することに目を向けて写真を表示している場合、通常、露出とシャープネスの両方の問題を確認する必要があります。これを支援するために、Photo RAWは、参照モジュールと編集モジュールの両方で使用できる2つの表示補助機能があります。クリッピングオーバーレイとフォーカスマスクオーバーレイです。参照モジュールでは、これらのオーバーレイを詳細モード、フィルムストリップモード、比較モードで表示できます。編集モジュールでは、オーバーレイはどのタブでも表示できます。

クリッピング

クリッピングは、画像内のシャドウとハイライトのトーンがスムーズにフェードするのではなく、突然完全に白または黒に切り取られるときに発生します。（写真内の白いピクセルの大きな広がり、多くの場合「吹き飛ばされた」ハイライトと呼ばれ、視聴者にとって非常に気を散らす可能性があります。）多くの写真が純粋な白または画面上で最初に表示されたときは黒ですが、未処理の画像には回復可能なデータが残っています。クリッピングオーバーレイは、写真で発生する可能性のある問題の大きさ、および修正がどれだけ簡単（または難しい）かを判断するのに役立ちます。

クリッピングオーバーレイを一時的に表示するには、Jキーを押します。写真から写真に移動するときに永続的にオンにするには、表示>クリッピングを表示を選択するか、キーボードのAlt (Windows) またはOption (Mac) Jを押します。

クリッピングビューオーバーレイには、純粋な白または純粋な黒の領域が表示されます。明るい青色のオーバーレイのある領域は純粋な黒のピクセルを示し、明るい赤色のオーバーレイのある領域は純粋な白いピクセルを示します。



クリッピングビューには、真っ赤なオーバーレイのある純粋な白いピクセルと、真っ青なオーバーレイのある純粋な黒いピクセルが表示されます。

フォーカスマスク

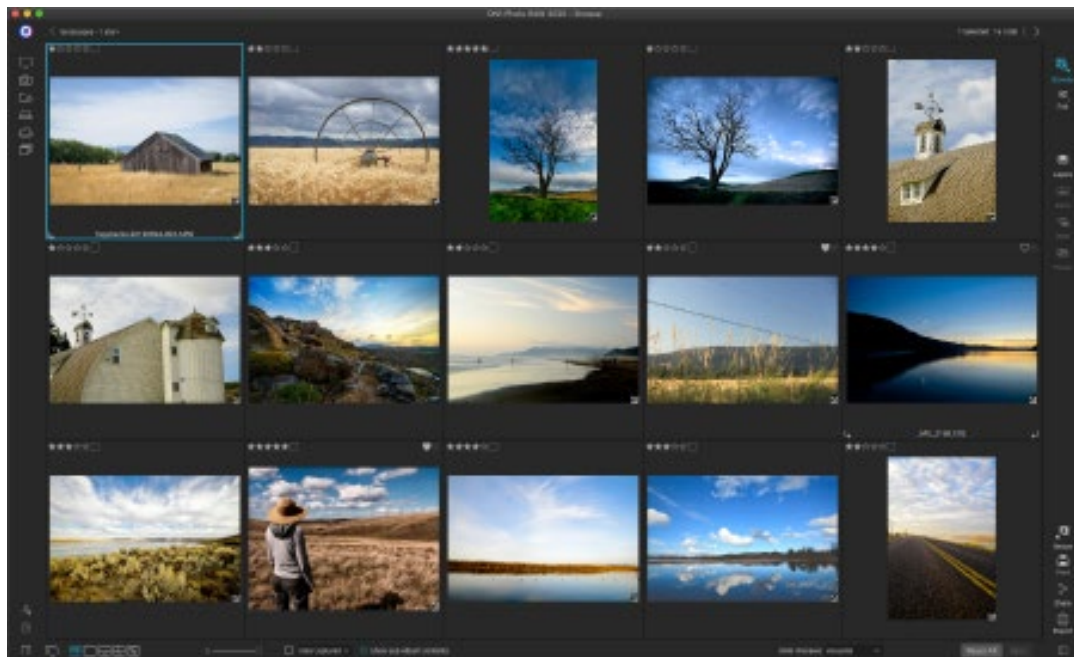
多くの場合、100%以上にズームインせずに写真の鮮明さを確認することは困難な場合があります。また、撮影の写真がたくさんある場合、そのレベルで焦点を確認するのは少し面倒です。幸いなことに、PhotoRAWのフォーカスマスクオーバーレイは、ショットを最もシャープなものまで選別するのに役立ちます。

フォーカスマスクをオンにするには、[表示]>[フォーカスマスクを表示]を選択するか、Shift-Alt / Option Jを押します。画像の最も鮮明な領域は、明るい緑色のオーバーレイで表されます。フォルダー内の写真から写真に移動するとき、オーバーレイの強さによって、必要な場所で許容できるレベルのシャープネスがあるかどうかを確認できます。写真を拡大しても、マスクは表示され続けます。



[フォーカスマスク]オプションは、シャープな領域を明るい緑色のオーバーレイで表示します。

グリッドビューでの作業



サイドパネルが非表示のグリッドビュー。

グリッドビューには、フォルダペインまたはアルバムペインを使用して選択したフォルダと画像のサムネイルが表示されます。以下を含む、グリッドビュー内から実行できる操作は多数あります。

- ブレッドクラムを使用してナビゲートします（「<」ボタンを1つ上のフォルダーに移動します）。
- グリッドビューで画像を選択し、いずれかの編集タブで写真を開きます。
- 画面の下部にあるスライダーを使用してサムネイルのサイズを調整するか、キーボードの「-/ +」キーを使用します。
- すべてのサブフォルダーの内容を表示する場合は、[サブフォルダーの内容を表示]をオンにします（これはカタログ化されたフォルダーを表示している場合にのみ機能します）。

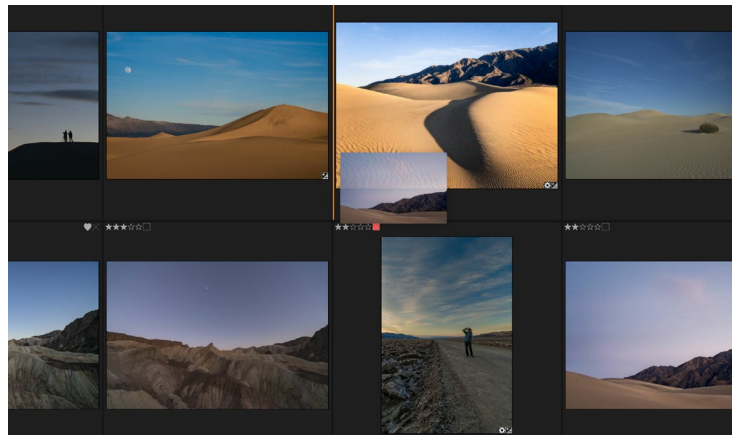
グリッドビューで写真を並べ替える

グリッドビューで作業する場合、ウィンドウの下部にある[並べ替え]ポップアップを選択することにより、さまざまな方法でサムネイルを並べ替えることができます。ソートオプションには次のものがあります。キャプチャまたは変更された日付。カラーラベル;ファイル名、タイプ、またはサイズ。および評価。

グリッドウィンドウ内にサムネイルをドラッグして、カスタムの並べ替え順序を作成することもできます。サムネイルをクリックしてドラッグし、アウトラインが2つの画像の間に収まるようにします。

この方法で画像の順序を変更すると、[並べ替え]ポップアップが[カスタム]に変更され、Photo RAWは変更するまでそのフォルダーの並べ替え順序を記憶します。（アルバムを表示している場合、カスタムソートも機能し、カスタムオーダーも記憶されます。）

[並べ替え]ポップアップの下部には、ビューを昇順または降順に並べ替えるための設定があります。オプションのいずれかを選択すると、それに応じてビューが再配置されます。カスタムの並べ替え順序がある場合、これらのオプションを選択すると、反対の順序でビューが変更されます。



グリッドビューで写真の順序を変更するには、配置する2つの写真の間に写真をドラッグします。

詳細ビュー



詳細ビューでは、100%までズームして、写真の細部やシャープネスを確認したり、ヒストグラムを表示したり、プリセットを適用したりすることができます。すべて、参照を終了する必要はありません。

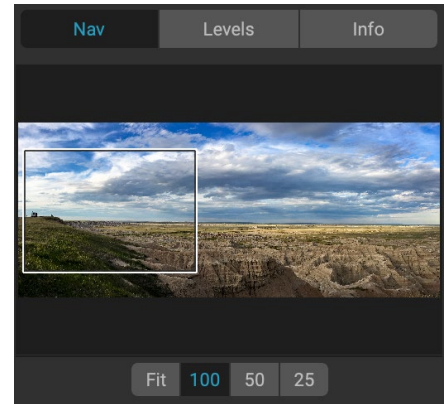
Inは詳細ビューでは、あなたは、あなたの写真のフルスクリーンバージョンを取得します。詳細ビューに移動すると、画像がフィットモードで表示され、画像全体が表示されます。画像をクリックして100%に拡大できます。これは、細部やシャープネスを判断するのに役立ちます。拡大された画像をシングルクリックすると、フィットモードに戻ります。拡大した画像をクリックしてドラッグすると、周囲を見回せます。画像間を移動してもズームモードが維持されるため、複数のフレームで同じスポットを比較できます。

[ナビゲーター]ペインで、プレビューの位置を変更し、拡大率を変更できます。（現在の画像の評価とフラグラベルを表示および調整することもできます。）

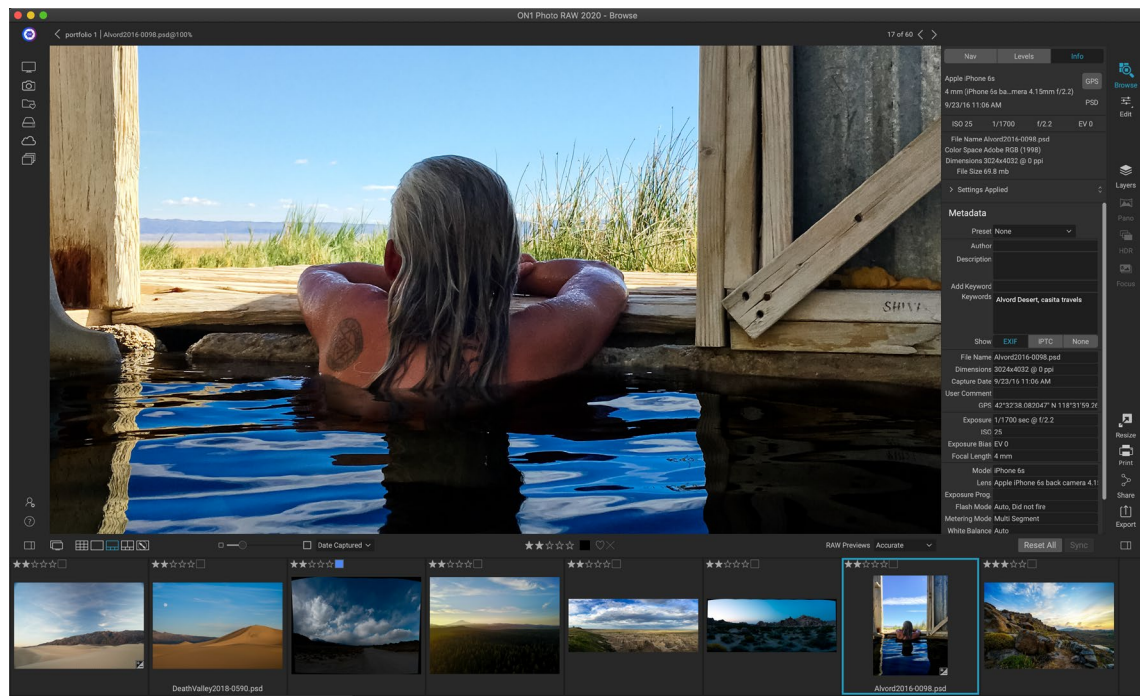
詳細ビューで作業しているときは、キーボードの矢印キーを使用して次の画像に移動できます。

フィルムストリップビューでの作業

フィルムストリップビューは詳細ビューによく似ており、現在選択されている画像の大きなバージョンをプレビューエリアに表示（詳細ビューで利用できるすべての表示コントロールを使用）、現在のフォルダーの他の写真をサムネイルのストリップで表示します画面の下部。写真は現在の



写真を100%で表示すると、現在のビューの周りにボックスが表示されます。現在の画像内を移動するには、ビュー内をクリックしてドラッグするか、ナビゲーションペインでボックスをクリックしてドラッグします。



フィルムストリップビューは詳細ビューに似ていますが、現在のフォルダー（またはアルバム）からの写真のストリップを表示します。右矢印キーと左矢印キーを使用するか、スクロールしてマウスでクリックすると、別の写真に簡単に移動できます。

並べ替え順序で並べ替えられます。並べ替え順序は、ストリップの上の[並べ替え]ポップアップで変更できます。

現在の画像は、フィルムストリップの青い長方形で表されます。矢印キーを使用して写真から写真に移動したり、マウスでスクロールして写真をクリックしてプレビューに表示したりできます。（このビュー内の画像を評価およびフラグすることもできます。）

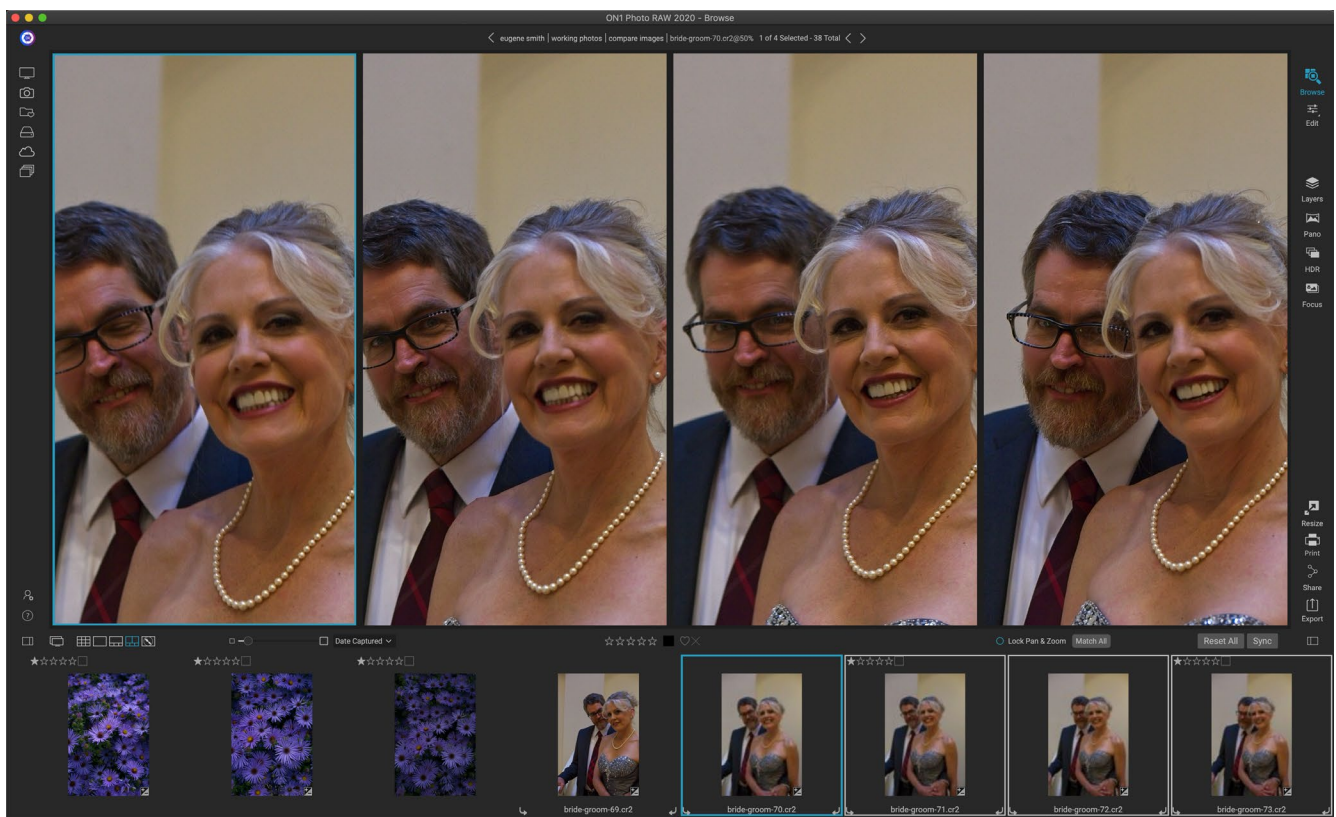
注: フィルムストリップビューは、編集モジュール内でも使用でき、写真の評価/フラグ付けも同様に適用できます。[参照]の評価と同じキーボードショートカットは、[編集]モジュールで機能します。

比較ビューでの作業

比較モードは、同じ種類のシーン（ポートレートセッション、結婚式、風景シリーズなど）の一連の写真を撮影し、最適なものを見つけるためにそのグループを絞り込みたい場合に適しています。比較では、写真のグループを選択し、並べて表示して構図を確認し、同時にズームインしてフォーカスを確認し、お気に入り进行评估して拒否を削除できます。

比較モードを使用するには、次の2つの方法のいずれかを選択できます。

- グリッドビューまたはフィルムストリップビューで比較する画像のグループを選択します。連続する写真（順番に隣り合う写真）のグループを選択するには、比較する最初の写真をクリックしてから、Shiftキーを押しながら最後の写真をクリックします。連続していない写真を追加する場合は、最初の写真をクリックしてから、Command (Mac) またはControl (Windows) キーを使用して、比較する後続の各写真をクリックします。写真を選択したら、Cキーを押すか、[参照]ウィンドウの左下にあるビューセクターの[比較]アイコンをクリックします。
- 比較モードで写真を直接選択することもできます。Cキーを押すか、[参照]ウィンドウの左下にあるビューセクターの[比較]アイコンをクリックします。ウィンドウの下部にあるストリップで、シーケンスの最初の写真をクリックして最後のShiftキーを押しながらクリックするか、コマンド (Mac) を使用して、最初のオプションと同じ方法で写真を選択できます。またはControl (Windows) キーを使用して、グループから連続していない写真を選択します。



比較モードでは、選択した写真がプレビュー領域内のペインとして表示されます。青いボックスで強調表示されている写真が現在の選択です。そのペインをクリックすると、写真がズームされます。[パン/ズームをロック]ボックスがオンになっている場合（フィルムストリップの上）、比較するすべての写真がズームされます。

「比較」を入力すると、選択した写真がプレビュー領域のグリッドに表示され、写真全体が表示されるようになります。現在選択されている写真の周りには青いボックスがあり、選択中の他のアイテムの周りには明るいグレーのボックスがあります。キーボードの矢印キーを使用するか、プライマリにするペイン内をクリックして、プライマリ選択を切り替えることができます。

現在の選択範囲内で1回クリックすると、写真がズームインして詳細が表示されます。マウスボタンをクリックして押したままにすると、写真をパンまたはダウンして、詳細、シャープネス、表情などを確認できます。（ペイン内で2回クリックすると、写真がすべてペインに収まるように縮小されます。）

選択した写真のグループ全体の詳細を表示するには、フィルムストリップの上にあるパン/ズームをロックするドットをクリックします。これで、プライマリ写真内の領域をクリックすると、すべての写真がクリックした同じ場所に同時にズームします。また、プライマリ写真内をクリックしてドラッグすると、選択したすべての写真がプライマリ写真とともにパンします。1枚の写真をパンするには（視野が他の写真と異なる場合に便利です）、その写真をクリックして主選択にし、Shiftキーを押しながらそのペイン内をクリックしてドラッグします。これを行って元のズーム位置に戻りたい場合は、ロックパン/ズーム設定の横にある[同期]ボタンをクリックすると、ズームビューが各比較写真の同じ場所にリセットされます。

グリッドで選択した写真のサイズと100%の間をズームする場合は、スペースバーを使用します。ビュー間でスペースバーを切り替えても「ロック」されず、ロックがオンになっていても他の写真と同期しません。

グループから写真を削除する場合は、写真をクリックするか、左または右矢印キーを押して選択し、キーボードの/（スラッシュ）キーを押します。写真は比較ウィンドウから削除され、残りの写真はウィンドウ内の利用可能なスペースを最適に埋めるようにサイズ変更されます。（上記の選択方法を使用して、追加の写真を比較ウィンドウに追加することもできます。）

比較を使用すると、写真の評価やフラグ付け、プリセットの適用、他のメタデータの追加ができます。これらの機能は、主に選択された写真（青で囲まれている）にのみ適用されます。次の2つの例外があります。

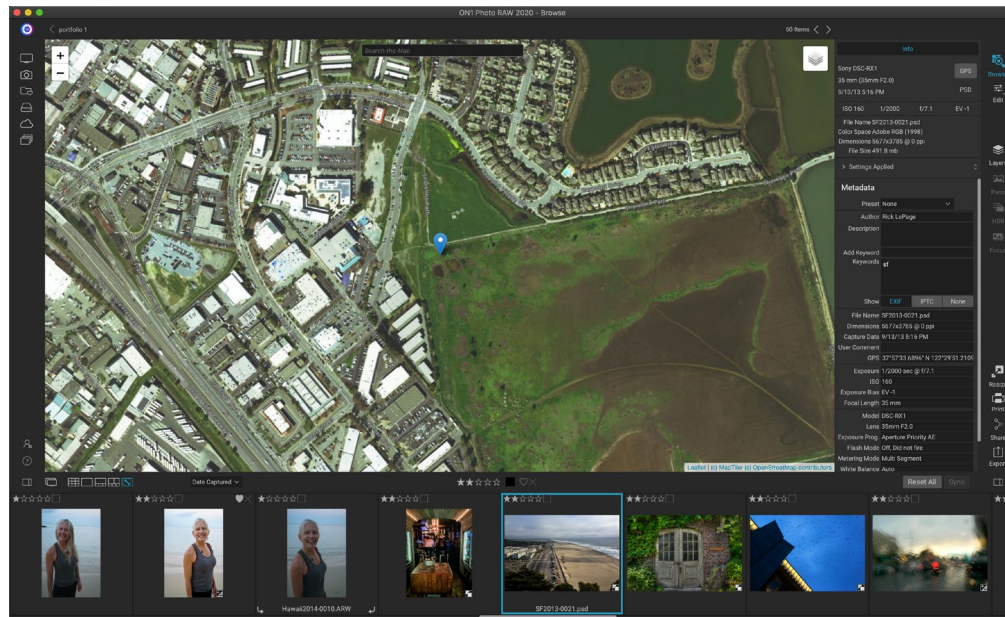


写真にズームインし、共通の関心領域にパンすると、ニュースに合ったシャープな写真を簡単に判断できます。

- [情報]ウィンドウの下にある[参照]ウィンドウの右端にある[設定の同期]ボタンを使用します。それをクリックすると、すべての編集設定がプライマリ選択と比較されるすべてのアイテム間で同期されます。
- [アルバム]メニューの[アルバムの作成]または[アルバムに追加]コマンドを使用：現在選択されているすべての写真を新しいアルバム（[選択したアイテムを追加]ボタンをオンにした場合）または選択したアルバムに追加します。この機能は、クライアント用に保持したい画像のグループがある場合、またはシリーズをさらにセグメント化する場合に役立ちます。

マップビューでの作業

Photo RAWのマップビューは、Webベースのマップ上の場所を検索したり、メタデータに既に位置情報が埋め込まれている写真の位置を表示したりして、GPS情報を写真に追加する簡単なメカニズムを提供します。地図データを追加または表示するには、インターネット接続が必要です。



マップ表示には3つのコントロールがあります。マップの右上隅にあるアイコンを使用すると、ストリートビューと衛星ビューを切り替えることができます。検索エリアでは、場所（都市、郡、道路）を探することができます。また、左上のコントロールを使用して、現在のマップビューを拡大または縮小できます。現在のビュー内を移動するには、ウィンドウ内をクリックしてドラッグします。

ウィンドウの下部にあるフィルムストリップには、現在のフォルダー内の他の写真が表示されます。写真間を移動するには、左右の矢印キーを使用するか、マウスを使用して新しい写真を選択します。

地図上のGPSタグ付き写真の場所を表示するには、写真を選択し、メインの[参照]ウィンドウの下部にある[地図表示]アイコンをクリックします。

場所データを写真に追加するには、写真を選択し、画面の下部にあるマップビューアイコンをクリックします。ここでは、検索バーを介して場所を検索できます。目的のエリアができれば、マップ上の任意の場所を右クリックして、その写真のロケーションピンを追加できます。別のポイントを選択する場合は、マップをもう一度右クリックします。ピンを追加すると、メタデータパネルのGPSフィールドにその位置が入力されます。

現在、マップビューでは、一度に1枚の写真に位置データを追加できます。複数の写真にGPSデータを追加する場合は、フィルムストリップで次の写真を選択し、マップ内を右クリックしてロケーションポイントを追加できます。または、タグ付けされた写真の場所をメタデータペインのGPSフィールドからコピーし、タグ付けする画像を選択して、その画像のGPSフィールドに情報を貼り付けることができます。

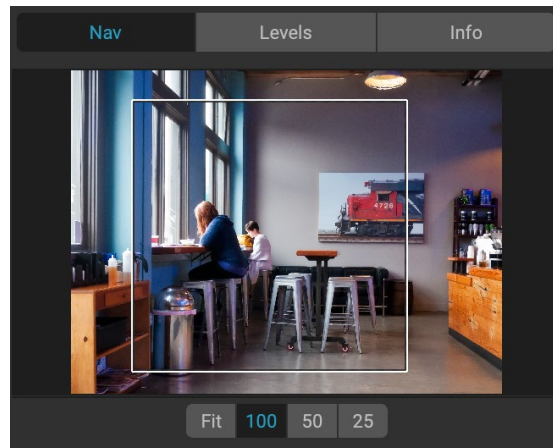
写真パネル

画面の右側のパネルには、プレビューエリアで現在選択されている画像に関する情報が含まれており、ナビゲーション、レベル、情報の3つのセクションが含まれています。

T彼ナビゲータペイン（詳細とフィルムストリップビューのみ）

このペインには、現在の画像のサムネイルビューが表示されます。白い四角の領域は、プレビューペインに表示される画像領域を示します。四角の内側をクリックしてドラッグすると、画像をパンできます。

ナビゲータペインの下部には、ズームビューの割合（100%、50%、25%）を表すいくつかのズームボタンがあります。いずれかのボタンをクリックして、ビューを変更します。現在のキャンバスサイズに合わせてズームを合わせると、100は100%にズームし、実際のピクセルを表示します。

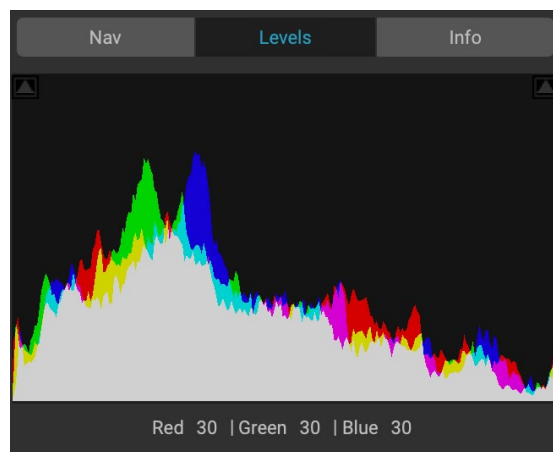


ナビゲーターペイン。

レベルペイン（詳細およびフィルムストリップビューのみ）

このペインには、画像のRGB値（一般にヒストグラムと呼ばれる）に基づいて、シャドウ、ミッドトーン、およびハイライト領域のカラーチャートが表示されます。これは、画像内でクリッピングされている可能性のある領域を表示するのに役立ちます。クリッピングとは、画像に純粋な黒または白が含まれており、ハイライトまたはシャドウの詳細が失われていることを意味する場合があります。

ヒストグラムの左側は影を表し、右側はハイライトを表します。各端の上部には三角形があります。三角形が点灯している場合、ヒストグラムのその側にクリッピングがあります。矢印をクリックすると、画像のクリッピングオーバーレイがアクティブになり、クリップされた領域が表示されます。青いオーバーレイの領域は真っ黒で、赤いオーバーレイの領域は真っ白です。三角形のいずれかをクリックすると、クリッピングビューを再びオフにできます。いつでもJキーを押したままにして、一時的にクリッピングビューを有効にすることもできます。（クリッピングは、Alt (Windows) または Option (Mac) とJキーを押すことで永続的にオンまたはオフにできます。）クリッピングビューは、画像の明るさとコントラストを調整するときに役立ちます。



レベルペイン。

[レベル]ペインには、ペインの下部のカーソルの下にRGB値も表示されます。

情報ペイン (すべてのビュー)

情報ペインには、現在選択されている画像の一般的なメタデータおよびその他の情報が、大きく読みやすい形式で表示されます。このメタデータには以下が含まれます。

- カメラのメーカーとモデル
- レンズ焦点距離
- 日付と時刻をキャプチャする
- ファイルタイプ
- GPS
- ISO
- シャッター速度
- 絞り
- 露出補正
- ファイル名
- 色空間
- 画像の寸法と解像度
- ファイルサイズ
- 編集モジュール内で適用される設定

メタデータフィールドのいずれかが使用できない場合、空白のままになります。

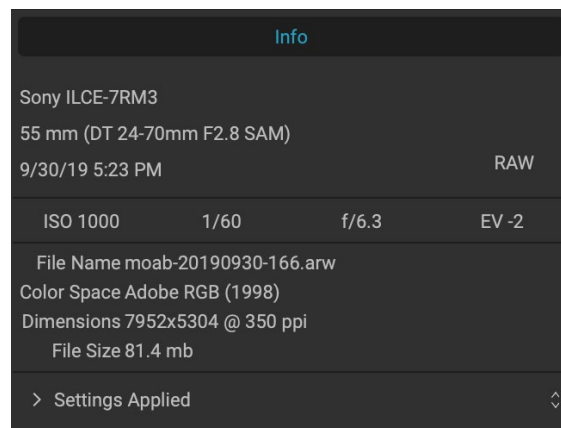
適用される設定

情報ペインの下部には、現在の画像に適用された編集モジュールのすべての操作を表示するセクションがあります。ラベルの左にある右矢印をクリックすると、編集モジュールのすべてのタブのリストが表示されるほか、トリミング、レタッチ、テキスト操作などの主要な調整オプションが表示されます。画像に調整が加えられている場合、[適用された設定]領域のそのセクションは白色で表示され、[現像]、[効果]、[ポートレート]、および[ローカル調整]タブにさらにドリルダウンして、どの調整が行われたかを確認できます画像。（調整されていない画像では、すべての設定がグレーアウトされます。）

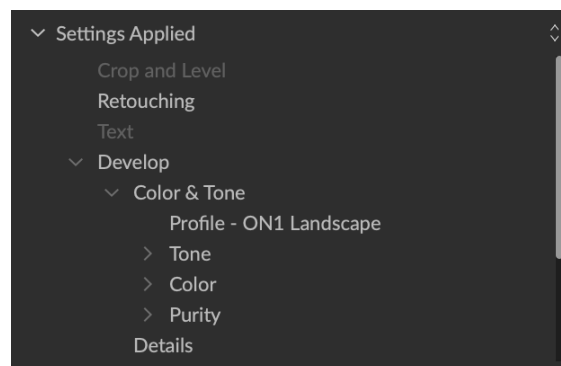
[設定の適用]領域内の使用可能な項目のいずれかをダブルクリックすると、[編集]モジュール内のその設定にジャンプし、そこで簡単に調整できます。

GPSメタデータ

画像にGPSメタデータが埋め込まれている場合、GPSボタンが情報ペインに表示されます。このボタンをクリックすると、デフォルトのWebブラウザが開き、Googleマップで画像が撮影された場所に移動します。



情報ペイン。[適用された設定]オプションが非表示になっています。ラベルの左にある矢印をクリックすると、編集モジュールで行われた特定の調整が表示されます。



[情報]ペインの[適用された設定]セクションには、[編集]モジュールで画像を調整するためのクイックウィンドウがあります。右矢印をクリックしてセクションを開き、個々の編集内容を表示します。リスト内の項目をダブルクリックして、その設定に移動します。

メタデータペイン

メタデータペインには、情報ペインよりも写真に関するより完全なメタデータが表示され、作成者、著作権、連絡先情報、キーワード、写真の説明など、独自のメタデータ要素を追加できます。

また、カメラで写真に埋め込まれたEXIFデータの完全なセットを表示し、画像または画像グループにコメントとGPS座標を追加（または変更）することもできます。ON1 Photo RAW 2020は、業界標準のIPTCメタデータ標準もサポートしています。これは、より詳細なメタデータ情報を提供し、ジャーナリストやストックフォトグラファーが写真のカatalog化やタグ付けに使用します。

メタデータペインのこれらのフィールドのいずれかにテキストを入力すると、Photo RAW はその情報を現在選択されている画像に追加します。

メタデータペインのEXIFフィールドとIPTCフィールドを行き来するには、ペインのラベルをクリックするだけです。すべてを選択し、ペインの1つまたは複数のフィールドを変更することにより、複数の画像のメタデータを同時に変更できます。

メタデータテンプレート

ON1 Photo RAW を使用すると、画像、著作権、著者、連絡先情報、ウェブサイトなどのデータに共通の情報を適用するメタデータテンプレートを作成できます。これらのプリセットテンプレートには、メタデータペインからも、インポート機能からもアクセスできます（更新が必要なページのページ 48）。

メタデータテンプレートの保存は簡単です。使用する基本的なメタデータアイテムがある画像に移動するか、メタデータのない画像を選択して、共通のアイテムをメタデータペインに追加できます。メタデータを設定したら、ペインの上部にある[プリセット]ドロップダウンメニューをクリックし、[新しいプリセットを保存]を選択します。[プリセットの保存]ダイアログが画面に表示され、テンプレートの一部として保存するメタデータフィールドを選択できます。たとえば、著作権と連絡先情報をプリセットの一部として保存したい場合、キーワード、GPS、または説明データを画像のグループに適用したくない場合があります。

メタデータテンプレートを更新するには、ペインでプリセットを選択し、必要に応じて適切なフィールドを変更し、[プリセット]ドロップダウンから[現在の設定でプリセットを更新]を選択します。メタデータプリセットを削除するには、まずドロップダウンメニューからプリセットを選択し、メニューから[プリセットの削除]を選択します。

[メタデータプリセットの保存]ダイアログでは、現在選択されている画像からプリセットに保存するメタデータフィールドを選択できます。

メタデータの埋め込み

参照で追加したメタデータは、生ファイル用の業界標準のXMPサイドカーファイルに保存されます。これにより、XMPをサポートするアプリケーションへのメタデータの転送が容易になります。画像を編集するとき、編集用の画像のコピーを作成するとき、または「送信」コマンドを使用するとき、メタデータはファイルに自動的に埋め込まれます（rawファイルを除く）。[写真]メニューの[メタデータを埋め込む]コマンドを使用して、メタデータを画像に手動で埋め込むことができます。これにより、選択した各画像が開き、メタデータが更新されて再保存されます。これは、TIF、PSD、PSB、およびJPGファイルでサポートされています。rawおよびPNGファイルは、メタデータの直接埋め込みをサポートしていません。

メタデータの読み取り

マシン間または他のユーザーと生の画像を共有している場合、メタデータ情報が「失われる」か、元のメタデータと異なる場合があります。これらのインスタンスでは、[写真]メニューから[メタデータの読み取り]を選択します。これにより、ファイルまたはXMPファイル（rawファイル用）からメタデータが取得されます。

キーワードリストペイン

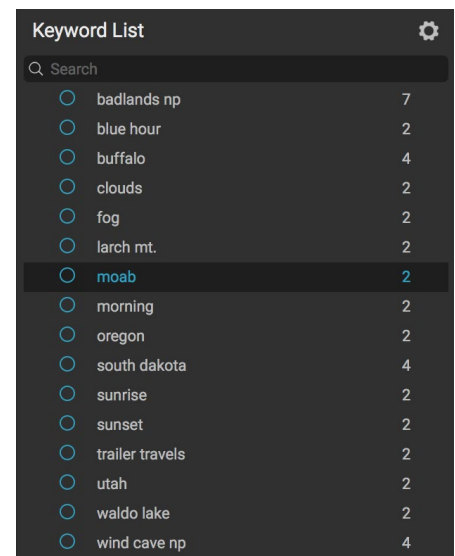
カタログ化されたフォルダーを追加したり、ON1 Photo RAW 2020 内のカタログ化されていない写真のフォルダーを参照すると、写真に追加したキーワードは内部データベースに保存されます。そのキーワードのリストは[キーワードリスト]ペインに表示され、そこから、確立されたキーワードを検索し、カタログ化されたフォルダーからそれらの写真を表示し、キーワードリストを管理し、新しい画像にキーワードを適用できます。また、キーワードの管理を支援するために、Photo RAW 2020ではキーワードのサブカテゴリを作成することもできます（「[Photo RAW 階層キーワードの使用](#)」（ページ 25））。

リスト内のキーワードをダブルクリックすると、Photo RAW はカタログ化されたフォルダーでそのキーワードを検索し、結果をプレビューウィンドウに表示します。この検索では、Photo RAWは実際に[フィルター]ペインで検索を実行しているため、フィルター条件を追加する場合は、そこで検索を絞り込むことができます。（現在のフォルダーのみを検索する場合は、フィルターペインの[カタログ化フォルダーの検索]オプションをオフにします。）

ブラウズのビューで選択した画像（または画像のグループ）にキーワードを割り当てることもできます。キーワードの左側のボタンをクリックするだけで、Photo RAWは現在選択されている画像にそのキーワードを適用します。

キーワードを右クリックすると、実行できるオプションのリストを含むポップアップメニューが表示されます。

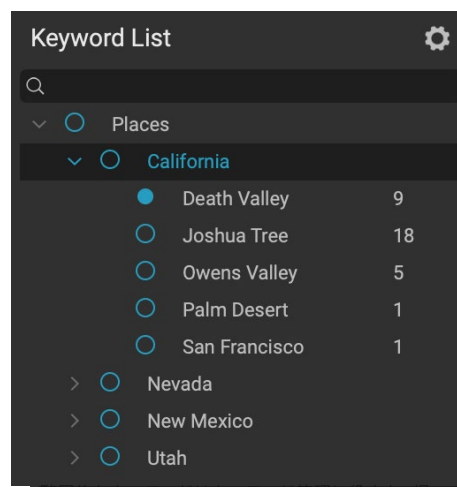
- **選択した写真にキーワードを割り当てる：** そのキーワードを現在の選択に追加します。
- **選択した写真からキーワードを削除：** 選択からそのキーワードを削除します
- **キーワードの追加：** 新しいキーワードを作成し、そのキーワードを現在選択されているキーワードのサブカテゴリとして保存するオプションを使用できます。
- **キーワードの編集：** 選択したキーワードの名前を変更し、それを使用したカタログ化された既知の写真すべてに新しいキーワードを適用できます。
- **キーワードの削除：** そのキーワードを、それを使用するカタログ化された既知の写真から削除します。



- ・ **キーワード付きカタログ写真の検索：** 選択したキーワードを使用するカタログフォルダー内のすべての写真を（グリッドビューで）表示します。

キーワードリストの改良

キーワードのリストは非常に長くなる可能性があるため、ペインの検索フィールドを使用してキーワードを検索できます。フィールドへの入力を開始すると、Photo RAWは入力した文字を含むキーワードのリストを表示します。検索を絞り込んだら、リストからキーワードを選択し（右図）、前のセクションで詳しく説明したキーワード操作を実行できます。



階層的なキーワードはキーワード管理に役立ち、場所、人物、撮影の種類などの画像カテゴリにプライマリカテゴリとセカンダリカテゴリを使用する場合に非常に役立ちます。

Photo RAW 階層キーワードを使用する

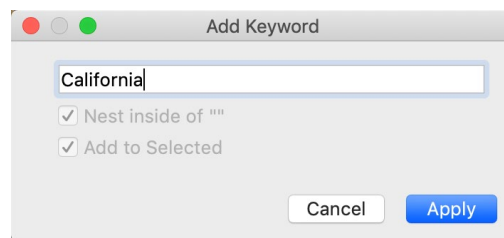
標準キーワードに加えて、ON1 Photo RAW 2020は階層キーワードの作成と使用もサポートしています。このオプションを使用すると、最上位のキーワード内にキーワードを「ネスト」できます。これは、キーワードの管理と分類に役立ちます。

たとえば、訪問した州（「カリフォルニア」、「ネバダ」、「オレゴン」など）にマスターキーワードを使用し、「デスバレー」などの州内の場所にサブキーワードを使用するとします。「ジョシュアツリー」、「火の谷」など。

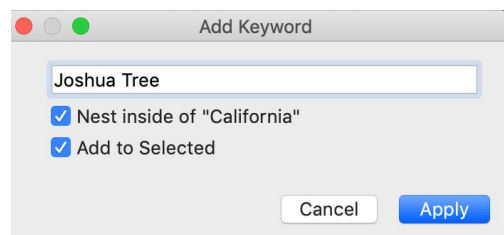
階層的なキーワードは、最上位のキーワードの左側にある小さな右矢印とともに、キーワードペインに表示されます。矢印をクリックすると、そのマスターのサブキーワードが表示され、右側にそのキーワードを持つ画像の数が表示されます。標準（非階層）キーワードの場合と同様に、ネストされたキーワードをダブルクリックして、そのキーワードを使用するカタログ化フォルダー内のすべての写真を表示できます。

キーワード階層を作成するには、まず、[キーワードリスト]ペインの上部にある歯車のアイコンをクリックして[キーワードの追加]を選択し、マスターキーワードを作成します。最上位のキーワードの名前を入力し、[適用]をクリックします。（写真が選択されていて、それらの画像に新しいキーワードを追加したくない場合は、[選択に追加]ボックスをオフにしてから[適用]をクリックします。）

新しいネストされたキーワードを作成するには、マスターキーワードを右クリックして、ポップアップから[キーワードの追加]を選択します。ダイアログボックスにチェックボックスが表示され、新しいキーワードをトップレベルのキーワード内にネストしたり、選択した写真に新しいキーワードを追加したりできます。



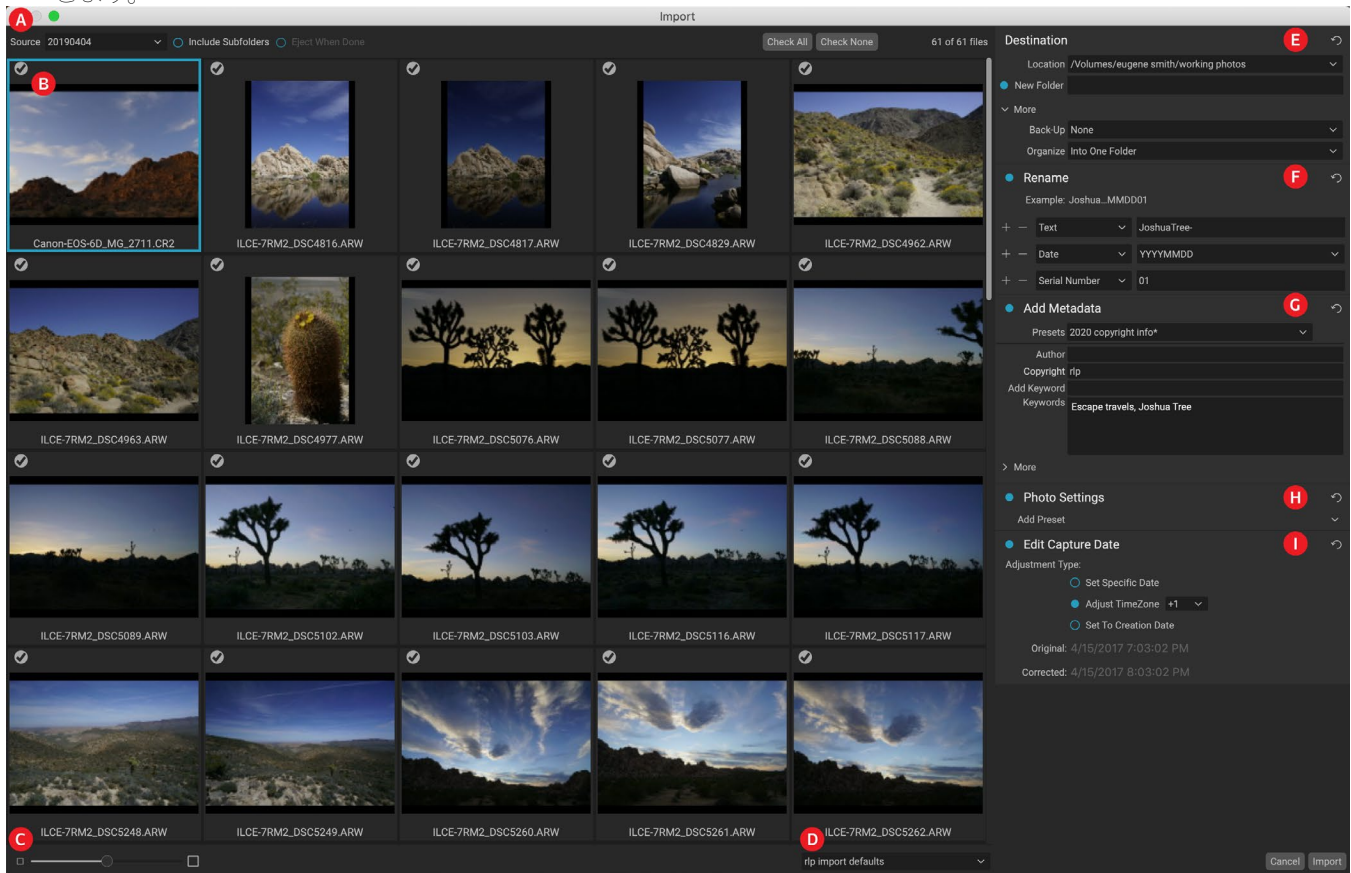
既存のキーワードから新しい階層を作成する場合は、右に示すように最初にマスターキーワードを作成し、「既存のキーワードをそのマスターにドラッグします」。



階層的なキーワードセットを作成するには、キーワードリストポップアップから[キーワードを追加]を選択して最上位のキーワードを作成します。次に、最上位のキーワードを右クリックして、[キーワードの追加]を選択します。そこで、新しいキーワードをトップレベルのキーワード内にネストするオプションがあります。

ブラウズに写真をインポートする

ON1 Photo RAW のインポート機能を使用すると、カメラ、メモ리카ード、携帯電話、タブレット、または他のソースの場所（フィールドからの画像がロードされたポータブルハードドライブなど）から直接写真をすばやく取得できます。



写真をインポートするには、カメラ、カード、またはその他のデバイスを接続し、参照の[ファイル]メニューから[インポート]を選択します。[インポート]ウィンドウが開き、次のオプションが表示されます。

- A. **インポートオプションバー：** ソース（カメラ、メモ리카ード、またはその他のデバイス）、Photo RAW がソース上のサブフォルダーを検索するかどうか、およびインポート後にデバイスを取り出すかどうかを選択できます。また、すべての写真を選択するオプションも選択することもできます。
- B. **プレビューウィンドウ：** インポートする画像を表示します。デフォルトでは、すべての写真がインポート用に含まれています。インポートプロセスから画像を削除するには、画像の左上隅にあるチェックマークをクリックします。
- C. **サムネイルサイズ：** プレビュー領域のサムネイルのサイズを調整します。
- D. **プリセットセクター：** インポートプリセット（右側のインポートパネルの設定を含めることができます）を現在選択されている画像に適用します。
- E. **宛先：** このペインは、インポートされた画像の場所、バックアップの場所（写真のコピーを別の場所にバックアップとして保存したい場合）、およびインポートされたファイルの組織（単一のフォルダー、または月または月と日）。
- F. **名前の 変更：** このペインでは、インポートしたファイルの名前を変更できます。カスタムテキストのオプションがあり、Seri承認、および日付別。（このペインは、[ファイル名の変更]ダイアログにある同じフィールドを使用します。詳細については、「ファイルまたはフォルダーの名前変更」を参

照28 してください。)

- G. **メタデータの追加:** キーワード、著作権情報など、さまざまなメタデータをインポートした画像に追加できます。完全なIPTCメタデータフィールドにアクセスするには、[その他]ドロップダウンをクリックします。ペインのこのセクションからGPS座標と説明を追加することもできます。既存のメタデータプリセットを使用（またはこのウィンドウで独自に作成）して、複数のインポートに一貫したメタデータを適用できます。含めるデータを入力し、ペインの[プリセット]メニューから[新しいプリセットを保存]を選択するだけです。（メタデータプリセットの詳細については23、「メタデータテンプレート」を参照 してください。）
- H. **写真 設定:** このペインでは、編集モジュールのプリセットをインポートした画像に適用できます。（これらの設定色合いは永続的ではありません。[設定]メニューから調整を調整またはリセットできます。詳細については、「プリセット」を参照<OV>してください。）
- I. **キャプチャ日付の編集:** インポートされた画像のキャプチャ日付を変更する場合、このペインを使用します。[タイムゾーンの調整]設定は、複数のタイムゾーンを移動するときにカメラの時計の変更を忘れた場合に役立ちます。

インポート設定を調整し、インポートするイメージを選択したら、[インポート]ボタンをクリックして操作を実行します。写真のインポート中は、参照ウィンドウの右下に進行状況バーが表示されます。インポート場所がカタログ化されたフォルダーである場合、新しい画像はバックグラウンドで自動的にインデックス付けされます。



Photo RAWを使用すると、よく使用するインポート設定（著作権情報やその他のメタデータ、ファイルの命名規則、インポート場所など）をプリセットとして簡単に保存できます。インポートプリセットを保存するには、「インポート」ウィンドウの右側のペインで情報と設定を調整し、ポップアップメニューから「新規プリセットを保存」を選択します。その後、ポップアップからプリセットを選択すると、保存された設定が現在のインポートジョブに適用されます。既存のプリセットの設定を変更する場合は、プリセットを選択し、パネルで変更を行い、プリセットセレクトのポップアップメニューから「既存のプリセットを更新」を選択します。

注意: インポートプリセットは、[インポート]ウィンドウ内のすべてのペインを使用できるという点で、[メタデータ]ペインのメタデータプリセットテンプレートとは異なります。インポートプリセットには、メタデータプリセットを含めることができます。保存する前に、インポートプリセットの一部として使用するメタデータテンプレートを選択するだけです。

[ファイル]メニューから[インポート]を選択すると、Photo RAWは最後に使用したインポートプリセットを記憶します。

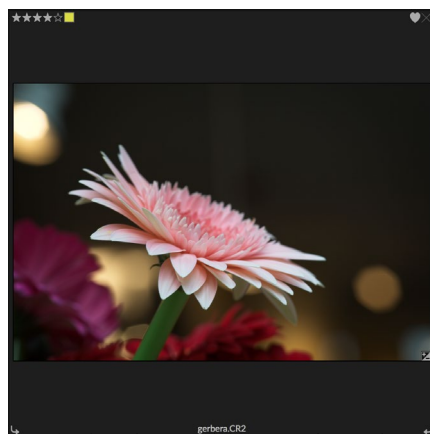
ブラウザで写真を編集する

ON1 Photo RAW 2020の画像編集機能のほとんどはON1 Photo RAW 2020編集]モジュール内にありますが、[参照]内の写真に対して多くの編集タスクを実行できます。これには、メタデータ、ラベル、評価の変更が含まれますが、画像または画像グループにプリセットを適用したり、1つの写真から現像/効果設定をコピーして、参照内で他の写真に直接貼り付けたりすることもできます。

評価、ラベル、いいね

標準の評価とラベルのシステムを使用すると、使い捨てのショットからお気に入りや簡単に分類および選別できます。ブラウザには、キーワードとサブフォルダー以外に、類似の画像をマークしてグループ化する3つの方法があります。これらの方法はすべて、いくつかの方法で設定できます。写真メニュー、右クリックコンテキストメニュー、画像のサムネイルまたは画像ビューのフッターのバッジをクリックします。各分類オプションに関連付けられたキーボードショートカットもあります。

- **星の評価** : 0から5つ星まで設定します。写真家は、お気に入りの画像に5つ星を使い、保持したくない画像に1つ星を使用することがよくありますが、このシステムはあなたに最適な方法で使用できます。キーボードの1~5キーを使用して、評価を調整できます。` (バッククォートまたはグレイブ) キーを使用して、任意の画像の星をクリアすることもできます。
- **カラーラベル** : 5つのカラーラベルもあります。カラーラベルは、特別な処理のために画像のサブセットをマークする優れた方法です。6 (赤)、7 (黄)、8 (青)、9 (緑)、0 (紫) のキーを押して、カラーレーティングを設定できます。
- **いいね** : 写真家の一般的なニーズは、お気に入りの画像と削除したい画像をマークすることです。これは、Like分類で最もよく達成されます。次の3つのオプションがあります: Like (ハートが塗りつぶされたアイコン)、Dislike (「X」アイコン)、Not Set (空のハート)。既定では、画像は変更するまで[未設定]カテゴリにあります。気に入った画像はキーボードショートカットPで、嫌いはXキーで、設定はUキーでクリアできます。



評価、色、お気に入りが添付されたグリッドビューの写真の例。

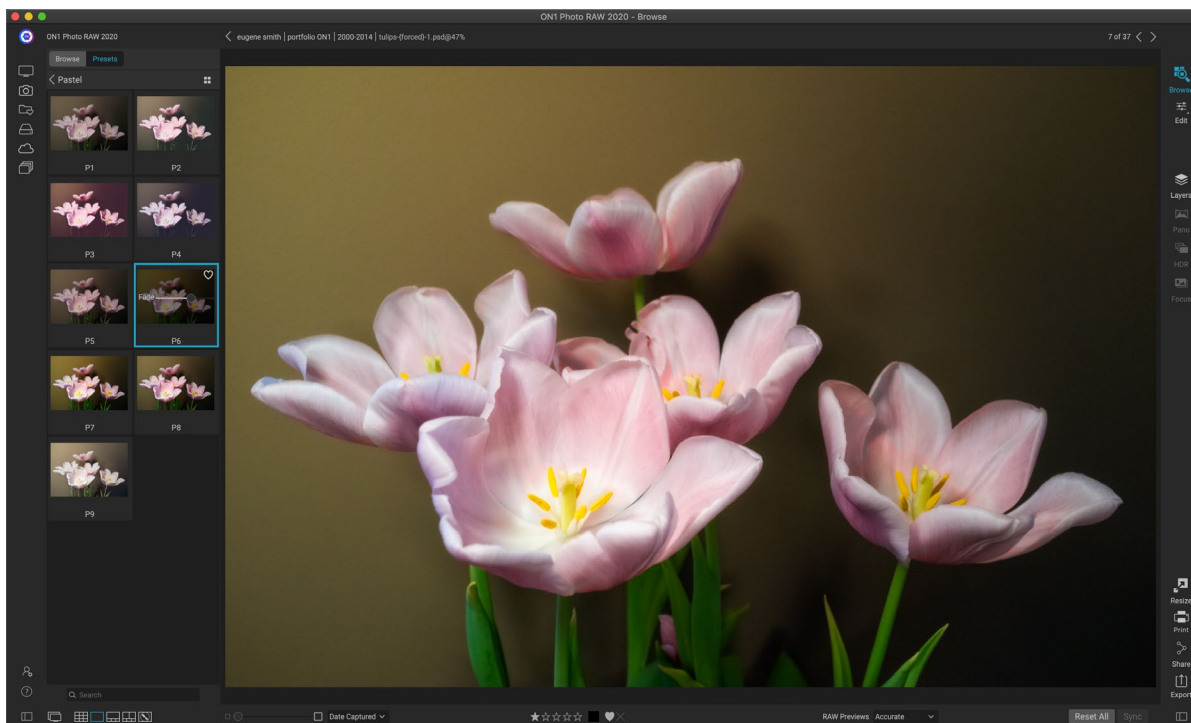
星評価と色ラベルはどちらも業界標準です。これらのツールを使用すると、設定はメタデータに保存され、Lightroomなどの他の写真エディターやマネージャーで使用できるようになります。（ON1 Photo RAW 2020は独自のものであり、ON1 Photo RAW 2020でのみ表示されます。）

写真を選別するときに自動送riを使用する

ON1 Photo RAWの自動アドバンス機能は、画像グループをすばやくランク付けできるように設計されています: 自動アドバンスをオンにすると、現在の画像に評価、カラーラベル、またはフラグを適用すると、Photo RAWが変更を加えて自動的に移動します次の画像へ。

自動アドバンスは、[写真]メニューからオンまたはオフにできます。

ブラウザ中PLYING編集モジュールのプリセット



プレビューモード（グリッド、詳細、フィルムストリップ、または比較）のブラウザで、任意の写真（または写真のグループ）にプリセットを簡単に追加できます。[プリセット]タブをクリックして、使用するカテゴリに移動し、適用するプリセットサムネイルをクリックするだけです。見た目が気に入らない場合は、元に戻すか、別のプリセットを選択します。フェードスライダーを使用して、エフェクトの量を減らすこともできます。

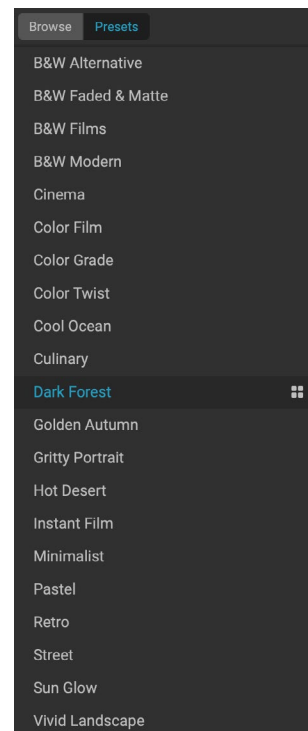
ON1 Photo RAW 2020 は、編集モジュールから完全な設定を保存できるプリセットシステムがあります。これらのプリセットは参照で常に利用できるため、お気に入りのプリセットを写真または写真のグループにすばやく簡単に適用できます。

プリセットを画像に適用するには、[プリセット]パネルをクリックします。そこには、ON1提供する ON1プリセットと、自分で作成またはインストールしたプリセットが表示されます。パネルは、建築、風景、ポートレートなどのカテゴリに分かれています。カテゴリ名をクリックすると、そのカテゴリ名が開き、そのカテゴリ内のプリセットが表示されます。各プリセットには、選択した画像とそのプリセットが適用された小さなサムネイルが表示されます。

選択した写真の外観をより大きく表示したい場合は、プリセットカテゴリのタイトルバーにある[クイックビューブラウザー]アイコンをクリックします。これにより、Photo 2019インターフェイス全体にオーバーレイが表示され、そのカテゴリのすべてのプリセットが表示されます。

写真にプリセットを適用するには、カテゴリプリセットブラウザまたはクイックビューブラウザーモードでプリセットをクリックするだけです。参照で適用されるプリセットは累積的ではありません。1つのプリセットを適用した後、別のプリセットをクリックすると、以前のプリセットが削除され、新しいプリセットが適用されます。（現像またはエフェクトのいずれかで編集を適用した場合、プリセットにこれらのモジュールの設定がある場合、それらのモジュールの設定は消去されます。）

Photo RAWは非破壊的であるため、いずれかの[編集]モジュールタブに移動すると、プリセットによって適用されたすべての設定が表示されます。編集後、設定の調整、プリセットの切り替え、またはその他の編集変更を行うことができます。

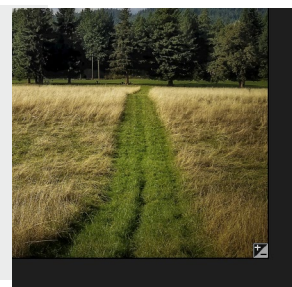


[プリセット]パネルには幅広い種類のプリセットタイプがあり、それらはすべて[参照]モジュールで適用できます。

写真からプリセットを削除するには、写真をクリックして、[設定]メニューから[すべての設定をリセット]を選択します。必要に応じて、[現像]タブまたは[効果]タブで行った個々の設定を削除することもできます。

(プリセットを作成および編集する方法の詳細については、ページの「プリセット」<OV>)

注：写真に[参照]でプリセットが適用されている場合、またはPhoto RAWの編集タブのいずれかで編集されている場合、右下隅に'+/-'アイコンの付いた小さなバッジが表示されますサムネイル。これらのバッジは、グリッドビュー、フィルムストリップビュー、および比較ビューに表示されます。（詳細については、右の画像を参照してください。）



設定のコピーと編集の同期

プリセットの適用に加えて、1つの写真で行われた既存の編集をすべてコピーし、参照モジュールで他の画像に直接貼り付けることができます。これには、編集モジュールで実行できるすべての編集操作が含まれます。これを行うには、コピー/貼り付けと同期の2つの主要な方法がありますが、同じ最終目標を達成します。どちらの操作を選択するかということです。

画像から編集設定をコピーするには、ソースファイルをクリックし、[設定]>[設定のコピー]を選択します。次に、新しい画像をクリックして、[設定]>[設定の貼り付け]を選択します。ウィンドウが表示され、元の写真の一部またはすべての編集を適用するオプションが表示されます。または、現像の[トーンとカラー]ペインの個々の設定からマスク、トリミング、使用する場合はテキストまで、すべての編集を選択できます—新しい写真に貼り付けます。（写真のグループを選択して、編集設定をグループに貼り付けることもできます。）

[設定のコピー/貼り付け]コマンドは、異なるフォルダーの複数の写真に設定を貼り付ける場合に便利です。ブラウスセッションがアクティブである限り、Photo RAWは最後にコピーされた設定を記憶し、必要に応じて他の写真に貼り付けることができます。

同期の設定]コマンド、あなたがソースとして使用したい画像を選択します。次に、Shiftキー（ソースに隣接する画像またはグループを選択する場合）、またはCommand (Mac) またはControl (Windows) キーを押しながら、適用する画像をクリックします。ソースファイルの編集。選択したソース画像は青で強調表示され、ターゲット画像は灰色で強調表示されているはずで、正しい場合は、プレビューエリアの下部にある[同期]ボタンをクリックするか、[設定]メニューから[設定を同期]を選択します。[設定の適用]ウィンドウが開き、同じ手順に従って編集内容を同期できます。



[設定の貼り付け]ウィンドウ ([設定の貼り付け]または[設定の同期]からアクセス可能) では、ほとんどすべての編集モジュール操作を別の画像または画像のグループに適用できます。設定の左側にある黒丸は、設定が適用されることを意味します。その設定を適用したくない場合は、丸をクリックしてください。

すべての設定を同期

ソース写真から別の写真または写真のグループにすべてを同期することが確実な場合、[設定]>[すべての設定を同期]コマンドを使用すると、[設定を適用]ウィンドウをバイパスできます。コピー元とコピー先の写真を選択して、コマンドを選択します。ソース画像のすべての設定（トリミング、テキスト、マスクを含む）が同期されることに注意してください。

参照で編集をリセットする

ON1 Photo RAW 2020行った編集は、参照モジュール内から完全にリセットできます。これには、[参照]内に設定を貼り付けたり同期したりした写真や、[編集]モジュール内で行われたものが含まれます。

[設定]メニューには、写真の編集内容を消去するための8つのオプションがあります。

- **すべての設定をリセット**：これにより、編集モジュールで写真に加えられたすべての調整が削除されます。（このオプションは、参照ウィンドウの下部にある[すべてリセット]ボタンからもアクセスできます。）
- **現像設定のリセット**：[現像]タブで適用された設定のみを削除します。
- **エフェクト設定のリセット**：[エフェクト]タブで適用された設定のみを削除します。
- **ポートレート設定のリセット**：ポートレートタブで適用された設定のみを削除します。
- **すべてのレタッチツールをリセット**：編集モジュールの任意の場所に適用されたレタッチをリセットします。
- **ローカル調整のリセット**：すべてのローカル調整レイヤーを削除します。
- **トリミングのリセット**：画像を元の未トリミングのサイズに戻します。
- **テキストのリセット**：テキストブロックを削除します。

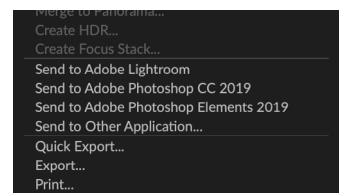
これらの変更は、変更後すぐに元に戻すことができます。そうでない場合、適切なオプションでリセットすると、イメージが完全にリセットされます。

注： [設定のリセット]オプションと[コピー/貼り付け]および[同期]オプションは、[参照]でレイヤー写真を操作している場合は使用できません。ただし、編集モジュールのレイヤー間で設定をコピーして貼り付けることはできます。

に送る

参照を使用すると、表示中の画像を他のアプリケーションに送信して編集できます。これは、右クリックのコンテキストメニューまたは[編集]メニューから使用できる[送信]オプションを使用して行います。ブラウズは、次の一般的なフォトマネージャーまたはエディターを検出し、インストールされている最新バージョンをリストします。

- アドビフォトショップ
- Adobe Photoshop Lightroom



写真を送信したいアプリケーションをセットアップできます。[他のアプリケーションに送信]オプションを選択するだけです。次に、写真を送信するアプリケーションを選択します。アプリケーションは記憶され、他の「送信先」オプションとともにリストされます。（たとえば、メールクライアントを使用している場合は、写真を簡単にメールで送信できるように追加できます。）

別のアプリケーションに画像を送信すると、ON1 Photo RAW 2020[編集]ダイアログボックスが表示されます。そこで、編集された写真または元の編集されていない画像を送信するオプションがあります。コピーを送信する場合は、ファイルの種類、色空間、ビット深度、解像度を選択するオプションがあります。毎回同じオプションセットを使用する場合は、ウィンドウの[次回から確認しない]チェックボックスをオンにすると、プロンプトは表示されません。（この設定を変更するには、Photo RAWの[設定]の[ファイル]タブに移動します。）

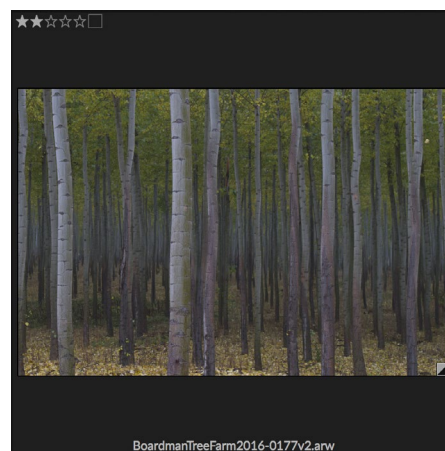


[コピーオプション]セクションが展開された[編集]ダイアログ。

バージョン

ON1 Photo RAWのバージョン機能を使用すると、イメージの「仮想」コピーを作成できます。これは、実際にイメージを複製することなく、元のファイルとはまったく異なる方法で編集できます。これにより、同じ画像のコピーに対して、作業を失うことなく、さまざまなプリセット処理、トリミング、レタッチ操作を簡単に試すことができます。または、ディスク容量の増加を確認できます。

バージョンの作成は簡単です。ブラウズの表示モードのいずれでも、[設定]メニューから[バージョンの作成]を選択（またはCommand- 'またはControl- 'を選択）すると、現在選択（または表示）された写真の新しいバージョンが作成されます。ライブラリの既存の画像の隣に画像のコピーが作成され、ファイル名に「v1」が追加されます。（追加バージョンには順番に番号が付けられます。）



バージョン管理された写真には、ファイル名の末尾に「v1」（またはそれ以上）が付いており、サムネイルの右下隅に暗い三角形と明るい三角形に分かれた小さなバッジがあります。

バージョンは、Photo RAW内のほとんどの画像のように機能します。[モジュールの編集]タブのいずれかで開くことができます。Photo RAW のすべてのツールとフィルターでトリミングまたは調整を行います。元のメタデータとは別にメタデータを編集できます。バージョン管理された写真をエクスポートしたり、Resizeで使用したりすることもできます（Photo RAW はそれらのインスタンスでレンダリングされたファイルを作成します）。ただし、レイヤーを含むバージョンの.onphotoファイルを作成することはできません。まず、編集モジュール内の画像を平坦化する必要があります。（「レイヤーの操作」（ページ）<?> 多くのための。）

グリッドビューでは、バージョン管理された写真に小さな正方形のバッジが明るい三角形と暗い三角形に分割されます。

2つのディスプレイでON1 Photo RAW 2020 を使用する

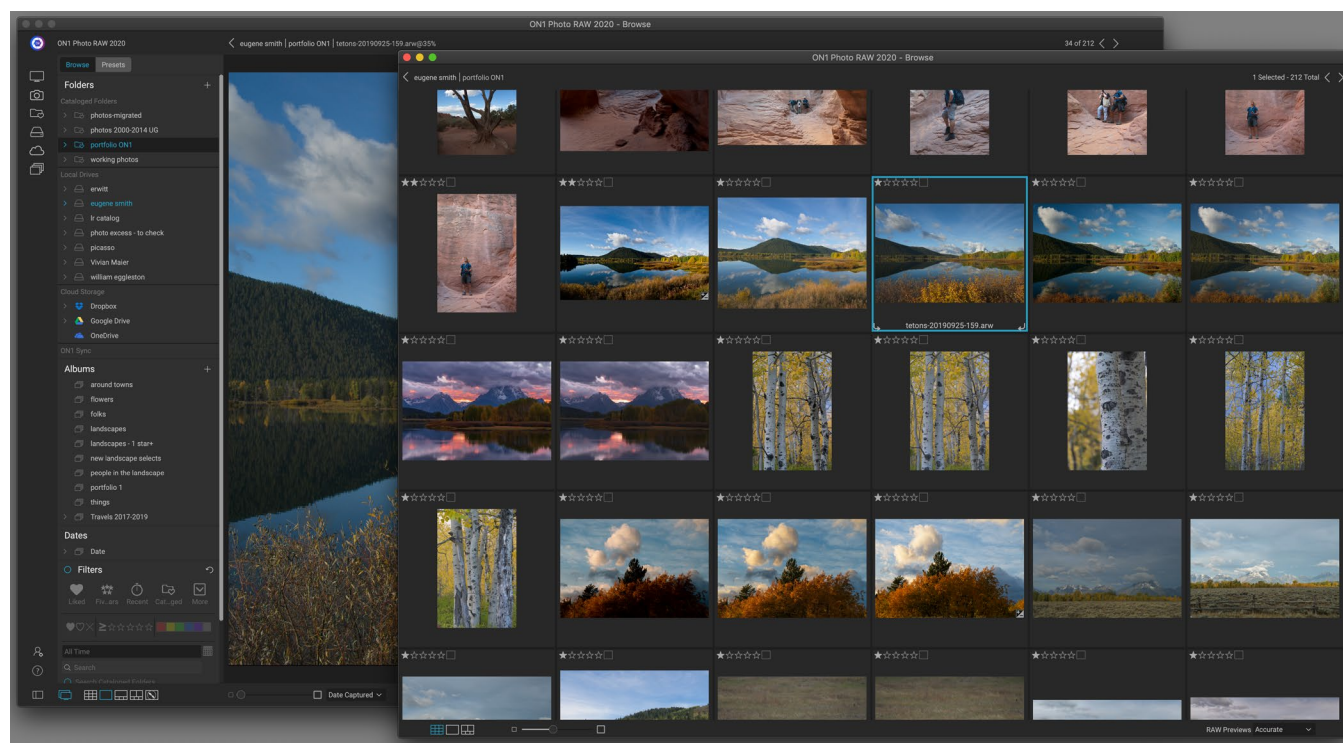


Photo RAWのデュアルモードでは、新しいブラウースタイルのウィンドウを開くことができます。このウィンドウは、2番目のディスプレイに配置したり、テレビやプロジェクターでのプレゼンテーションに使用したりできます。

Photo RAW のデュアルモード機能を使用して、追加されたブラウースタイルウィンドウに写真の2番目のコピーを表示できます。ここでは、プライマリウィンドウにフルサイズの画像を表示しながら、画像のフォルダーをサムネイルとして表示し、それらをナビゲートできます。これにより、コンピューターに追加のモニターを接続した場合の生産性が向上し、グリッドビューと詳細ビュー、フィルムストリップビューまたは比較ビューを切り替える必要性が減少します。また、写真をプロジェクタやテレビで表示したい場合、Photo RAWアプリケーションウィンドウ全体を表示したくない場合にも役立ちます。

デュアルモードは、参照モジュールと編集モジュールの両方で機能します。閲覧モードでは、2番目のウィンドウの動作方法を選択できます。グリッドビューで表示するか、他の3つの表示モード（詳細、フィルムストリップ、または比較）でプライマリウィンドウを動作させるか、またはその逆です。グリッド内の画像をナビゲートすると、他のウィンドウに現在選択されている画像が表示されます。

編集モジュールで作業する場合、2番目のウィンドウはグリッドビューでのみ機能し、現在のフォルダーのサムネイルを表示します。グリッド内の別の画像をクリックすると、その画像がメインの編集ウィンドウに表示されます。

デュアルモードをオンにする

この機能を使用するには、[ウィンドウ]メニューに移動して[デュアルモード]>[表示]を選択するか、メインウィンドウの左下にある[デュアルモード]アイコンをクリックします。デュアルモードを初めて使用するとき、プライマリディスプレイに2番目のウィンドウが開きます。ウィンドウをセカンダリディスプレイにドラッグするだけで、その時点からPhoto RAWは2番目のウィンドウの位置を記憶します。（ウィンドウが2番目のディスプレイに配置されている場合、ウィンドウメニューから[デュアルモード]>[フルスクリーンモード]を選択すると、ウィンドウが画面全体に表示されます。）

セカンダリウィンドウの下部にあるアイコンは、Photo RAWアプリケーションのメインウィンドウのサブセットです。参照では、グリッドビュー、詳細ビュー、比較ビューのオプションが表示されます。編集では、グリッドビューアイコンのみが表示されます。[サイズ]スライダーは、サムネイルのサイズ（グリッドビュー）またはズームレベル（詳細および比較ビュー）を変更できます。

注： デュアルモードで作業していて、モジュールセクターの[サイズ変更]ボタンをクリックすると、Photo RAWは2番目のウィンドウを閉じます。

パート3：編集モジュールでの作業

ON1 Photo RAW 2020の写真編集機能は、タブに分かれた4つの異なる編集機能で構成される編集モジュールにあります。

- **現像** は、基本的なグローバル編集操作を実行します。トーンと色の調整、ノイズの除去、シャープ化など。特に、スタンドアロンのエディターとして Photo RAW を使用している場合は、写真の編集を開始するのに最適な場所です。
- **エフェクト** は Photo RAWスタイル設定の中心であり、白黒変換、HDRスタイライズ、グロー、シャープニング、色補正などの操作を提供する30のフィルターを備えています。
- **Portrait** は、顔をレタッチするために設計されています。自動的に顔を見つけ、スムージングを適用し、傷を減らし、目と歯を明るくします。
- **ローカル調整** は、基本的なターゲット編集を写真の一部に適用して、覆い焼きや焼き付けなどの従来の写真編集タスクを簡単に実行できるように設計されています。

編集モジュールの異なるタブ間の切り替えは、適切なタブをクリックするだけです。画像での作業中、各タブの設定はすべて編集中に保存されます。Photo RAW を選択したエディターとして（参照と組み合わせで）使用すると、画像に対して行ったすべての編集が非破壊的に保持され、いつでも任意の画像に戻って変更または修正を行うことができます。

Photo RAW 2020の編集モジュールにはレイヤーペインも含まれており、複数の画像をスタックして、多くのスタンドアロンのフォトエディターでは利用できない高度な合成を実現できます。また、Photo RAW をスタンドアロンアプリとして使用する場合、編集モジュールは完全に非破壊的であるため、心配することなくコンポジションを再編集できます。（詳細については、「レイヤーの操作」を参照 <OV> してください。

Photo RAW を Lightroom Classicまたは Photoshop Elementsのプラグインとして使用する場合、編集モジュールでタブ間を移動できます（レイヤー機能を使用できます）が、Photo RAWを終了すると Photo RAW 再編集できません。

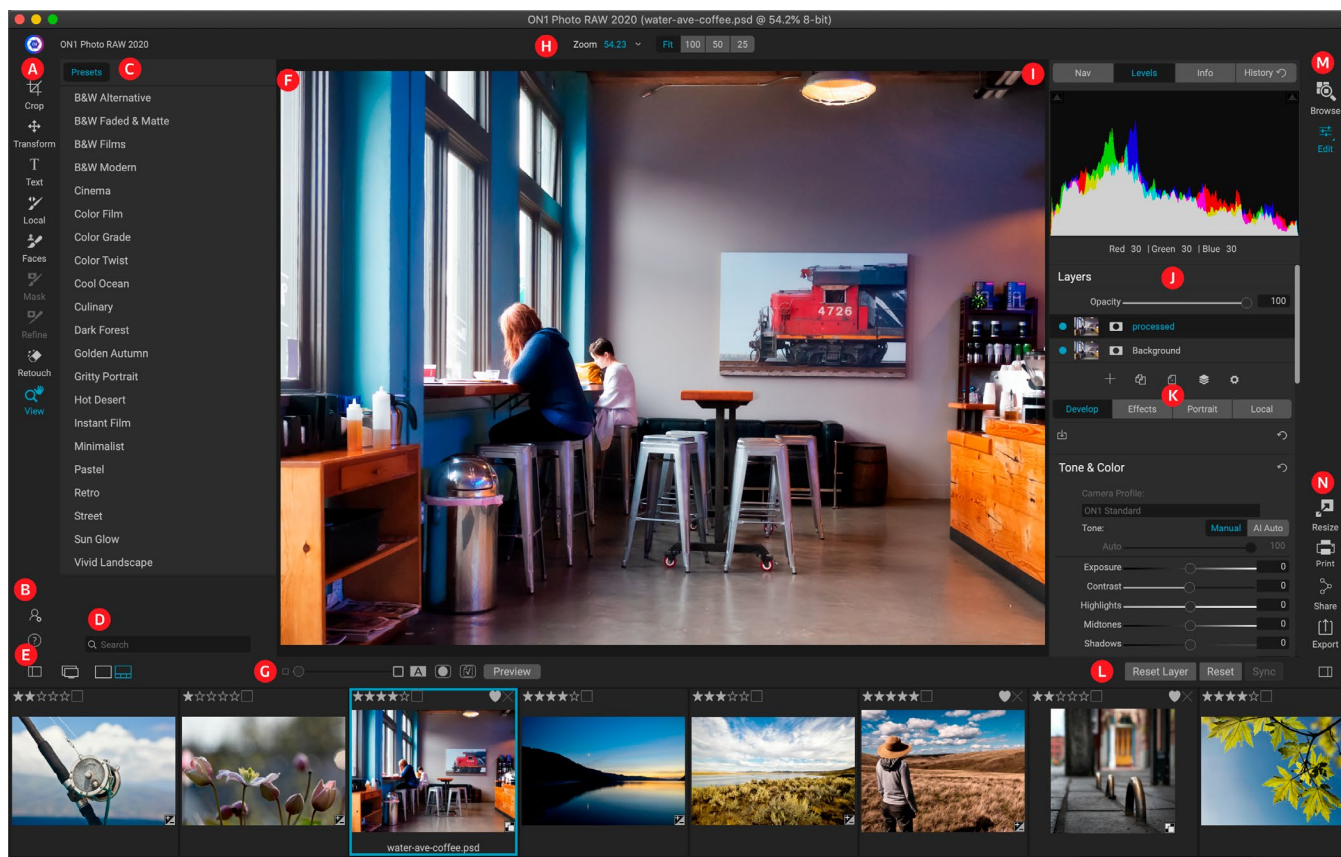
注： Photoshop Smart Objects （ページ<?>）または ApplePhotos（ページ<?>）、追加のレイヤーを追加しない限り、作業を再編集できます。

ON1 Photo RAW2020には、時間を節約し、ON1 Photo RAW 外観を作成するために、他の写真に適用するための編集タブ（ローカル調整やマスクなど）で行った設定を保存できる堅牢なプリセットシステムも含まれています。編集プリセットは編集モジュールで適用でき、Browse、およびPhoto RAW 2020の他のすべての要素と同様に、再編集可能です。（プリセットについては、ページで詳しく説明します81。）

プリセットの作成と使用に加えて、編集モジュールの設定をあるファイルから別のファイルにコピーして貼り付けるか、1つの写真の編集を写真のグループに同期することができます。これらの操作は、すべての編集モジュールとブラウズで実行できるため、ON1 Photo RAW 2020の非常に高い柔軟性が得られます。（「設定のコピーと編集の同期」ページ86および「参照での編集モジュールプリセットの適用」を参照してください<?>。

ON1編集メイン画面の概要

編集は、写真を編集するための使いやすいワークスペースを提供します。以下は、編集モジュールのメインウィンドウセクションの概要です。



- A. **ツールウェル**: 編集モジュール内で作業するためのツール。
- B. **設定/ヘルプ**: アプリの設定とヘルプへのショートカット。
- C. **プリセットパネル**: インストールされているすべてのプリセットのリスト (カテゴリ別)。[効果]タブで作業している場合、[フィルター]パネルも表示されます。
- D. **検索**: 名前でプリセット (およびエフェクトで作業している場合はフィルター) を検索します。
- E. **ウィンドウオプション**: (左から右へ) プリセットパネルを開閉します。デュアルディスプレイモードのオン/オフを切り替えます。詳細ビューとフィルムストリップビューを切り替えます (フィルムストリップを表示)。
- F. **プレビューウィンドウ**: 詳細ビューで現在の写真を表示します。
- G. **プレビューオプションの切り替え**: 現在の画像の拡大スライダー、比較 (前/後) モード、マスクの表示/非表示、ソフトプルーフとプレビューのオン/オフを切り替えます。
- H. **ツールオプションバー**: 現在選択されているツールのオプションと設定。
- I. **写真情報ペイン**: ナビゲーター、レベル (ヒストグラム)、および一般的な写真情報。
- J. **レイヤーペイン**: ここでレイヤーを追加、編集、管理します。
- K. **編集タブ**: 現像、効果、ポートレート、ローカル調整にアクセスするためのタブ。各タブをクリックすると、そのタブの設定が表示されます。

- L. **リセットバー**：すべてをリセット（すべての編集モジュール設定）、リセット（現在のタブの設定をリセット）、以前に編集した写真と設定を同期（フィルムストリップビューの場合）
- M. **モジュールセレクトター**：参照モジュールと編集モジュールを切り替えます（写真をプラグインとして編集している場合、参照アイコンは無効になります）。
- N. **出力**：Resizeモジュールに切り替えるためのショートカット（プラグインとして Photo RAWにアクセスする場合は無効）、および現在の写真を印刷、エクスポート、共有するためのショートカット。

ON1 Photo RAW 2020の編集モジュールの外観は、ブラウザの外観に似ていますが、写真編集タスクに固有のわずかなバリエーションがあります。ウィンドウの左側には、編集固有のツールを備えたツールとプリセットペインが含まれています（[効果]タブを使用する場合、[プリセット]の横に[フィルター]タブも表示されます）。

画面の右側には、上部に同じペイン（ナビゲーター、レベル/ヒストグラム、情報）と、履歴ペイン、レイヤーパネル、および編集内の4つの編集領域（現像、効果、ポートレート、ローカル）のタブがあります。タブをクリックすると、その領域のオプションと設定が表示されます。images、詳細ビューまたはフィルムストリップビューのいずれかで作業できます。どちらもブラウザと同じように機能します（詳細については、「[プレビューエリアでの作業](#)」を参照してください）。

Photo RAWは、編集モジュールのプレビューウィンドウで画像をナビゲートして表示する方法がいくつかあります。

- ・ デフォルトでは、画像はフィットビューで表示され、プレビュー領域内に画像が表示され、ズームツールが選択されます。ズームツールで画像をクリックすると、100%にズームインし、カーソルが手のひらツールに変わります。プレビュー領域をクリックしてドラッグすると、画像内を移動できます。一度クリックすると、フィットビューに戻ります。
- ・ [表示]メニューと[ナビゲーター]ペインを使用してズームインおよびズームアウトすることもできます。ナビゲーターペインには、現在画面上にある領域の周囲に境界ボックスが表示されます。ペインの周囲のボックスをクリックしてドラッグすると、プレビュー領域に表示されるものの位置を変更できます。[ナビゲーター]ペインの下部にあるボタンのいずれかをクリックすると、自動的にフィット、100%、50%、または25%ビューにズームします。（ボタンはズームツールのオプションバーに表示されます。）
- ・ プレビューズームが表示可能領域よりも大きい場合、編集ツールが選択されている場合、スペースバーを押し続けると手のひらツールが表示されます。スペースバーを押しながらクリックしてドラッグすると、現在のビューレベルで画像の位置が変更されます。

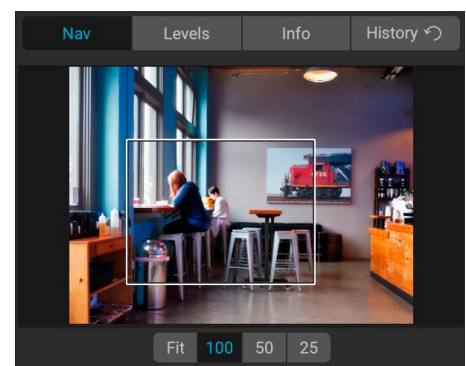
ナビゲーター、レベル、情報および履歴ペイン

メインウィンドウの右側のコントロールパネルの上部には、ナビゲータ、ヒストグラム、情報、および履歴の各ペインがあります。これらのツールは、セッション中に行われたすべての編集モジュールの調整を確認するだけでなく、画像の詳細を検査および表示するのに役立ちます。

T彼はナビゲータペイン

これにより、画像のサムネイルビューが表示されます。白い四角の領域は、プレビューペインに表示される画像領域を示します。四角の内側をクリックしてドラッグすると、画像をパンできます。

ナビゲータペインの下部には、ズームビューの割合（100%、50%、25%）を表すいくつかのズームボタンがあります。いずれかのボタンをクリックして、ビューを変更します。現在のキャンバスサイズに合わせてズー



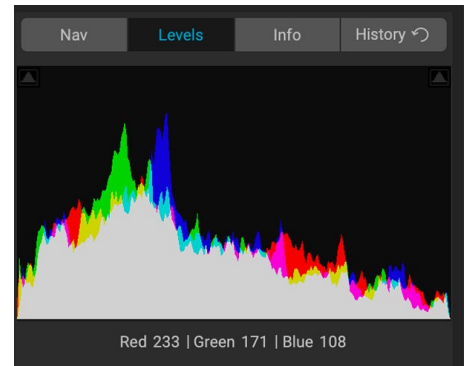
ムを合わせると、100は100%にズームし、実際のピクセルを表示します。

レベルペイン

これにより、画像のRGB値（一般にヒストグラムと呼ばれる）に基づいて、シャドウ、ミッドトーン、およびハイライト領域のカラーチャートが得られます。これは、画像内でクリッピングされている可能性のある領域を表示するのに役立ちます。クリッピングとは、画像に純粋な黒または白が含まれており、ハイライトまたはシャドウの詳細が失われていることを意味する場合があります。

ヒストグラムの左側は影を表し、右側はハイライトを表します。各端の上部には三角形があります。三角形が点灯している場合、ヒストグラムのその側にクリッピングがあります。矢印をクリックすると、画像のクリッピングオーバーレイがアクティブになり、クリップされた領域が表示されます。青いオーバーレイの領域は真っ黒で、赤いオーバーレイの領域は真っ白です。三角形のいずれかをクリックすると、クリッピングビューを再びオフにできます。いつでもJキーを押したままにして、一時的にクリッピングビューを有効にすることもできます。クリッピングビューは、画像の明るさとコントラストを調整するときに役立ちます。（クリッピングビューの<?>使用の詳細については、ページの「フォーカスビューとクリッピングビュー」を参照してください。

ヒストグラムペインには、ペインの下部のカーソルの下にRGB値も表示されます。



情報ペイン

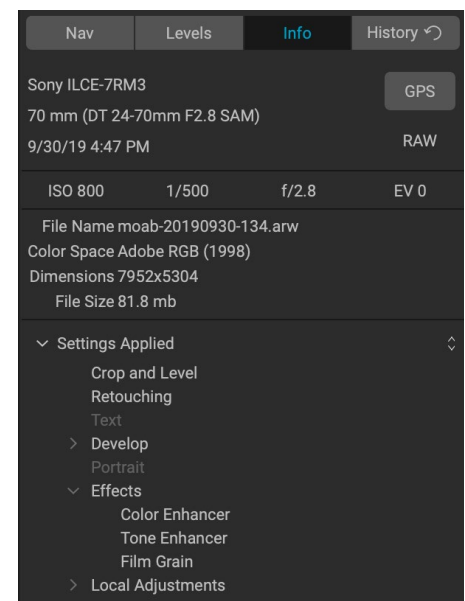
情報ペインには、現在の画像のメタデータが読みやすい形式で表示されます。このメタデータには、カメラのメーカーとモデルが含まれます。レンズの焦点距離。日付と時刻をキャプチャします。ファイルタイプ; GPS位置データ。ISO設定;シャッター速度;開口;および露出補正。

情報ペインには、名前、色空間、画像の寸法、解像度など、ファイル固有の日付も表示されます。メタデータフィールドのいずれかが使用できない場合、空白のままになります。

適用される設定

情報ペインの下部には、現在の画像に適用された編集モジュールのすべての操作を表示するセクションがあります。ラベルの左にある右矢印をクリックすると、編集モジュールのすべてのタブのリストが表示されるほか、トリミング、レタッチ、テキスト操作などの主要な調整オプションが表示されます。画像に調整が加えられている場合、[適用された設定]エリアのそのセクションは白色で表示され、ラベルの左側にある矢印を使用して、[現像]、[効果]、[ポートレート]ローカル調整タブ。画像に行われた調整を確認します。（調整されていない画像では、すべての設定がグレースアウトされます。）

[適用された設定]領域内の使用可能な項目のいずれかをダブルクリックすると、[編集]モジュール内の特定の設定に移動し、必要な変更を加えることができます。



GPSメタデータ

画像にGPSメタデータが埋め込まれている場合、GPSボタンが情報ペインに表示されます。このボタンをクリックすると、デフォルトのWebブラウザが開き、Googleマップで画像が撮影された場所に移動します。

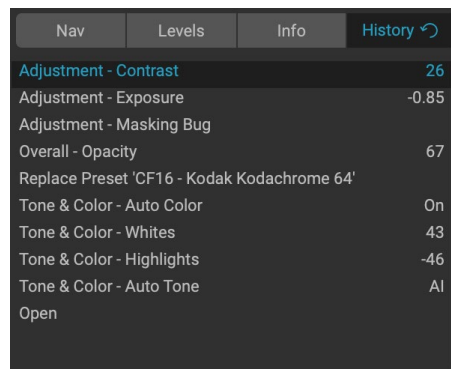
T彼は歴史ペイン

ON1 Photo RAW 2020には強力な元に戻す機能があり、編集プロセス中にいくつかの手順をバックアップする場合に役立ちます。さらに戻る場合、Command / Control-Zを押し続けるのは面倒です。ここで、履歴ペインが非常に役立ちます。編集セッション中に行われたすべての調整が表示されます。履歴ペインから、編集内容をスクロールして、編集のために開いたときの写真の状態に戻ることができます。

作業中、[履歴]ペインはすべての編集内容を追跡し（レイヤー化されたファイルを使用している場合でも）、ペインの上部に行った各変更を追加します。履歴には調整だけでなく、多くの場合、さまざまなペインとフィルターのスライダーの設定が表示されます。

リストをスクロールできます。また、アイテムをクリックすると、Photo RAWはクリックした場所に編集内容を「ロールバック」します。リスト内を上下にクリックすると、変更を加えない限り、編集履歴全体が保持されます。編集にロールバックして変更を加えると、履歴ペインはその時点から「リセット」され、ロールバックした後に行った編集は失われます。

履歴機能は、編集セッション中に行った編集を調整および理解できるように設計されています。写真の編集が終了すると保存されません。[参照]に戻ったり、フィルムストリップから編集用に別の画像を開いたり、[サイズ変更]に切り替えたりすると、履歴ペインがリセットされます。

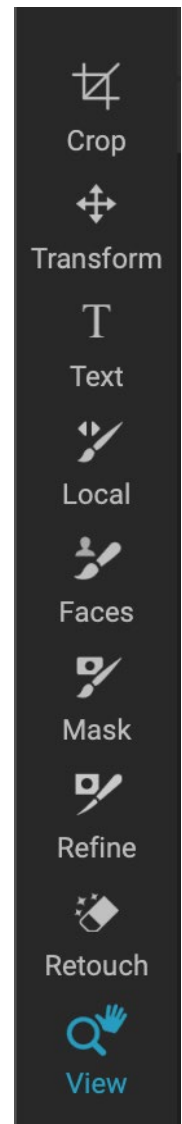


ヒント: [履歴]ペインで項目をクリックし、その時点から調整履歴を上下に移動したい場合は、[元に戻す/やり直し]コマンドを使用してリストをすばやく確認できます。編集に満足したら、[履歴]ペインの一番上の項目をクリックして、写真の状態を保存します。

ツールウェル

編集モジュールには、写真の作業中に使用できる16のツールがあり、画面の左側にあるツールからアクセスできます。一部のツール（変換（移動）、切り抜き、テキスト、顔、およびビュー）は、ツールアイコン内に内蔵されています。その他は、ローカル、マスク、調整、修正などのツールグループ内にネストされており、これらのツールアイコンのいずれかをクリックすると、画面上部のツールオプションバーからアクセスできます。

- **切り抜きツール：** 画像を希望のサイズまたは比率にトリミングします。ショートカットキー：C
- **変形（移動）ツール：** レイヤーのサイズと回転を移動および変更します。ショートカットキー：V
- **テキストツール：** テキストブロックをドキュメントに追加します。ショートカットキー：T
- **調整ブラシ（ローカルグループ）：** ローカル調整をペイントします。ショートカットキー：K
- **調整可能なグラデーション（ローカルグループ）：** ローカル調整モードで選択的なグラデーションを適用します。ショートカットキー：Shift + K
- **顔（ポートレート）ツール：** 現在の画像で顔を検索し、ポートレートタブを開きます。このタブでは、各顔のマスクを微調整するためにスキンをペイントできます。ショートカットキー：Shift-I
- **マスキングブラシ（マスクグループ）：** 同様の大きな領域をすばやくマスクします。（パーフェクトブラシオプションを含む。）ショートカットキー：B
- **マスキングバグ（マスクグループ）：** 選択的なグラデーションをフィルター（またはスタック全体）のマスクとして適用します。ショートカットキー：M
- **AIクイックマスクツール（マスクグループ）：** ガイダンスとしてほんの数ストロークで高品質のマスクを作成します。ショートカットキー：W
- **ブラシのリファイン（リファイングループ）：** 既存のマスクのエッジをリファインして、髪などの難しい領域をマスクできます。ショートカットキー：N
- **チゼルツール（リファイングループ）：** マスクのエッジからフリンジを削除します。ショートカットキー：Shift-K
- **ぼかしツール（リファイングループ）：** マスクされた領域のエッジをぼかして、より自然にブレンドできるようにします。ショートカットキー：L
- **Perfect Eraser（修正グループ）：** サインや電線などの注意散漫を取り除きます。ショートカットキー：Q
- **レタッチブラシ（修正グループ）：** ほこりやニキビなどの傷を取り除きます。（パーフェクトブラシオプションを含む。）ショートカットキー：R
- **クローンスタンプ（修正グループ）：** 別の領域のサンプルから領域をペイントします。ショートカットキー：Shift-S
- **表示ツール：** プレビュー領域の画像の倍率を調整し、プレビューウィンドウ内を移動できます。ショートカットキー：Z



ツールにアクセスするには、ツールをクリックするか、ツールに添付されているショートカットキーを使用します。選択すると、カーソルが変化し、プレビューウィンドウの上にあるツールオプションバーにツールのオプションセットが表示されます。選択したツールがツールグループの一部である場合、ツールオプションバーの左側に、そのグループの他のツールが表示されます。

切り抜きツール



このツールを使用すると、画像をトリミングできますON1 Photo RAW 2020をスタンドアロンアプリとして使用している場合は、完全に非破壊的

です。

画像を切り抜くには、ツールウェルから切り抜きツールを選択します。オプションバーから、使用するプリセットクロップ比を選択します。デフォルトはFreeformで、任意のサイズまたは比率でトリミングできます。トリミングツールオーバーレイのコーナーハンドルを調整して、希望する領域を取得します。（ガイドンスのため、トリミングボックスの外側の領域は暗く表示されます。）トリミングボックス内の画像のサイズを変更したり、移動したりできます。設定に満足したら、オプションバーの[適用]ボタンを押すか、Enterキーを押します。

トリミングボックス内で画像を移動するには、ボックス内をクリックしてドラッグします。キーボードの矢印キーを使用して画像を微調整することもできます。トリミングボックスのサイズを変更するには、いずれかのハンドルをクリックしてドラッグします。コーナーハンドルをクリックすると、2つの側面を同時に調整できます。サイドハンドルをクリックすると、そのサイドを調整できます。Shiftキーを押しながらサイズを調整すると、ボックスの縦横比が維持されます。切り抜きボックスを回転するには、ツールが回転するようになるまで角の外側に移動します。

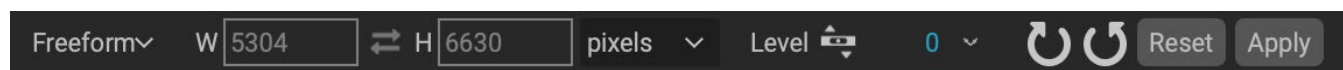
画像を真っ直ぐにするために、トリミングツールがアクティブなときに ツールオプションバー にある レベリングツールを使用できます。それをクリックし、画像内の水平にする必要がある要素にツールをドラッグします。



Crop Presetポップアップが開いた状態のCropインターフェース。

注: Photo RAWをプラグインとして使用すると、切り抜きツールは無効になります。ホストアプリケーションを使用して写真をトリミングする必要があります。また、[サイズ変更]内で使用すると、切り抜きツールは破壊的です。

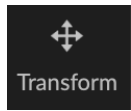
切り抜きツールのオプションバー:



- **プリセットポップアップ:** フリーフォームまたは制約されたプリセット比率から選択できます
- **幅:** トリミングボックスの幅を設定します。
- **寸法の交換:** 幅と高さを 交換し ます。クロップボックスを回転させるのに便利です。
- **高さ:** クロップボックスの高さを設定します。
- **レベリングツール:** このツールをクリックして、画像内のレベルにする必要がある要素にドラッグします。
- **角度:** 回転角度を確認して調整します。
- **リセット:** トリミング領域を元の写真のサイズにリセットします。

- **適用**: クロップを適用します。

変換（移動）ツール



変形ツールは、レイヤーのコンテンツを操作するために使用され、使用しているレイヤーがベース写真レイヤーであっても機能します。レイヤーは、変形ツールを使用して再配置、サイズ変更、または回転できます。ツールを選択すると、選択したレイヤーの端にハンドルが表示されます。これらのハンドルを使用して、画像を操作します。完了したら、ツールオプションバーの[適用]ボタンをクリックします。

変換ツールはレイヤーに依存しており、各ドキュメントレイヤーに独自の変換操作を設定できます。写真を合成したり、多層ファイルに背景やテキストを適用したりするときに便利です。

注: Photo RAWをプラグインとして使用している場合、変換ツールは無効になっています。

レイヤーの再配置

レイヤーの位置を変更するには、変換ボックス内をクリックしてドラッグするだけです。キーボードの矢印キーを使用して、レイヤーを任意の方向に1ピクセルずつ移動することもできます。

レイヤーのサイズ変更

レイヤーのサイズを変更するには、任意の変換ハンドルをクリックしてドラッグします。コーナーハンドルをクリックすると、2つの側面を同時に調整できます。サイドハンドルをクリックすると、そのサイドを調整できます。サイズを調整しながらShiftキーを押したままにすると、レイヤーの比率が維持されます。オプション(MacOS) またはAlt(Windows)キーを押しながらサイズを変更すると、画像は端ではなく中央からサイズ変更されます。Shift-Option (またはShift-Alt) を押し続けると、中心から比例してサイズを変更できます。

幅と高さのフィールドのツールオプションバー（以下を参照）で、希望するサイズを入力できます。また、オプションバーの[塗りつぶし]ボタンを押すと、キャンバスを自動的に塗りつぶすようにレイヤーのサイズを変更できます。

レイヤーの回転

レイヤーを回転するには、変換ツールをコーナー変換ハンドルのすぐ外側に移動します。ツールカーソルが回転カーソルに変わります。次に、クリックしてドラッグしてレイヤーを回転します。また、変形ツールが選択されているときに、opt (alt) の左右矢印キーを使用してレイヤーを回転させることもできます。レイヤーを90度単位ですばやく回転するには、ツールオプションバーの左回転ボタンと右回転ボタンを使用できます。

レイヤーの反転

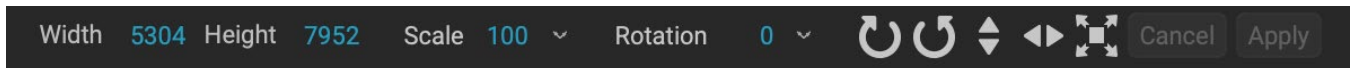
ツールオプションバーのフリップボタンを押すと、レイヤーを水平または垂直にフリップできます。

変換が完了したら、変更をコミットする必要があります。これを行うには、ツールオプションバーに表示される[適用]ボタンを押すか、Enterキーを押します。ツールオプションバーの[キャンセル]ボタンを押すか、エスケープキーを押すと、変換をキャンセルできます。

移動後のレイヤーの復元

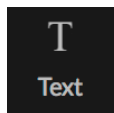
編集モジュール内の「すべてリセット」コマンドは、移動ツールで作成された変換をリセットしません。レイヤーを元の変換されていない状態にリセットするには、移動ツールをクリックして、回転やフリップ操作を調整します。次に、「キャンバスに合わせる」ボタンを選択します。

変換ツールのオプションバー



- ・ **幅**：レイヤーの幅をピクセル単位で変更します。
- ・ **高さ**：レイヤーの高さをピクセル単位で変更します。
- ・ **拡大縮小**：割合でレイヤーを比例的に 拡大 縮小します。
- ・ **回転**：レイヤーを度単位で回転します。
- ・ **左/右回転ボタン**：レイヤーを時計回りまたは反時計回りに90度回転します。
- ・ **水平/垂直ボタン**を 反転：水平軸または垂直軸を反転します。
- ・ **[キャンバスの塗りつぶし]ボタン**：レイヤーの内容をドキュメントのサイズに合わせて拡大縮小します。

テキストツール

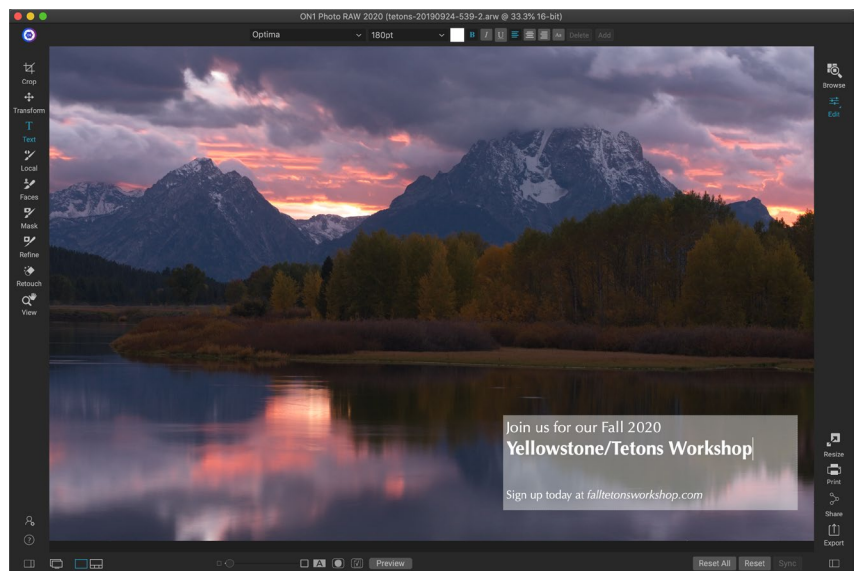


テキストツールを使用すると、単純な透かしからより複雑なテキストベースのレイアウトまで、写真または合成に複数のテキストブロックを追加できます。各ブロック内で、フォント、タイプサイズ、行間隔、文字間隔、色、テキストの配置を完全に制御できます。背景の塗りつぶし色を追加して、各テキストブロックと背景の不透明度を設定することもできます。

テキストブロックを追加するには、テキストツールをクリックしてから、ツールオプションバーの[追加]ボタンをクリックします。プレースホルダーテキストが選択された状態で、新しいテキストブロックが追加されます。入力を開始するか、そのブロックで使用するフォント、サイズ、およびその他のオプションを最初を選択できます。別のテキストブロックを追加するには、[追加]ボタンをもう一度クリックします。

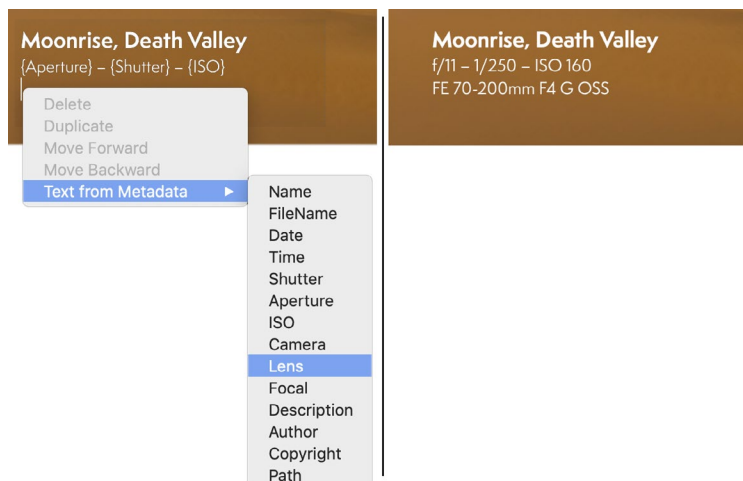
既存のテキストブロックを編集するには、テキストツールを選択し、編集するブロックをダブルクリックして、変更を加えます。既存のブロックを削除する場合は、テキストツールでブロックをクリックし、オプションバーから[削除]を選択します。

Photo RAWは、最後に使用した設定を記憶します。これは、特定のフォントとサイズを使用する場合に便利です（たとえば、透かしのテキストで）。



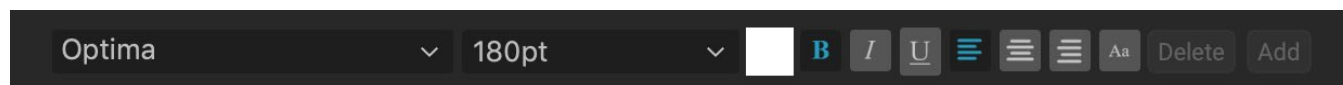
テキストツールを使用すると、フォント、サイズ、スタイルを文字レベルで完全に制御しながら、ドキュメントに複数のテキストブロックを追加できます。

テキストツールでは、現在の写真のメタデータをテキストブロックに追加することもできます。これを行うには、テキストブロックを作成し、ブロック内を右クリックします。[メタデータからのテキスト]サブメニューには、埋め込み可能なメタデータアイテムのリストが含まれています（次のページのスクリーンショットを参照）。リストから複数のアイテムを追加し、スタイルを設定し、アイテムを異なるテキストブロックに追加することもできます。メタデータの追加が完了したら、ブロックの外側をクリックして最終テキストを表示します。

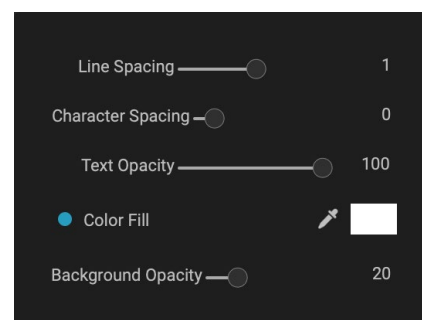


特定のメタデータタイプをテキストブロックに追加するには、ブロックを右クリックし、[メタデータからのテキスト]サブメニュー（左）から選択します。メタデータアイテムの追加が完了したら、ブロックの外側をクリックして、埋め込みテキストを表示します（右）。

テキストツールオプションバー



- ・ **フォントポップアップ**：システムで使用可能なフォントのリストを表示します。使用するフォントをクリックして選択します。
- ・ **サイズポップアップ**：ブロック（または選択したテキスト）のフォントサイズを設定します。
- ・ **色**：選択したテキストまたはブロックの色を選択できます。
- ・ **スタイル**：選択したテキストまたはブロックに太字、斜体、または下線のスタイルを適用できます。
- ・ **配置**：選択したテキストを左揃えまたは中央揃えに設定します。
- ・ **テキストオプション**：行と文字の間隔、背景の色の塗りつぶし、テキストと背景の両方の個別の不透明度コントロールなど、テキストブロックの追加オプション（右）。
- ・ **削除**：現在選択されているテキストブロックを削除します。
- ・ **追加**：新しいテキストブロックを追加します。



[テキストオプション]メニューには、行と文字の間隔、背景色、テキストと背景の不透明度の設定が含まれています。

注：テキストツールを使用してテキストベースの透かしを写真に追加できますが、Photo RAWのエクスポート機能では、エクスポートした写真にグラフィックの透かしを適用することもできます。 [詳細については<OV>](#)、ページの「エクスポート」。

調整ブラシ (ローカルグループ)



[ローカル調整]タブ内で機能する調整ブラシは、サイズ、ぼかし、不透明度を調整できる標準のブラシツールのように機能します。ツールオプションバーの[モード]ポップアップで調整をペイントしたり、バーやキーボードのブラケットキーでブラシのサイズとぼかしを調整したりできます。調整ブラシは、[ツールオプション]バーの右側にあるアイコンで表される[パーフェクトブラシ]オプションと併用すると特に強力です。

[パーフェクトブラシ]オプションには、カラーベースのセルフマスキングテクノロジーが組み込まれており、正確な選択とマスクを作成できます。[パーフェクトブラシ]オプションをオンにすると、調整ブラシはブラシの中心の下の色を収集し、それらの色にのみ効果を適用します。これにより、エッジ全体に調整が適用されなくなります。パーフェクトブラシの素晴らしい使用例は、画像の空を暗くしたいが、地平線上の山のグループを暗くしたくない場合です。

[しきい値]スライダーを使用すると、作業中の領域に基づいて、キーカラーとドロップカラーのバランスを制御できます。たとえば、パーフェクトブラシを非常に正確に、非常に似た色のみを塗りつぶしたい場合や、同じ近所の広範囲の色を塗りつぶしたい場合があります。

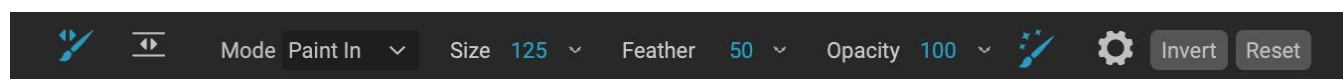
トランジションスライダーは、色に基づいてパーフェクトブラシのぼかしを制御します。ソフトエッジを作成するには、トランジションを増やします。より硬いエッジを作成するには、トランジションを減らす必要があります。



完璧なブラシオプション。

ヒント: Command-Rキーボードショートカット (WindowsControl-R) を使用して、パーフェクトブラシのオンとオフを切り替えることができます。Controlキー (Windows) またはCommandキー (Mac) を押して、削除する色を一時的にロックすることもできます。これは、木の枝のような開口部の多い領域をブラッシングするときに便利です。

調整ブラシツールオプション



- **ペイントモード:** ペイントモードは、ペイントアウト (エフェクトを非表示) にするか、ペイントイン (エフェクトを復元する) かを制御します。ブラシの中央にあるプラスまたはマイナスのアイコンを見ることで、現在のモードを確認できます。アイコンがマイナスの場合は塗りつぶし、アイコンがプラスの場合は塗りつぶしになります。ツールオプションバーでモードを変更するか、Xキーを押すか、Optionキー (Mac) またはAlt (Windows) キーを一時的に押します。
- **ブラシサイズ:** [サイズ]ポップアップを使用して、ブラシのサイズを制御できます。正確な作業には小さなブラシを高倍率で使用し、一般的な作業には画面にフィットする大きなブラシを使用します。ブラシのサイズはいくつかの方法で制御できます。
 - ツールオプションバーの[サイズ]ポップアップを使用します。
 - 左右の括弧キーを使用します: '[' および ']'。
 - マウスのスクロールホイールを使用します (このオプションは、ON1 Photo RAW 2020の[

設定]ウィンドウで設定できます)。

- Wacom感圧タブレットを使用してください。
- **ぼかし**：ツールオプションバーの[ぼかし]ポップアップを使用して、ブラシのぼかし（または硬さ）の量を制御します。羽の範囲は1～100％です。高倍率で小さな羽根を使用して、正確で硬いエッジの作業を行い、一般的な作業では、画面に合わせるモードで大きな柔らかいエッジのブラシを使用します。ブラシツールの外側の同心円を見ると、羽を視覚的に確認できます。フェザーポップアップに加えて、Shiftキーを押しながらキーボードの右または左ブラケットキーを押すと、フェザーのサイズを調整できます。
- **不透明度**：ツールオプションバーの[不透明度]ポップアップで、ブラシの不透明度または強度を制御できます。不透明度の範囲は1～100％です。高い不透明度を使用して、すばやくペイントし、大きな領域を非表示にします。領域を一緒にブレンドしたり、微妙な作業を行う場合は、低い不透明度を使用します。ブラシのサイズはいくつかの方法で制御できます。
 - ツールオプションバーの不透明度ポップアップを使用します。
 - キーボードのOption (Mac) またはAlt (Windows) キーを押して、数字キーの1つを押します。各数値は、10％ (1) ～90％ (9) の不透明度の割合を表します。0は不透明度を表しません。
 - Wacom 感圧タブレットを使用してください。

ヒント：不透明度は、マスクにペイントするグレーの陰影と考えてください。マスク内の白はエフェクト表示の100％を表し、黒はエフェクト表示なしを表しますが、その間のすべての不透明度設定はエフェクトの割合を示します。これは、マスクを現実的な方法でブレンドする場合に非常に便利です。

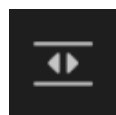
- **パーフェクトブラシ**：パーフェクトブラシオプションには、カラーベースのセルフマスキングテクノロジーが組み込まれており、正確な選択とマスクを作成できます。ツールオプションバーの[パーフェクトブラシ]アイコンをクリックしてオプションをオンにすると、マスキングブラシはブラシの中央の下の色を収集し、それらの色にのみ効果を適用します。これにより、調整が木の枝などのエッジに適用されないようにします。
パーフェクトブラシの詳細設定は、ツールオプションバーの歯車アイコンをクリックして見つけることができます。そこで、次のオプションを設定できます。
 - **色のしきい値**：このオプションを使用すると、作業中の領域に基づいて、保持する色とドロップする色のバランスを制御できます。たとえば、パーフェクトブラシを非常に正確に、非常に似た色だけを塗りつぶしたい場合もあれば、同じ近所の広範囲の色を塗りつぶしたい場合もあります。
 - **Transition**：このスライダーは、色に基づいてPerfect Brushのぼかしの量を制御します。ソフトエッジを作成するには、トランジションを増やします。より硬いエッジを作成するには、遷移量を減らします。

Wacomサポート

ON1 Photo は、調整ブラシを備えたWacom 感圧タブレットをサポートしています。マスキングブラシを使用すると、ブラシサイズ、ブラシの不透明度、またはその両方の感圧コントロールを同時に有効にできます。このサポートを有効にするには、ツールオプションバーの歯車アイコンをクリックします。ドロップダウンメニューの適切なボタンをクリックして、サイズと不透明度の両方の圧力感度を有効にできます。

ON1 Photo RAW 2020でのローカル調整の使用に関する詳細情報は、[ページ129](#)。

調整可能なグラデーションツール（ローカルグループ）

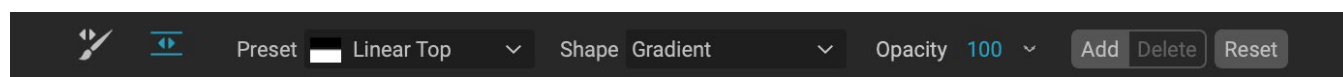


グラデーション調整ツールはマスキングバグに非常に似ていますが、[ローカル調整]タブ内でのみ使用します。画像の一部に線形または放射状のグラデーションマスクを作成できます。グラデーションマスクは、暗い色から明るい色へと変化し、グラデーションが明るい場合はより多くの調整を適用し、グラデーションのトーンが暗い場合はより少ない調整を適用します。グラデーションマスクの最も一般的な使用法は、カメラレンズでグラデーションフィルターを使用するのと同様に、前景の明るさを維持しながら、画像の空を暗くすることです。

ローカル調整に標準のグラデーションを適用するには、ツールをクリックしてから、おおよその効果が必要な画像をクリックします。バグと呼ばれるグラデーションのアウトラインが表示されます。バグのハンドルを使用して、グラデーションを移動したり、グラデーションの長さを増減したり、回転したりできます。

ツールオプションバーを使用してグラデーションの形状を変更できます。標準的な暗から明までの水平グラデーションに加えて、円形グラデーションと反射グラデーションを作成できます。効果）中央の外側の端を白（完全な効果）にします。

調整可能なグラデーションツールオプションバー：



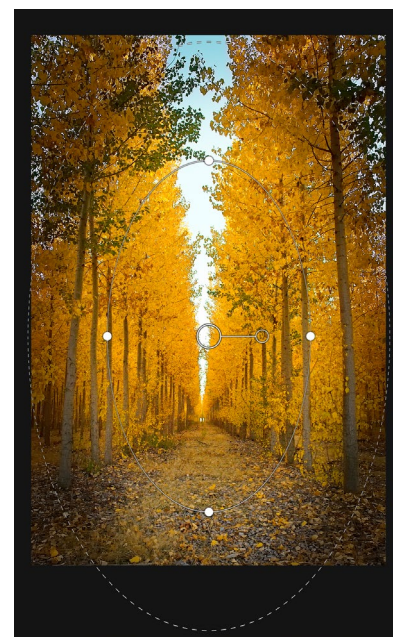
- **プリセット**：プリセットポップアップには、グラデーション調整ツール（上下、上下、円形のビネット）を使用する一般的な方法がいくつか含まれており、現在のバグ（存在する場合）をプリセットに合わせて変更します。
- **形状**：形状ポップアップは、バグの形状を制御します。標準のグラデーションと反射グラデーションに加えて、中心に明るいトーンを配置し、マスクの外側に暗いトーンを配置するCenterと、反対方向にグラデーションを設定するEdgesの2つの放射状の形状があります。
- **不透明度**：マスクの最大不透明度または密度を設定します。
- **追加**：現在の設定を使用して新しいグラデーションを追加します。
- **削除**：現在のグラデーションを削除します。
- **リセット**：レイヤー上のマスクを完全にリセットします。これにより、すべてのグラデーションが削除され、行われたブラッシングがクリアされます。

グラデーションマスクの操作

画像にグラデーションを追加したら、グラデーションオーバーレイの一部にアクセスして変更できます。

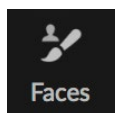
- ・ グラデーションを移動するには、グラデーションの中心にある大きな円をクリックしてドラッグします。
- ・ 放射状グラデーションのサイズを変更するには、実線をクリックしてドラッグします。
- ・ マスクのぼかし（硬さ）を調整するには、破線をクリックしてドラッグします。
- ・ マスクを回転するには、グラデーションの中心付近にある小さな円をクリックしてドラッグします。

詳細情報 ON1 Photo RAW 2020でローカル調整を使用する方法については、[ページ から始まり ます129。](#)



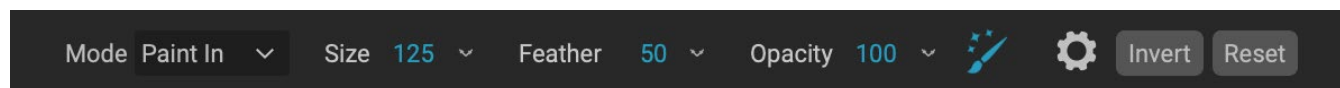
エッジグラデーションシェイプを使用すると、カスタマイズ可能な調整可能なビネットなどのマスクング効果を作成できます。

ポートレート（顔）ツール



[顔]アイコンをクリックすると、[ポートレート]タブが開き、写真で顔を検索します。見つかった顔は、個別のペインとしてタブに追加されます。面が選択されると、ツールはマスクングブラシと同様の方法で機能します（以下を参照）。顔のマスク（ポートレートの場合は肌）を塗りつぶします。Portraitの使用に関する詳細は、[ページ から始まり ます124。](#)

ポートレートツールのオプション



- ・ **ペイントモード**：ペイントモードは、ペイントする（スキンではない領域を削除する）か、ペイントする（スキンの領域を追加する）かを制御します。ブラシの中央にあるプラスまたはマイナスのアイコンを見ることで、現在のモードを確認できます。アイコンがマイナスの場合、塗りつぶしになり、アイコンがプラスの場合、塗りつぶしになります。ツールオプションバーでモードを変更するか、Xキーを押すか、オプション（alt）キーを一時的に。
- ・ **ブラシサイズ**：[サイズ]ポップアップを使用して、ブラシのサイズを制御できます。正確な作業には小さなブラシを高倍率で使用し、一般的な作業には画面にフィットする大きなブラシを使用します。ブラシのサイズはいくつかの方法で制御できます。
 - ・ ツールオプションバーの[サイズ]ポップアップを使用します。
 - ・ 左右の括弧キーを使用します：'['および'] '。
 - ・ マウスのスクロールホイールを使用します（このオプションは、ON1 Photo RAW 2020の[設定]ウィンドウで設定できます）。
 - ・ Wacom感圧タブレットを使用してください。
- ・ **ぼかし**：ツールオプションバーの[ぼかし]ポップアップを使用して、ブラシのぼかし（または硬さ）の量を制御します。羽の範囲は1~100%です。高倍率で小さな羽根を使用して、正確で硬いエッジの作業を行い、一般的な作業では、画面に合わせるモードで大きな柔らかいエッジのブラシを使用します。ブラシツールの外側の同心円を見ると、羽を視覚的に確認できます。フェザーポップアップに加えて、Shiftキーを押しながらキーボードの右または左ブラケットキーを押すと、フェザーのサイズ

を調整できます。

- **不透明度**：ツールオプションバーの[不透明度]ポップアップで、ブラシの不透明度または強度を制御できます。不透明度の範囲は1～100％です。高い不透明度を使用して、すばやくペイントし、大きな領域を非表示にします。領域と一緒にブレンドしたり、微妙な作業を行う場合は、低い不透明度を使用します。ブラシのサイズはいくつかの方法で制御できます。
 - ツールオプションバーの不透明度ポップアップを使用します。
 - キーボードのオプション (MacOS) またはalt (Windows) キーを押し、いずれかの数字キーを押します。各数値は、10％ (1) ～90％ (9) の不透明度の割合を表します。0は不透明度を表しません。
 - Wacom 感圧タブレットを使用してください。

ヒント：不透明度は、マスクにペイントするグレーの陰影と考えてください。マスク内の白はエフェクト表示の100％を表し、黒はエフェクト表示なしを表しますが、その間のすべての不透明度設定はエフェクトの割合を示します。これは、マスクを現実的な方法でブレンドする場合に非常に便利です。

- **パーフェクトブラシ**：パーフェクトブラシオプションには、カラーベースのセルフマスキングテクノロジーが組み込まれており、正確な選択とマスクを作成できます。ツールオプションバーの[パーフェクトブラシ]アイコンをクリックして[パーフェクトブラシ]オプションをオンにすると、ポートレートツールはブラシの中央の下の色を収集し、それらの色にのみエフェクトを適用します。これにより、調整が木の枝などのエッジに適用されないようにします。
完璧なブラシの設定は、ツールオプションバーの歯車アイコンをクリックすることで確認できます。そこで、次のオプションを設定できます。



完璧なブラシオプション。

- **色のしきい値**：このオプションを使用すると、作業中の領域に基づいて、保持する色とドロップする色のバランスを制御できます。たとえば、パーフェクトブラシを非常に正確に、非常に似た色だけを塗りつぶしたい場合もあれば、同じ近所の広範囲の色を塗りつぶしたい場合もあります。
- **Transition**：このスライダーは、色に基づいてPerfect Brushのぼかしを制御します。ソフトエッジを作成するには、トランジションを増やします。より硬いエッジを作成するには、遷移量を減らします。

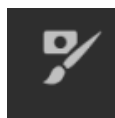
ヒント：Command-R (MacOS) またはControl-R (Windows) キーボードショートカットを使用して、パーフェクトブラシのオンとオフを切り替えることができます。Command (Mac) またはControl (Windows) キーを押して、削除する色を一時的にロックすることもできます。これは、木の枝のような開口部の多い領域をブラッシングするときに便利です。

Wacomサポート

ON1 Photo は、ポートレートツールを使用してWacom感圧タブレットをサポートしています。このツールを使用

すると、ブラシサイズ、ブラシの不透明度、またはその両方の筆圧感知コントロールを同時に有効にできます。このサポートを有効にするには、ツールオプションバーの歯車アイコンをクリックします。ドロップダウンメニューの適切なボタンをクリックして、サイズと不透明度の両方の圧力感度を有効にできます。

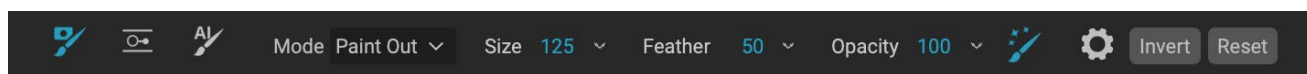
マスキングブラシ (マスクグループ)



マスキングブラシは、レイヤーマスクと同様に、エフェクトのフィルターをマスクするために使用される2つのツールの1つです。マスキングブラシを選択すると、カーソルが2つの同心円のように変わります。1つはブラシの内側のハードエッジを表し、もう1つはブラシの外側の柔らかいエッジを表します。ブラシの中央にはプラスまたはマイナスがあります。プラスは、フィルターの効果をペイントすることを意味し、マイナスは、ブラシモードがペイントアウトに設定されていることを意味し

ます。

マスキングブラシツールオプション



- ・ **ペイントモード**：ペイントモードは、ペイントアウト（エフェクトを非表示）にするか、ペイントイン（エフェクトを復元する）かを制御します。ブラシの中央にあるプラスまたはマイナスのアイコンを見ることで、現在のモードを確認できます。アイコンがマイナスの場合、塗りつぶしになります、アイコンがプラスの場合、塗りつぶしになります。ツールオプションバーでモードを変更するか、Xキーを押すか、オプション (alt) キーを一時的に。

注：マスクを反転する（黒から白に変える）場合は、フィルター効果を画像にペイントするために、マスキングブラシツールを選択し、[マスク]メニューから[マスクの反転]を選択します。

- ・ **ブラシサイズ**：[サイズ]ポップアップを使用して、ブラシのサイズを制御できます。正確な作業には小さなブラシを高倍率で使用し、一般的な作業には画面にフィットする大きなブラシを使用します。ブラシのサイズはいくつかの方法で制御できます。
 - ・ ツールオプションバーの[サイズ]ポップアップを使用します。
 - ・ 左右の括弧キーを使用します：'['および'] '。
 - ・ マウスのスクロールホイールを使用します（このオプションは、ON1 Photo RAW 2020の[設定]ウィンドウで設定できます）。
 - ・ Wacom感圧タブレットを使用してください。
- ・ **ぼかし**：ツールオプションバーの[ぼかし]ポップアップを使用して、ブラシのぼかし（または硬さ）の量を制御します。羽の範囲は1~100%です。高倍率で小さな羽根を使用して、正確で硬いエッジの作業を行い、一般的な作業では、画面に合わせるモードで大きな柔らかいエッジのブラシを使用します。ブラシツールの外側の同心円を見ると、羽を視覚的に確認できます。フェザーポップアップに加えて、Shiftキーを押しながらキーボードの右または左ブラケットキーを押すと、フェザーのサイズを調整できます。
- ・ **不透明度**：ツールオプションバーの[不透明度]ポップアップで、ブラシの不透明度または強度を制御できます。不透明度の範囲は1~100%です。高い不透明度を使用して、すばやくペイントし、大きな領域を非表示にします。領域を一緒にブレンドしたり、微妙な作業を行う場合は、低い不透明度

を使用します。ブラシのサイズはいくつかの方法で制御できます。

- ツールオプションバーの不透明度ポップアップを使用します。
- キーボードのオプション (MacOS) またはalt (Windows) キーを押し、いずれかの数字キーを押します。各数値は、10% (1) ~90% (9) の不透明度の割合を表します。0は不透明度を表しません。
- Wacom 感圧タブレットを使用してください。

ヒント: 不透明度は、マスクにペイントするグレーの陰影と考えてください。マスク内の白はエフェクト表示の100%を表し、黒はエフェクト表示なしを表しますが、その間のすべての不透明度設定はエフェクトの割合を示します。これは、マスクを現実的な方法でブレンドする場合に非常に便利です。

- **パーフェクトブラシ:** パーフェクトブラシオプションには、カラーベースのセルフマスキングテクノロジーが組み込まれており、正確な選択とマスクを作成できます。ツールオプションバーの[パーフェクトブラシ]アイコンをクリックして[パーフェクトブラシ]オプションをオンにすると、マスキングブラシはブラシの中央の下の色を収集し、それらの色にのみエフェクトを適用します。これにより、調整が木の枝などのエッジに適用されないようにします。パーフェクトブラシの詳細設定は、ツールオプションバーの歯車アイコンをクリックして見つけることができます。そこで、次のオプションを設定できます。



完璧なブラシオプション。

- **色のしきい値:** このオプションを使用すると、作業中の領域に基づいて、保持する色とドロップする色のバランスを制御できます。たとえば、パーフェクトブラシを非常に正確に、非常に似た色だけを塗りつぶしたい場合もあれば、同じ近所の広範囲の色を塗りつぶしたい場合もあります。
- **トランジション:** このスライダは、色に基づいてパーフェクトブラシの羽を制御します。ソフトエッジを作成するには、トランジションを増やします。より硬いエッジを作成するには、遷移量を減らします。

ヒント: Command-R (MacOS) またはControl-R (Windows) キーボードショートカットを使用して、パーフェクトブラシのオンとオフを切り替えることができます。Command (Mac) またはControl (Windows) キーを押して、削除する色を一時的にロックすることもできます。これは、木の枝のような開口部の多い領域をブラッシングするとき便利です。

Wacomサポート

ON1 Photo は、Wacom感圧タブレットとマスキングブラシをサポートしています。マスキングブラシを使用すると、ブラシサイズ、ブラシの不透明度、またはその両方の感圧コントロールを同時に有効にできます。このサポートを有効にするには、ツールオプションバーの歯車アイコンをクリックします。ドロップダウンメニューの適切なボタ

ンをクリックすることにより、サイザーと不透明度の両方の筆圧をアクティブにできます。

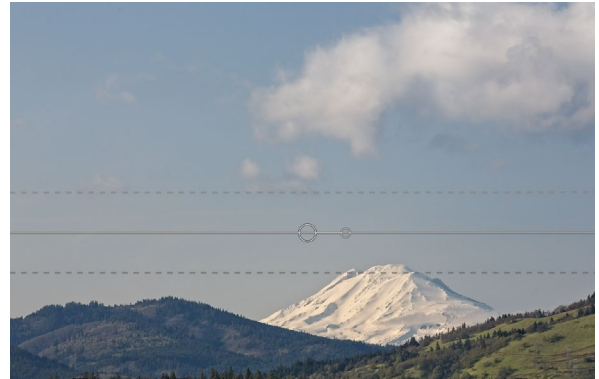
マスキングバグ (マスクグループ)



マスキングバグは、放射状、グラデーション、および反射グラデーションのマスクシェイプをすばやく作成することにより、レイヤーをブレンドするために使用されます。[ローカル調整]ペインの[調整可能なグラデーション]ツールと同様に機能します。マスクはトーンが暗から明に変化し、グラデーションがより明るい場合はより多くの調整を適用し、グラデーションのトーンがより暗い場合はより少ない調整を適用します。グラデーションマスクの最も一般的な使用法は、カメラレンズでグラデーションフィルターを使用するのと同様に、前景の明るさを維持しながら、画像の空を暗くすることです。

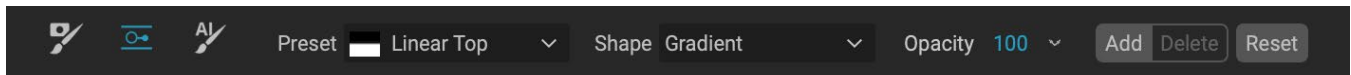
標準のグラデーションをフィルターに適用するには、ツールウェルのマスキングバグをクリックしてから、おおよそグラデーションを希望する画像をクリックします。バグと呼ばれるグラデーションのアウトラインが表示されます。バグのハンドルを使用して、グラデーションを移動したり、グラデーションの長さを増減したり、回転したりできます。

ツールオプションバーを使用してグラデーションの形状を変更できます。標準的な暗から明までの水平グラデーションに加えて、円形グラデーションと反射グラデーションを作成できます。効果) 中央の外側の端を白 (完全な効果) にします。



この画像では、効果にダイナミックコントラストフィルターが適用されています。雲の影響を防ぐために、マスキングバグが追加されました。

マスキングバグツールのオプションバー:

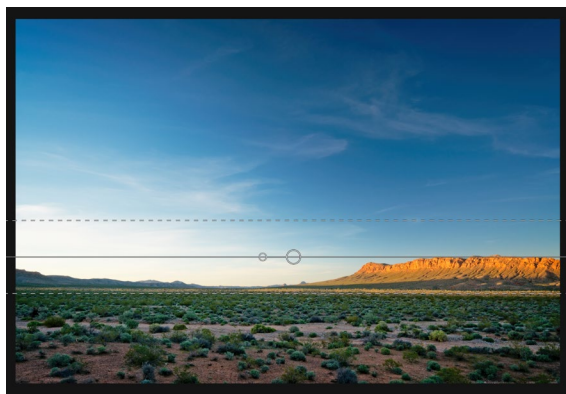


- **プリセット**: プリセットポップアップには、ツールを使用する一般的な方法 (線形トップダウン、線形ボトムアップ、左右、円形ビネット) が含まれ、現在のバグ (存在する場合) をプリセットに合わせて変更します。
- **形状**: 形状ポップアップは、バグの形状を制御します。標準のグラデーションと反射グラデーションに加えて、中心に明るいトーンを配置し、マスクの外側に暗いトーンを配置するCenterと、反対方向にグラデーションを設定するEdgesの2つの放射状の形状があります。
- **不透明度**: マスクの最大不透明度または密度を設定します。
- **追加**: 現在の設定を使用して新しいグラデーションを追加します。
- **削除**: 現在のグラデーションを削除します。
- **リセット**: レイヤー上のマスクを完全にリセットします。これにより、すべてのグラデーションが削除され、行われたブラッシングがクリアされます。

グラデーションマスクの操作

画像にグラデーションを追加したら、グラデーションオーバーレイの次の部分にアクセスして簡単に変更できます。

- ・ グラデーションを移動するには、グラデーションの中心にある大きな円をクリックしてドラッグします。
- ・ 放射状グラデーションのサイズを変更するには、実線をクリックしてドラッグします。
- ・ マスクのぼかし（または硬さ）を調整するには、破線をクリックしてドラッグします。
- ・ マスクを回転するには、グラデーションの中心付近にある小さな円をクリックしてドラッグします。



ヒント: マスキングバグによって作成されたマスク、および黒から白の色調の範囲を表示するには、[表示]メニューから[マスクを表示]を選択します。画像の上にマスクを表示する赤のオーバーレイ、または黒から白のトーンとしてマスクを表示するグレースケールのいずれかを選択できます。

複数のマスキングバグの処理

レイヤーごとに最大6つのマスキングバグを作成できます。usi Photo RAW をスタンドアロンアプリとして使用するか、Photoshop 内からスマートフィルターオプションを使用する場合（詳細については、「ON1 Photo RAW 2019とAdobe Photoshop」を参照してください）。

別のマスキングバグを追加するには、マスキングバグツールが選択されている状態で、[追加]ボタンを押すか、現在のバグの外側をクリックします。

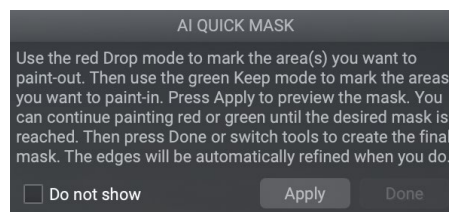
一度に調整できるマスキングバグは1つだけです。マウスがプレビュー領域にある間、アクティブなバグのオーバーレイコントロールが表示されます。非アクティブなバグには小さな丸が付いています。この小さな丸いマーカーをクリックして、非アクティブなバグを選択します。

マスキングバグは減法です。各バグは、現在のレイヤーをますます隠しています。マスキングバグが互いに重なり合っている場合、それらはレイヤーの多くを隠すこともあります。いつでもマスキングブラシを使用して、マスキングバグによって隠された領域を上書きおよびペイントできます。

AIクイックマスクツール（マスクグループ）



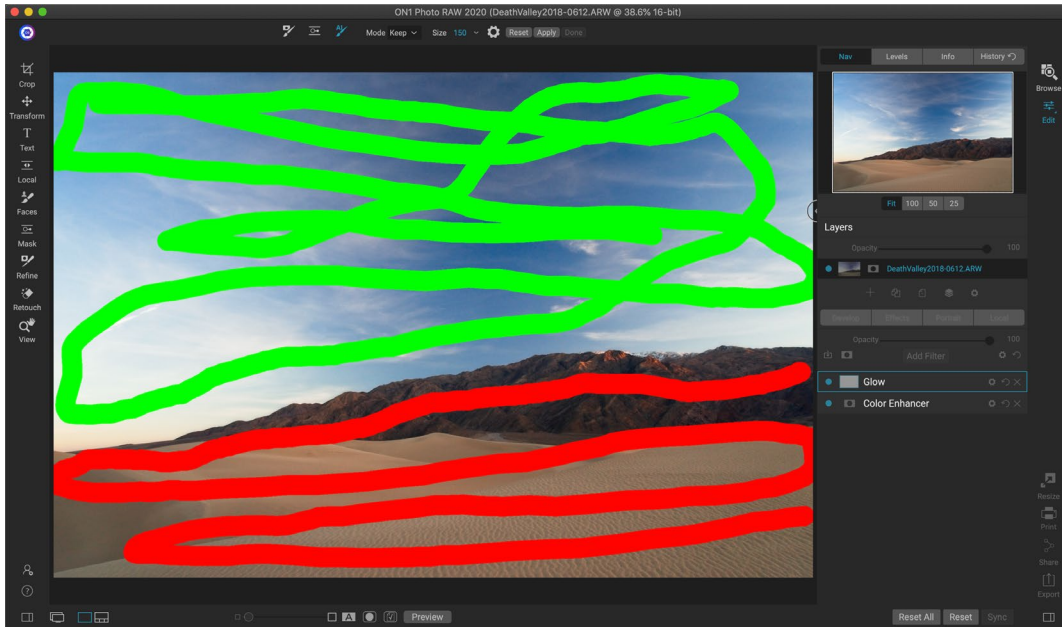
機械学習を活用した新しいAIクイックマスクツールは、ほんの数ストロークでガイダンスとして高品質のマスクを作成できます。使用するには、保持したい領域を緑で、ドロップしたい領域を赤でマークするだけです。次に、人工知能を使用して、マークされた領域の色、トーン、テクスチャを分析して、何を作りたいかを学習し、エッジを自動的に見つけて、マスクを作成します。レイヤーを使用して空を置き換えたり、フィルターを使用して選択的にすばやく適用したりできます。



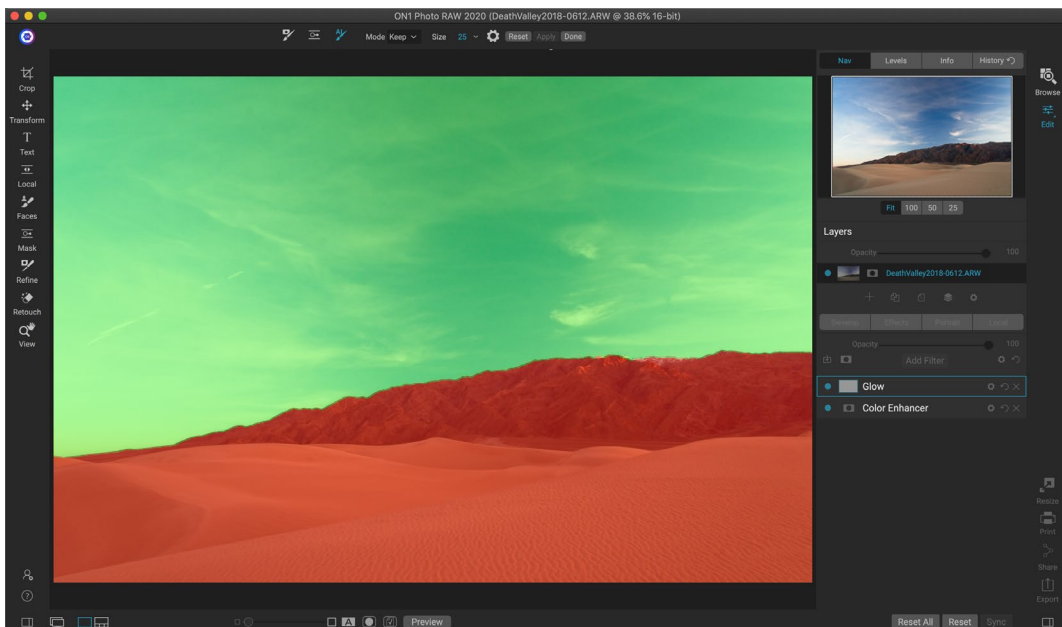
AIクイックマスクツールを初めて開くと、ツールの使用方法が記載されたHUDと呼ばれるウィンドウが表示されます。

AIクイックマスクツールを使用するために従う必要がある手順は次のとおりです。

1. まず、何を保持してドロップするかについて、ツールのガイダンスを提供する必要があります。これは、写真内の領域をゆるくペイントすることにより行われます。写真全体を正確にペイントする必要はありません。必要なのは、赤と緑の代表的なストロークだけです。削除する画像の部分にドロップモード（デフォルトのブラッシングモード）でペイントします。これらのブラシストロークは赤で表示されます。次に、ツールのモードを[保持]に変更し（[ツールオプション]バーを使用するか、Option / Altキーを押しながら）、保持する領域にペイントします。これらのストロークは緑色で表示されます。



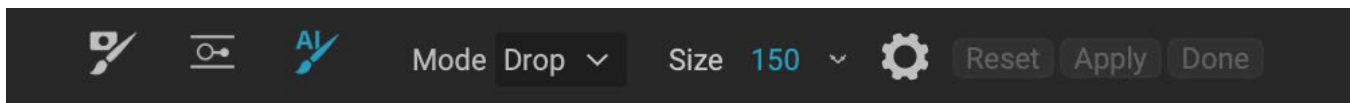
2. 次に、ツールオプションバーまたはAIクイックマスクHUDの[適用]ボタンを押します。これにより、結果をプレビューするための一時的なマスクが生成されます。赤で塗りつぶされた領域はマスクされ、緑の領域は残ります。この時点でエッジは粗く表示され、最終マスクを生成すると滑らかになります。



3. プレビュー結果が良好に見える場合は、ツールオプションバーの[完了]ボタンまたはAIクイックマスクHUDを押します。間違った領域がある場合は、キープとドロップのストロークを追加して、結果を改善し続けることができます。毎回[適用]を押して、改善された結果をプレビューします。[完了]を押すと、エッジが高精度でON1 Photo RAW され、ON1 Photo RAW はマスクの ON1 Photo RAW ツールに切り替わります。このツールは、必要に応じて、木の枝のような難しい半透明の領域で使用できます。

注: AIクイックマスクツールは、レイヤーまたはフィルター上の既存のマスクをリセットします。

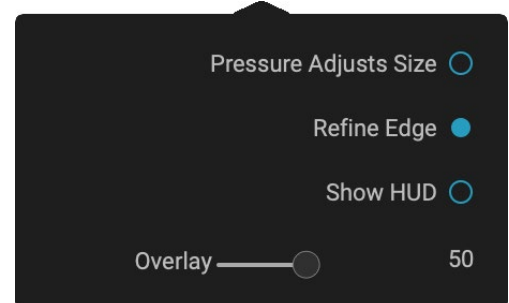
AIクイックマスクツールのオプションバー



- **モード:** これは、維持 (緑のペイント) またはドロップ (赤のペイント) を制御します。緑の領域はマスク内で保護され、レイヤーまたはフィルターの残りの領域です。赤でマークされた領域は削除またはマスクされます。レイヤーでは、これらの領域は透明になります。効果のフィルターでは、これらの領域からフィルターの効果が削除されます。
AIクイックマスクブラシの中央にあるプラスまたはマイナスのアイコンを見ることで、現在のモードを確認できます。アイコンがマイナスの場合、ドロップ (赤) 領域をペイントしています。アイコンがプラスの場合、キープ (緑色) 領域をペイントしています。ツールオプションバーでモードを変更するか、Shift-Xキーを押すか、Option (Alt) キーを一時的に押します。
- **ブラシサイズ:** [サイズ]ポップアップを使用して、ブラシのサイズを制御できます。正確な作業には小さなブラシを高倍率で使用し、一般的な作業には画面にフィットする大きなブラシを使用します。ブラシのサイズはいくつかの方法で制御できます。
 - ツールオプションバーの[サイズ]ポップアップを使用します。
 - 左右の括弧キーを使用します: '['および']'。
 - マウスのスクロールホイールを使用します (このオプションは、Photo RAW のPreferences で設定できます)。
 - Wacom感圧タブレットを使用してください。

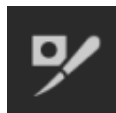
AIクイックマスクツールのその他の設定は、ツールオプションバーの歯車アイコンをクリックして見つけることができます。そこで、次のオプションを設定できます (右図)。

- **圧力調整サイズ:** このオプションを使用すると、感圧タブレットを使用してブラシのサイズを制御できます。強く押すほど、ブラシはサイズスライダーの現在の設定まで大きくなります。
- **エッジの調整:** これにより、結果のマスクのエッジにマスクブラシの調整が自動的に適用され、より自然なトランジションが作成されます。これはデフォルトでオンになっており、ほとんどの写真に推奨されます。
- **HUDの表示:** AIクイックマスクHUDダイアログ (ページに表示 75) が表示され、ツールの使用方法に関するガイダンスが提供されます。



- ・ **オーバーレイ**: 画像の上にある赤と緑のマスクオーバーレイの透明度を設定します。100に設定すると、マスクのみが表示されます。デフォルト設定は50です。

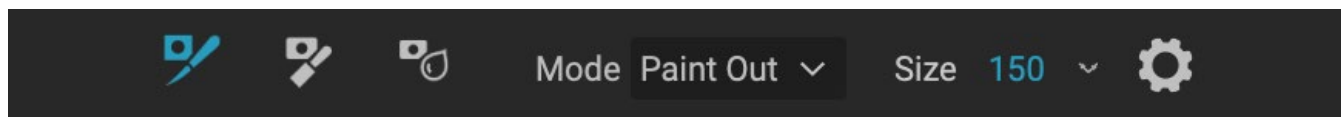
ブラシの調整 (グループの調整)



このツールは、複雑な領域とマスクに沿った境界をクリーンアップし、マスキングブラシで作成されたマスクをクリーンアップするのに役立ちます。たとえば、被写体に効果を適用したいときに、マスキングブラシでは削除しにくい髪の毛や木の枝などの領域がある場合。

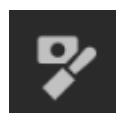
ブラシの調整を使用するには、オプションバーでツールを選択し、マスクを調整するエッジに沿ってペイントします。ブラシストロークは赤いオーバーレイとして表示されます。マウスボタンを離すと、Photo RAW はマスクのエッジをより明確にし、マスク全体を改善します。

ブラシツールオプションの調整



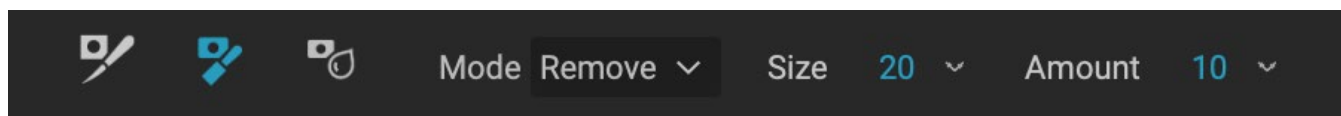
- ・ **モード**: 絞り込みモードを制御します。マスクから削除するために常に調整するペイントアウト、マスクに追加するために常に調整するペイントイン、または両方を同時に行う自動のいずれかです。ほとんどの場合、ペイントアウトが推奨されます。
- ・ **サイズ**: このスライダーは、ブラシのサイズを調整します。被写体と背景の交点よりもちょうど大きいブラシサイズを選択します。大きすぎるブラシを使用しないでください。処理に時間がかかり、品質が低下する可能性があります。
- ・ **圧力調整サイズ (歯車アイコン)**: Wacomタブレットをお持ちの場合、この設定をオンにすると、圧力でブラシのサイズを制御できます。

チゼルマスクツール (精製グループ)



絞り込みツールオプションからアクセスできるChiselツールは、マスクのハードエッジに沿ったフリンジまたはハローを削除するために機能します。調整したいマスクの端をクリックしてドラッグするだけです。除去される背景が前景よりも明るい場合、フリンジがよく見られます。ノミは、木工店のノミまたは飛行機のように機能します。エッジに沿ってスライバーだけを削除します。エッジでのみ機能するため、使用する際に注意する必要はありません。

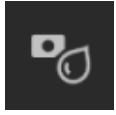
チゼルマスクツールオプション



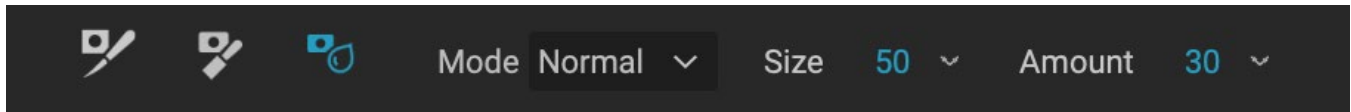
- ・ **モード**: 削除または追加を選択します
- ・ **サイズ**: ノミツールのサイズを調整します。ブラッシングを速くするために、大きなノミを使用してください。ノミのサイズは、削られる量に影響しません。
- ・ **量**: 各ストローク中に削除または追加されるピクセルの量を制御します。

ヒント: チゼルツールアイコンをダブルクリックして、チゼルをマスク全体に適用します。

ぼかしマスクツール (リファイングループ)



ぼかしマスクツールは、ペイントするマスクのエッジを柔らかくします。必要なのは、ぼかしたいエッジ上でツールを実行することだけです。髪の毛のようなぼやけた、または半透明の被写体のエッジを柔らかくすると、よりリアルな方法で新しい背景とブレンドできます。



ぼかしマスクツールオプション

- **モード** : 削除/追加/標準では、マスクエッジのどの部分をぼかすかを調整できます。ぼかしを削除してマスクを明るくし、ぼかしを追加してマスクを暗くし、標準は明るい部分と暗い部分の両方をぼかします。
- **サイズ** : ぼかしツールのサイズを調整します。ブラッシングを高速にするために、大きなサイズを使用してください。ブラシのサイズは、ぼかし量に影響しません。
- **量** : ぼかしの量を制御します。細部を維持するために少量を使用してください。

ヒント: ぼかしツールアイコンをダブルクリックすると、マスク全体にぼかしが適用されます。

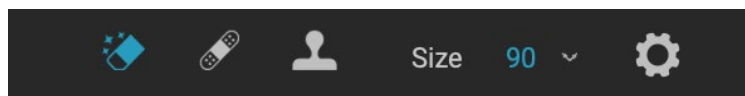
完全消しゴム (修正グループ)



Perfect Eraserを使用すると、画像から気を散らす要素や傷を取り除くことができます。ペイントされた境界内でコンテンツを自然な結果に置き換えるコンテンツ対応アルゴリズムを使用します。

Perfect Eraserの使用は簡単です。削除したい領域にペイントし、領域全体をカバーするようにします。ペイントした場所に赤いオーバーレイが表示されます。最初の試行で完璧な結果が得られない場合は、もう一度塗り直してください。パスごとに改善されます。レタッチブラシを使用して、ツールを適用した後に領域を微調整することもできます(以下を参照)。

完璧な消しゴムオプション



Perfect Eraserのツールオプションバーには2つのオプションがあります。ブラシサイズ、およびWacomタブレットのサポートPerfect Eraserのデフォルトのブラシサイズは125ピクセルです。ツールオプションバーの[ブラシサイズ]をクリックするか、キーボードの左右のブラケットキーを押すと、このサイズを大きくしたり小さくしたりできます。最大のブラシサイズは500ピクセルです。Wacom感圧タブレットを使用している場合は、オプションバーの[圧力調整サイズ]ボタンを選択します。

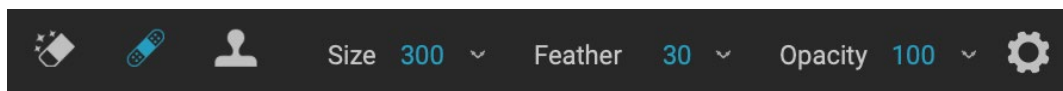
レタッチブラシ (修正グループ)



レタッチブラシを使用して、ほこりや傷などの小さな欠陥を取り除きます。にきび、センサーのほこり、送電線など、斑点やその他の欠陥を含む領域をブラシで軽くたたきだけです。このツールは、画像内の隣接する領域を調べ、ブラシをかけた領域を同様の色とテクスチャの領域で塗りつぶします。

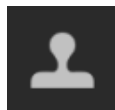
できるだけ小さなブラシサイズを使用し、大きなブラシストロークを作成するのではなく、軽くたたいて作業することをお勧めします。レタッチブラシを軽くたたいて結果が気に入らない場合は、[元に戻す]コマンドを使用して小さなブラシを使用するか、ブラシストロークを変えてもう一度やり直してください。レタッチブラシは、肌のレタッチにも最適です。

レタッチブラシオプション



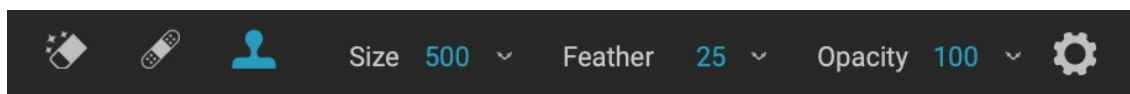
- **ブラシサイズ**：ブラシの全体的なサイズを調整します。
- **ブラシのぼかし**：ブラシの硬さを調整します。50を超えるフェザーを使用して、自然にブレンドして見せるのが最適です。
- **ブラシの不透明度**：レタッチの強さを調整します。不完全さを完全に除去するには、100%を使用します。より低い不透明度を使用して、それらを柔らかくします。
- **圧力調整サイズ**：ボタンをクリックして、Wacom感度コントロールを有効にします。

クローンスタンプ (グループの修正)



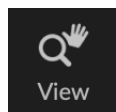
クローンスタンプツールを使用して、写真の領域を別の部分の領域に置き換えます。Option (Mac) または Alt (Windows) を押しながら、クローンを作成する領域をクリックします。次に、複製する領域をクリックしてドラッグすると、選択したポイントから複製されます。

クローンスタンプツールのオプション：



- **ブラシサイズ**：ブラシの全体的なサイズを調整します。
- **ブラシのぼかし**：ブラシの硬さを調整します。50を超えるフェザーを使用して、自然にブレンドして見せるのが最適です。
- **ブラシの不透明度**：レタッチの強さを調整します。不完全さを完全に除去するには、100%を使用します。より低い不透明度を使用して、それらを柔らかくします。
- **圧力調整サイズ**：Wacom感圧タブレットを使用している場合、圧力に応じてブラシのサイズを調整できます。ボタンをクリックしてアクティブにします。

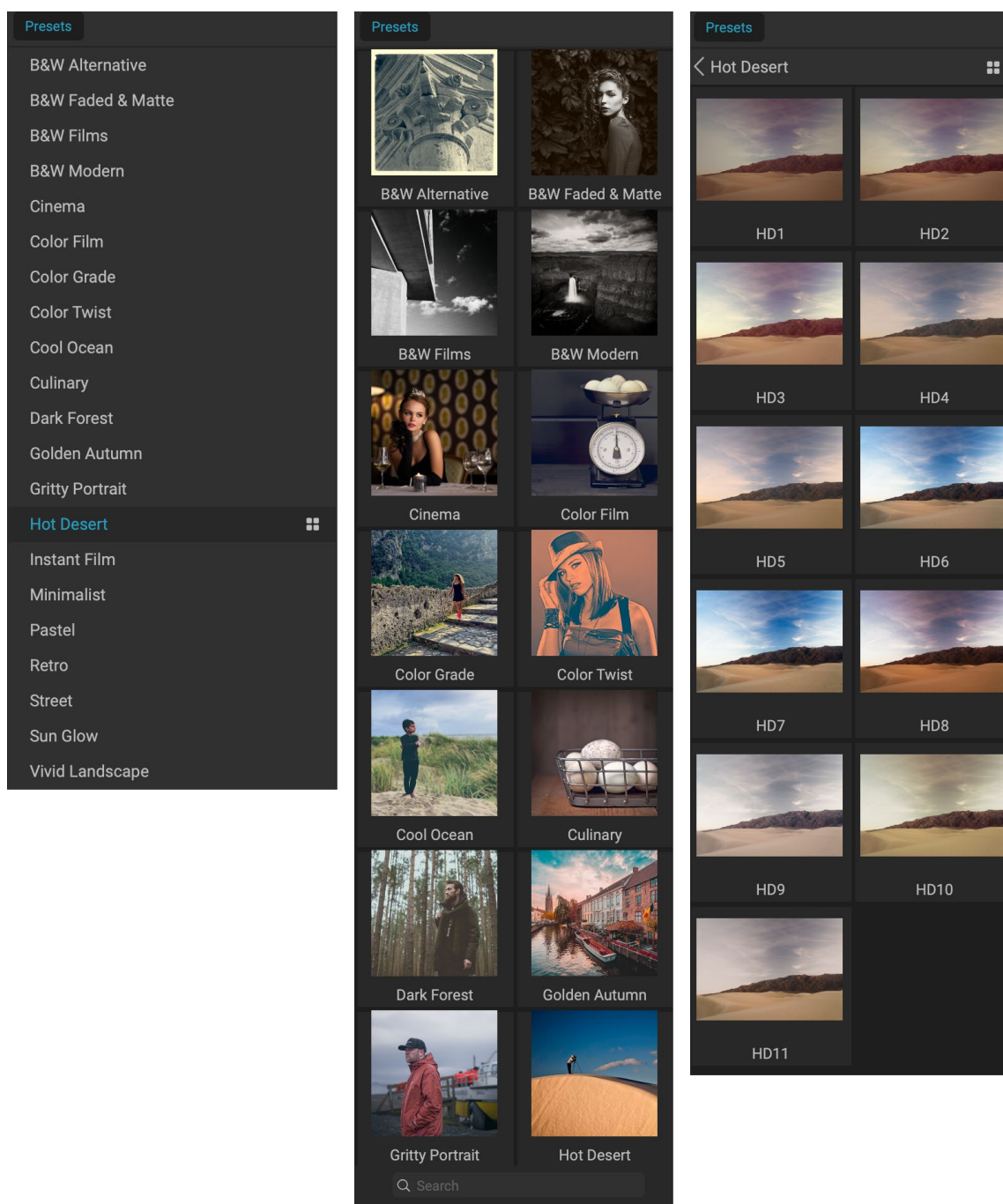
表示（ズーム）ツール



このツールは、編集モジュールで画像を開くときに選択されるデフォルトのツールであり、プレビューウィンドウで画像の倍率を調整します。ズームツールを選択した状態で、プレビューウィンドウをクリックしてズームインし、クリックした場所で画像を中央に配置します。Option / Altキーを押しながら手のひらツールを表示すると、拡大された画像をパンできます。また、ツールウェルのズームツールをダブルクリックして、すべてのピクセルを表示する画像を1:1（または100%）の拡大表示に設定することもできます。これは、細部を調べるときに最適です。

プリセット

プリセットは、編集モジュールの調整セットを含む「レシピ」として保存され、参照または編集で1つまたは100の画像に簡単に適用できます。プリセットは、画像のグループを編集するときに一貫した結果を得るための高速な方法であり、独自の外観を磨くのに役立ちます。独自のプリセットを簡単に作成することもできます。



プリセットパネルの3つの異なるビュー。左側にはリストビューがあり、中央にはサムネイルビューがあります。これらのビューには、プリセットのカテゴリが表示されます。（表示オプションは、[表示]>[プリセットブラウザ]サブメニューで設定できます。）一番右には、さまざまなプリセットを表示する拡張カテゴリがあり、現在の画像のサムネイルがプリセットに適用されています。そこから、現在の画像にプリセットを適用できます。

カテゴリにカーソルを合わせると、クイックビューブラウザーアイコンがカテゴリ名の左側に表示されます（ホットデザートはプリセットカテゴリリストの上部に表示されます）。そのアイコンをクリックすると、フルスクリーンウィンドウが開き、写真が表示されます。そのカテゴリのプリセットが適用されます。（クイックビューブラウザーのスクリーンショットについては、次のページを参照してください。）

Photo RAWでは、独自のカスタムプリセットとカテゴリを作成できます。また、プリセットのサブカテゴリを作成することもできます。（ページの「プリセットの整理」を参照してください。<?>多くのための。）

ON1 Photo RAW 2020には、風景からポートレート、カラーグレーディング、フィルムの外観など、12を超えるカテゴリで200以上のプリセットが組み込まれています。独自のプリセットを作成したり、他の ON1ユーザーや写真家からプリセットをインポートしたり できます。

現像調整、エフェクト設定、ポートレート操作、調整可能なグラデーションツールを使用するローカル調整、およびこれらの任意の組み合わせを適用するプリセットを作成できます。

プリセットには、トリミング設定とレタッチ情報のほか、ブラシツールで作成したマスク、エフェクトのマスキングバグ、ローカル調整パネルの調整可能なグラデーションツールも保存できます。これらのオプションを含むプリセットを適用する場合、目的の結果が得られることを確認する必要があります。そうでない場合は、[設定]メニューからさまざまな個々の操作をリセットできます。

プリセットを適用する

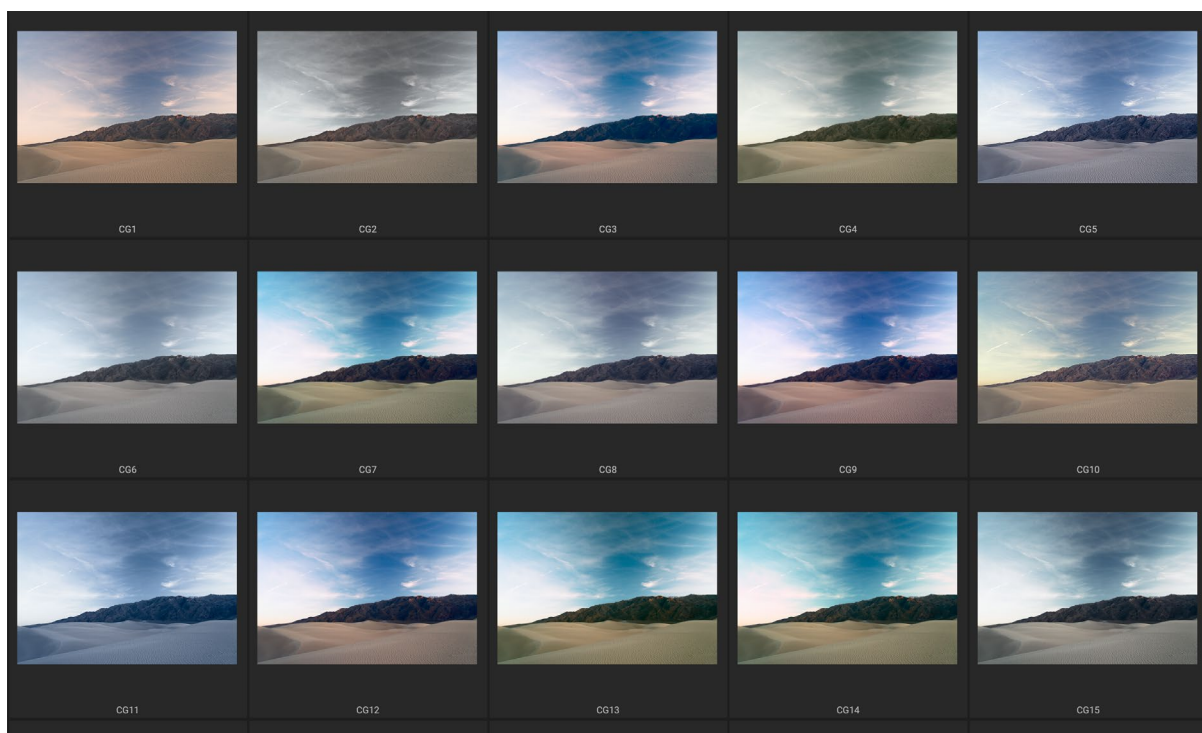
Golden Autumn



Quick View Browserアイコンが表示されたプリセット。

プリセットを画像に適用するには、[プリセット]パネルをクリックします。そこには、ON1提供するON1プリセット（カテゴリ順）と、自分で作成またはインストールしたプリセットが表示されます。カテゴリ名をクリックすると、カテゴリ名が開き、そのカテゴリ内のプリセットが表示されます。小さなサムネイルには、プリセットが適用された選択した画像が表示されます。プリセットパネルでサムネイルのサイズを変更するには、表示メニューからブラウザーモードオプションを選択し、1列、2列、または3列表示を選択します。

選択した写真がカテゴリのプリセットでどのように見えるかをより大きく表示したい場合は、カテゴリのタイトルバーにあるクイックビューブラウザーアイコンをクリックします。そのカテゴリのすべてのプリセットを含むウィンドウが表示されます。（エスケープキーを押して、クイックビューブラウザーを閉じます。）



パネルページのクイックビューブラウザーアイコンをクリック（またはウィンドウメニューから「クイックビューブラウザーを開く」を選択）すると、そのカテゴリのプリセットの全画面表示が開き、そのプリセットが画像上でどのように見えるかがより大きく表示されます。

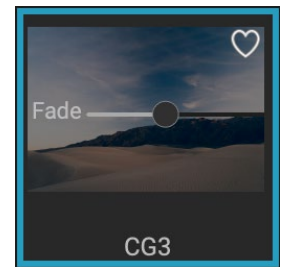
プリセットを写真に適用するには、ミニブラウザーまたはクイックビューブラウザーでプリセットをクリックします。プリセットは累積的ではありません。別のプリセットをクリックすると、以前のプリセットが削除され、新しいプリセットが適用されます。

プリセットを適用したら、選択したプリセットにカーソルを合わせると全体的な効果を減らすことができます。フェードスライダーが表示され、プリセットで適用されたエフェクトフィルターの不透明度を下げるすることができます。（現像、ポートレート、およびローカル調整は削減されません。）

プリセットを適用した後でも、現像、エフェクト、ローカル調整の設定を変更したり、調整を追加または削除したり、別のプリセットに切り替えたり、レタッチなどを実行したりできます。

プリセットが気に入らない場合は、別のプリセットをクリックすると、以前のプリセットの設定が新しいプリセットの設定に置き換えられます。プリセットを完全に削除するには、[設定]メニューからリセットオプションのいずれかを選択するか、[現像]および[エフェクト]の適切なペインから個々の設定を削除します。（保持したいマスクまたはローカル調整を作成した場合は、後者のアプローチをお勧めします。）

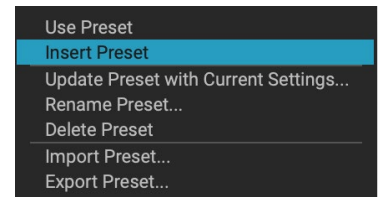
プリセットをお気に入りとして保存するには、ブラウザーでサムネイルにカーソルを合わせ、ハートのアイコンをクリックします。これにより、そのプリセットが[プリセット]パネルの上部にある[お気に入り]カテゴリに追加されます。お気に入りを削除するには、ハートのアイコンをもう一度クリックします。



フェードスライダーは、プリセットを適用したエフェクトフィルターの不透明度を下げる。それを見つけるには、[プリセット]ペインで適用されているプリセットにカーソルを合わせます。

プリセットの挿入 ([効果]タブのみ)

プリセットをクリックすると、Photo RAW のデフォルトの動作では、既存の調整がすべて削除され、新しく選択したプリセットが写真に適用されます。ただし、調整の上にプリセットを追加したい場合があります。これを行うには、[プリセット]ペインを開き、追加するプリセットを右クリックして、ポップアップメニューから[プリセットの挿入]を選択します。これにより、現在選択されているフィルターペインの上にプリセットのフィルターが追加され、[現像]タブまたは[ローカル調整]タブで行った編集が保持されます。



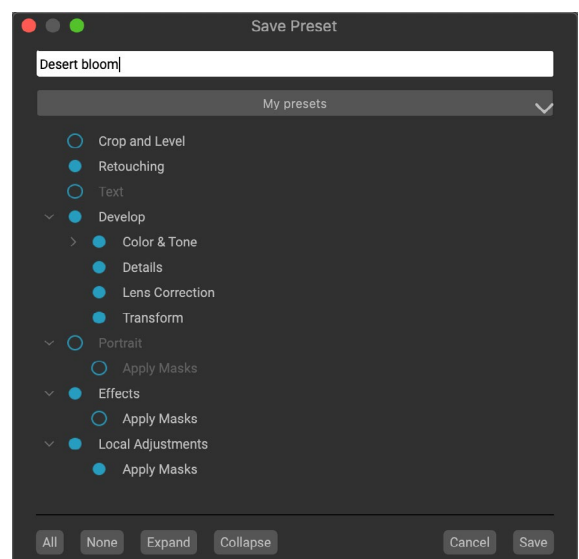
[プリセットの挿入]オプションは、[効果]タブで作業している場合にのみ使用できます。

プリセットを挿入すると、そのプリセットのエフェクトフィルターが現在編集中的の写真にのみ追加されます。現像調整とローカル調整レイヤーは追加されません。

独自のプリセットを作成する

編集した設定のグループを保存した後、[設定]メニューに移動して[プリセットの保存]を選択します。[プリセットの保存]ダイアログが表示され、モジュールの設定を保存するオプション、プリセットに名前を付ける、既存または新しいカテゴリに追加するオプションが表示されます。トリミング、レタッチ、テキストブロック、マスクなど、ほぼすべての編集モジュール設定をプリセットとして保存できます。

プリセットを画像に適用し、その後編集設定のいずれかを更新した（または調整を追加または削除した）場合、[設定]メニューから[現在の設定でプリセットを更新]を選択して、新しい設定でプリセットを更新できます。これにより、アプリのプリセットのみが変更されます。古いバージョンのプリセットが含まれていた画像は、プリセットを再適用しない限り、これらの設定を保持します。（プリセットブラウザーでプリセットを右クリックして、プリセットを更新することもできます。）



[プリセットの保存]ウィンドウは[設定の同期]ウィンドウ（「設定のコピーと編集の同期」を参照 <OV>）に似ており、レイヤー操作を除き、編集モジュールで可能なすべての操作が含まれています。設定の左側にある黒丸は、設定がプリセットに保存されることを意味します。その設定を保存したくない場合は、円をクリックしてください。

ON1 Photo 全体の ON1 Photo プリセット]パネルに追加される新しいプリセットカテゴリを作成する場合は、カテゴリポップアップから[新しいカテゴリを追加]を ON1 Photo します。

プリセットとカテゴリの管理

プリセットのインポートとエクスポート（個別またはカテゴリごと）、個々のプリセットの削除、カテゴリの非表示など、プリセットとプリセットカテゴリに対してさまざまな操作を実行できます。

プリセットのインポートとエクスポート

ON1 Webサイトまたは他のソースからダウンロードしたプリセットをインポートできます。一部のファイルは個別のプリセットであり、他のファイルは複数のプリセットを含むプリセット「パック」です。

プリセットには'.ONP'拡張子があり、プリセットパックには'ONPreset'拡張子があります。必要なことは、ファイルをダブルクリックするか、[設定]メニューから[プリセットのインポート]を選択するだけです。Photo RAW2020は、プリセットまたはパックを配置するカテゴリを選択するように求め、プリセットをコピーします。必要に応じて、ダウンロードしたファイルを削除できます。

個々のプリセットをエクスポートするには、それをクリックして、[設定]メニューから[プリセットのエクスポート]を選択します。また、カテゴリプリセットメニュー（下図を参照）を使用して、プリセットのカテゴリ全体をエクスポートすることもできます。

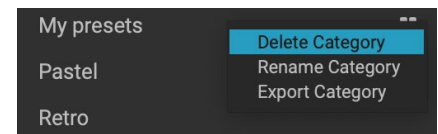
プリセットを削除する

アクセスできなくなったプリセットを削除するには、[プリセット]パネルで削除するプリセットを選択し、[設定]メニューから[プリセットの削除]を選択します。個々のプリセットを右クリックして、ポップアップメニューから[プリセットの削除]をクリックすることもできます。

ON1 Photoにプリインストールされているプリセットを含む、任意のプリセットを削除できます。プリセットを保存する場合は、まずエクスポートしてから削除します。

カテゴリを管理する

[プリセット]ペインに表示される独自のプリセットカテゴリを作成することに加えて、削除、名前変更、エクスポートなど、カテゴリに対して他の操作を実行することもできます。これらのオプションはすべて、プリセットカテゴリポップアップメニューから利用できます。このポップアップメニューは、カテゴリ名を右クリックしたときに利用できます。



プリセットカテゴリを右クリックして、カテゴリポップアップメニューを表示します。

- ・ プリセットパネルからカテゴリとそのプリセットを削除するには、ポップアップから「カテゴリを削除」を選択します。
- ・ カテゴリの名前を変更する場合は、[カテゴリ名の変更]を選択します。
- ・ カテゴリとその中のすべてのプリセットをONPresetパックとしてエクスポートするには、ポップアップメニューから[カテゴリのエクスポート]を選択します。

ヒント: プリセットパネルでプリセットをクリックし、プリセットを右クリックして、多くのプリセット管理オプションを実行することもできます。これは、現像またはエフェクトで画像に適用せずにプリセットを更新、エクスポート、または名前変更する場合に役立ちます。

ネスティングプリセット

大規模なグループ プリセットのPhoto RAWのExtras Managerを使用すると、プリセットカテゴリをネストできます。参照ページの「整理プリセットを」<?>プリセットカテゴリのサブフォルダを作成および管理する方法の詳細。

設定のコピーと編集の同期

プリセットの適用に加えて、編集モジュールで実行できる操作の既存の編集をすべて1つの写真でコピーし、他の画像に直接貼り付けることができます。これを行うには、コピー/貼り付けと同期の2つの主要な方法がありますが、同じ最終目標を達成します。どちらの操作を選択するかということです。

画像から編集設定をコピーするには、ソースファイルをクリックし、[設定]>[設定のコピー]を選択します。次に、新しい画像をクリックして、[設定]>[設定の貼り付け]を選択します。ウィンドウが表示され、元の写真の一部またはすべての編集を適用するオプションが表示されます。または、現像のトーンとカラーペインの 個々の設定からマスク、トリミング、および使用の場合はテキストまで、すべての編集を選択できます -新しい写真に貼り付けます。（写真のグループを選択して、編集設定をグループに貼り付けることもできます。）

[設定のコピー/貼り付け]コマンドは、異なるフォルダーの複数の写真に設定を貼り付ける場合に便利です。編集セッションがアクティブである限り、Photo RAWは最後にコピーされた設定を記憶し、必要に応じて他の写真に貼り付けることができます。

[設定の同期]コマンドを使用して、ソースとして使用する画像を選択します。次に、Shiftキー（ソースに隣接する画像またはグループを選択する場合）、またはCommand（Mac）またはControl（Windows）キーを押しながら、適用する画像をクリックします。ソースファイルの編集。選択したソース画像は青で強調表示され、ターゲット画像は灰色で強調表示されているはずです。正しい場合は、プレビューエリアの下部にある[同期]ボタンをクリックするか、[設定]メニューから[設定を同期]を選択します。[設定の適用]ウィンドウが開き、同じ手順に従って編集内容を同期できます。

ソース写真から別の写真または写真のグループにすべてを同期することが確実な場合、[設定]>[すべての設定を同期]コマンドを使用すると、[設定を適用]ウィンドウをバイパスできます。コピー元とコピー先の写真を選択して、コマンドを選択します。ソース画像のすべての設定（トリミング、テキスト、マスクを含む）が同期されることに注意してください。



[設定の貼り付け]ウィンドウ ([設定の貼り付け]または[設定の同期]からアクセス可能) では、ほとんどすべての編集モジュール操作を別の画像または画像のグループに適用できます。設定の左側にある黒丸は、設定が適用されることを意味します。その設定を適用したくない場合は、円をクリックしてください。

編集のリセット

ON1 Photo RAW2020で行った編集は、編集モジュール内から完全にリセットできます。これには、[参照]内に設定を貼り付けたり同期したりした写真や、[編集]モジュール内で行われたものが含まれます。

[設定]メニューには、写真の編集内容を消去するための8つのオプションがあります。

- **すべての設定をリセット**：これにより、編集モジュールで写真に加えられたすべての調整が削除されます。（このオプションは、参照および編集Windows 右下にある[すべてリセット]ボタンからもアクセスできWindows。）
- **現像設定のリセット**：[現像]タブで適用された設定のみを削除します。
- **エフェクト設定のリセット**：[エフェクト]タブで適用された設定のみを削除します。
- **ポートレート設定のリセット**：ポートレートタブで適用された設定のみを削除します。
- **すべてのレタッチツールをリセット**：編集モジュールの任意の場所に適用されたレタッチをリセットします。
- **ローカル調整のリセット**：すべてのローカル調整レイヤーを削除します。
- **トリミングのリセット**：画像を元の未トリミングのサイズに戻します。
- **テキストのリセット**：テキストブロックを削除します。

これらの変更は、変更後すぐに元に戻すことができます。そうでない場合、適切なオプションでリセットすると、イメージが完全にリセットされます。

注：[編集]モジュールで作業している場合、[リセット]、[コピー/貼り付け]、および[同期]設定は、現在選択されているレイヤーで機能します。

ソフトプルーフ

ON1 Photo RAWのソフトプルーフ機能を使用すると、プリンターにインストールされているカラープロファイルを使用して、印刷時に写真がどのように見えるかを確認できます。ソフトプルーフは、印刷時に問題が発生する可能性のある場所を特定するのに役立ちます。そのため、トーン、色、効果を調整して、編集ビジョンに近い印刷物を作成できます。

通常、Photo RAWで画像を表示しているときは、モニターのディスプレイプロファイルのレンズを通して画像を表示しています。コンピューターのディスプレイの色域は、ほとんどの写真プリンターの色域よりも広いため、画面上で表示できる一部の色は印刷時に再現できません。これが発生すると、プリントエンジンで発生するカラープロファイル変換により、プリンタが印刷できない色が、できる限り近い色に置き換えられます。これは、特に特定の色範囲で、画像の色が微妙に（または広範囲に）シフトする可能性があることを意味します。

ソフトプルーフは、[表示]メニューから、またはメインのPhoto RAWウィンドウの下部にある[プレビュー]ボタンの左側にあるソフトプルーフアイコンをクリックしてオンにします。[プロファイル]サブメニューからインストール済みのプリンタープロファイルを選択して、さまざまな種類の用紙をソフトプルーフします。画像は、プロファイリングしている紙の色に近い色に変わります。また、色域外の色を表示するオーバーレイをオンにすることもできます。

主要なソフトプルーフオプションは、[表示]メニューの[ソフトプルーフを有効にする]アイテムの下にあります。オプションは次のとおりです。

- **色域警告:** チェックすると、ソフトプルーフされている現在のプリンタープロファイルに対応しない色が（赤いオーバーレイを介して）画像に表示されます。
- **プロファイル:** [プロファイル]サブメニューには、現在使用可能なプリンタープロファイルが一覧表示されます。いずれかを選択すると、そのプロファイルを使用するように画面上の表示が変更されます。このサブメニューからプロファイルをインポートすることもできます。
- **意図:** Photo RAW は、ソフトプルーフ時に2つの異なるレンダリング「意図」を提供します。これらは、ディスプレイから印刷に色を変換するために使用されます。知覚は、変換中に色域を縮小します。これにより、画像内の色の関係が保持されます。他のインテントタイプである相対は、現在の色



これら3つのスクリーンショットは、[編集]モジュールで表示されるソフトプルーフオプションの結果を示しています。一番上の画像はソフト校正がオフになっています（ディスプレイのカラープロファイルを使用しています）。中央の画像はソフト校正がオンになっており、エプソンの展示マット紙用のプリンタープロファイルを使用しています。下の画像では、色域警告がオンになっています。色域外の色は、明るい赤のオーバーレイで強調表示されます。

域外の色のみを変換しますが、これにより、変換後に2つの色（1つは色域内、もう1つは外側）が同一になることがあります。

どちらのレンダリングインテントも完全ではなく、望ましいものでもありません。多くの場合、画像の構成、編集意図、印刷される紙などの問題です。多くの場合、相対的な表示と知覚的な表示を切り替えて、どちらがより良い印刷を提供するかを確認する必要があります。

- **用紙とインクのシミュレーション：** この設定をオンにすると、Photo RAW は、選択した用紙タイプの白色点（モニターの白色点の代わり）と、紙の実際の黒濃度（ディスプレイの黒色点の代わり）を使用します。印刷と一致させようとしている場合、通常はこの設定をオンにする必要があります。

ソフトブルーフィングによる画像の調整は、多くの場合試行錯誤です。色域外の色を除去するのは簡単ですが、ほとんどの最新の写真プリンター（家庭用プリンターとオンライン印刷サービスの両方）は、色を適切に近似するかなり良い仕事をします。

ソフトプルーフを表示するときに最も探したいのは、スクリーンと印刷の間のトーン、コントラスト、色の精度です。ホームプリンターを使用する場合は、テストプリントを使用して、編集モジュール調整の適切な組み合わせに焦点を合わせます。Photo RAW のバージョン機能は、設定を微調整して適切に印刷するときに非常に役立ちます（ [バージョンの操作の詳細について](#)、この <?> ページ をご覧ください ）。

Adobe RGB (1998)
Apple RGB
ColorMatch RGB
ProPhoto (2.2) RGB
ProPhoto RGB
sRGB IEC61966-2.1
SC-P600 Series Ultra Premium Presentation Matte
SC-P600 Series Legacy Etching MK v1
SC-P600 Series Hot Press Natural MK v2
SC-P600 Series Premium Semigloss
SC-P600 Series Ultra Smooth Fine Art Paper
SC-P600 Series Metallic Photo Paper Luster PK v2
✓ SC-P600 Series Hot Press Bright MK v2
SC-P600 Series Exhibition Canvas Matte MK v2
SC-P600 Series Standard
SC-P600 Series Legacy Platine PK v1
SC-P600 Series Exhibition Watercolor Paper Textured MK v2
SC-P600 Series Cold Press Natural MK v2
SC-P600 Series Exhibition Canvas Gloss PK v2
SC-P600 Series Cold Press Bright MK v2
SC-P600 Series Exhibition Fiber Paper PK v2
SC-P600 Series Premium Glossy
SC-P600 Series Legacy Baryta PK v1
SC-P600 Series Velvet Fine Art Paper
SC-P600 Series Exhibition Canvas Natural Matte MK v1
SC-P600 Series Metallic Photo Paper Glossy PK v2
SC-P600 Series Legacy Fibre MK v1
sRGB IEC61966-2.1
SC-P600 Series Exhibition Canvas Natural Gloss PK v2
SC-P600 Series Premium Luster
SC-P600 Series Exhibition Canvas Natural Satin PK v2
SC-P600 Series Photo Paper Glossy
SC-P600 Series Exhibition Canvas Satin PK v2
SC-P600 Series Watercolor Paper - Radiant White

Import Color Profile...

[プロファイル]サブメニューには、インストールされているフォトプリンターのインストールされているプリンタープロファイルが表示されます。独自のカラープロファイルをインポートすることもできます。

その他のモジュール編集プレビューオプション

ON1 Photo RAW 2020では、ソフトプルーフに加えて、Photo RAW ウィンドウの下部にあるプレビューセクションにある[編集]モジュールにいくつかのプレビューオプションがあります。これらのオプションを使用すると、写真のビューの前後を分割画面または全画面表示で比較して、現在のマスクを確認し、ソフトプルーフをオンまたはオフにできます。



メインの Photo RAW ウィンドウの下部にあるプレビューエリアには、プレビュー倍率の調整、比較（前/後）ビューのオン/オフの切り替え、現在のマスクの表示、ソフトプルーフのオン/オフの切り替え、および元の写真の表示のためのオプションがあります、すべての編集が削除されています。

拡大表示の変更

Photo RAWは、作業中に写真をズームインまたはズームアウトするためのさまざまなオプションが含まれています。ズームツールとナビゲーションペインに加えて（ページ80と ページ59、それぞれ）、倍率スライダーを移動してズームビューを変更できます。コントロールをクリックして右にスライドしてズームイン、左にスライドしてズームアウトするか、スライダーの端にあるボックスをクリックします。

プレビューの前後

[編集]モジュールで働くよ、どのように個々のあなたの写真をタブは、影響を与えるさまざまな編集中のアイテムの編集-を経由して見て、だけでなく、元の画像に加えられた累積的変更を確認するために役立ちます。編集モジュールの比較モードでは、写真を並べて表示し、元のバージョンを左側に、編集したバージョンを右側に表示します。画面の中央に移動可能なスライダーがあり、各ビューの表示を増減できます。スライダーの中央にあるボックスをクリックし、左（編集された画像をさらに表示するには）または右（元の画像をより多く表示するには）にドラッグします。比較ビューで作業しているときは、拡大スライダーを使用して画像をズームインまたはズームアウトします。これは、写真の小さなセクションでの編集の効果を確認する場合に役立ちます。



編集の比較ビューには、現在の写真の前/後のビューが表示され、さまざまなビューを拡大および縮小するための可動スライダーが付いています。

プレビューツールバーの右端にある[プレビュー]ボタンをクリックして、元の画像を全画面表示することもできます。このボタンをクリックすると、元の写真が「プレビューオフ」オーバーレイとともに表示されます。編集したバージョンに戻るには、[プレビュー]ボタンをもう一度クリックします。（バックスラッシュキー（「\」）を使用して、フルスクリーンプレビューの表示と非表示を切り替えることもできます。）

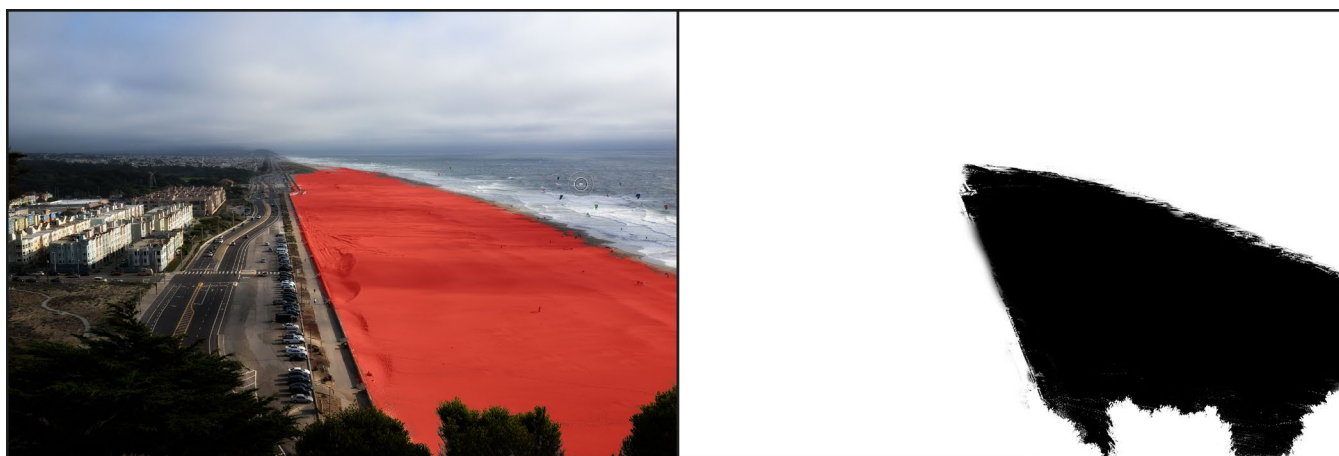
マスクの表示/非表示

ON1 Photo RAW2020は、編集モジュール全体で広範なマスクング機能を備えています。マスクの作成中に、現在のマスクの内容を表示するための2つのオプションがあります。

- 写真のマスクされた部分が赤で表示される透明な赤のオーバーレイとして。
- 写真は表示されず、マスクのみが表示されるグレースケールマスクとして。マスクされた領域はグレーの濃淡で表示され、純粋な黒はそれらのピクセルが完全にマスクされていることを意味します。グレー値（1%から99%）は、マスクに対するこれらのピクセルの不透明度を表し、純粋な白の領域はマスクされません。

オーバーレイは、編集モジュールで作業中に、マスクメニューの[表示モード]サブメニューで設定できます。このオプションを使用して、マスクをブラッシングしている場合にのみ、マスクを赤いオーバーレイとして表示することもできます。

現在のマスクビューを切り替えるには、プレビューツールバーの[マスクを表示]アイコンをクリックするか、Oキーを押します。



マスクを表示するための2つのオプションは、赤のオーバーレイ(左)でマスクされた領域を赤で表示し、グレースケールマスク(右)でマスクのみを表示します。黒(完全にマスクされています)。グレーのトーンは、マスクの不透明度のさまざまな割合を表します。

ON1 Photo RAW2020のマスキングのさまざまな側面の詳細については、この章で前述した各マスキングツールを確認し、ページの「フィルターマスク」105。

フォーカスおよびクリッピングビュー

写真の編集集中に非常に強力な2つの追加のプレビューツールは、クリッピングとフォーカスマスクオーバーレイです。これらのオプションは、[編集]モジュールタブ (および[参照]モジュール) のいずれにも表示できます。

クリッピング

クリッピングは、画像内のシャドウとハイライトのトーンがスムーズにフェードするのではなく、突然完全に白または黒に切り取られるときに発生します。(写真内の白いピクセルの大きな広がり、多くの場合「吹き飛ばされた」ハイライトと呼ばれ、視聴者にとって非常に気を散らす可能性があります。)多くの写真が純粋な白または画面上で最初に表示されたときは黒ですが、未処理の画像には回復可能なデータが残っています。クリッピングオーバーレイは、写真で発生する可能性のある問題の大きさ、および修正がどれだけ簡単(または難しい)かを判断するのに役立ちます。

クリッピングオーバーレイを一時的に表示するには、Jキーを押します。写真から写真に移動するときに永続的にオンにするには、表示>クリッピングを表示を選択するか、キーボードのAlt (Windows) またはOption (Mac) Jを押します。

クリッピングビューオーバーレイには、純粋な白または純粋な黒の領域が表示されます。明るい青色のオーバーレイのある領域は純粋な黒のピクセルを示し、明るい赤色のオーバーレイのある領域は純粋な白いピクセルを示します。



クリッピングビューには、真っ赤なオーバーレイのある純粋な白いピクセルと、真っ青なオーバーレイのある純粋な黒いピクセルが表示されます。

フォーカスマスク

多くの場合、100%以上にズームインせずに写真の鮮明さを確認することは困難な場合があります。また、撮影の写真がたくさんある場合、そのレベルで焦点を確認するのは少し面倒です。幸いなことに、Photo RAWのフォーカスマスクオーバーレイは、ショットを最もシャープなものまで選別するのに役立ちます。

フォーカスマスクをオンにするには、表示／フォーカスマスクを表示を選択するか、Shift-Alt-J (Windows) またはShift-Option-J (Mac) を押します。画像の最もシャープな領域は、明るい緑色のオーバーレイで表されます。フォルダー内の写真から写真に移動するとき、オーバーレイの強さによって、必要な場所で許容できるレベルのシャープネスがあるかどうかを確認できます。写真を拡大しても、マスクは表示され続けます。

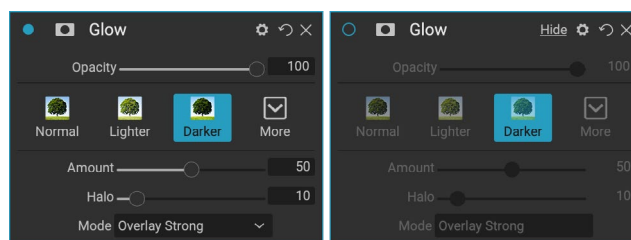


[フォーカスマスク]オプションは、シャープな領域を明るい緑色のオーバーレイで表示します。

編集モジュールの調整の表示または非表示

また、編集モジュール全体で行われた個々の調整の多くを表示または非表示にすることもできます。[現像]、[効果]、[ポートレート]、および[ローカル]タブのほとんどのパネルには、パネルの左上隅に[表示/非表示]コントロールがあります。調整を行い、コントロールをクリックして効果をオンまたはオフにできます。

このオプションは、エフェクトのプレビュー専用ではありません。調整がオフの場合、編集された画像には存在しません。これは、たとえば、Effectsでさまざまなフィルターを試しているときに、あるフィルターが別のフィルターよりも良く見えるかどうか、または写真に本当に役立つかどうかを確認したい場合に役立ちます。調整をオンに戻すには、表示/非表示コントロールをクリックして、円を塗りつぶします。

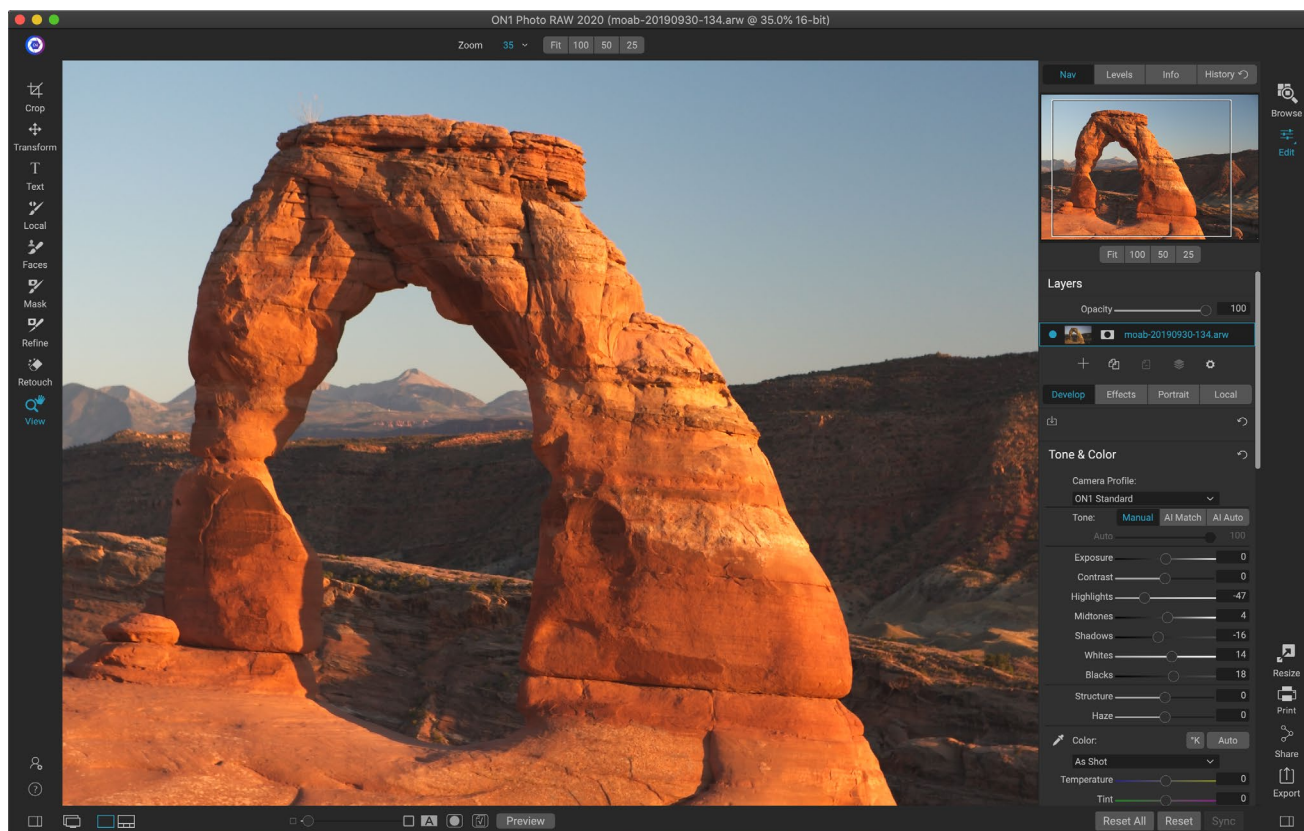


エフェクトまたはその他の調整をオフにするには、調整パネルの左上にある[表示/非表示]コントロールをクリックします。コントロールの円が空の場合、その効果は実装されていません。コントロールをクリックすると、再びオンになります。

この方法でオフにできない編集モジュール内の唯一の調整は、現像モジュールのトーン&カラーパネルです。これらの調整を行わずに写真を表示したい場合は、パネルの右上にある「by」で表されるリセットアイコンを押す必要があります。

ほとんどのモジュールの編集パネルのコントロールの詳細については、ページの「フィルターの概要」102。

ON1DEVELOPを ON1基本的な編集



現像は、基本的なグローバル編集操作を実行するためのモジュールです。トーンと色の調整、ノイズの除去、シャープ化、写真への変換の適用。特にスタンドアロンエディタとしてON1 Photo RAW2020を使用している場合は、写真の編集を開始するのに最適な場所です。また、Photo RAWの完全な非破壊編集機能により、いつでも戻って編集の開発と調整を行うことができます。

調整ペインを開発する

画像を編集するために、[現像]タブには、[全体設定]パネルにある4つの調整ペインがあります。フィルタを任意の順序でスタックできる[効果]タブとは異なり、[現像]タブの調整は次の順序で適用されます。

1. トーン&カラー
2. 詳細
3. レンズ補正
4. 変換する

ペインの操作

トーン&カラーペインがスタックの一番上にあり、詳細、レンズ補正、および変換ペインがそれに続きます。これらのペインはスタックから削除できませんが、これらの操作を写真に適用する必要はありません。残りのペインは、写真の処理内容に基づいて適用できます。ペインの名前の左側にあるボタンをクリックすると、そのペインがオンまたはオフになります。これは、他の編集のコンテキストで効果を確認する場合に役立ちます。[リセット]ボタン（各ペインの右上にある円形の矢印アイコンで指定）は、そのペインの設定をデフォルトの状態にリセットします。

ヒント： ペインのタイトルバーをクリックすると、各ペインを折りたたむことができます（バーの上にカーソルを移動すると、非表示/表示リンクが表示されますが、タイトルバー全体はクリック可能です）。開いているペインが多数あるときに設定パネルを上下にスクロールする必要がない場合は、ウィンドウメニューからソロモードを選択します。これにより、現在のペインのみが開いたままになり、他のすべてのペインが非表示になります。別のペインをクリックすると、そのペインが開き、前のペインが折りたたまれます。

トーン&カラー

このペインでは、画像の色調と色の特性を調整し、露出、コントラスト、ディテール、色を修正および強化できます。トーンとカラーの2つのセクションに分かれており、ペイン上部のカラープロファイルオプションがあります。

カメラプロファイル

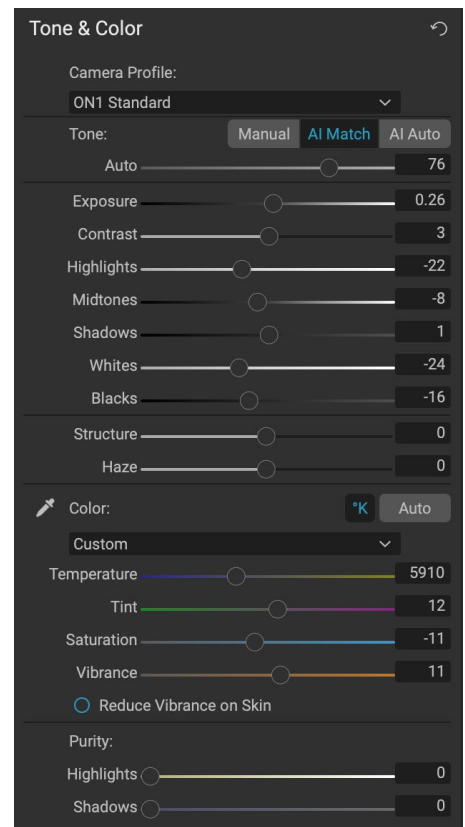
カメラプロファイルは、さまざまなジャンルタイプまたは意図に基づいて、画像内の生データの代替解釈を適用します。ポップアップメニューには、Photo RAWの組み込みプロファイルが表示されます：ON1Standard、Landscape、Portrait、Vivid、Neutral。カメラに独自の埋め込みプロファイルがある場合、それらのプロファイルもリストに表示されます。また、Photo RAWおよびX-RiteのColorCheckerおよびColorChecker カメラキャリブレーションソフトウェアを使用して、独自のカスタムカメラプロファイルをインポートすることもできます。（[カスタムカメラプロファイルを作成して Photo RAWインポートする方法の詳細については、99ページ](#) をご覧ください。）

Photo RAWのカメラプロファイルは非破壊的であり、色調や色に加えた変更とは無関係に機能します。

トーン

トーンスライダーは、グローバルな色調、または明るさを制御します。画像のコントラスト。次のそれぞれを調整できます。

- ・ **手動、AIマッチ、およびAI自動ボタン**：AIマッチボタンは、人工知能技術を使用して、トーンパネルのコントロールを自動的に調整し、カメラのディスプレイの背面で見た写真にぴったりと一致させます。AI Autoボタンは、独自のON1アルゴリズムを使用して、写真の自動トーン調整を実行します。これらのオプションのいずれも使用しない場合、またはその後の調整を行う場合、手動ボタンが強調表示されます。
- ・ **自動トーンスライダー**：このオプションは、AIマッチまたはAI自動オプションを使用している場合にのみ使用できます。このスライダーを使用すると、これらのオプションの効果を「フェード」できます。
- ・ **露出**：このスライダーを右に調整すると、画像が明るくなります。左に調整すると、画像が暗くなり



ます。

- ・ **コントラスト**：画像のコントラストを増減します。
- ・ **ハイライト**：ハイライトを暗くして、ディテールを回復します。
- ・ **影**：影を明るくして、細部を明らかにします。
- ・ **白人**：ハイライトのコントラストを追加または削除、白色点を調整します。
- ・ **黒**：黒点を調整し、影のコントラストを追加または削除します。
- ・ **構造**：ローカルコントラストを変更して、画像の細部を調整します。
- ・ **かすみ**：左に移動すると、写真からかすみや霧が除去されます。右に動かすと、霧やかすみが強調されます。

注：AIマッチとAI自動ボタンは、画像のトーンと彩度にのみ影響します。ホワイトバランスは調整されません。ホワイトバランスを変更する場合は、パネルの[色]セクションの[自動]ボタンを使用するか、以下で説明するように、必要に応じて[温度]および[色合い]スライダーを調整します。

色

カラースライダーは、温度、色合い、および彩度を制御します。これらは、色かぶりを除去し、画像の色を強調するために使用されます。デフォルトでは、生（またはDNG）ファイルを使用する場合、色温度はケルビン（° K）単位で測定されます。これにより、調整を行うためのより大きく正確な範囲が得られます。

[トーンと色]ペインのこのセクションの設定には次のものがあります。

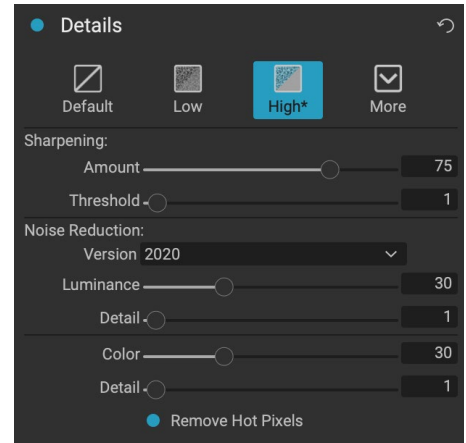
- ・ **自動ボタン**：自動ボタンは、色かぶりを検出して削除しようとします。温度と色合いのスライダーを調整します。
- ・ **グレードロッパー**：画像の色かぶりを除去するために使用されます。アイコンをクリックしてアクティブにし、画像内のグレーの領域をクリックします。
- ・ **ホワイトバランスプリセット**：このポップアップでは、一般的な色温度（ショット、自動、日光、曇り、日陰、タングステン、蛍光灯、フラッシュ、カスタム）に応じてホワイトバランスを変更できます。デフォルトはAs Shotです。これは、写真を撮ったときにカメラが記録した色温度です。
- ・ **温度**：このスライダーは、色を冷たい色（青）または暖かい色（黄色）にシフトします。生ファイルを編集する場合、° Kボタンは青色になります。つまり、温度はケルビン度で測定されます。ボタンをクリックすると、スライダーが相対的な色のランプに変わります。（ケルビンランプは、未加工の写真を使用する場合にのみ使用できます。他の形式では相対スライダーを使用します。）
- ・ **色合い**：色を緑またはマゼンタにシフトします。
- ・ **彩度**：画像の彩度を増減します。
- ・ **Vibrance**：ミュートトーンの色を増加/減少させ、より飽和した色を残します。
- ・ **肌のバイバランスを減らす**：オンにすると、肌の色の領域で[バイバランス]スライダーで行った調整が減ります。これにより、肌の色に悪影響を与えることなく、衣服と背景の鮮やかさを増すことができます。
- ・ **純度-ハイライト**：ハイライトの彩度を減らします。
- ・ **純度-影**：影の彩度を減らします。

詳細

詳細ペインには、シャープネスとノイズリダクションが組み込まれています。2つの調整は、写真の操作時に競合することがよくあります。最初の写真編集時にシャープネスとノイズの適切なバランスを実現できるように、これらを1つのペインにまとめました。

研ぎ

詳細ペインのシャープ化セクションは、カメラからの初期状態に基づいて画像を視覚的にシャープにするために、たとえば失われた可能性のあるシャープネスを取り戻すために設計されています。これには、量としきい値の2つの基本的なコントロールがあります。量は適用されるシャープニングの強度を制御し、しきい値はしきい値マスクを介して詳細度の低い領域のシャープネスを低減します。



Option (Mac) またはAlt (Windows) キーを押しながらAmountスライダーを調整すると、ON1 Photoは写真をグレースケールで表示します。これにより、適用しているシャープネスの度合いを簡単に確認できます。

[しきい値]スライダーの設定が0の場合、シャープ量はすべてのピクセルに適用されます。量を増やすと、隣接するピクセルに違いがある場合にのみシャープニングに焦点が合わせられます。どのエッジをシャープにするかを決定するために、上記の同じOption / Altキートリックを使用できます。このビューでは、[しきい値]スライダーを調整すると、白いものすべてにシャープネスが適用されます。黒で表示されるものすべてにシャープニングは適用されません。

注： 写真のシャープネスやノイズを調整するときは、100%ビューで作業するのが最適です。これを行うには、「ナビゲータ」ペインの「100」ボタンをクリックするか、「表示」メニューから「実際のピクセルを表示」を選択するか、キーボードのCommand-Option-0 (Mac) またはControl-Alt-0 (Windows) を押します。

ノイズ減少

ノイズリダクションセクションは、画像のディテールを維持しながら、輝度と色ノイズを低減します。デフォルトでは、ON1 Photoは、使用するカメラのタイプに基づいて、写真に少量のノイズ低減を適用します。次に定義するように、輝度と色ノイズの両方をさらに調整できます。

- **輝度：** 画像の輝度またはディテールに適用されるノイズ低減の全体的な強度を調整します。Alt / Optionキーを押しながら、このスライダーを調整しながら輝度だけを確認します。
- **色：** 画像の色ノイズまたは彩度にのみ適用されるノイズ低減の量を制御します。
- **詳細：** エッジの詳細をどの程度保護するかを制御します。Alt / Optionキーを押しながらエッジマスクを表示し、このスライダーを調整します。
- **ホットピクセルの削除：** 画像に個々の吹き飛ばされたピクセルがある場合、この設定をオンにすると、それらのピクセルの色が周囲のピクセルと調和する色に変更されます。この設定は、長時間の露出でノイズを減らすのに役立ちます。

詳細ペインは、写真の基本レベルのシャープネスとノイズリダクションを調整することを目的としています。印刷またはその他の出力用途にさらにシャープを適用する場合、出力用にシャープにする場合は、[効果]タブまたは[サイズ変更]モジュールで、よりターゲットを絞ったシャープとノイズ低減を追加できます。

注: ON1 Photo RAW 2020は改善されたノイズリダクションエンジンを使用します。これは、詳細パネルのバージョンポップアップから利用できます。編集の互換性を提供するために、以前のバージョンで編集された写真はデフォルトで2017ノイズリダクションモデルになり、ON1 Photo RAW 2020で編集された新しい写真はデフォルトで新しいモデルになります。[バージョン]ポップアップを使用して、画像を他のモデルに変更できます。

スタイル

[詳細]ウィンドウ枠の上部には、一連の組み込みスタイルがあります。スタイルは、ペインのプリセット調整のようなものです。スタイルの設定は、ペインでの作業を開始したり、特定の効果を適用したりするのに役立ちます。

ペインでスタイルのアイコンをクリックしてスタイルを使用し、必要に応じてスライダーを調整して写真に適切な効果を与えることができます。

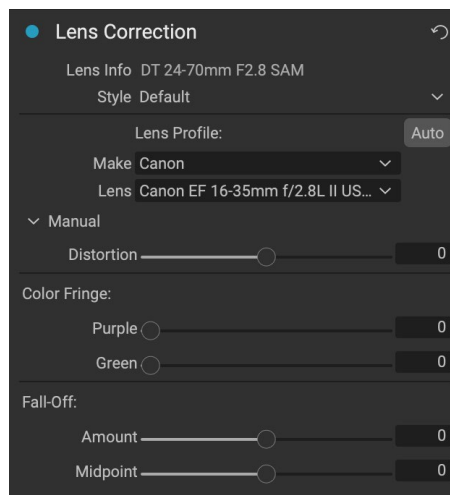
独自の設定をスタイルとして保存できます。そのペインのスタイルリストの右端にある[その他]アイコンをクリックし、ポップアップから[新しいスタイルを保存]を選択します。スタイルに名前を付けると、[その他]メニューの上部に追加されます。保存したスタイルを適用するには、[その他]ポップアップメニューからスタイルを選択します。保存したスタイルの設定を調整するには、それを適用し、スライダーまたはその他のオプションに必要な変更を加えてから、[その他]ポップアップをクリックし、メニューから[現在の設定でスタイルを更新]を選択します。

レンズ補正

レンズ補正ペインは、写真で使用されているレンズをメタデータから検出し、ON1 Photoの内部レンズデータベースで適切なプロファイルを検索します。見つかった場合、プロファイルが自動的に適用され、歪み、色収差、周辺の減衰が低減されます。

注: レンズプロファイルは、[参照]で開いた生の写真にのみ適用できます。Photo RAWをプラグインとして 使用する場合、レンズプロファイルは写真に影響しませんが、ペインの[手動]セクションで行った調整は最終的な写真に適用されます。

Photo RAW レンズのプロファイルが組み込まれていない場合、または写真にさらに補正を適用する場合は、手動の三角形をクリックして手動で調整できます。スライダーを右または左に動かすと、ピンクッション（写真の線が内側に曲がる）または樽型（線が外側に曲がる）の歪みを調整できます。手動セクションは、エッジに沿って発生する可能性のある紫色または緑色のフリンジを除去するのに役立ち、レンズの外側のエッジで発生する可能性のある光の減衰（口径食）を減らすことができます。



ヒント： プロファイルデータベースにないレンズがある場合は、そのレンズで一般的な写真を開き、レンズ補正ペインで手動設定を調整して、レンズの異常を修正します。[スタイル]ポップアップをクリックし、[新しいスタイルを保存]を選択して、これらの設定をスタイルとして保存します。そのレンズで撮影した追加の写真を開くときは、[スタイル]ポップアップからそのスタイルを選択します。

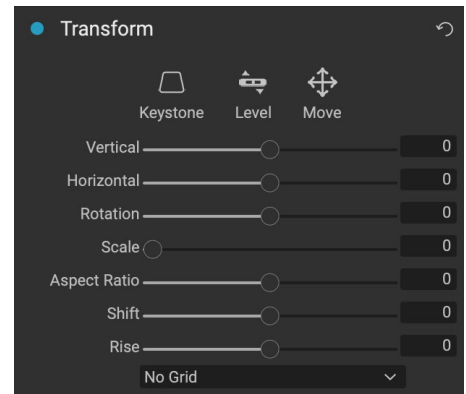
現在サポートされているレンズプロファイルのリストは、[このリンク](#) を介してON1サポートWebサイトで見つけることができます。

変換する

変換は画像に歪みと遠近補正を適用し、回転と拡大縮小オプションも提供します。これらの設定を使用して、遠近感や歪みを微調整できます。

ペインの上部にある3つのアイコンを使用して、現在の写真に特定の変換を適用できます。

- **Keystone**を使用すると、イメージを斜めの表面にあるかのように投影できます。このタイプの効果は、建築写真の遠近感を調整するためによく使用されます。[キーストーン]オプションを選択すると、角に4つのハンドルがあるボックスが表示されます。ハンドルは任意の方向に延長できます。完了したら、キーストーンボックスの中央にある[適用]ボタンをクリックします。
- **レベル**は、クロップツールにあるものと同様に機能します（ページ 65）。ツールを選択し、画像内の水平にする要素をクリックしてドラッグします。
- **移動**を使用すると、キャンバス上の画像の位置を調整できます。クリックしてドラッグして位置を変更します。



キーストーンは、写真の遠近感を調整するときに役立ちます。四隅を調整して、窓やドアなどの平行線が必要なオブジェクトに合わせてから、[適用]ボタンをクリックします。変換ペインを使用すると、変換を適用するときにトリミングが適用されません。そのためには、切り抜きツールを使用する必要があります。

上記のツールに加えて、次のオプションは特定の変換操作を適用します。

- **垂直**：垂直の遠近法を調整します。
- **Horizontal**：水平方向の遠近感を調整します。
- **回転**：キャンバスを時計回りまたは反時計回りに最大45° 回転します。
- **拡大縮小**：画像を中心から100%に 拡大し ます。
- **アスペクト比**：画像を水平方向（スライダーを左に移動）または垂直方向（右）に引き伸ばします。
- **Shift**：画像を左右に移動します。
- **上昇**：画像を上下に移動します。

[変換]ペインの下部にある[グリッド]ポップアップメニューを使用すると、ペインのスライダーを調整しているときにグリッドオーバーレイを表示できます。ペインのデフォルトはグリッドなしですが、10%（大）、5%（中）、または1%

(細かい) グリッド設定から選択することもできます。

変換ツールは、ほとんどの場合、少量で最適に機能します。写真を極端な遠近法で修正する必要は必ずしもありませんが、特に、トランスフォームパネルの他のコントロールまたはレンズ補正パネルの手動セクションを使用して微調整する場合、わずかな調整に役立ちます。さらに、このツールは、操作後にトリミングを適用しません。変換結果に満足している場合は、切り抜きツールを使用して作業を終了します。



[変換]ペインの[キーストーン]オプションは、写真の遠近感の問題に役立ちます。Keystoneアイコンをクリックすると、平行線(左上)が必要なオブジェクトの4つの角を揃えるために使用できるボックスが表示されます。オブジェクトの端を揃えたら、中央の[適用]ボタンをクリックして変換を作成し、必要に応じてトリミングを適用します。(レンズ補正ペインの手動セクションを使用すると、キーストーン操作によって生じる可能性のある歪みを軽減できる場合があります。)

カスタムカメラプロファイルの作成と追加

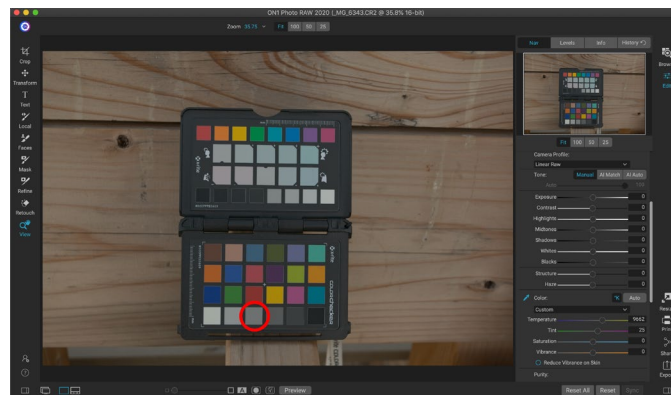
[トーンとカラー]パネル(ページ 94)、独自のカスタムカメラプロファイルを作成し、それらをPhoto RAWインポートできます。カスタムカメラプロファイルは、写真の色再現の忠実度を向上させるのに役立ちます。一部の写真家にとって、これは便利なツールです。

新しいプロファイルを作成するには、カラープロファイリングターゲットと、プロファイルを作成する特別なソフトウェアが必要です。ON1は、開発プロセス中にX-RiteInc.と連携して、このプロセスを容易にし、カメラプロファイルを構築するときに一貫した結果を保証するワークフローを作成しました。加えて、ON1 Photo RAW2020、あなたは、このようなの一つとして、参照先が必要になります ColorChecker シリーズ、X-Rite のColorChecker のカメラキャリブレーションアプリ。

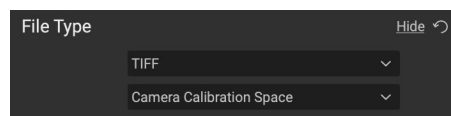
カスタムプロファイルを作成するプロセスは次のとおりです。

- カメラの自動ホワイトバランスをオフにします。ターゲットを撮影する照明条件（昼光、タングステン、フラッシュ、蛍光灯）に設定します。
- カラーリファレンスタグレットをシーンの中央に、均一な光で配置します。写真撮る。
- Photo RAWの[現像]タブで Photo RAW 開きます。
- [トーン&カラー]パネルの[カメラプロファイル]セクションで、ポップアップから[リニアRAW]プロファイルを選択します。
- [カラー]トーン&カラーパネルのセクション（ページを参照95）で、ターゲットの明るい灰色のパッチのいずれかをクリックします。これにより、画像が中和されます。
- エクスポート機能を使用して、写真をTIFFとしてエクスポートし、ファイルタイプオプションの下のポップアップからカメラキャリブレーションカラースペースを選択します。（ページ <OV> Photo RAW から Photo RAWをエクスポートする際にサポートが必要な場合。）
- X-Riteの ColorChecker カメラキャリブレーションソフトウェアを使用して、エクスポートされたTIFFファイルを開きます。アプリはターゲットを見つけて調整する必要があります。その場合は、[プロファイルの作成]ボタンをクリックして、エクスポートされたプロファイルを保存します。ターゲットが見つからない場合は、ソフトウェアのガイドラインに従って、新しい写真でチャンスを増やしましょう。
- Photo RAW、プロファイルしたカメラで作成した写真を使用して現像モジュールに移動します。[トーンとカラー]パネルで、[カメラプロファイル]ポップアップメニューの[プロファイルのインポート]をクリックします。エクスポートされたプロファイルを見つけて、開くを選択します。これでプロファイルがインストールされました。

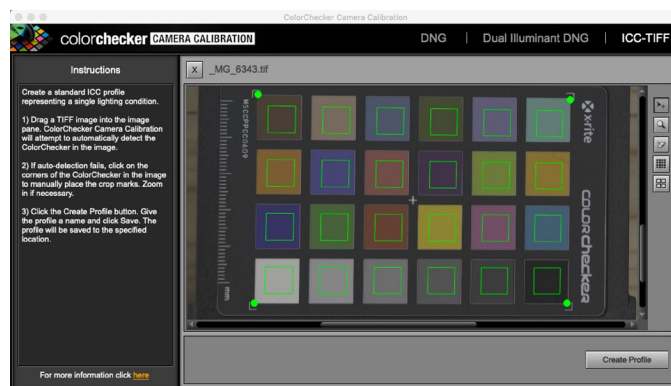
注: あなたが異なって見つけることができる ColorChecker のオプション X-Riteのウェブサイトを xritephoto.com/camerasolutions。



カラーターゲットで写真を開いたら、カメラプロファイルをLinear Rawに設定し、明るいグレーのターゲット（上記の丸で囲まれた）のいずれかをクリックして、グレーのスポイトを使用して写真を中和します。



中和されたターゲットをエクスポートするときは、ファイルタイプをTIFFに設定し、カラースペースをカメラキャリブレーションスペースに設定します。



X-RiteのColorCheckerカメラキャリブレーションアプリを使用して、エクスポートされたTIFFファイルを開き、独自のカスタムカメラプロファイルを作成できます。次に、DevelopのCamera Profileポップアップからプロファイルをインポートして、そのカメラで撮影した写真で使用します。

ON1エフェクトを使用したON1



現像が写真の編集を開始するベースである場合、エフェクトは最終的な学校です。任意の順序で積み重ねることができる30個のフィルターと、広範なブレンドおよびマスキングオプションにより、Effectsはプロレベルの素晴らしい写真を簡単に作成できます。また、ON1 Photo RAW2020の非破壊編集エンジン上に構築されているため、複数のバージョンのファイルを保存することを心配することなく、参照から開発、エフェクトに戻って、編集、マスクなどを保持できます。

DevelopとEffectsは同じツールを共有しますが、Effectsは、Effectsのフィルターと呼ばれる調整の適用方法をよりカスタマイズできます。Develop内の編集スタックは修正されていますが、Effects内のスタックは非常に柔軟です。以下は、エフェクトの画像でできることのほんの一部です。

- フィルタは任意の順序で追加できます（同じフィルタの複数のインスタンスでも）。
- スタック内でフィルターを上下に移動します。
- すべてまたは一部のフィルターにブレンドオプションを追加し、各フィルターの不透明度を個別に設定します。
- 追加するフィルターごとに複雑なマスクを作成し、フィルターを画像の特定の部分に選択的に適用できるようにします。

プリセットの作成と使用に加えて、編集モジュールの設定を1つのファイルから別のファイルにコピーして貼り付けるか、1つの写真の編集を写真のグループに同期することができます。これらの操作は、すべての編集モジュールとブラウザで実行できるため、ON1 Photo RAW2020の非常に高い柔軟性が得られます。（「設定のコピーと編集の同期」ページ<OV>写真間で編集内容をコピーする方法の詳細について。）

フィルター

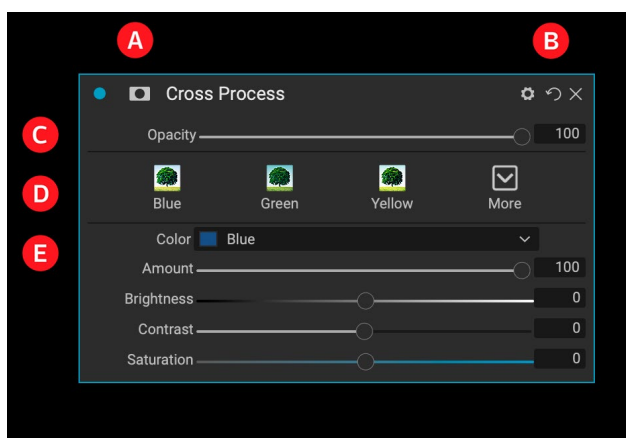
フィルターは、エフェクトの編集機能の構成要素です。各フィルターは、現像内の基本的な調整ペインによく似た調整タイプですが、エフェクトフィルターには、現像ペインよりもはるかに多くの機能があります。各フィルターは、作業中の基本画像上の移動可能な編集可能なレイヤーのようなものです。エフェクトのマスキングツールを使用して、画像の一部のみにフィルターを適用し、ブレンドモード（およびフィルターの不透明度）を変更して、フィルターがスタック内の上下のフィルターと相互作用する方法を変更できます。

[効果]タブには30種類のフィルターがあり、[効果]タブの上部にある[フィルターの追加]ボタン、またはウィンドウの左側の[フィルター]ペインを使用して追加します。フィルタは任意の順序で適用でき、スタック内にフィルタの複数のインスタンスを持つことができます。（これは、画像に複雑なマスクを作成していて、写真の一部に同じフィルターを別々に適用したい場合に役立ちます。）

フィルターの概要

各フィルターペインには調整オプションとコントロールの異なるセットがありますが、すべてのフィルターペインには同じ5つのセクションがあります。

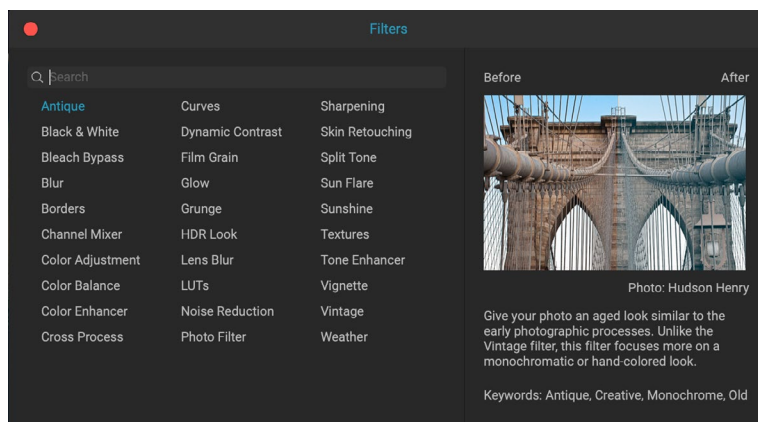
- A. フィルターオン/オフボタン（左）;マスクの表示/非表示（右）
- B. ブレンドモードオプションを表示します（左）。フィルターをリセットします（中央）。スタックからフィルターを削除します（右）。
- C. フィルターの不透明度設定。
- D. フィルタープリセットのスタイルペイン。
- E. そのフィルターの特定の設定を調整するための制御領域（選択したフィルターに依存）。



エフェクト内のフィルター（この場合はクロスプロセスフィルター）の概要。

[フィルターの追加]ボタンを使用してフィルターを適用する

[効果]タブの上部にある[フィルターの追加]ボタンをクリックすると、[フィルター]ウィンドウが開き、30個すべてのフィルターのリストが表示されます。フィルター名の上にカーソルを合わせると、ウィンドウの右側に小さな前後のサムネイル、短い説明、そのフィルターに関連するキーワードのリストが表示されます。フィルターを追加するには、フィルター名を1回クリックすると、現在のフィルターの上にあるスタックに追加されます。スタックにフィルターがない場合、新しいフィルターはスタックの一番上になります。任意のフィルターのタイトルバーをクリックしてドラッグし、スタック内で上下に移動できます。



[効果]タブの上部にある[フィルターの追加]ボタンをクリックすると、[フィルター]ウィンドウが開きます。

探しているものがわからない場合は、「モノクロ」、「コントラスト」、「シャープニング」などのキーワードを使用してフィルターを検索できます。Photo RAWは、検索用語に一致するフィルターに検索を絞り込みます。

フィルターブラウザーでフィルターを適用する

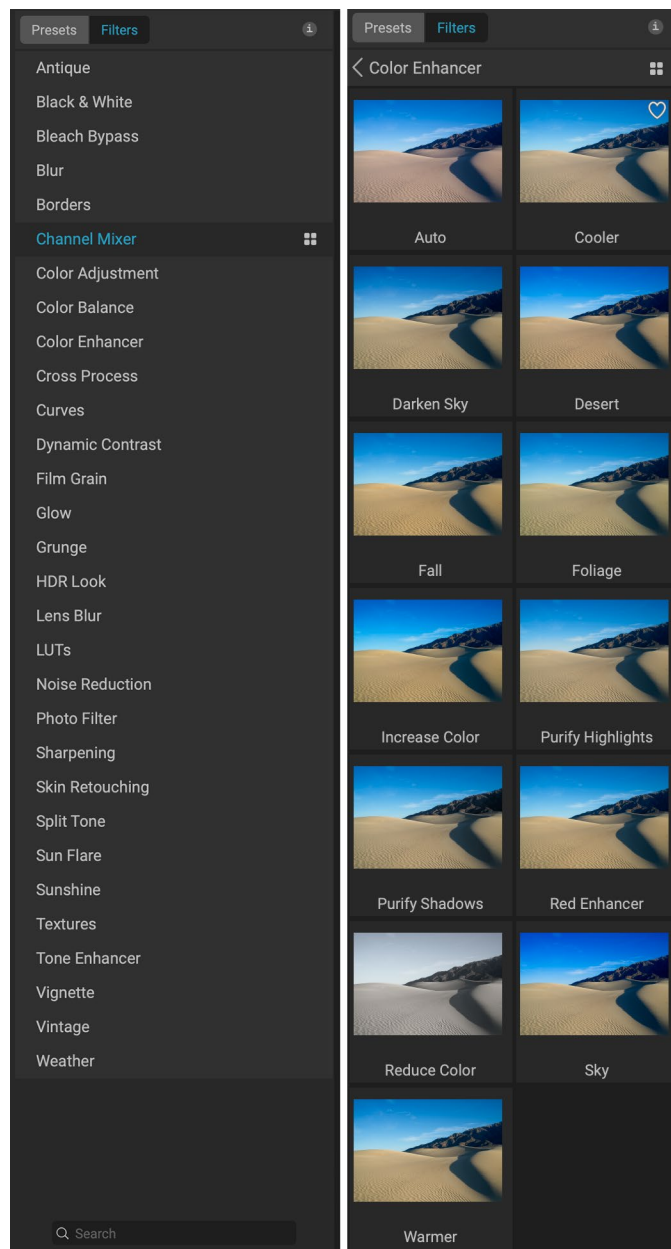
[参照]モジュールと[編集]モジュール全体にある[プリセット]パネルに加えて、画面の左側に[フィルター]パネルが追加されています。このパネルでは、エフェクト内のすべてのフィルターを参照し、そのフィルターで使用可能なスタイルのプレビューを表示できます。

[フィルター]パネルを選択するには、[フィルター]タブをクリックします。フィルターのリストが表示され、フィルターをクリックすると、そのフィルターで使用可能なスタイルの画像のサムネイルが表示されます。いずれかを選択するには、スタイルをクリックすると、エフェクトによってそのフィルターが[全体設定]ペインに追加されます。これにより、スタックで現在選択されているフィルターが置き換えられることに注意してください。スタックの一番上に新しいものを追加するには、右側の[効果]タブの上部にある[フィルターの追加]ボタンをクリックし、リストからフィルターを選択します。（フィルターのタイトルバーをクリックしてドラッグし、スタック内で上下に移動することもできます。）

選択した写真がフィルターのスタイルでどのように見えるかをより大きく表示したい場合は、カテゴリのタイトルバーにある[クイックビューブラウザー]アイコンをクリックします。これにより、Photo 2019のインターフェイス全体にウィンドウが表示され、そのカテゴリのすべてのプリセットが表示されます。（エスケープキーを押して、クイックビューブラウザーを閉じます。）

フィルタースタイルパネルでサムネイルのサイズを変更するには、[表示]メニューから[ブラウザーモード]オプションを選択し、[1列]、[2列]、または[3列]のサムネイルビューを選択します。（ブラウザーモードサブメニューから[サムネイル]を選択すると、[フィルターとプリセット]パネルがサムネイルとして表示されます。）

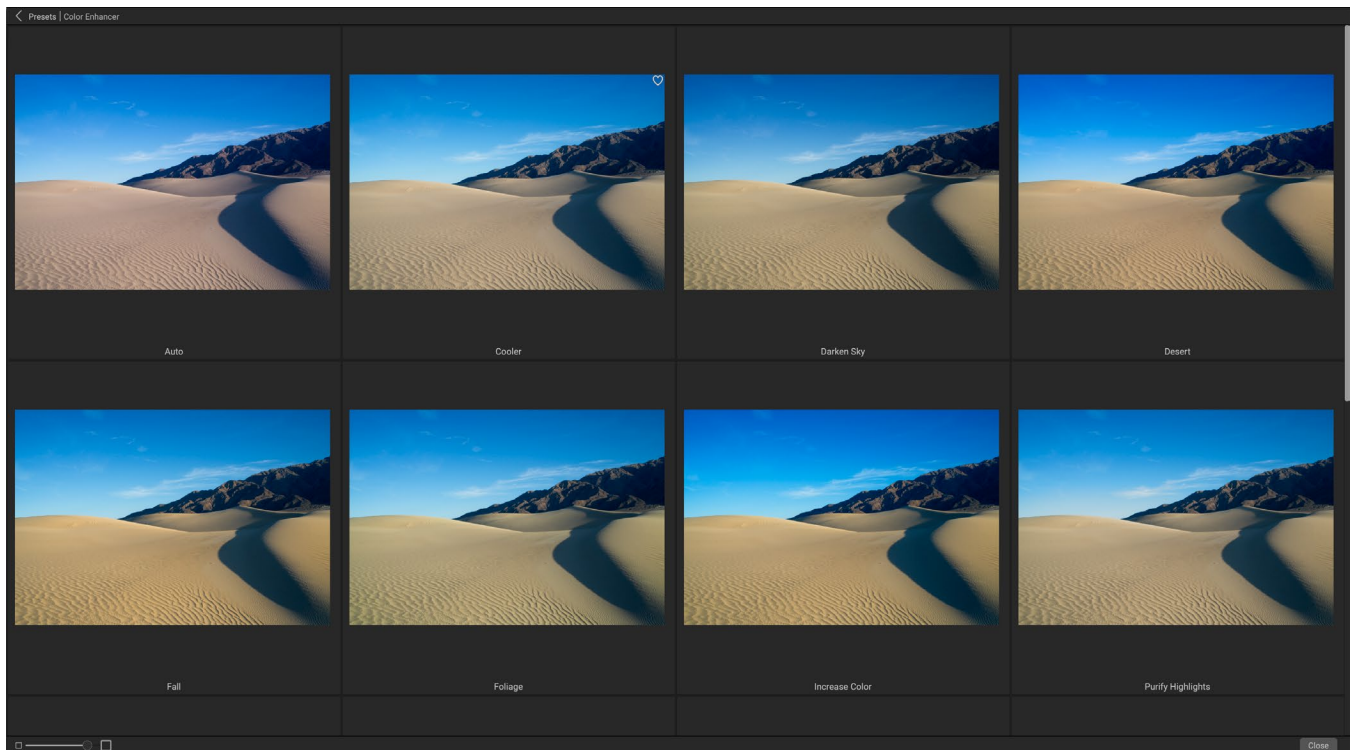
さまざまなフィルター操作の機能に関するヘルプが必要な場合は、パネルの右上にある[情報]ボタンをクリックします。ボタンをオンにすると、フィルターの上にマウスを移動すると、Photo RAWに[フィルターの追加]ウィンドウにある同じ説明（サムネイルの前後）を含む小さなポップアップウィンドウが表示されます。情報ボタンをもう一度クリックして、この表示をオフにします。



フィルターブラウザーには、エフェクト（左）で使用できるすべてのフィルターのリストがあります。フィルターをクリックすると、写真を使用したフィルターのスタイルのサムネイルが表示されます（右）。

Color Enhancer

リスト内のフィルターにカーソルを合わせると、フィルター名の左側にクイックビューブラウザーアイコンが表示されます。



[フィルター]パネルの[クイックビューブラウザー]オプションは、[プリセット]パネルのオプションと同じように機能します。フィルター名の右側のアイコンをクリックすると、Photo RAWはそのフィルターのスタイルが適用された現在の写真を表示します。

フィルターブラウザー内でフィルタースタイルを検索する

フィルターブラウザー内でスタイルを検索するには、パネルの下部にある検索フィールドに探している名前を入力します。検索結果は、検索結果と呼ばれる新しいサブフォルダーに表示され、自動的に選択されます。

フィルタースタイルをお気に入りとして保存する

フィルターブラウザーまたはクイックビューブラウザーでフィルタースタイルのサムネイルにカーソルを合わせると、ハートのアイコンが表示されます。アイコンをクリックすると、ハートが塗りつぶされ、そのスタイルがお気に入りカテゴリに追加されます。このカテゴリはフィルターリストの上部にあり、お気に入りとして選択したすべてのフィルタースタイルが含まれています。お気に入りを削除するには、お気に入りカテゴリを開き、ハートのアイコンをもう一度クリックします。

写真にフィルタースタイルを適用するには、フィルターブラウザーまたはクイックビューブラウザーでスタイルをクリックするだけです。

フィルターペインの操作

デフォルトでは、フィルタースタックは空ですが、Effectsからのフィルターを使用するプリセットを適用している場合、それらのフィルターはスタックに表示されます。フィルターペインの左上隅にあるボタンをクリックすると、その効果のオン/オフが切り替わります。これは、行った他の編集のコンテキストで効果を確認する場合に役立ちます。効果が気に入らない場合は、ペインのタイトルバーにある[X]アイコンをクリックして削除します。[削除]ボタンの横にある[]で表される[リセット]ボタンは、そのペインの設定をデフォルトにリセットします。

スタック内でフィルターを上下に移動するには、ペインのタイトルバーをクリックして上下にドラッグします。ドラッグすると、ペインの間に太い白い線が表示されます。フィルタを移動したい場所でマウスを離します。

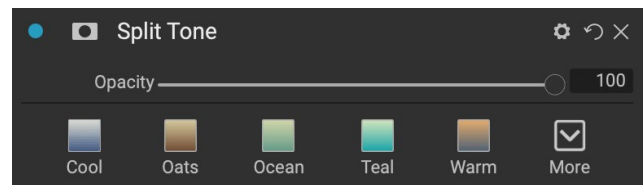
ヒント: 各ペインは、ペインのタイトルバーをクリックして折りたたむことができます（タイトルバーの上にカーソルを移動すると、非表示/表示リンクが表示されますが、タイトルバー全体はクリック可能です）。開いているペインが多数あるときにフィルタースタックを上下にスクロールする必要がない場合は、[ウィンドウ]メニューに移動し、[ソロモード]を選択します。これにより、現在のペインが開いたままになり、他のすべてのペインが非表示になります。別のペインをクリックすると、そのペインが開き、前のペインが折りたたまれます。

スタイル

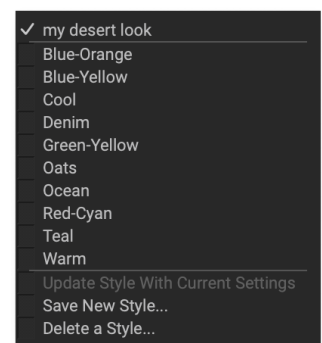
すべての効果フィルターには、ペインの上部に一連の組み込みスタイルがあります。スタイルは、ペインのプリセット調整のようなものです。スタイルの設定は、ペインでの作業を開始したり、特定の効果を適用したりするのに役立ちます。

ペインでスタイルのアイコンをクリックしてスタイルを使用し、必要に応じてスライダを調整して写真に適切な効果を与えることができます。

独自の設定をスタイルとして保存することもできます。そのペインのスタイルリストの右端にある[その他]アイコンをクリックし、ポップアップから[新しいスタイルを保存]を選択します。スタイルに名前を付けると、[その他]メニューの上部に追加されます（右を参照）。保存したスタイルを適用するには、[その他]ポップアップメニューからスタイルを選択します。保存したスタイルの設定を調整するには、それを適用し、スライダーまたはその他のオプションに必要な変更を加え、[その他]ポップアップを右クリックして、メニューから[現在の設定でスタイルを更新]を選択します。



スプリットトーンフィルターのスタイル。



保存したスタイルは、[その他]メニューの上部に表示されます。

フィルターマスク

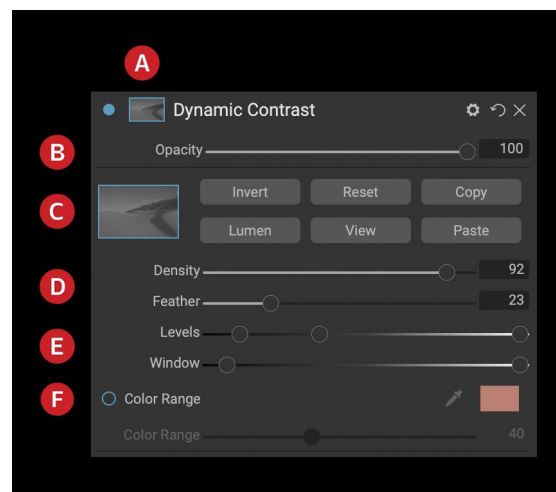
すべてのフィルター（およびローカル調整）にはマスクが関連付けられており、マスキングブラシ（または[ローカル]タブで作業している場合はローカル調整ブラシとグラデーション）とマスキングを使用して、そのフィルターの効果を画像の特定の領域に適用できます。デフォルトでは、マスクは白です。つまり、効果は画像のすべての部分に表示されます。たとえば、マスキングブラシを使用すると、フィルターの影響を受けたくない領域の効果を「塗りつぶす」ことができます。または、フィルターのマスクを反転し、フィルターを希望する場所に「ペイント」することもできます。

フィルタを追加すると、マスクは技術的に非表示になります。1つを追加するには、2つのマスキングツールのいずれかを選択して使用するか、フィルターペインのタイトルバーにある[マスクの表示/非表示]アイコンをクリックします（このアイコンは最初に中央にプラス記号で表示されます）。いずれかの方法でマスクを追加すると、[マスクの表示]アイコンの内容は、そのフィルターレイヤー上のマスクを表します。

Photo RAWは、マスクのコンテンツを表示するための2つのオプションがあります。画像の上に赤いオーバーレイを表示する（デフォルト）か、マスク自体のみをグレースケールで表示するかのいずれかです。これらのオプションは、[マスク]メニューから使用できます。[マスクを表示]を選択してマスクを表示し、[表示モード]オプションで2つのモードを切り替えることができます。（Photo RAWは以前の設定を記憶します。）

エフェクトまたはローカル調整のマスクセクションには、以下に示すように、次の内容があります（例としてダイナミックコントラストフィルターを使用）。

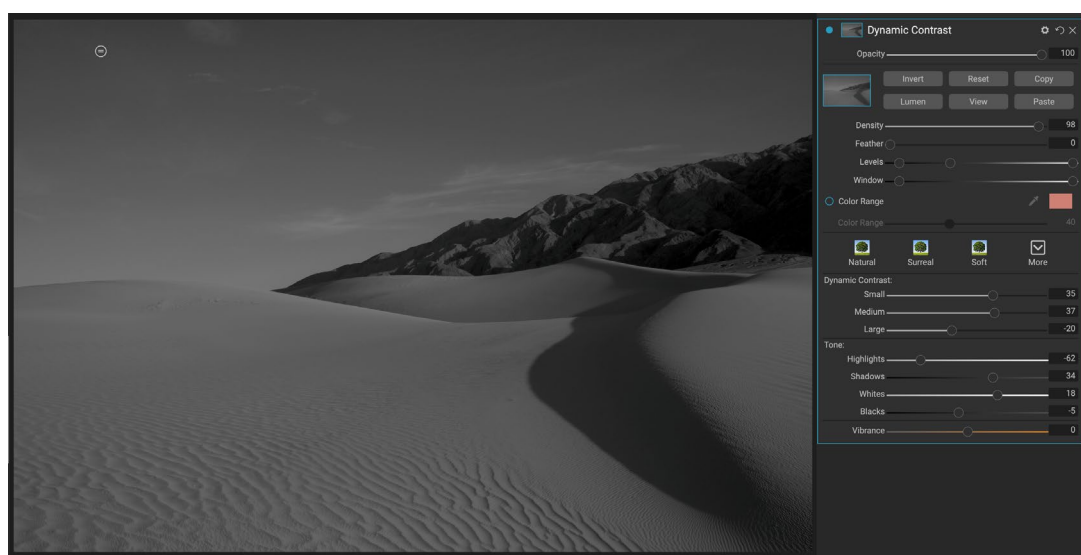
- A. マスクの表示/非表示アイコン。現在のマスクの内容が表示されます。デフォルトのマスクの内容は、エフェクトを追加すると白になり、ローカル調整レイヤーを追加すると黒になります。
- B. マスクの全体的な不透明度を設定します。
- C. マスクの内容を反転、リセット、コピー、貼り付け、表示/非表示するボタンを備えた、現在のマスクの拡大表示。ルーメンボタンは、画像の輝度マスクを作成します。
- D. 密度は、全体のマスク密度を黒（100）から白（0）に調整します。羽がマスクをぼかす。
- E. レベルとウィンドウの設定により、マスクの黒点と白点を調整し、さまざまな方法で微調整できます。
- F. [色の範囲]オプションを使用すると、色（スポイトツールで選択）を選択し、選択した色の範囲に基づいてマスクを作成または調整できます。



効果のフィルターペインの[マスクオプション]セクションの概要。輝度マスクを表示します。マスクオプションは、[ローカル調整]タブまたは[レイヤー]ペインのレイヤーで作業する場合にも適用できます。

輝度マスク

輝度マスクは、Photo RAW内でマスクを作成できる場所であればどこでも作成できる特殊なマスクタイプです。このマスクは、画像の明るさ（または輝度）値を使用して、特定の色調範囲をエフェクトでターゲットに設定します（または、それらのトーンからエフェクトを非表示にします）。画像の非常に特定の領域を微調整するのに最適です。



輝度マスクがグレースケールモードで表示された写真（マスクメニューの[マスクを表示]オプションの設定を使用して設定）。マスクを表示すると、密度、ぼかし、レベル、ウィンドウの各コントロールを使用して輝度マスクを調整する際に非常に役立ちます。

これらのマスクのいずれかを追加するには、[マスクオプション]領域の[ルーメン]ボタンをクリックするか、[マスク]メニューから[輝度マスクの作成]を選択します。マスクを表示すると、イメージの白黒バージョンのように見えます。明度マスクを使用すると、下のピクセルの輝度値に応じて効果が増加して適用されます。ピクセルが黒の場合、効果は適用されません。白の場合、完全に適用されます。他のすべてのトーンの場合、エフェクトはピクセルの明るさの割合として、0（白）から100（黒）まで適用されます。

レベルコントロールまたはウィンドウコントロールを使用して、輝度マスクでさらにトーンをターゲットにできます。[レベル]設定では、マスクの黒（左の三角形）および白（右）のポイントを設定できます。中点またはガンマの設定は、中央の三角形によって調整されます。これにより、マスクを調整して、画像内の輝度値の狭い帯域に焦点を合わせることができます。たとえば、中間調にエフェクトの焦点を合わせ、白と黒のポイントをレベルスライダーの中央に移動し、中点を調整する場合、マスキングブラシを使用する場合よりもはるかに迅速にこれを実現できます。

ウィンドウスライダーは、両側のブラックポイントスライダーのように機能するという点で、レベルスライダーに似ています。左右の三角形を移動すると、ポイントの外側のすべての色調範囲が黒になり、マスクの「ウィンドウ」内にある影響を受ける領域が残ります。たとえば、画像内の影だけに効果を持たせたい場合は、右のスライダーを約3分の2だけ左に動かします。

色範囲の選択

[色の範囲]オプションを使用すると、特定の色を使用してマスクを作成できます。画像内の色、またはシステムのカラーピッカーを使用した色。このオプションを使用するには、[色の範囲]セクションの横にある[オン]ボタンをクリックし、スポイトツールをクリックして、サンプリングする画像内の色を選択します。次に、スライダーを使用して、その色に基づいてマスクを拡大または縮小できます。数字が小さいほど選択される色の数が少なくなり、数字が大きいほど選択される色が多くなります。

マスキングのヒント

マスクペインのさまざまなオプションを操作するためのヒントを次に示します。

- 複数のマスキングツールを使用して、マスクを作成および変更できます。たとえば、明度マスクから始めて、レベルまたはウィンドウスライダーでマスクの色調範囲を調整し、マスキングブラシまたはマスキングバグでマスクをさらに調整できます。ただし、輝度マスクは常に現在のマスクをオーバーライドするため、そこから開始する必要があります。
- フェザースライダーを使用して、マスクされたセクションとマスクされていないセクション間の移行をスムーズにします。
- [密度]スライダーを下げると、マスクを作成した後に効果を強めることができます。「逆フェード」のように考えてください。100ではマスクがすべて表示され、0ではマスクは完全に白になります。
- 異なるフィルターで同じマスクを使用すると役立つ場合があるため、[コピー]ボタンを使用して1つのフィルターからマスクの内容を取得し、[貼り付け]ボタンを使用して別のフィルターのマスクに貼り付けます。

フィルターを削除する

フィルタを選択して削除するには、フィルタのペインの右側にある「X」アイコンを押します。

フィルターの不透明度

すべてのフィルターには不透明度の設定があり、フィルターの強度を効果的に調整します。各フィルターのペイン

の上部にある不透明度スライダーは、0（効果なし）から100（完全な効果）の範囲です。つまり、100の場合、すべてのフィルターがスタック内の画像に適用されます。50では、フィルターの強度は半分になり、効果ははるかに弱くなります。多くの場合、フィルターの不透明度を使用すると、他の方法では得られない方法で効果を和らげることができます。

たとえば、白黒フィルターを画像に追加したが、色あせた色落ちした色の効果が必要な場合は、そのフィルターの不透明度を単純に下げます。不透明度を下げるほど、白黒の効果は小さくなります。

デフォルトでは、フィルターを追加すると、不透明度は100に設定されます。ただし、特定のフィルターに希望する不透明度でプリセットを作成できます。

ブレンドモード

不透明度に加えて、フィルターの強度と効果を調整するためのもう1つの非常に強力なオプション、ブレンドモードがあります。ブレンドモードは、画像スタック内のフィルターとその下のフィルターとの相互作用を決定します。ブレンドモードでは、選択したモードに応じて画像を暗くしたり明るくしたりできますが、他のモードではコントラストや色を調整できます。ON1 Photo RAW 2020のブレンドモードでは、画像内の特定の色やトーンにブレンドモードを適用できるため、画像の正確な編集に非常に便利なツールになります。たとえば、画像の中間調にのみシャープニングを適用できます。これは、風景画像で非常に役立ちます。

ブレンドモードを表示するには、フィルターペインの上部にある[ブレンドオプション]歯車アイコンをクリックします。[ブレンドオプション]領域がパネルの上部からドロップダウンします。ブレンドオプションコントロールは次のとおりです。

- **ブレンドオプション**：ブレンドモードのポップアップリスト。リストには、標準、明るく、暗く、画面乗算、ソフトライト、ハードライト、オーバーレイ、カラーなど、24の一般的なブレンドモードがあります。
- **適用先**：これにより、ブレンドモードを特定の色または色調範囲に適用できます。オプションは次のとおりです。すべて（デフォルト）、ハイライト、ミッドトーン、シャドウ、レッド、グリーン、ブルー、マゼンタ、シアン、イエロー、肌色、鮮やかな色、ニュートラル。（ペインでドロップツールを選択し、画像の色をクリックして、手動で色の範囲を選択することもできます。）

このメニューのオプションのいずれかを選択すると、調整は、指定された明るさ、色相、または彩度の範囲に基づく画像の部分にのみ適用されます。[範囲]スライダーは選択したオプションを拡大または縮小し、[ハイライト]、[シャドウ]、および[スキン]スライダーはこれらの設定を調整から保護します。

ブレンドモードの仕組み

基本レベルでは、ブレンドモードによって、1つのレイヤー上のピクセルとその下のレイヤーとの相互作用が決まります。ON1 Photo RAW 2020の24のブレンドモードでは、特定の状況でどのモードを使用するかを知るのは難しいかもしれませんが、通常（デフォルトモード）と5つのカテゴリ（暗く、明るく、コントラスト、比較、と色/発光）。

Normalは最も広く使用されています。レイヤーの不

ON1 PHOTO'S BLEND MODES

	Normal
	Darken
DARKENS	Multiply
	Color Burn
	Linear Burn
	Darker Color
	Lighten
LIGHTENS	Screen
	Color Dodge
	Linear Dodge (Add)
	Lighter Color
	Overlay
ADDS CONTRAST	Soft Light
	Hard Light
	Vivid Light
	Linear Light
	Pin Light
	Hard Mix
	Difference
ADJUSTS BASED ON COMPARISON	Exclusion
	Hue
AFFECTS COLOR OR BRIGHTNESS	Saturation
	Color
	Luminosity

透明度が100%であると仮定して、調整（または効果）のすべてのピクセルに効果を適用します。

他のモードは、さまざまな数式を使用して、そのカテゴリの効果の異なるレベルを適用します。また、どのモードがどの写真に最適かを知るのが難しい場合があります。ほとんどの場合、効果をどのように適用するか（暗くするなど）を知っている場合、そのカテゴリのさまざまなモードで少し実験して、どのモードが最適かを判断する必要があります。

マスター不透明度、ブレンド、マスクのオプション

エフェクトには、画像スタック全体のマスター不透明度とマスターブレンドモードのオプションもあり、マスターマスクオプションが含まれています。[効果]タブの上部にある[マスター不透明度]スライダーは、元の画像（他の編集操作を行っていない場合）または画像の内側にある画像に対して、複合フィルタースタックの強度を制御します。モジュールを編集します。

[マスターブレンドモード]オプションには、[編集]タブの上部にある歯車アイコンからアクセスできます。個々のフィルターペインのブレンドオプションと同じコントロールがあります。

マスターマスクを作成するには、[編集]タブの[プリセットの保存]アイコンの横にあるマスクアイコンをクリックします。このマスクはエフェクトスタック全体で機能し、エフェクト全体を選択的に追加または削除できます。

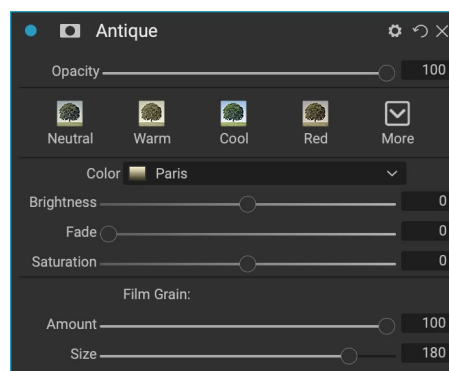
フィルターの種類

Effectsには、ON1 Photo RAW 2020内で使用できる30種類のフィルタータイプがあります。各フィルターの最上行には一連のスタイルがあり、そのフィルターを使用するための一般的または便利なオプションが用意されています。[スタイル]行の最後にある[その他]ポップアップをクリックして、独自のプリセットスタイルを保存することもできます。

アンティーク

アンティークフィルターを使用すると、画像に老朽化が見られます。ビンテージフィルターとは異なり、このフィルターは単色または手色の外観に焦点を当てています。

- **カラー**：トーンがスプリットトーンフィルターに似ているカラーオプションのリストを表示し、ダブルトーンスタイルの効果を提供します。
- **明るさ**：画像の全体的な明るさを調整します。
- **フェード**：画像に白い塗りつぶしを追加して、写真がフェードしたように見せます。
- **彩度**：色の彩度を調整します。スライダーを左に動かすと、彩度が下がります。右に移動すると増加します。
- **フィルムグレイン**：量は強度を制御し、サイズはグレインの大きさを決定します。



黒、白

このペインは、カラー画像をモノクロ画像に変換するために使用され、現像の白黒ペインと同じ設定の一部を共有しますが、エフェクトには追加の調色機能があります。

ペインの上部にあるスタイルは、画像によく適用されるさまざまなフィルタータイプを表し、自動ボタンは画像の黒点と白点を自動的に選択します。トーンを手動で操作するには、色範囲スライダーを右（輝度を上げる）または左（下げる）に動かします。または、「変換」ポップアップから「チャンネルミキサー」オプションを選択し、スライダーを使用して、最も興味のある色調を強調する外観を選択できます。

写真内の色調を直接変更するには、ペインで色反応ツールを選択します。クリックしてツールを選択し、画像をクリックしてドラッグし、選択した色範囲の明るさを増減します。

トーン

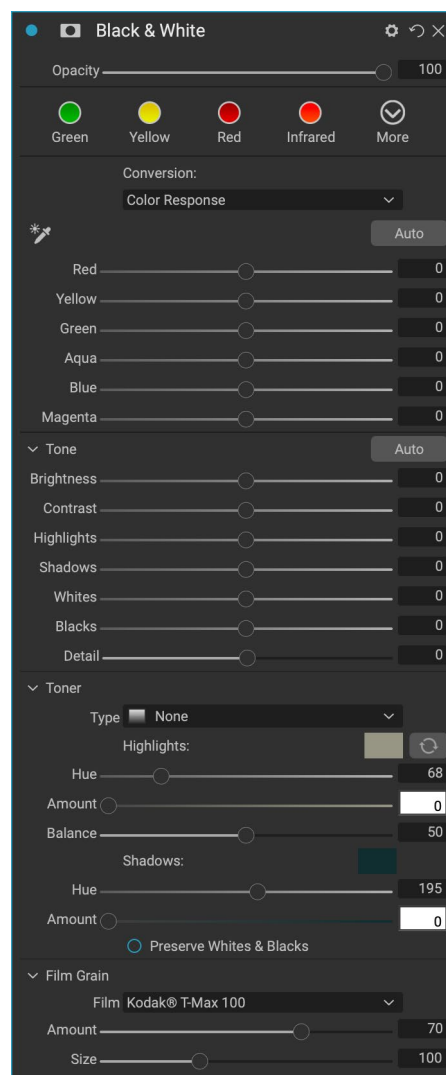
[白黒]ペインの[トーン]セクションは、[現像]の[トーン&カラー]ペインのセクションと似ています。明るさ、コントラスト、ハイライトとシャドウ、白と黒、および詳細をフィルターペイン内で直接調整できます。

トナー

フィルターの[トナー]セクションは、セピアトーンからプラチナ、セレン、コーヒーなど、多くの従来の一般的な暗室ベースのペーパーパートナーに近づけるように設計されています。[タイプ]ポップアップメニューから20以上の色調オプションから選択し、紙（ペインの[ハイライト]セクションで表示）とシルバー（影で表示）の組み合わせを調整できます。オプションを調整するには、各設定の色相または量を調整し、（ハイライトカラーウェルの横にある）トーンの交換アイコンを使用して、ハイライトとシャドウの色を交換します。[白と黒を保持]ボタンは、トナーの色をとる代わりに、純粋な白と純粋な黒をニュートラルに保ちます。

フィルムグレイン

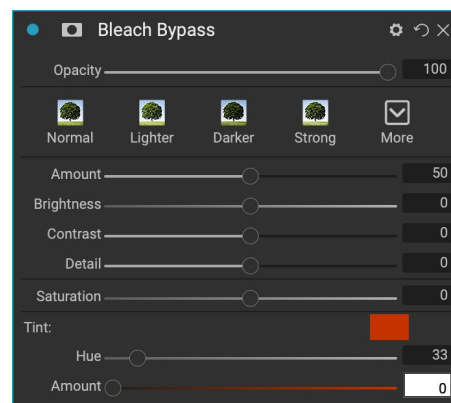
白黒ペインの最後のセクションはフィルムグレインです。これは、トナーセクションと同様に、写真にクラシックなフィルムグレインの外観を追加するように設計されています。フィルムの粒子を追加するには、人気のある白黒フィルムのドロップダウンリストから選択します。「量」スライダーは効果の強さを制御し、「サイズ」スライダーは粒子のスケールを調整します。



ブリーチバイパス

このフィルターは、漂白ステップがスキップされた古いカラーフィルム処理技術に基づいています。彩度を下げ、コントラストを高めます。

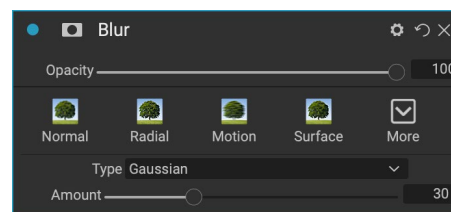
- **量**：ブリーチバイパスの外観の強度または量を制御します。
- **明るさ**：画像の全体的な明るさを調整します。
- **コントラスト**：グローバルコントラストを増減します。
- **詳細**：マイクロコントラストを上げて詳細を強調します。
- **彩度**：基になる彩度を調整します。
- **色合い**：色アイコンをクリックするか、色相スライダーを使用して、新しい色を選択します。
- **量**：色合いの強さを調整します。



ぼかし

このフィルターには、画像にぼかしを追加するための5つのオプションがあります：ガウス、モーション、放射状、表面、およびボックス。各ぼかしには独自の外観があります。

- **ガウス**：これは、画像に適用される単純なガウスぼかしです。これには、半径を調整することでぼかしの強さを制御するスライダーが1つあります。
- **モーション**：モーションブラーは、動きの外観を追加します。
 - [量]スライダーはぼかしの強さを制御し、[距離]は被写体とカメラの間の領域に対するぼかしを制御します。角度はぼかしの角度を設定し、スムージングスライダーは動きによって作成された線を柔らかくします。
- **放射状**：これらのぼかしは円形で、中心点からズームアウトします。
 - 量は、ぼかしの強さを制御します。品質は、ぼかしのノイズの度合いを制御します。1は粗く、100は滑らかです。スムージングは、モーションによって作成された線を柔らかくします。
 - 放射状のぼかしタイプには、ペインの下部にセンタースポットセクターが含まれています。アイコンをクリックしてから、ぼかしの中心にする画像の部分をクリックします。
- **表面**：これらのぼかしはエッジを維持する傾向がありますが、細部にぼかしを追加します。このぼかしタイプは、「単純化された」効果を与えることができます。[量]スライダーはぼかしの強さを制御し、[しきい値]は同様の色をグループ化する方法を設定します。
- **ボックス**：ボックスのぼかしは、概念的にはガウスぼかしに似ていますが、コントラストのエッジに基づいてぼかしを行います。ボックスブラーは、ガウスブラーよりもエッジを少しはっきりと保持する傾向があります。



注：ぼかしの強度を弱めようとするときは、不透明度スライダーを使用しないでください。代わりに、量スライダーを使用してください。

ボーダーズ

ON1 Photo RAW2020には、写真に追加できる既製の境界線とエッジの大規模なコレクションがあります。これらの境界線は、古典的な映画の境界線からファインダーまで、芸術的效果から乳剤転写などまでさまざまです。

境界線フィルターには、選択した境界線のサイズ、色、およびブレンドモードを操作するための広範なコントロールセットもあります。

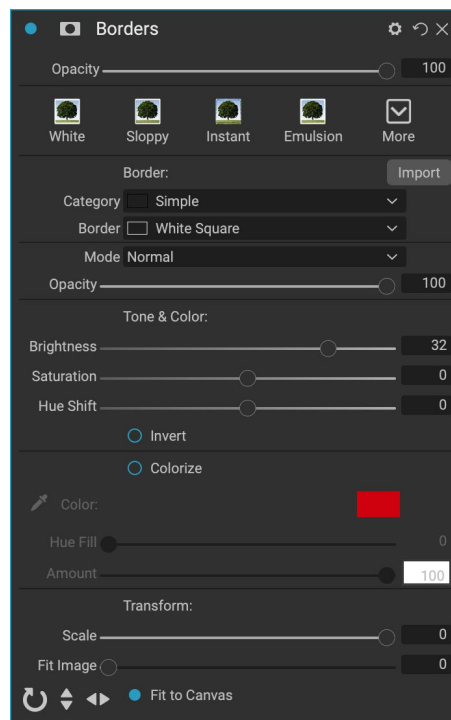
また、独自の境界線を直接[境界線]フィルターペインにインポートするか、エクストラマネージャー（参照で利用可能）を使用してインポートすることもできます。境界ファイルは、大きな中央の透明な領域を持つ標準のPNGファイルタイプである必要があります

ペインの上部にある[カテゴリ]および[境界線]ポップアップを使用して、境界線カテゴリおよび各カテゴリ内の特定の境界線を選択します。タイプ別にソートされた8つの組み込みカテゴリがあります。ユーザーがインポートした境界線もこのリストに表示されます。

追加する境界線を選択したら、ブレンドモードと不透明度を調整できます。境界線に色がある場合は、色相、彩度、明度を調整できます。または、境界線が黒または白の場合、色を付けることができます。

[境界線]ペインの下部にある[変換]セクションでは、境界線のサイズを拡大または縮小して、見た目を整えたり、[画像に合わせる]スライダーで境界線の下の画像のサイズを調整したりできます。

画面の下部にあるボタンをクリックして、現在選択されている境界線を回転または反転できます。



注: 更新が必要なページを「[エクストラ](#)」ページ<?>Extras Managerを使用して境界線、テクスチャ、その他のエクストラをインポートする方法、およびBorders and Texturesフィルタ用のファイルを準備するための追加情報については、

チャンネルミキサー

チャンネルミキサーフィルターは、写真の個々の赤、緑、青のチャンネルの強度と色を調整します。白黒変換、赤外線ショットのチャンネルスワップ、または色範囲全体のシフトに使用できます。

チャンネルアイコンをクリックして特定のチャンネルを選択し、赤、緑、青のスライダーを使用してそのチャンネルのピクセル値を増減します。[定数]スライダーは、現在選択されているチャンネルの輝度に影響します。

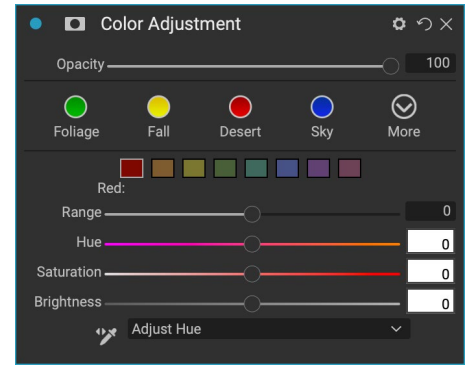


色調整

このペインでは、写真の特定の範囲の色を調整できます。ペインの上部にあるスタイルは、特定のシーンタイプ（葉、秋、砂漠、空）を強化するように設計されています。

下のペインには、赤、オレンジ、黄色、緑、水色、青、紫、マゼンタの8色の色見本があります。いずれかの色をクリックすると、選択した色範囲の色相、彩度、明度を調整できます。その他の設定は次のとおりです。

- **範囲**：このスライダーを使用すると、選択した色の範囲を狭くしたり広げたりできます。
- **色相**：選択した色範囲の色相を変更します。
- **彩度**：選択した色範囲の彩度を調整します。
- **明るさ**：選択した色範囲の明るさを調整します。

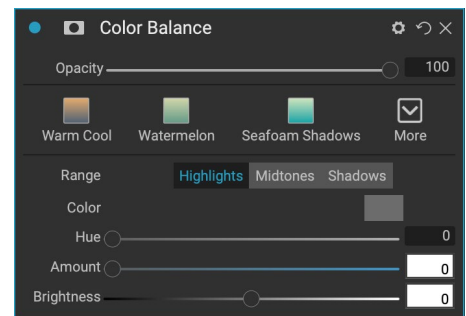


ペインのターゲットドロップパーツールを使用して、色相、彩度、または明るさを動的に調整することもできます。これを行うには、ツールをクリックして、調整するパラメーターを選択します。次に、調整する色の上で画像をクリックし、カーソルを左右にドラッグして、効果を増減します。

カラーバランス

このフィルターを使用すると、写真のハイライト、ミッドトーン、シャドウトーンの色を調整できます。これは、写真のカラーグレーディング、シャドウまたはハイライトからのカラーキャストの削除、またはダブルトーンまたはトリトーンスタイルのイメージの作成を行う場合に役立ちます。

ペインを使用するには、調整するトーン（ハイライト、ミッドトーン、シャドウ）をクリックして、[量]スライダーを上げます。その後、色相と明るさのコントロールを使用して、達成したい外観を調整します。元々18%グレーとして表されるカラーパッチは、そのトーンの3つのスライダーすべての組み合わせを表すように変更されます。



カラーエンハンサー

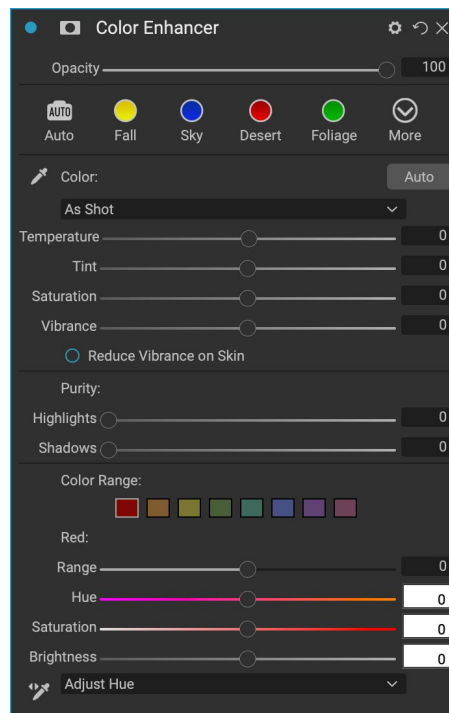
カラーエンハンサーは、画像全体で全体的に適用されるか、異なる色範囲を調整することで、画像の色操作を完全に制御できるように設計されています。

ペインの上部にあるスタイルは、特定のシーンタイプ（葉、秋、砂漠、空）を強化するように設計されています。画像の全体的な色を調整するには、フィルターペインの上半分の[色]セクションで作業します。個々の色の範囲を操作するには、ペインの下部にある[色の範囲]セクションを使用します。

色

ペインの上半分にある色スライダーは、温度、色合い、および彩度を制御します。これらは、色かぶりを除去し、画像の色を強調するために使用されます。[カラーエンハンサー]ペインのこのセクションの設定には次のものがあります。

- ・ **自動ボタン**：自動ボタンは、色かぶりを検出して削除しようとしします。温度と色合いのスライダーを調整します。
- ・ **グレースロpper**：画像の色 かぶりを 除去するために使用されます。アイコンをクリックしてアクティブにし、画像内のグレイの領域をクリックします。スライダーは、選択したサンプルに応じて自動的に調整されます。
- ・ **ホワイトバランス**：このポップアップでは、一般的な色温度（ショット、自動、昼光、曇り、日陰、タングステン、蛍光、フラッシュ、カスタム）に応じてホワイトバランスを変更できます。デフォルトはAs Shotで、写真を撮ったときにカメラが記録した色温度です。
- ・ **温度**：このスライダーは、色を冷たい色（青）または暖かい色（黄色）にシフトします。
- ・ **色合い**：色を緑またはマゼンタにシフトします。
- ・ **彩度**：画像の彩度を増減します。
- ・ **Vibrance**：ミュートされたトーンの色を増減し、飽和した色のみを残します。
- ・ **肌のバイブランスを減らす**：オンにすると、肌の色の領域で[バイブランス]スライダーで行った調整が減ります。これにより、肌の色に悪影響を与えることなく、衣服と背景の鮮やかさを増すことができます。
- ・ **純度-ハイライト**：ハイライト の彩度を減らします。
- ・ **純度-影**：影の彩度を減らします。



色の範囲

ペインの[色の範囲]セクションには、赤、オレンジ、黄色、緑、水色、青、紫、マゼンタの8色の見本があります。いずれかの色をクリックすると、選択した色範囲の色相、彩度、明度を調整できます。ペインの他の設定には次のものがあります。

- ・ **範囲**：このスライダーを使用すると、選択した色の範囲を狭くしたり広げたりできます。
- ・ **色相**：選択した色範囲の色相を変更します。
- ・ **彩度**：選択した色範囲の彩度を調整します。

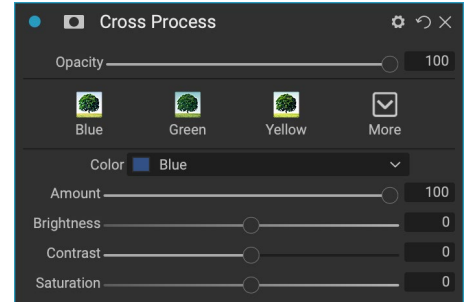
- ・ **明るさ** : 選択した色範囲の明るさを調整します。

また、ペインのターゲットドロPPERツールを使用して、写真のセクションをクリックし、色相、彩度、または明るさを動的に調整することもできます。これを行うには、ツールをクリックして、調整するパラメーターを選択します。次に、調整する色の上で画像をクリックし、カーソルを左右にドラッグして、効果を増減します。

クロスプロセス

このフィルターは、不適切な化学的性質でフィルムを意図的に処理する効果をシミュレートします。不自然な色と高コントラストを作成します。

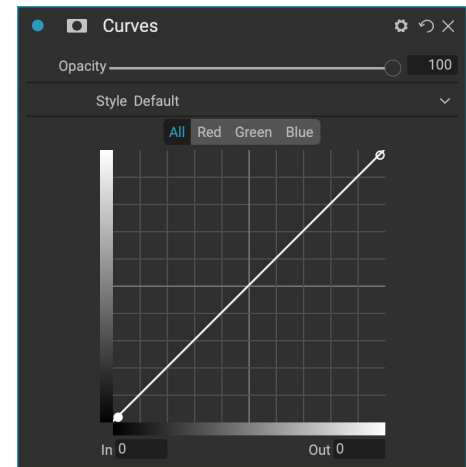
- ・ **色** : クロスプロセスタイプのドロップダウンリスト（青、緑、黄色、強力なオプション付き）。
- ・ **Amount** : フィルターの全体的な強度を制御します。
- ・ **明るさ** : 全体の明るさを調整します。
- ・ **コントラスト** : 全体のコントラストを調整します。
- ・ **彩度** : 下線の彩度を調整します。



曲線

曲線ペインは、画像のコントラストと色を調整するための強力な高度なツールです。ペインの上部にあるボタンを使用して、コンポジットRGBチャンネルを調整できます。または、個々の赤、緑、青のチャンネルを個別に調整できます。

ペインの主要部分では、X軸の左側が画像の暗いトーンを表し、右側が明るいトーンを表します。ペインの中央にある線をクリックして上下にドラッグすると、特定のトーンを調整して明るくしたり暗くしたりできます。（カーブを調整するときには、ヒストグラムに注意してください。）

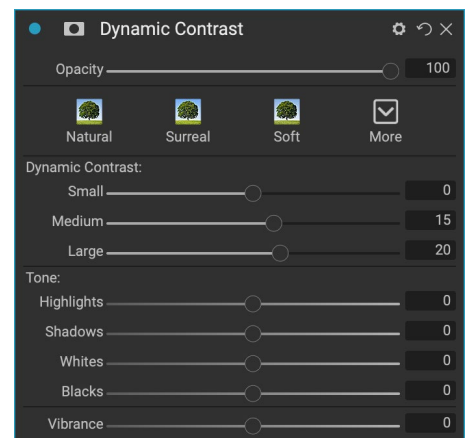


ダイナミックコントラスト

ダイナミックコントラストは、画像に明瞭さ（トーンコントラストとも呼ばれる）を追加し、ポップにします。これは強力な効果になる可能性があるため、画像の特定の領域の効果を軽減するためにマスクと組み合わせることがよくあります（たとえば、空の雲は、多くの場合、ダイナミックコントラストが適用されすぎてシュールに見えます）。

ペインの上部では、小、中、大の詳細領域のコントラストを調整します。スライダーを左に動かすとコントラストが下がり、スライダーを右に動かすとコントラストが上がります。

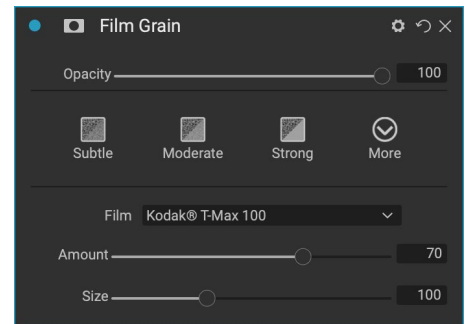
極端な方法でコントラストを調整すると画像の色調に影響を与える可能性があるため、ペインの下部セクションでハイライトとシャドウを調整して、白と黒の領域の詳細を回復し、鮮やかさを高めます。



フィルムグレイン

フィルムグレインフィルターは、写真にクラシックなフィルムグレインの外観を追加するように設計されています。白黒フィルターのセクションと同じように動作しますが、写真を白黒に変換せずに粒子を追加できます。

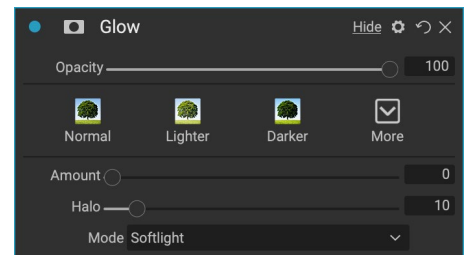
粒子を追加するには、人気のある白黒フィルムのドロップダウンリストから選択します。「量」スライダーは効果の強さを制御し、「サイズ」スライダーは粒子のスケールを調整します。



グロー

このペインは、画像にソフトフォーカスグローを追加します。スタイルセクションと[その他]ポップアップには、さまざまなグロータイプが含まれています。グローペインの調整可能な設定には次のものがあります。

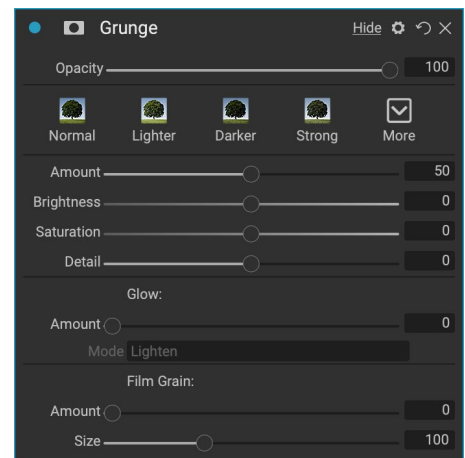
- ・ **量**: 全体的なグロー強度を制御します。
- ・ **Halo**: グローエフェクトの半径を設定し、画像のエッジをぼやかせます。
- ・ **モード**: グロー効果のブレンドモードを設定できます。



グランジ

このフィルターは、画像に汚いまたは汚れた外観を追加するために使用されます。このペインの設定には次のものがあります。

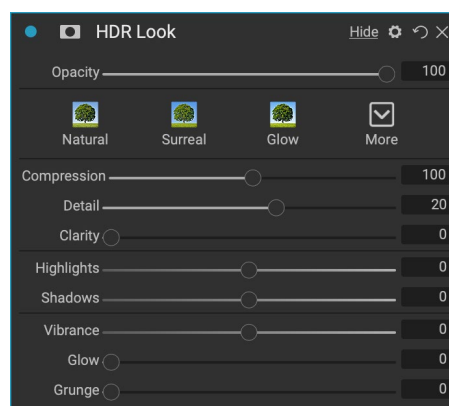
- ・ **量**: グランジの全体的な強度を調整します。
- ・ **明るさ**: 画像の全体的な明るさを調整します。
- ・ **彩度**: 基になる彩度を調整します。
- ・ **詳細**: 詳細の量を調整します。
- ・ **グロー量**: グランジにグローを追加します。
- ・ **モード**: グローブレンディングモードを選択します。
- ・ **フィルムグレインの量**: 画像にフィルムグレインを追加します。
- ・ **Film Grain Size**: 粒子サイズを制御します。



HDRルック

このフィルターは、強調されたエッジとシャープネスを使用して、HDRスタイルのトーンマッピングを再作成します。これは、ダイナミックコントラストと同様に、マスキングモードまたはブレンドモードの恩恵を受けることがよくあります。設定が含まれます：

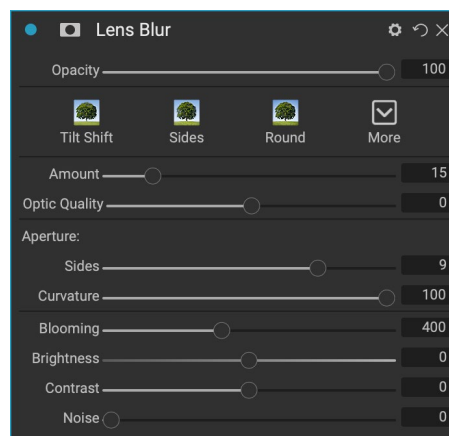
- **圧縮**：トーンを圧縮して、ハイライトとシャドウの詳細を明らかにします。
- **詳細**：詳細とエッジのローカルコントラストを高めます。
- **明瞭度**：グローバルコントラストを高めます。
- **ハイライト**：ハイライトの詳細を回復します。
- **影**：影の細部を回復します。
- **自然な彩度**：落ち着いた色調の自然な彩度を調整します。
- **グロー**：明るいグローを追加します。
- **グランジ**：暗い砂のような外観を追加します。



レンズのボケ

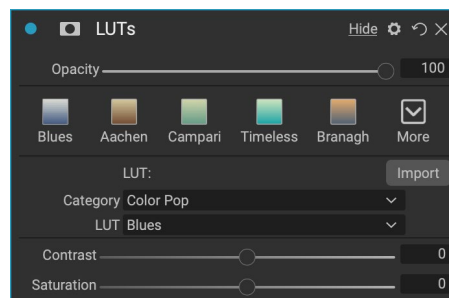
このフィルターは、ティルトシフトや浅い被写界深度などのカメラレンズに基づいてぼかしを作成します。マスキングバグを使用して、画像全体のぼかしの量を調整したり、必要な場所で効果をブラシインまたはブラシアウトできます。フィルター設定には次が含まれます。

- **量**：ぼかしの全体的な強度を調整します。
- **光学品質**：内側および外側の羽根の開口形状を制御します。
- **Sides**：レンズの絞りの刃の数を設定します。これにより、ボケの形状が変わります。
- **Curvature**：絞り羽根の曲率を設定します。
- **ブルーミング**：ハイライトのボケを調整します。
- **明るさ**：ぼかしの全体的な明るさを制御します。
- **コントラスト**：ぼやけた領域のコントラストを制御します。
- **ノイズ**：シミュレートされたフィルム粒子をぼやけた領域に追加します。



LUT

LUTフィルターは、カラールックアップテーブル (LUT) を適用して、画像の基になる色を変換します。LUTは、ビデオアプリケーションで最初に使用され、フィルムにカラーグレーディング (およびその他の) 効果を提供し、スチル写真で人気が高まっています。[スタイル]セクションには、適用できるデフォルトのエフェクトがいくつかあります。また、フィルター内の[インポート]ボタンをクリックして、独自のLUTをインポートすることもできます。(Photo RAWは、.3DLおよび.CUBEファイ



ルタイプを含む一般的なLUTファイル形式をインポートできます。)

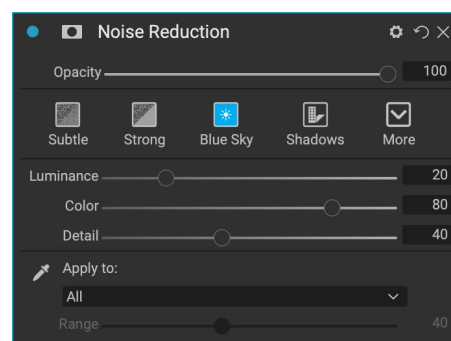
- **カテゴリ:** このポップアップメニューでは、事前にインストールされているLUTカテゴリのいずれか、またはPhoto RAWインポートしたカテゴリから選択できます。
- **LUT:** 選択したカテゴリ内で利用可能なLUTを表示します。
- **コントラスト:** 基になるコントラストを調整できます。
- **彩度:** 彩度を追加または削減します。

注: 更新が必要なページを「[エクストラ](#)」ページ<?>Extras Managerを使用してLUTをPhoto RAW にインポートする方法については、

ノイズ減少

このペインを使用して、画像の詳細を維持しながら、輝度と色ノイズを低減します。スタイルセクションには、作業中の画像の種類に基づいて、さまざまなノイズ除去オプションが含まれています。

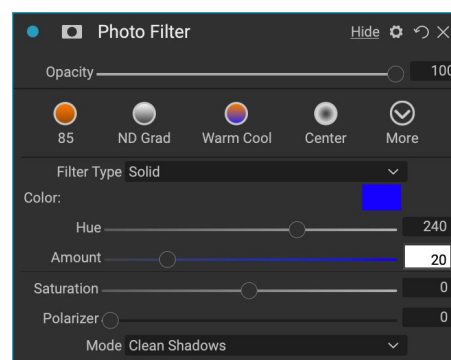
- **輝度:** 画像の輝度またはディテールに適用されるノイズ低減の全体的な強度を調整します。Alt / Optionキーを押しながら、このスライダーを調整しながら輝度だけを確認します。
- **色:** 画像の色または彩度だけに適用されるノイズ除去の量を制御します。
- **詳細:** エッジの詳細をどの程度保護するかを制御します。Alt / Optionキーを押しながらエッジマスクを表示し、このスライダーを調整します。
- **適用先:** 色または明るさの値に基づいて、画像の一部のみにノイズリダクションを制限できます。オプションには、ハイライト、シャドウ、ミッドトーン、および色の範囲が含まれます。カスタム色の範囲を設定するには、ドロPPERアイコンをクリックして、ノイズを除去したい色の領域をクリックします。範囲スライダーを使用して、ノイズ低減を適用する色範囲の範囲またはあいまいさを調整します。



写真フィルター

このフィルターは、加温および冷却効果に使用される従来の単色レンズフィルターと、グラデーション、2色、およびセンタースポットフィルターを再現します。ペインの上部にあるポップアップメニューからフィルタータイプを選択し、好みに合わせて設定を調整します。各タイプには、フィルターの色（またはバイカラータイプの場合は色）の選択、彩度や偏光の追加など、さまざまなオプションがあります。

[ソリッド]オプションには、フィルターに使用する単色を選択するセクションと、効果をどれだけ強くするかを指定する[量]スライダーが含まれています。偏光スライダーは偏光効果を追加します。偏光効果は、画像のかすみを解消したり、青や緑を強調したりするのに役立ちます。



Bi-ColorおよびGradatedフィルターオプションを使用すると、フィルターの色（単数または複数）、フィルター選

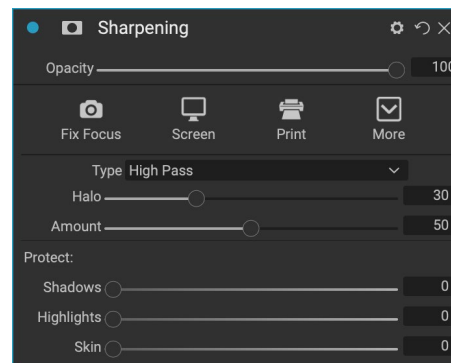
移のぼかし、効果の方向を選択できます。

Centerタイプは、Graduatedオプションとほとんど同じように機能しますが、違いはフィルターが画像の中心から放射されることであり、中心をクリアにするか色付けするかを選択できます。

研ぎ

このペインは、動いている被写体やわずかに焦点が合っていないカメラを補正したり、説明的な効果を得るために、写真にシャープネスを追加するのに役立ちます。ON1 Photo RAW 2020は、シャープ、ハイパス、プログレッシブ、およびアンシャープマスクの3つのアルゴリズムを提供します。どちらを使用するかは、画像または個人的な好みによって異なります。スタイルセクションと[その他]ポップアップには、使い始めるのに役立つ幅広いシャープスタイルがあります。

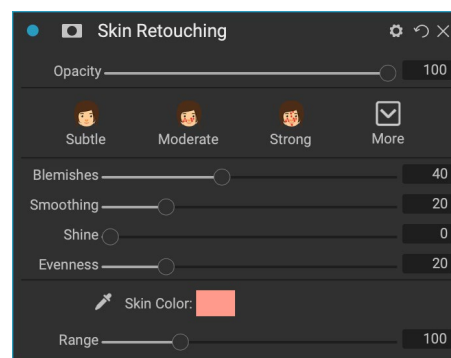
- ・ **タイプ**：シャープニング方法を選択します。各シャープニング方法には、独自のスライダーのセットがあります。
- ・ **量 (すべてのタイプ)**：各シャープタイプのシャープの全体的な強度を制御します。
- ・ **Halo (アンシャープマスク、ハイパス)**：シャープ効果の半径を設定します。量が少ないと細かいディテールが維持され、量が多いとエッジのディテールが誇張されます。
- ・ **しきい値 (アンシャープマスク、プログレッシブ)**：写真のコントラストに基づいてシャープ効果を制御します。設定を大きくすると、滑らかな領域がシャープになりません。
- ・ **詳細 (プログレッシブのみ)**：細部のシャープネスを制御します。
- ・ **保護**セクションでは、シャープが適用されることから、ハイライト、影領域と肌のトーンを保護します。



肌のレタッチ

スキンレタッチペインは、傷を減らし、肌を滑らかにし、肌の輝きを減らすために使用されます。ペインの上部にあるスタイルは微妙なものから強いものまでさまざまな調整を表し、[その他]ポップアップメニューには、画像に応じて選択できる追加のスタイルがいくつかあります。その他の設定は次のとおりです。

- ・ **傷**：にきび、毛穴、小じわの強さを調整します。
- ・ **スムージング**：メイクアップファンデーションに似たスムージングの強さを調整します。
- ・ **輝き**：肌の輝きの強さを調整します。
- ・ **均一性**：顔全体で肌の色の一貫性を調整します。過度に黄色いハイライト、緑の影、または鼻や耳の赤みを軽減するのに最適です。
- ・ **スキンカラー**：カラードロッパーアイコンを使用して、スキンカラーを選択します。アイコンをクリックしてアクティブにし、画像内のスキンの色をもう一度シングルクリックします。
- ・ **カラーウェル**：これは、カラードロッパーで選択した色を表示します。ウェルをクリックすると、スキンを表す別の色を選択できます。
- ・ **範囲**：選択した色の精度を調整します。

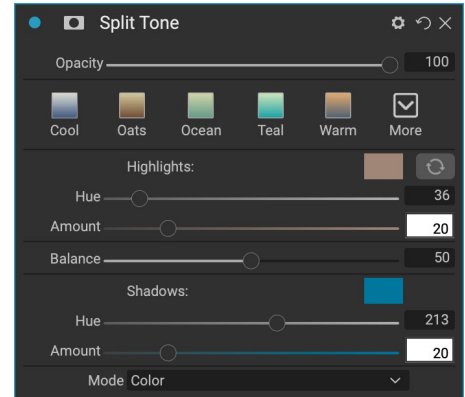


スプリットトーン

このフィルターは、画像の暗い部分と明るい部分を異なる色相で色付けするグラデーションマップを使用して、ダブルトーンスタイルの効果を適用します。これは、画像を古くして、アンティークまたはビンテージの外観にするために使用できます。スタイルセクションには、人気のあるスプリットトーン効果があります。スライダーを操作して、ハイライトとシャドウの色のマップを選択することで、独自のエフェクトを作成できます。

ペインを使用するには、各セクションの色相スライダーを使用して、ハイライトとシャドウに使用する色を選択できます。[量]スライダーは色の強さを制御し、[バランス]はシャドウとハイライトの色のバランスを設定し、色の1つをより支配的にします。

[モード]ポップアップは、スプリットトーンのブレンドモードを設定します。選択できるオプションは、標準（ブレンドなし）、色、明るく、暗く、乗算、または画面です。



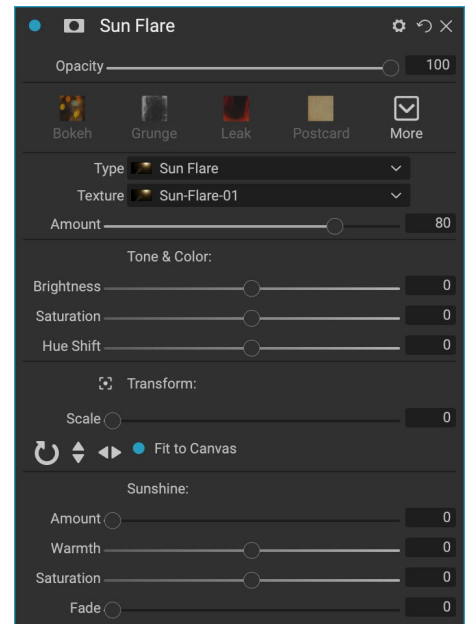
サンフレア

このフィルターは、写真にリアルな太陽フレア、太陽の星、ボケのオーバーレイを追加します。エフェクトのトーンと色をサイズ変更、移動、調整できます。また、スタンドアロンのサンシャインフィルターと同様の色調を追加することもできます。[タイプ]ポップアップでは、3つのオプション（ボケ、フレア、スター）を選択できます。[テクスチャ]メニューには、選択したタイプのさまざまなオプションが表示されます。

フィルターの[トーン&カラー]セクションでは、現在のテクスチャの明るさ、彩度、色相を調整できます。

テクスチャの位置を移動するには、変形ラベルの横にあるアイコンをクリックしてから、オーバーレイをクリックして目的の場所までドラッグします。[スケール]スライダーを使用してオーバーレイを拡大できます。[キャンバスに合わせる]ボタンの左側にあるアイコンをクリックして、オーバーレイを回転または反転できます。

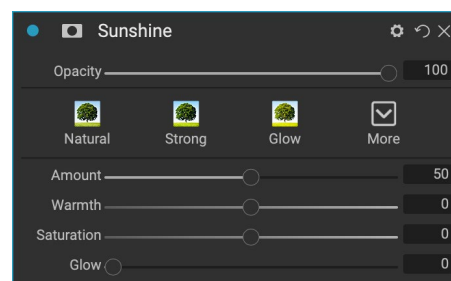
Sun Flareペインの下部には、Sunshineフィルターのバージョンが含まれており、全体的な効果の暖かさと彩度を調整できます。フェードスライダーは、最終的な効果にマットな外観を与えます。



注： Sunフレアは、Photo RAW 以前のバージョンにあったレンズフレアフィルターを置き換えます。レンズフレアフィルターを使用した古い写真がある場合、またはフィルターを使用したプリセットがある場合、[効果]タブを開くとペインが表示されません。フィルターリストのペインを新しい画像に追加することはできません。

日光

このフィルターは、写真の太陽の光の外観を高め、平坦で曇りの日をより鮮明にするのに役立ちます。コントロールは、強度（量）、暖かさ、彩度の調整など、かなり簡単です。[グロー]スライダーを使用して、画像に明るいグローを追加できます。



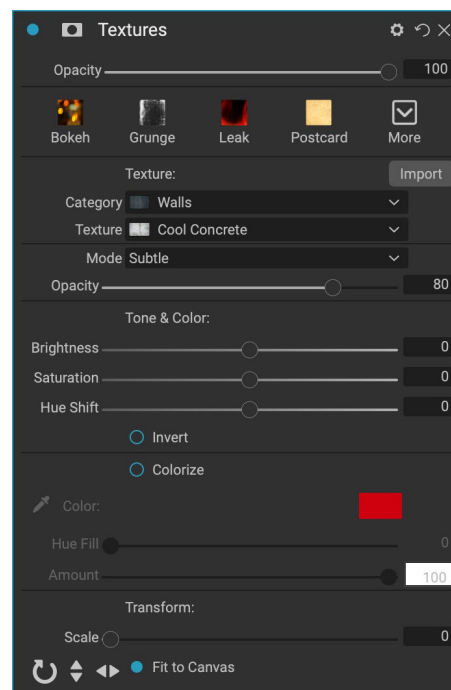
テクスチャー

テクスチャフィルターは、画像にテクスチャを配置して定型化された外観を追加するもので、スコープと機能の点でボーダーフィルターに似ています。ON1 Photo RAW 2020には、布地、金属、石、テキストなど、写真に追加できる広範なテクスチャセットが付属しています。独自のテクスチャを[境界線]フィルターペインに直接インポートすることも、[エクストラマネージャー] ([参照]で使用可能) を使用してインポートすることもできます。テクスチャファイルには、ほぼすべての画像形式 (JPEG、TIFF、RawまたはPhotoshop) を使用できます。

テクスチャファイルを読み込むと、画像の向きに合わせて自動的に回転します。これを回転ツールと反転ツールでオーバーライドし、変換オプションを使用して画像のテクスチャサイズを拡大縮小できます。

[テクスチャ]ペインの上部には[カテゴリ]および[テクスチャ]ポップアップがあり、テクスチャ検索の絞り込みに役立ちます。タイプ別にソートされた9つのテクスチャカテゴリがあり、ユーザーがインポートしたテクスチャもこのリストに表示されます。

テクスチャを選択したら、ブレンドモードと不透明度を調整でき、テクスチャに色がある場合は、色相、彩度、明度を調整できます。または、テクスチャが黒または白の場合、ペインの下半分にある[色付け]ボタンをクリックして色付けすることができます。



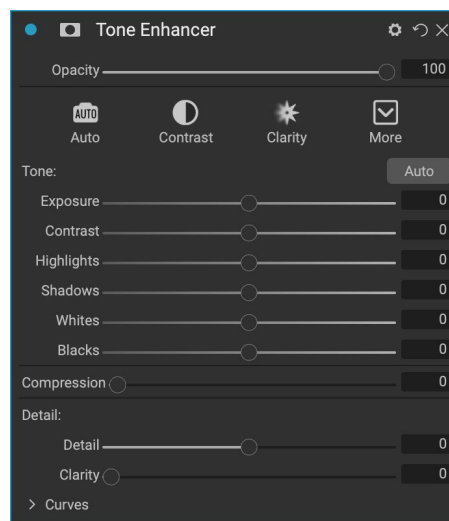
ペインの下部にある[変換]セクションでは、テクスチャのサイズを拡大または縮小できます。画面の下部にあるボタンをクリックして、テクスチャを回転または反転することもできます。これは、希望する外観を実現するのに役立ちます。

注: 更新が必要なページを「[エクストラ](#)」ページ<?>エクストラマネージャーを使用してテクスチャ（およびその他のエクストラ）をインポートする方法、および境界線とテクスチャのファイルを準備するための追加情報については、

トーンエンハンサー

トーンエンハンサーは、画像の明るさとコントラスト、つまりトーンを制御し、ハイライトとシャドウのディテールを回復し、ホワイトポイントまたはブラックポイントを調整します。[トーン&カラー]ペインの[トーン]セクションと同様のコントロールを提供し、曲線ダイアログも含まれます。

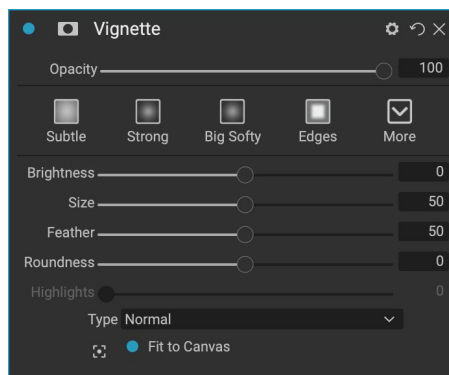
- **自動ボタン**：自動ボタンは、白と黒のポイントを自動的に設定し、すべての主要なトーン設定を調整してヒストグラムのバランスを取ります。
- **露出**：このスライダーを右に調整すると、画像が明るくなります。左に調整すると、画像が暗くなります。
- **コントラスト**：コントラストを増減します。
- **ハイライト**：ハイライトを暗くして、ディテールを回復します。
- **影**：影を明るくして、細部を明らかにします。
- **白人**：ハイライトのコントラストを追加または削除、白色点を調整します。
- **黒**：黒点を調整し、影のコントラストを追加または削除します。
- **圧縮**：トーンを圧縮して、ハイライトとシャドウの詳細を明らかにします。
- **詳細**：画像の局所的なコントラストを高めます。
- **クラリティ**：明瞭さを追加するために大規模なエッジを強化。
- **曲線**：曲線ダイアログは、コントラストと色を調整するための強力なツールです。（曲線の調整の詳細については、開発セクションの曲線に関するセクションを参照してください。）



ビネット

[ビネット]ペインは、フレームの端を暗くすることにより、視聴者の目を画像の中心に向ける柔軟なビネットを作成します。ペインの上部にあるボタンを使用すると、ビネットをすばやく適用し、高度なコントロールを使用して外観をカスタマイズできます。スタイルには、一般的なビネットタイプが適用されます。

- **明るさ**：ビネットの明るさまたは暗さを制御します。
- **サイズ**：ビネットのサイズを制御します。
- **ぼかし**：ビネットの端の硬さを制御します。
- **丸み**：ビネットの形状を正方形から円形に制御します。
- **タイプ**：このドロップダウンメニューでは、標準、微妙、またはソフトビネット効果を選択できます。[優先度]オプションを使用すると、ビネットを適用するときにハイライトを保持できます（現像の[トーン&カラー]ペインまたはエフェクトのトーンエンハンサーフィルターを使用）。

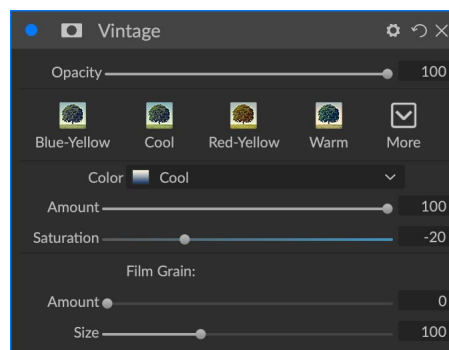


ペインの左下にあるセンターツールを使用すると、ビネットの中心点を選択できます。ツールアイコンをクリックしてアクティブにし、ビネットの中心にしたい画像の領域をクリックします。

ビンテージ

Vintageフィルターは、20世紀半ばから後期のフィルムや写真用紙を連想させる、古くてビンテージな外観を追加するためのものです。

- **色** : 画像に適用するさまざまな色スタイルのドロップダウンメニュー。
- **Amount** : フィルターの全体的な強度を制御します。
- **彩度** : 元の画像の彩度を調整します。
- **フィルムグレインの量** : 画像にフィルムグレインを追加します。
- **Film Grain Size** : 粒子サイズを制御します。

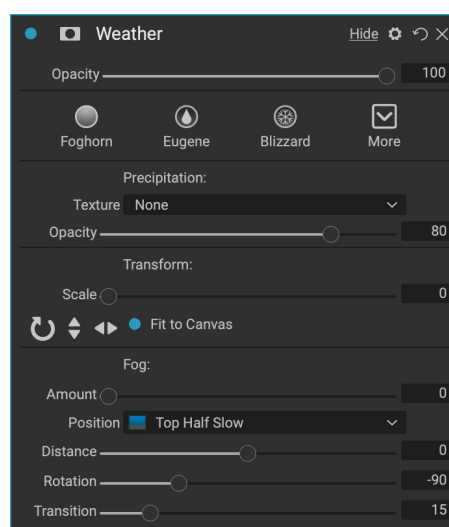


天気

このフィルターは、天気に触発されたオーバーレイを写真に追加します。上部の「降水量」セクションでは、「テクスチャ」ポップアップメニューからタイプを選択して、雨または雪のオーバーレイを追加できます。エフェクトの不透明度を調整したり、パネルの変換セクションを介してオーバーレイを拡大縮小、反転、回転したりできます。

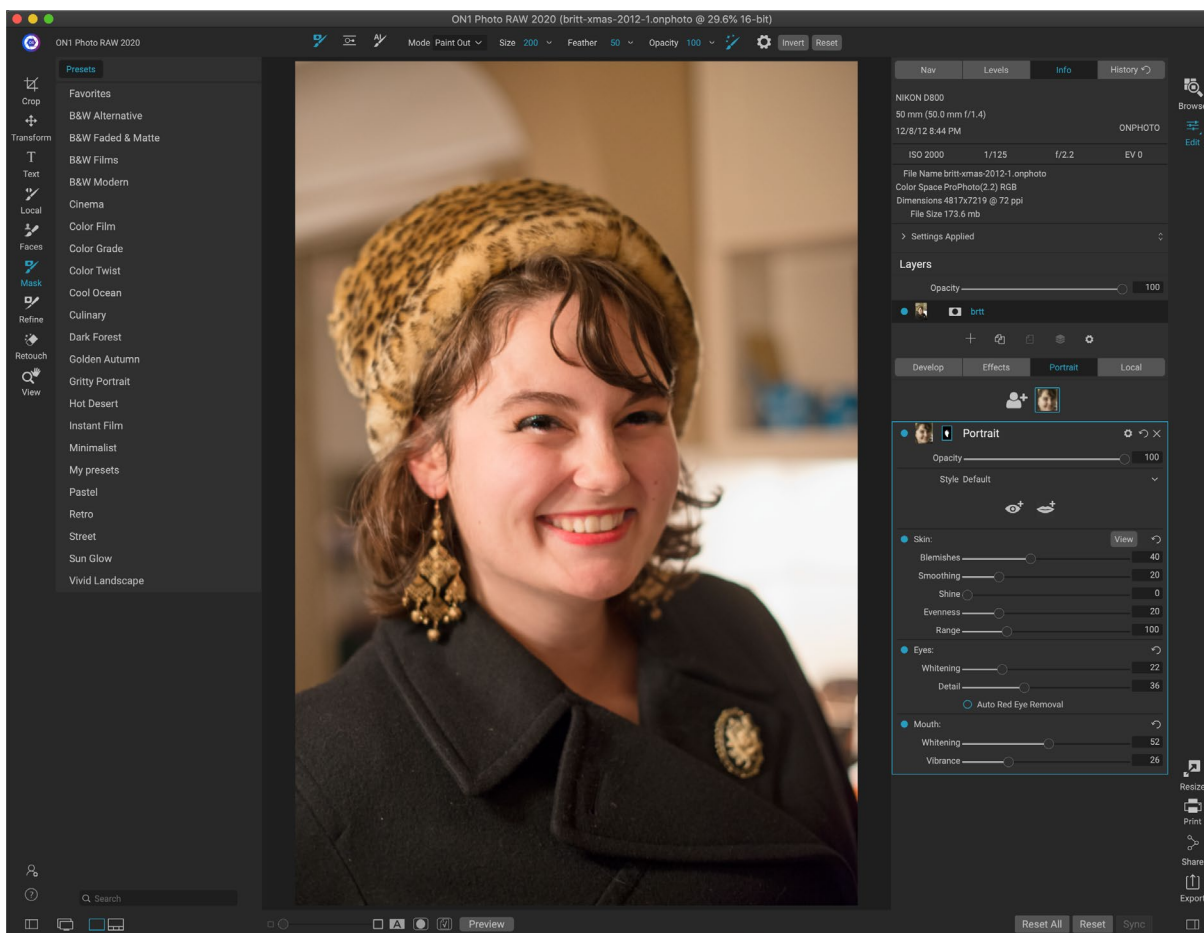
写真にフォグ効果を追加することもできます。この効果をオンにするには、ペインの下部にある「霧」セクションの「量」スライダーを上げます。「位置」ポップアップメニューには、エフェクトを適用するための多数のグラデーションが含まれています（画像全体にエフェクトを適用するには、「すべて」を選択します）。写真に最適な出発地を選択してください。

[距離]および[遷移]スライダーはグラデーションに作用し、[位置]グラデーションの強度と長さを選択できます。[回転]スライダーでは角度を調整できます。



ポートレートでレタッチする

ON1 Photo RAW 2020の[ポートレート]タブを ON1 Photo RAWすると、顔をすばやく自然にレタッチできます。ポートレートは写真の各顔を自動的に検出し、ブラッシングを必要とせずに、肌をレタッチして滑らかにし、目を明るくしてシャープにし、歯を一度に白くすることができます。



Portraitは、必要に応じてスキンの塗りつぶしまたは塗りつぶしに使用される単一のマスキングツールと、顔の肌、目、口を調整するための設定を含むPortraitペインで構成されます。写真の各顔には独自のフィルターペインがあるため、各顔を個別に調整できます。

次のページに表示される「ポートレート」ペインには、次の項目が含まれます。

- A. **顔の選択:**これには、[顔の追加]ボタンと、写真で見つかった（または追加された）顔が含まれます。顔をクリックすると、その顔のポートレートレイヤー（既に存在する場合）が選択されるか、作成されます。
- B. **顔とマスクのアイコン:**最初のアイコンは、そのペインの顔の小さな表現で、多くの顔が写っている写真での識別に役立ちます。マスクはその人の顔用です。Photo RAW他の部分と同じマスキングオプションがありますが、一般的には、そのマスクの内側または外側にのみスキンをペイントします。
- C. **ブレンドオプション、リセットおよび削除:**これらのアイコンは、ブレンドモードを変更したり、ペインを元の状態にリセットしたり、そのポートレートレイヤーを完全に削除したりするためのものです。
- D. **不透明度:** ペインの設定の全体的な不透明度を設定します。

- E. **スタイル**：そのペインのプリセット設定のポップアップリスト。Photo RAWには多くのスタイルが含まれており、独自のスタイルをそのリストに保存できます。（詳細については、「スタイル」を参照105してください。）
- F. **目と口のツール**：これらのボタンをクリックすると、そのペインの顔の目と口のマスクを作成できます。

Portraitペインの下部には、Skin、Eyes、Mouthの3つのセクションがあります。各セクションには、ラベルの左側にオン/オフボタンがあります。これは、たとえば肌や目をレタッチする必要がない場合に役立ちます。スキンセクションの設定には以下が含まれます。

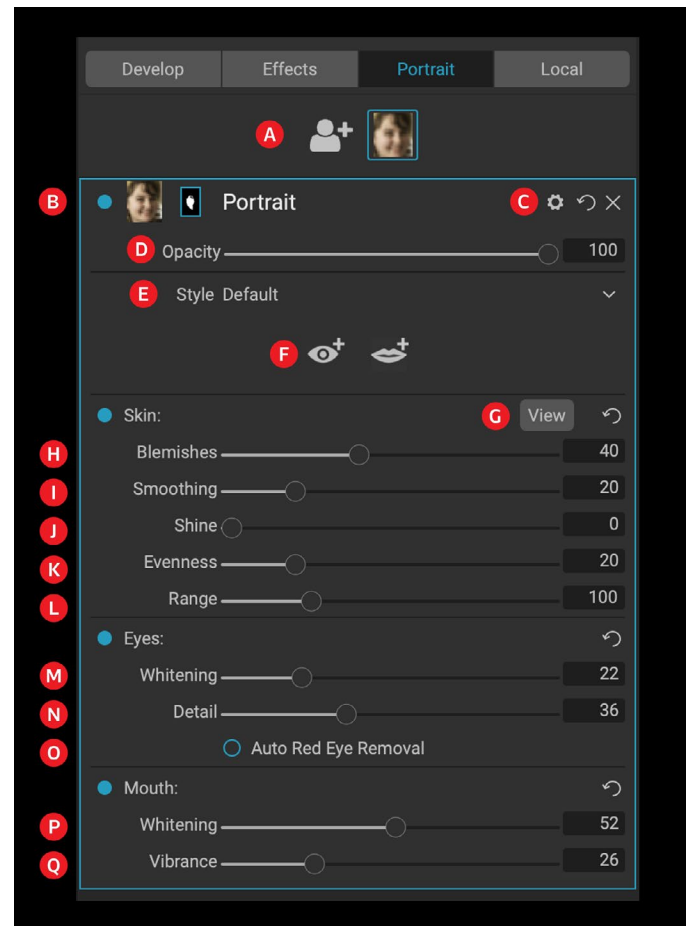
- G. **表示ボタン**：現在の顔のマスクを表示/非表示します。
- H. **傷**：にきび、毛穴、小じわの強さを調整します。
- I. **スムージング**：スムージングの強さを調整します（メイクアップファンデーションに似ています）。
- J. **輝き**：肌の輝きの強さを調整します。
- K. **均一性**：顔全体の肌の色の一貫性を調整します。黄色が高すぎるハイライト、緑が高すぎるシャドウ、または鼻と耳の赤みを軽減するのに最適です。
- L. **範囲**：選択した色の精度を調整します。

[目]セクションには3つの設定があります。

- M. **ホワイトニング**：目を白くします。
- N. **詳細**：生徒にシャープネスを追加します。
- O. **自動赤目除去**：このボタンをクリックすると、目に赤目除去が適用されます。

口セクションには2つの設定があります

- P. **ホワイトニング**：歯を白くします。
- Q. **Vibrance**：唇の色を増やします。



[ポートレート]タブには専用のツールとペインが1つありますが、ポートレートレタッチに最適です。

ポートレートでの作業

Portraitを始めるにはいくつかの方法があります。[参照]で写真を選択し、[ファイル]メニューから[ポートレートで編集]を選択できます。または、既に編集モジュールを使用している場合は、[ツール]ウェルの[顔]ツールまたは[ポートレート]タブをクリックします。PhotoRAWはポートレートを読み込み、顔を検索します。見つかった各顔は、タブの上部にアイコンとして追加されます。そのグループの顔ををクリックすると、その顔のポートレートレイヤーが開きます。

注: Portraitは洗練されたテクノロジーを使用して顔を見つけますが、必ずしも完璧ではありません。写真で顔が見つからない場合は、[ポートレート]タブの上部にある[顔を追加]ボタンをクリックします。次に、追加する顔の周りにボックスを配置してサイズを調整します。[Add Face]オーバーレイで[OK]をクリックすると、その[Portrait]ペインが選択されます。「ゴースト」の顔 (Photo RAW が顔であるが、そうではないもの) が作成された場合、そのペインをリストから簡単に削除できます。

ポートレートワークフロー

ポートレートフィルターレイヤーを操作するための一般的なワークフローは次のとおりです。

- ・ スキンセクションを調整して、傷、滑らかさ、その他の設定を操作します。
- ・ 必要に応じて、修正ツールを使用してレタッチ操作を実行します。
- ・ 必要に応じて、目と口を追加します。
- ・ 必要に応じて、顔のマスクを調整します。

顔で作業するには、タブの上部にあるその顔のアイコンをクリックするだけです。その顔のポートレートレイヤーが



PortraitペインのEyeツールをクリックすると、Photo RAWがあなたの顔にアイポイントを追加するプロセスを案内します。各瞳孔をクリックしてアイマスクを作成し、目を覆うようにポイントを調整します。



口ツールをクリックすると、目ツールのプロセスに似たプロセスが表示されます。口の角をクリックすると、Photo RAWがマスクを作成します。その後、口と歯の輪郭に合わせてポイントを再配置および移動できます。

選択され、顔の一般的なマスクが作成されます。デフォルトでは、フィルターの設定はどれもオンになりません。スキンを調整する場合は、ペインの[スキン]セクションの[オン]ボタンをクリックします。多くの場合、顔を表示するにはズームインして、さまざまな調整をより正確に把握するのが最善です。さまざまなスライダーを広範囲に動かすと、設定がどのように適用されるかを知ることができますが、調整が強すぎて、モデルがプラスチックのように見える可能性があります。

特定のレタッチが必要な顔の部分がある場合、パーフェクト消しゴム、レタッチブラシ、またはクローンスタンプを使用して、これらの変更を行うことができます。(ページ 79 修正グループのツールの詳細については。)

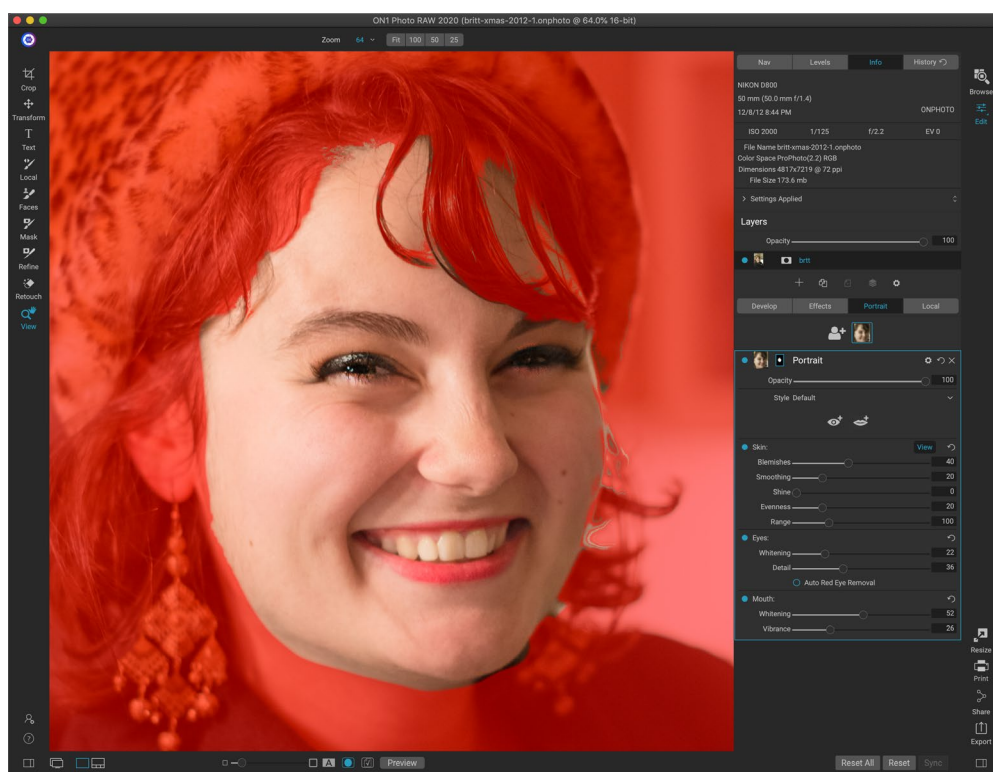
目と口のツールは、顔のこれらの部分を強調するために使用され、作業中の顔にズームインすると最適に機能します。アイツールをクリックすると、ポイント選択ツールが表示されます。各目のちょうど中央に、Photo RAW が各

目のオーバーレイを追加します。各オーバーレイのハンドルを使用して、オーバーレイの境界をサイズ変更または移動し、ペインの[目]セクションの設定を調整して、目の白さ、または瞳孔の鋭さを増やします。

ヒント： 顔に目が1つしかない場合は、その目をクリックしてから、画面上の小さな指示ダイアログの[OK]ボタンをクリックします。

口を追加するには、口ツールをクリックします。デフォルトでは、Photo RAW は目に見える歯を含むオーバーレイを作成します。そうでない場合は、[歯を含める]ボタンをクリックしてオフにします。次に、顔の口の角をクリックします。アイツールで生成されたものと同様のオーバーレイが作成されます。そこで、口、唇、歯の輪郭に合わせてオーバーレイを調整し、口のセクションの設定を使用して、歯の白さや唇の鮮やかさを調整します。

最後に行うことは、顔のマスクを調整してレタッチを微調整することです。フェイスマスクを作成するとき、Photo RAWは顔の一般的な輪郭を厳密に探しますが、他のスキンは含みません。あごの下や首の肌をなめらかにしたり、額から髪の毛までの部分をマスクから塗りつぶして、柔らかくならないようにします。[ツール]の[面]ツールを使用してマスクを調整できます。また、[洗練]、[チゼル]、[ぼかし]の各マスキングツールを使用して、より細かいマスクを作成することもできます。



Facesツールを使用して、必要に応じてモデルのスキンをモデルにペイントまたはペイントして、レタッチを微調整します。マスクを表示するには、ポートレートペインの表示ボタンをクリックするか、マスクメニューから「マスクを表示」を選択します。ON1 Photo RAW2020のマスク調整ツールと修復ツールをすべて使用して、レタッチプロセスを完了できます。

顔の作業が完了したら、写真の次の顔をクリックするか、編集モジュールの他のタブに移動できます。Photo RAW の非破壊的なワークフローのおかげで、いつでも戻ってポートレート进行调整または強化できます。

W写真に複数の顔で作業時は、あなたは、レイヤのタイトルバーに単語「肖像」をダブルクリックして、個別に各ポートレート層に名前を付けることができます。各レイヤーには、独自の個別のコントロールとマスクがあり、適切なペインをクリックするだけで、顔から顔へ簡単に移動できます。



Photo RAW の[ポートレート]タブを使用すると、写真の複数の顔を簡単にレタッチできます。各人には、個別のマスクとレタッチ設定を備えた独自のポートレートレイヤーがあり、ポートレートペインで適切なレイヤーをクリックすることで、顔を簡単に移動できます。タイトルをダブルクリックして、各ポートレートレイヤーの名前を変更することもできます。

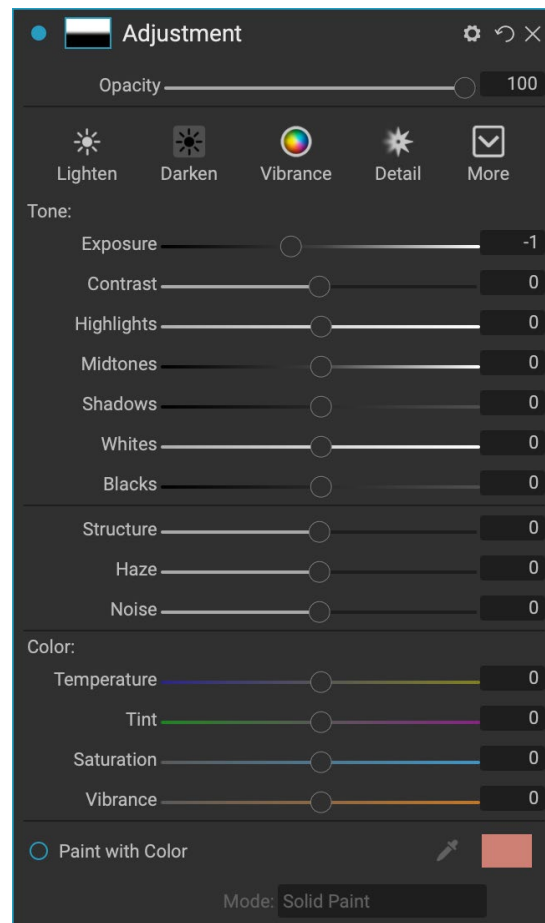
ローカル調整

ON1 Photo RAW 2020 ON1 Photo RAW、画像の一部を簡単にローカル調整できます。これらの調整は、調整ブラシまたは調整可能なグラデーション（または必要に応じて両方）を使用して適用できます。画像に必要な数のローカル調整を作成できます（[ローカル調整]セクションの上部にある[レイヤーを追加]ボタンをクリックして）。

ローカル調整を使用して、グラデーションフィルターを適用して空を暗くしたり、より複雑なビネットを画像に追加したりできます。ローカル調整は、本質的に画像の一部に適用されるマスクであり、ブレンドモードと[ローカル]タブの輝度オプションの両方を使用して、強力な方法でこれらのマスクを操作できます。

ローカル調整で実行できる操作には、トーン（露出、コントラスト、ハイライトとシャドウ、詳細）、色（ホワイトバランス、彩度と鮮やかさ）および詳細（構造とノイズ）が含まれます。各ローカル調整レイヤーは、完全に異なる設定を持つことができ、画像のさまざまな部分で機能します。また、ローカル調整を使用して、写真の一部を色でペイントしたり、肌のレタッチなどの特殊なタスクを実行したり、オブジェクトの色を置き換えたりすることもできます。

編集モジュールの他の部分と同様に、ローカル調整は[現像]、[効果]、[ポートレート]タブから独立しています。[現像]で作業中にローカル調整を作成し、[効果]に切り替え、[ローカル]タブをクリックしても、ローカル調整はそのまま残ります。



調整ペインでは、選択した画像の部分の基本的な色調と色の設定を調整できます。また、調整の不透明度を設定したり、マスクを適用したり（マスクアイコン、上部）、高度なブレンドオプション（ギアメニューからアクセス）することもできます。

ヒント：ペインで「調整」という単語をダブルクリックして、各調整レイヤーに名前を付けることができます。これは、調整レイヤーがたくさんあり、どの調整が何を行ったかを覚えておきたい場合に役立ちます。

ローカルタブ

ローカル調整を作成するには、[ローカル]タブをクリックします。ローカル調整レイヤーが存在しない場合、Photo RAW はレイヤーを追加します。追加の調整レイヤーを追加する場合は、[レイヤーを追加]ボタンをクリックします。各調整レイヤーの上部には、次のオプションが含まれます。

- **不透明度：**調整の不透明度を設定します。
- **スタイル：**ペインには、明るくしたり暗くしたり（覆い焼きや焼き付け）、鮮やかさを追加したり、歯や赤目を修正したりするためのスタイルなど、最初に使用できる多数のスタイルが用意されています。（[その他]ポップアップメニューから独自のスタイルを保存することもできます。）

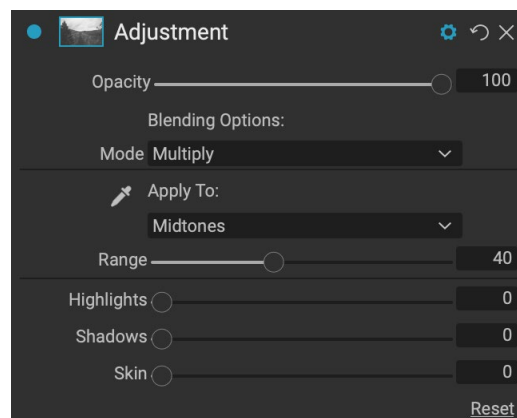
[ローカル]タブのメインセクションには、[現像]タブの[トーンとカラー]ペインにある同じオプション（露光、コントラスト、ハイライト、シャドウ、ディテール、色温度、色合い、彩度、彩度）がすべてあります。additioではこれらの設定にnは、ローカル調整ペインには、（ほとんどの場合、影で見られる）に役立つように設計ノイズスライダは、目標レベルのノイズ軽減含まれています。

これらのコントロールは、ローカル調整パネル内でも同じように機能します。1つの違いは、ローカル調整は実際にはグローバル調整の上にあるレイヤーであるため、ON1 Photo RAW 2020には各調整のブレンドオプションが多数用意されていることです。ブレンドモードは、選択したレイヤーが画像スタック内のその下のアイテムとどのようにブレンドするかを決定します。

[ローカル]タブの上部にある[ブレンドオプション]歯車アイコンをクリックして、ブレンドオプションをドロップダウンします。ブレンドオプションコントロールは次のとおりです。

- **ブレンドオプション** :ブレンドモードのポップアップリスト。リストには、標準、明るく、暗く、画面、乗算、ソフトライト、ハードライト、オーバーレイ、カラーなど、24の一般的なブレンドモードがあります。
- **適用先**:これにより、ブレンドモードを特定の色または色調範囲に適用できます。オプションは次のとおりです。すべて（デフォルト）、ハイライト、ミッドトーン、シャドウ、レッド、グリーン、ブルー、マゼンタ、シアン、イエロー、肌色、鮮やかな色、ニュートラル。（ペインでドロップパーツールを選択し、画像の色をクリックして、手動で色の範囲を選択することもできます。）

このメニューのオプションのいずれかを選択すると、調整は、指定された明るさ、色相、または彩度の範囲に基づく画像の部分にのみ適用されます。[範囲]スライダーは選択したオプションを拡大または縮小し、[ハイライト]、[シャドウ]、および[スキン]スライダーはこれらの設定を調整から保護します。



調整ペインのブレンディングコントロールには、画像内のターゲットの色調と色の範囲にローカル調整を適用するための広範なオプションがあります。

ブレンドモードについて

基本レベルでは、ブレンドモードによって、1つのレイヤー上のピクセルとその下のレイヤーとの相互作用が決まります。ON1 Photo RAW 2020の24のブレンドモードでは、特定の状況でどのモードを使用するかを知るのは難しいかもしれませんが、通常（デフォルトモード）と5つのカテゴリ（暗く、明るく、コントラスト、比較、と色/発光）。

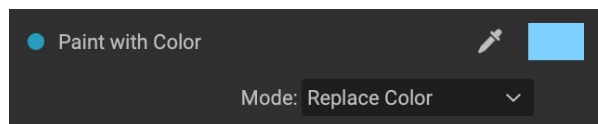
Normalは最も広く使用されています。レイヤーの不透明度が100%であると仮定して、調整（または効果）のすべてのピクセルに効果を適用します。

他のモードは、さまざまな数式を使用して、そのカテゴリの効果の異なるレベルを適用します。また、どのモードがどの写真に最適かを知るのが難しい場合があります。ほとんどの場合、効果を適用する方法がわかっている場合（たとえば、暗くすることによって）、そのカテゴリのさまざまなモードで少し実験して、どのモードが最適かを判断する必要があります。（「ブレンドモード」（ページ）108詳細については。）

色で塗る

ローカル調整パネルの下部にある[色でペイント]オプションを使用すると、ローカル調整ブラシを使用して色を選択し、画像にペイントできます。既存の色をブレンドして画像の一部にソフトニング（またはイブニングアウト）を適用する場合と、既存のオブジェクトの色を置き換える場合の2つの状況向けに設計されています。

[色でペイント]セクションには、[ソリッドペイント]、[色を置換]、[クラシック]、および選択した色の色見本の3つのオプションがあります。スポイトアイコンをクリックして画像から色を選択するか、スウォッチをクリックしてシステムカラーピッカーから色を選択できます。



ソリッドペイントは、選択した色でブラシをかけたものの上にペイントします。通常のブレンドモードでペイントすると考えてください。[色の置換]は、ブラシをかけている色の色相を置き換えますが、明度は置き換えません。基本的には、白が保持されるカラーブレンドモードでペイントします。

ソリッドペイントオプションは、理想的な肌の軟化ツールです。スポイトツールを使用して肌の中間色部分を選択し、ブラシの低不透明度設定を使用して、ブラシで肌の一部を塗りつぶすことができます。

ローカル調整の使用

ローカル調整レイヤーを追加するときは、ウィンドウ上部のツールオプションバーで使用するツールをクリックします。調整ブラシは、特定の被写体や画像内の領域を操作するのに最適です：明るくしたい人や主要なオブジェクト、暗くしたい影の領域など。通常のマスキングブラシと同じように機能します。ペイントモード（インまたはアウト）、ブラシサイズ、ぼかしと不透明度を設定し、エフェクトをペイントするまたはペイントする領域にブラシをかけます。

調整可能なグラデーションは、画像の一部にグラデーションマスクを適用するように設計されています。たとえば、最も一般的には空を暗くするためです。ローカル調整ツールはマスクを操作するためのものであるため、Photo RAW全体で使用できるすべてのマスキングオプションとブレンドオプションを使用できます。必要に応じて調整マスク。

ローカル調整に標準のグラデーションを適用するには、ツールをクリックしてから、おおよその効果が必要な画像をクリックします。バグと呼ばれるグラデーションのアウトラインが表示されます。バグのハンドルを使用して、グラデーションを移動したり、グラデーションの長さを増減したり、回転したりできます。

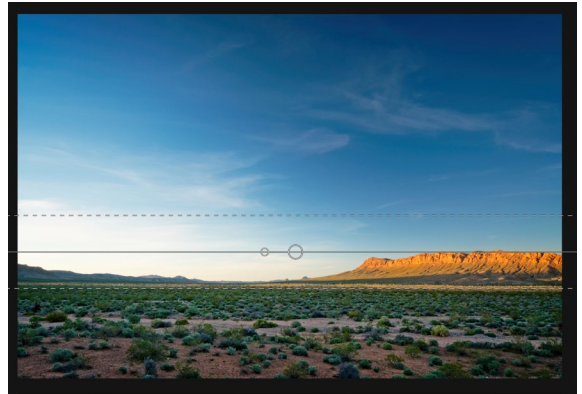
ツールオプションバーを使用してグラデーションの形状を変更できます。標準的な暗から明までの水平グラデーションに加えて、円形グラデーションと反射グラデーションを作成できます。効果）中央の外側の端を白（完全な効果）にします。

ヒント： 調整可能なグラデーションで作成されたマスクを表示するには、[表示]メニューから[マスクを表示]を選択します。画像の上にマスクを表示する赤いオーバーレイ、またはマスクを黒から白の色調で表示するグレースケールを選択できます。これらのビューは、これらのグラデーションがどのように機能するかを理解するのに役立ちます。

線形グラデーションマスクの操作

画像にグラデーションを追加したら、グラデーションオーバーレイの一部にアクセスして変更できます。

- グラデーションを移動するには、グラデーションの中心にある大きな円をクリックしてドラッグします。
- 放射状グラデーションのサイズを変更するには、実線をクリックしてドラッグします。
- マスクのぼかし（硬さ）を調整するには、破線をクリックしてドラッグします。
- マスクを回転するには、グラデーションの中心付近にある小さな円をクリックしてドラッグします。



ローカル調整マスクを使用する場合、リファイングループのすべてのツール（リファインマスク、チゼルとぼかしツール）を使用して、よりスムーズでよりリアルなマスクを作成できます。

その他のマスキングオプション

すべてのローカル調整には独自のマスクがあり、エフェクトとレイヤーにある同じマスキングオプションとコントロールを使用します。マスクにアクセスするには、ローカル調整レイヤーのタイトルバーにあるマスクアイコンをクリックします。そこで、マスクのコピーと貼り付け、明度マスクの作成、色の範囲に基づいたマスクの作成を行うことができます。これらのマスキングオプションの使用の詳細については、ページの「フィルターマスク」105。

パート4：写真を ON1 PHOTO RAW 2020と組み合わせる

Fまたは多くの写真家は、ポストプロダクションで編集するだけで一度に単一の画像上で作業を意味するものではありません。野外で撮影する場合、シーンの複数のショットをキャプチャし、後でダイナミックレンジを広げるためにそれらをブレンドしたり、広大なパノラマを作成したり、完全に焦点を合わせたシーンを前から後ろに構築したりします。または、階層化されたワークフロー内でのみ作成できる洗練されたコンポジットの作成に興味があるかもしれません。これらの写真家向けに、ON1 Photo RAW 2020には、写真のビジョンを簡単に実現するための完全な組み合わせツールが含まれています。

- **レイヤー：** Photo RAWの編集モジュールは完全なレイヤードワークフローを提供し、コラージュ、複数の画像から完全にブレンドされたコンポジットなどを作成できます。
- **パノラマ：** パノラマ機能を使用すると、2枚から25枚の写真から、シーン全体をシームレスな全体にブレンドして、驚くほど広大な景色を作成できます。ハンドヘルドショットセットから素晴らしいパノラマを作成することもできます。
- **HDR：** この機能は、さまざまな露出値で撮影された写真のグループを取得し、それらをブレンドして、単一のショットで達成できるよりも幅広い範囲のトーン（深い影から明るいハイライトまで）を含む写真を作成します。
- **フォーカスタッキング：** HDR機能と同様に、フォーカスタッキングは同じシーンの複数のショットを撮影し、各ショットは異なるフォーカスポイントを使用して、完全にフォーカスされた最終結果にブレンドします。

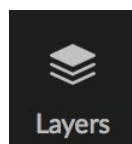
ON1 Photo RAW 2020のすべての編集機能と ON1、これらの機能は非破壊的に機能します。元の写真は変更されず、結果としてブレンドされた写真は、Photo RAW全体で見られるすべての再編集性を備えています。



レイヤーの使用



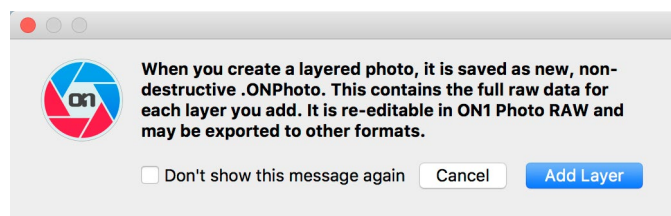
ON1 Photo RAW2020内のレイヤー機能は完全に非破壊的です。つまり、編集モジュールのすべてのツール、タブ、フィルターを、レイヤーに依存しないマスキング機能とともに使用でき、元の写真を保持し、いつでも戻って作成を強化できます。



ON1 Photo RAW 2020の編集モジュール内のレイヤー機能を使用すると、クイックコンポジションの作成、複数の画像のブレンド、新しい空または背景のペイント、コンテンツに基づいたレイヤーの整列などを行うことができます。また、レイヤーは編集モジュールに緊密に統合されているため、すべての作業は常に再編集可能なままです。編集モジュール内で行った設定に戻って、任意のレイヤーで追加、変更、更新できます。

複数の写真または同じ写真のコピーをレイヤーとして組み合わせることができます。各レイヤーは、独自に移動、サイズ変更、マスクできます。しかし、それ以上に、各レイヤーには独自の非破壊的な設定があります。Photo RAWのように、元の生データにまでさかのぼります。つまり、Photo RAW のすべての編集機能（基本的な露出の変更、カメラプロファイル、ポートレートレタッチ、エフェクトフィルターなど）をレイヤー写真の一部として使用できます。

写真にレイヤーを追加すると、Photo RAW は拡張子が .onphoto 新しいドキュメントを自動的に作成し、元の写真をそのまま残します。Browse内に表示されるこのドキュメントタイプには、Photo RAW 内で行われたすべてのレイヤー情報と非破壊編集操作が含まれています。



レイヤーは現在の写真のコピーと同じくらい簡単で、ローカル調整よりも複雑な調整を画像の一部に適用できます。また、現在のドキュメント内にレイヤーとして他のドキュメントを追加して、空や他の背景を置き換えたり、テキストを追加したり、複雑なカラーグラジュを作成したりすることもできます。Photo RAWは、ドキュメントで最大14レイヤーをサポートします。

レイヤーを追加すると、そのレイヤーで編集モジュール全体が使用可能になります。レイヤーをクリックすると、4

つの編集タブから調整を追加したり、マスクを作成したりできます。変形ツールを使用して、ドキュメント全体から独立してレイヤーのコンテンツを移動、回転、拡大縮小できます。（トリミングツールはドキュメントレベルで機能するため、個々のレイヤーをトリミングすることはできません。）

空の階層化ファイルを作成する

参照モジュールまたは編集モジュールで、空白のキャンバスから開始することもできます。[ファイル]メニューから[新しいキャンバス]を選択すると、選択したカスタムサイズで新しいファイルを作成するためのダイアログボックスが開きます。[OK]をクリックすると、Photo RAW は単一の透明なレイヤーを含む新しい.onphoto ファイルを作成します。次に、以下に詳述するオプションのいずれかを使用して、写真などの追加をファイルに追加できます。（編集モジュール内の[ファイル]メニューから[キャンバスサイズ]を選択すると、既存のキャンバスのサイズを変更できます。）



[新しいキャンバス]メニュー項目は、参照モジュールと編集モジュールの両方で使用できます。

レイヤー化されたPHOTOSHOPファイルを開く

ON1 Photo RAW 2020は、編集モジュールでほとんどのレイヤー化されたPhotoshop ファイルを開くことができます。何が起るかは、ドキュメント内のレイヤーの構成とタイプによって異なります。

- レイヤードドキュメントに基本的な Photoshop レイヤーとマスクがある場合、Photo RAW は[レイヤー]ペインに各レイヤーとマスクが表示された状態で、[編集]内でドキュメントを開きます。
- Photoshop ファイルに特殊なレイヤー（スマートオブジェクト、テキストレイヤー、レイヤースタイル）がある場合、Photo RAW は表示されているレイヤーを平坦化し、コンポジットで作業できるようにします。

いずれの場合も、Photo RAW はファイルを.onphoto ファイルに変換し、以前のドキュメントを保持します。

レイヤーペインでの作業

[レイヤー]ペインは、3つのセクションでかなり簡単です。

- レイヤーの不透明度**：現在選択されているレイヤーの不透明度を反映します。
- レイヤー**：ドキュメント内のすべてのレイヤーがここに一覧表示され、レイヤーの内容とレイヤーマスク（存在する場合）のサムネイルが表示されます。現在選択されているレイヤーの周囲に色付きのアウトラインがあります（システム環境設定の「一般」タブで選択されたアクセント色に基づいて）。タイトルをダブルクリックして、レイヤーの名前を変更できます。
- レイヤーツール**：レイヤーペインの下部にあるツールバーには、レイヤーの追加（左から右へ）、現在のレイヤーの複製、現在のレイヤーの削除、レイヤーの結合、レイヤーのブレンドオプションの設定のためのボタンがあります。

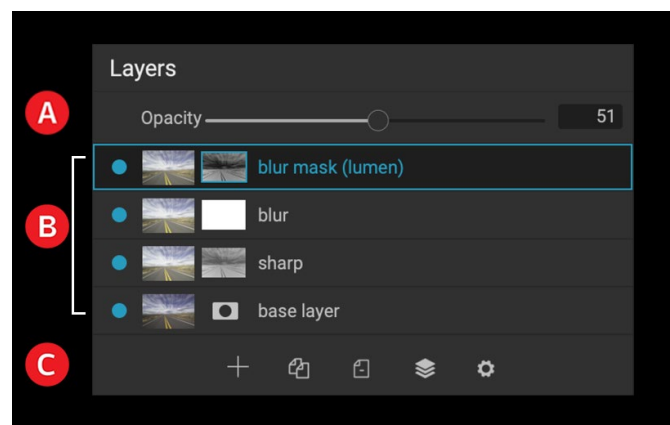


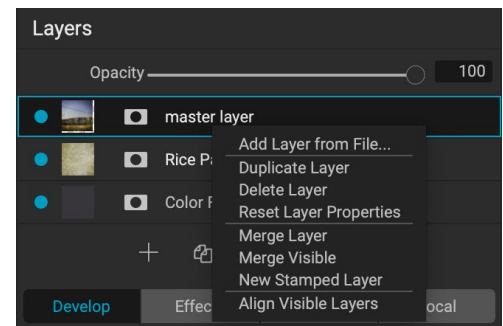
Photo RAW[レイヤー]ペイン。この写真には4つのアクティブなレイヤーがあります。

Accessing レイヤーコマンド

Photo RAW ほとんどのレイヤーコマンドには、レイヤーメニュー、レイヤーペインの下部にあるツールバー、およびレイヤーを右クリックしたときに表示されるポップアップメニューからアクセスできます。

レイヤーの可視性

レイヤーの可視性は、レイヤーのサムネイルの左にあるボタンをクリックしてオンまたはオフにできます。オフにすると、レイヤーは合成画像に影響を与えません。



レイヤーを右クリックすると、使用可能なレイヤー操作のリストが表示されます。

不透明度の変更

不透明度スライダーは、選択したレイヤーの不透明度または強さを制御します。デフォルトは100%です。低い設定では、レイヤーはその下のレイヤーとブレンドされます。レイヤーの描画モードと不透明度を変更すると、さまざまな色と色調の效果を作成できます。

レイヤーの順序を変更する

レイヤーを好きな順序にドラッグアンドドロップして、レイヤーの順序を変更できます。

レイヤーの名前を変更する

レイヤーをダブルクリックして名前を変更できます。名前は編集可能なフィールドに変わります。任意の名前を入力して、Enterキーを押します。

レイヤーを削除する

レイヤーを選択し、メインレイヤーまたはポップアップメニューから[レイヤーを削除]を選択するか、ツールバーの[削除]ボタンを押すと、レイヤーを削除できます。

レイヤーマスクと変換操作のリセット

[レイヤー]メニューまたはポップアップから[レイヤープロパティのリセット]を選択すると、現在のレイヤーに対して行ったレイヤーマスクまたは変換操作が削除されます。レイヤーに行われた現像、エフェクト、またはポートレート設定またはローカル調整をリセットするには、メインの編集モジュールウィンドウの右下にある[レイヤーのリセット]ボタンをクリックします。

レイヤーの複製

ペインのツールバーの[レイヤーの複製]ボタンを押すか、レイヤーを右クリックしてポップアップメニューから[レイヤーの複製]を選択すると、現在のレイヤーを複製またはコピーできます。

レイヤーの結合

2つのレイヤーを一緒にマージできます：(2つの) 最上位レイヤーを選択して、レイヤーペインのツールバーのマージボタンをクリックするか、レイヤーを右クリックして選択し、ツールバーの[マージ]ボタンを押すか、レイヤーメニ

ユーまたはレイヤーポップアップメニュー。結合されたレイヤーは、最上位レイヤーの名前を継承します。

[レイヤー]メニューまたはポップアップから[表示]を選択して、表示されているすべてのレイヤーを結合することもできます。マージされたコンポジットは、選択されたレイヤーの名前を使用します。

レイヤーからコンポジットを作成する

場合によっては、rファイル内のすべてのレイヤーの合成を作成したり、EffectsまたはDevelopで最終仕上げを行ったり、現在のレイヤーの状態（スナップショットなど）を保持したい場合があります。コンポジットを作成するには、レイヤーメニューまたはポップアップメニューから「スタンプレイヤーを作成」を選択します。表示されているすべてのレイヤーは、レイヤースタックの最上部に配置されるコンポジットにマージされます。

ブレンドモードの変更

ブレンドモードは、選択したレイヤーとその下のレイヤーとのブレンド方法を決定します。デフォルトのブレンドモードは標準です。これにより、上位レイヤーの完全な不透明度が維持されます。レイヤーは、画像の明るさ、コントラスト、色を変更するために使用できる他の多くのブレンドモードもサポートしています。 [ブレンドモードの <?>](#) 詳細については、「ブレンドモード」を参照してください。

レイヤーマスク

マスキングツールを使用すると、レイヤーマスクが自動的に作成されます。レイヤーのマスクアイコンをクリックすると、標準の Photo RAW マスクオプションが表示されます。また、編集モジュールのすべてのマスキングツールを使用して、レイヤーマスクを作成または変更できます。[マスクオプション]セクションまたは[マスク]メニューから、レイヤーマスク（エフェクトフィルターのマスクを含む）をコピーして貼り付けることもできます。 [ページの「マスクのフィルタリング」 <?>](#) および [ページ <?> Photo RAW のマスキングツールの使用の詳細については。](#)

既存のドキュメントにレイヤーを追加する

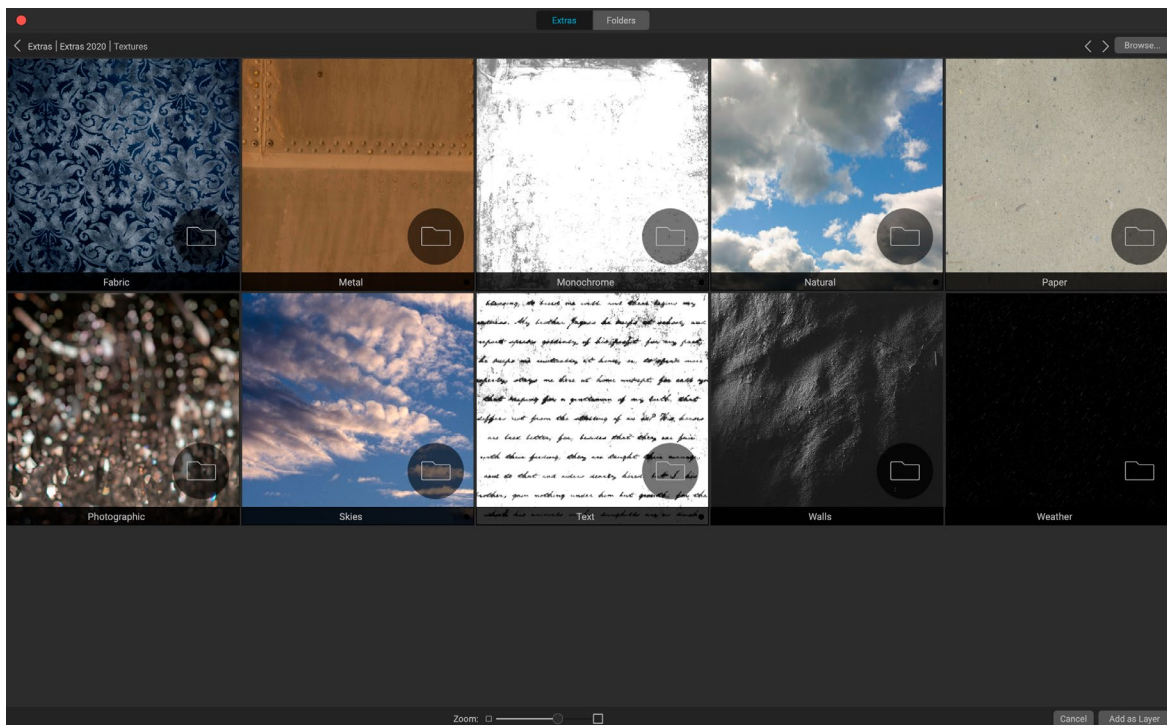
編集モジュールで作業している場合、レイヤーメニューまたはレイヤーポップアップメニューから「ファイルからレイヤーを追加」を選択して、ファイルにレイヤーを追加できます。[ファイルの追加]ウィンドウが表示され、ON1 が Photo RAW に付属している数百の組み込みの追加機能から、またはコンピューターでアクセス可能で Photo RAW サポートされているファイルから選択できます（「[ファイルの操作](#)」（[ページ <?>](#)））。

このウィンドウの[フォルダ]タブのデフォルトビューは、現在のドキュメントまたは画像の場所です。ウィンドウの右上隅にある[参照]ボタンを使用して、システム上の任意のフォルダーに移動できます。参照するフォルダーに移動し、[開く]ボタンをクリックします。[ファイルの追加]ウィンドウに、サポートされているファイルが表示されます。追加したいものをダブルクリックします。

[レイヤーの追加]ウィンドウの[エクストラ]タブには、[マイエクストラ]と ON1 エクストラ]の2つのフォルダーが自動的に表示され、それぞれ3つのサブフォルダー（背景、境界線、テキスト）に分割されます。ON1 Photo RAW 2020には800以上の無料の画像が ON1 しており、ON1 Extras フォルダーからレイヤーとして追加できます。また、エクストラマネージャーを使用して Photo RAW 独自の背景、境界線、またはテキストを追加した場合は（これらを参照）、これらのファイルは[マイエクストラ]フォルダーから表示できます。

フィルムストリップビューでレイヤーを追加する

上記の[レイヤーの追加]オプションに加えて、[編集]モジュール内の[フィルムストリップ]ビューでは、画面下部のストリップからメインウィンドウに写真をドラッグすることもできます。これにより、その写真を含む新しいレイヤー



[ファイルからレイヤーを追加]を選択すると、[エクストラ]タブと[フォルダー]タブのあるウィンドウが表示されます。[エクストラ]タブには、ON1がPhoto RAWで提供する背景、テクスチャ（上図参照）、境界線、およびエクストラマネージャを介して追加したエクストラが含まれます。[フォルダー]タブ（またはウィンドウの右上にある[参照]ボタン）をクリックすると、コンピューターで写真やその他のサポートされているファイルを参照できます。

が作成されます。（詳細については、「フィルムストリップビューでの作業」を参照してください。

注意： 追加するファイルがドキュメントのピクセルサイズよりも大きいまたは小さい場合は、変換ツールを使用して必要に応じてサイズを変更します。配置されたファイルの元のアスペクト比を保持する場合は、Shiftキーを使用して比例的にサイズを変更します。

レイヤーでの変換ツールの使用

ツールバーの上部にある変換ツールを使用して、レイヤーを操作します。レイヤーは、ツールを使用して再配置、サイズ変更、または回転できます。選択すると、選択したレイヤーの端に変換ハンドルが表示されます。これらの変換ハンドルを使用して、画像を操作します。一度に1つのレイヤーのみを変換できます。

レイヤーの再配置

レイヤーの位置を変更するには、変換ボックス内をクリックしてドラッグするだけです。キーボードの矢印キーを使用して、レイヤーを任意の方向に1ピクセルずつ移動することもできます。

レイヤーのサイズ変更

レイヤーのサイズを変更するには、任意の変換ハンドルをクリックしてドラッグします。コーナーハンドルをクリックすると、2つの側面を同時に調整できます。サイドハンドルをクリックすると、そのサイドを調整できます。サイズを調整しながらShiftキーを押したままにすると、レイヤーの比率が維持されます。オプション (MacOS) またはAlt (Windows) キーを押しながらサイズを変更すると、画像のサイズは端ではなく中央から変更されます。Shift-Option (またはShift-Alt) を押し続けると、中心から比例してサイズを変更できます。

幅と高さのフィールドのツールオプションバーで、希望するサイズを入力できます。また、インスペクタの[塗りつぶし]ボタンを押すと、キャンバスを自動的に塗りつぶすようにレイヤーのサイズを変更できます。

レイヤーの回転

レイヤーを回転するには、トランスフォームツールをコーナートランスフォームハンドルのすぐ外側に移動します。ツールカーソルが回転カーソルに変わります。次に、クリックしてドラッグしてレイヤーを回転します。Option / を使用することもできます。

変形ツールが選択されているときにレイヤーを回転するには、左または右矢印キーでAltキーを押します。レイヤーを90度単位ですばやく回転するには、ツールオプションバーの左回転ボタンと右回転ボタンを使用できます。

レイヤーの反転

ツールオプションバーのフリップボタンを押すと、レイヤーを水平または垂直に反転できます。

変換が完了したら、変更をコミットする必要があります。これを行うには、ツールオプションバーに表示される[適用]ボタンを押すか、Enterキーを押します。ツールオプションバーの[キャンセル]ボタンを押すか、エスケープキーを押すと、変換をキャンセルできます。

注: 変換ツールのオプションの詳細について[ページ<?>](#)。

レイヤーの整列

Photo RAWの最も高度な機能の1つは、コンテンツに基づいて複数のレイヤーを整列させる機能です。これは、ショットのグループを手で持って、たとえば、より良い空を使用するために、ある画像の一部を別の画像にブレンドしたい場合に非常に役立ちます。

レイヤーを整列するには、レイヤーペインでレイヤーを開き、レイヤーメニューまたはポップアップメニューからレイヤーの整列を選択します。Photo RAWはレイヤーのコンテンツを分析し、最も一般的なレイヤーに合わせます。個々のレイヤーを整列した後に見ると、コンテンツに合わせていくつかのレイヤーがわずかに移動または回転していることがわかります。

Photo RAWのレイヤー配置の例は、次のページの写真で見ることができます。これは、同じ場所から2日間離れて撮影されたハンドヘルドショットです。一番上の写真はベースレイヤーで、位置合わせ後に表示されますが、2番目のレイヤーは非表示になっています。

下の写真は整列したレイヤーを示し、グラデーションマスクがベースレイヤーの上部と他の写真の下部をブレンドしています。写真は何日も離れて撮影されたという事実にもかかわらず、Photo RAW は写真をほぼ完璧に調整しました。

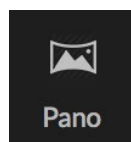


ベース整列レイヤー。



最終的に整列された写真は、上から下へのグラデーションマスクとブレンドされます。

ステッチパノラマ



ON1 Photo RAW 2020では、複数の画像をすばやくつなぎ合わせて、ブラウザモジュール内から直接パノラマを作成できます。

パノラマは、シーンの複数の個々のフレームから作成された合成写真です。パノラマは広くて狭い画像と考えられがちですが、パノラマは水平または垂直、幅またはコンパクトです。細部が追加され、視点が拡大された、より高品質の最終画像が得られます。Photo RAW では、2枚または25枚以上の画像でパノラマを作成できます。

Photo RAWでパノラマを作成するには、[参照]の[グリッド]ビューまたは[フィルムストリップ]ビューに移動し、結合に使用する画像を選択してから、画面の右側にある[パノラマ]アイコンをクリックします。

Photo RAW は、パノラマの作成ウィンドウが表示されます。このウィンドウには、マージされたパノラマを表示するプレビュー領域と、タイプ（球体またはコラージュ） およびパノラマの端を調整できるオプションパネルがあります。出力サイズを選択します（ステッチファイルサイズの100%または50%）。統合後にパノラマを開くモジュールを選択し、パノラマメタデータを追加します。



ON1 Photo RAW[パノラマの作成]ウィンドウには、投影されたパノラマが表示され、合併の種類、トリミングオプション、ファイルサイズ、パノラマ固有のメタデータの追加に関するオプションが含まれます。完成したパノラマを開くPhoto RAWモジュールを指定することもできます。

ほとんどの横向きのパノラマでは、自動または球面投影タイプを使用します。これにより、写真は球の内側にマッピングされているかのようにマージされます。Collageプロジェクションタイプは、マージされた写真を（曲面にマッピングするのではなく）フラットにレイアウトし、「スクラップブックスタイル」と呼ばれます。

そこ なし、作物やワープを記入する：3つのクロップのオプションがポップアップメニューをエッジでご利用いただけます。

- **なし** は、完成した画像をトリミングせずにパノラマをマージします。
- **切り抜き** は、パノラマのエッジを トリミング して、最適な長方形の切り抜きに合わせます。
- **ワープトゥーフイルド** は、ON1のコンテンツ対応フィルテクノロジーを使用してシーンのエッジを引き伸ばし、フレーム全体を可能な限り埋め、トリミングした領域を大きくします。

完璧なコンテンツ対応テクノロジーはないことを忘れないでください：塗りつぶしオプションを使用する場合は、パノラマを構築した後にフレームの端を確認し、汚れた領域や塗りつぶしがいないことを確認してください。（多く

の場合、空と大きな景色のあるシーンで最もよく機能しますが、エッジの詳細が多いシーンではあまり効果がありません。)

オプションバーの[開く]セクションでは、パノラマが構築されたときの処理を選択できます。[参照]のままにするか、[現像]タブまたは[効果]タブで完成したパノラマを開くことができます。

[パノラマメタデータの追加]オプションをオンにすると、FacebookやGoogleなどのパノラマ対応Webサイトやアプリにある探索機能を利用して、ユーザーがリアルタイムでパノラマをクリックして回ることができます。

[保存]をクリックすると、Photo RAWはパノラマを作成し、必要に応じて露出をブレンドし、結果のファイルをPSD (または[外部エディター設定]ペインで指定したファイルタイプ) として保存し、選択したモジュールで開きます。(オプションバーの[開く]メニューで決定されます。)

素晴らしいパノラマを作成するためのヒント

パノラマの作成は非常に楽しいものであり、単一のキャプチャでは不可能な方法で壮大な景色をキャプチャできます。素晴らしいパノラマを作成できるようにするのに役立つ特定のベストプラクティスがあります。

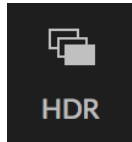
- 三脚を使用して、三脚とカメラがシーン全体にわたって水平になるようにします。
- 撮影前に測光と焦点をロックします。パノラマのすべてのショットに同じ絞り、シャッタースピード、ISOを使用します。
- 各ショットを50%オーバーラップして、最終的なパノラマを構築するための十分なデータを提供します。
- Photo RAW で画像を取得したら、現像で基本的な編集を行い、レンズ補正をオンにします。(パノラマがマージされた後のスタイル設定を保存します。)

Photo RAW パノラマエッジオプション

これらのパノラマは、パノラマ作成機能で利用できる3つの異なるエッジオプションを示しています。上部のパノラマは[なし]に、中央は[切り抜き]に、下のパノラマは[ゆがみ]に設定されています。シーンには端に空と草原が含まれていたため、Warp to Fillはパノラマフレームの上部を塗りつぶすのに十分なピクセルを追加できました。



HDR画像のブレンド



ON1 Photo RAW 2020には、パノラマに加えて、2番目の写真ON1 機能である高ダイナミックレンジ (HDR) 写真作成があります。この機能を使用すると、さまざまな露出レベルでシーンの複数のショットを撮影し、シリーズ全体のさまざまなフレームでシャドウ、ミッドトーン、ハイライトを正確にキャプチャし、それらをブレンドして、単一よりもはるかに広いトーン範囲を持つ最終画像を作成できますショットができました。



HDR画像を作成するには、[参照]の[グリッド]ビューまたは[フィルムストリップ]ビューに移動し、ブレンドする画像セットを選択します。次に、モジュールピッカーの下にある[HDR]ボタンをクリックします (または[ファイル]メニューから[HDRの作成]を選択します)。[HDRの作成]ウィンドウが表示され、次のオプションがあります。

- A. **プレビュー** ウィンドウが表示され、あなたのマージされたHDR画像の表現を (およびサイズ変更可能です)。
- B. **オプションバー**には、デフォルトの外観を選択すると、ゴーストを調整するための設定があり、そしてあなたが開くことが結果として得られる画像を願っているモジュールを。
- C. **リファレンスパネル**は、画像がベース画像に対して、その露出値を用いて、HDRを構築するために使用が含まれます。アウトライン付きの画像は、ゴースト除去に使用される基本バージョンです。露出のベース画像は、チェックマークの隣のレンズ絞りアイコンで表されます。
- D. **トーン&カラー・ペイン** の開発からは、(参照page <?>) および**Effects**ページの (ページ <?>) は、画像の調整に役立ちます。
- E. **保存/キャンセルボタン**。

[HDRの作成]ウィンドウが開いたら、さまざまなオプションを使用して画像を調整できます。ベース画像を調整できます。リファレンスパネルで異なるフレームをクリックすると、ゴースト除去用に別のベース画像が選択されます。別のベース露出画像を選択するには、シリーズの別の画像にある小さなレンズ絞りアイコンをクリックします。（デフォルトでは、Photo RAW は、露出とゴースト除去の両方について、シリーズの中央に最も近いと感じた画像を選択します。）

また、デフォルトのルックオプションは、トーンペインとHDRルックペインのスタイルオプションに対応して、使い始めるのに役立つように設計されています。NaturalおよびSurrealはHDR Lookペインからこれらのスタイルを使用し、Natural AutoおよびSurreal AutoオプションはTone&ColorペインからAuto Toneオプションも追加します。これらは開始点としてのみ設計されています。2つの編集ペインで設定を調整することで、オプションをオーバーライドできます。

オプションバーのゴースト除去セクションには、画像シリーズ中にシフトした可能性のあるフレームの部分（雲、流れる水、動く枝など）をブレンドするオプションがあります。ゴーストの量に応じて、4レベルのゴースト除去（またはなし）から選択できます。画像にゴースト除去を適用する必要がある領域を表示したい場合は、[ゴーストの表示]ボタンをクリックします。ゴーストの問題がある領域は、赤いオーバーレイで表示されます。シーンの動きに応じて、適切なレベルのゴースト除去を選択するか、場合によってはキャンセルして別の画像セットを選択してHDRにブレンドできます。

オプションバーの[整列]ボタンはデフォルトでオンになっています。つまり、HDR生成プロセス中に、Photo RAW はコンテンツに基づいて画像を自動的に整列しようとします。位置合わせプロセスで合成結果が悪くなる場合、または Photo RAW 画像を位置合わせしたくない場合（星の写真を使用する場合など）、位置合わせボタンをオフにします。位置合わせ機能をオフにすると、Photo RAW は選択したベース画像をHDRプロセスに使用します。

オプションバーの[開く]セクションでは、マージされたHDRファイルがビルドされたときの処理を選択できます。[参照]のままにするか、[現像]タブまたは[効果]タブで完成したパノラマを開くことができます。

設定を希望する方法に調整したら、[保存]をクリックすると、Photo RAW がHDRを作成し、.onphoto ファイル形式で保存して、選択したモジュールで開きます。Photo RAWのHDRエンジンの利点は、[HDRの作成]ウィンドウで画像に行った編集が、[現像]の[トーンとカラー]ペインと[エフェクト]の[HDRルック]ペインに反映されることです。ON1 Photo RAW は非破壊的であるため、HDRを再編集して希望に合わせることができます。別のHDR Lookスタイルを使用するか、写真にエフェクトを追加する場合は、適切なモジュールで画像を開いて編集します。

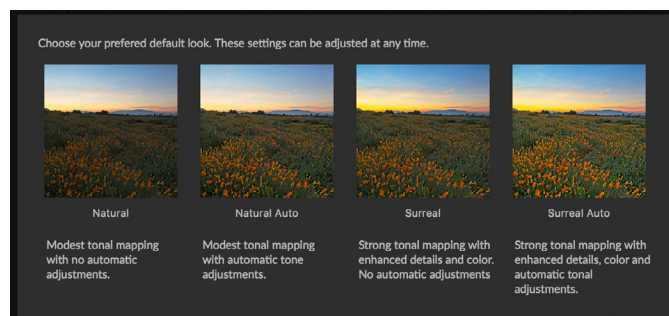
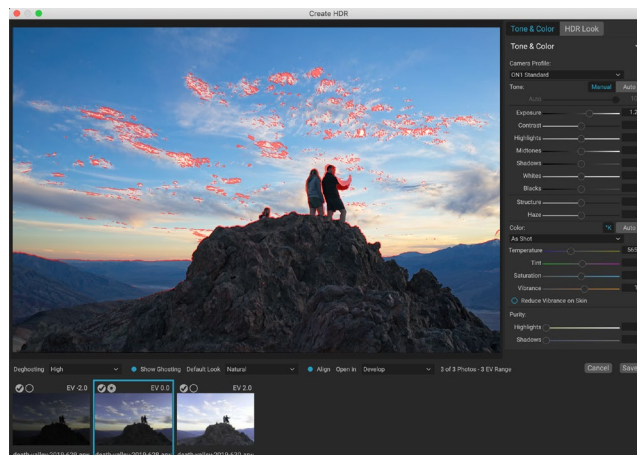


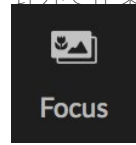
Photo RAW のHDR機能を初めて起動すると、このウィンドウが表示され、[HDRの作成]ウィンドウにあるさまざまなHDR調色オプションが表示されます。HDRファイルを作成したら、[編集]モジュールに移動して、設定を編集したり、他のフィルターを追加したりできます。



[ゴースト表示]オプションをオンにした[HDRプレビューの作成]ウィンドウ。ゴーストの問題があるエリアは、赤いオーバーレイで表示されます。

フォーカススタッキング

野外で作業する場合、前景から背景までの写真で完璧な焦点を合わせるのは、不可能ではないにしても困難です。ON1 Photo RAW 2020のフォーカススタッキング機能を使用すると、さまざまな焦点距離で撮影した一連の写真をブレンドして、どの写真よりも被写界深度を深くすることができます。また、レンズの焦点を変更するように、リアルタイムで焦点を調整できます。HDRのように考えてください。ただし、露出ではなく焦点に合わせてください。



パノラマおよびHDR機能と同様に、参照モジュールでフォーカスタック写真を生成します。ブレンドする写真を選択し、ウィンドウの右側にあるセクターのフォーカスアイコンをクリックするだけです。これにより、次のコンポーネントを含むフォーカススタッキングダイアログが起動します。

- A. サイズ変更可能な **プレビュー** ウィンドウには、ブレンドされたフォーカスタック写真のレンディションが表示されます。
- B. **オプションバー**には、写真を整列させるための設定があります。最終的な階層化ファイル（マスク付き）を作成するオプション。結果の画像を開くモジュール。被写界深度の調整。同様の領域のベース写真間の問題領域を修正します。
- C. **[参照]パネル**には、フォーカスタックされた画像の構築に使用される画像とそのフォーカス値（写真のメタデータがある場合は取得されます）が含まれます。画像のチェックボックスをクリックすると、フォーカス操作から削除されます。
- D. **保存/キャンセルボタン**。

ソース画像にフォーカスメタデータがある場合、Photo RAWは、最も近いソースから最も遠いソースを一覧表示し、フォーカス距離がリストされ、プレビューウィンドウに推奨される最終写真が表示されます。Photo RAWは可能な限り最大の被写界深度を自動的に作成しようとしませんが、[被写界深度]スライダーを使用して、ブレンド結果の被写界深度を制限できます。たとえば、より近い領域のシャープネスを低くしたい場合は、左のスライダーを動かします。距離を短くするには、右のスライダーを動かします。最大の焦点に戻すには、[最大]ボタンをクリックします。

スペckル除去スライダーは、樹木の葉の動きなど、ベースイメージ間のシーンの一部に動きがある場合に使用できます。スペckル除去量を増やすと、ゴースト要素や注意散漫を取り除くのに役立つ場合があります。

あなたが望む結果を持っている場合は、[保存]ボタンをクリックして、Photo RAWと一緒にあなたの元の写真をブレンドし、中に保存された新しい写真が作成されます.onphoto形式を。[フォーカススタッキング]ウィンドウの[開く]部分での選択に応じて、[参照]または[現像]または[効果]タブで写真が開きます。[レイヤー化された結果]オプションを選択した場合、レイヤーマスクが添付された個別の画像がすべて独自のレイヤーに表示されます。

Photo RAW内の他のすべての画像タイプと同様に、[スタックの編集]タブのいずれかでフォーカスタックされた写真を非破壊で編集できます。

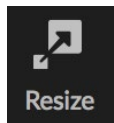
パート5： 出力と共有

写真の編集と整理は、おそらく ON1 Photo RAW 2020内で定期的に行う最も重要なタスクですが、写真で「何か他のことをしたい」場合もあります。写真を高品質のプリント用に拡大したり、他の人やソーシャルメディアで写真を共有したり、デスクトッププリンターに印刷したりする場合、Photo RAW は写真を好きな場所に配置するために必要なすべての機能があります。

このセクションには、次のトピックに関する詳細情報があります。

- **ON1 サイズ変更：** 画像の拡大と印刷の業界標準。
- **エクスポート：** すばやく簡単に使用できるパネルのサイズ変更機能により、写真を柔軟に、簡単に、コントロールしてエクスポートできます。
- **印刷：** 写真を任意のサイズで、個々の写真として、またはコンタクトシート形式で印刷します。
- **共有：** SmugMugを含むなど、写真を簡単に共有できます。
- **送信先：** 他の写真アプリで写真を編集します。

ON1 サイズ変更



ON1 Resizeを使用すると、特許取得済みの業界標準の Genuine Fractals アルゴリズムを使用して、シャープネスやディテールを損なうことなく写真を拡大できます。次の機能が含まれます。

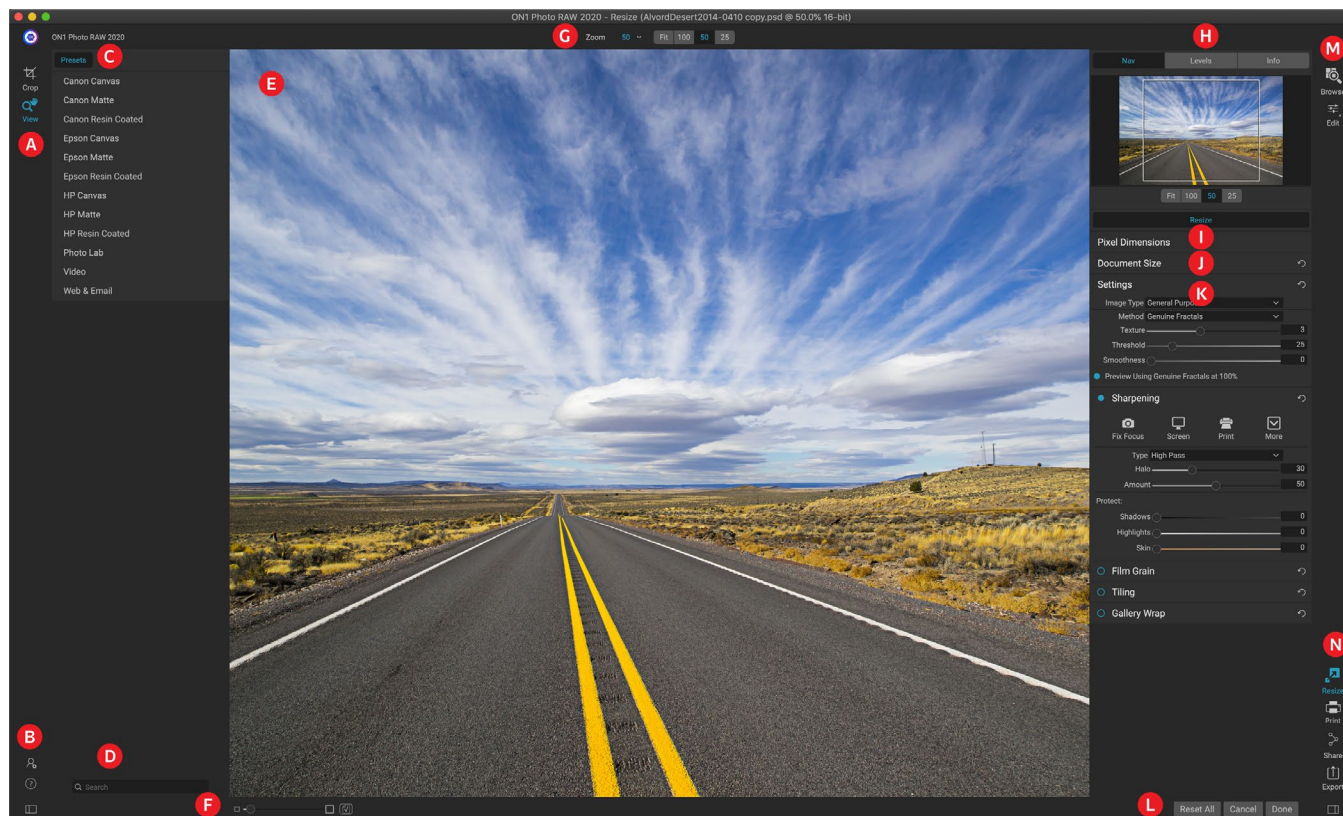
- 調整サイズと解像度を完全に制御
- 作物とレベル
- 研ぎ
- 複数のサイズ変更アルゴリズムにより、あらゆるテーマで最高品質の結果を得ることができます
- フィルムグレインを追加
- さまざまな用紙サイズと画面サイズに対応する共通のプリセットサイズに切り抜く
- キャンバスに印刷するためのギャラリーラップウィングを追加する
- 画像をタイルに分割して、モザイクや壁画を印刷します
- 新しいファイルを作成せずに、すべてを1か所で切り取り、サイズ変更、印刷する
- 希望するサイズの印刷を作成し、プリンターと用紙の組み合わせのオプションを調整するための数百のプリセット

ON1 サイズ変更を使用する必要がある場合

ON1 サイズ変更は、印刷前のワークフローの最後のステップの1つとして使用する必要があります。ON1 Resizeのパワーは、オンデマンドの解像度の概念にあります。適度なサイズのファイルで作業できます。これにより、編集が高速になり、ハードドライブのスペースとメモリが少なくなります。次に、ファイルを出力する準備ができたら、ON1 ResizeをON1 サイズを変更し、出力用にシャープにします。これは、異なる印刷サイズでファイルの複数のバージョンを保持する必要があることを意味します。必要なものをその場で作成するだけです。ON1 Resizeは、レイヤー化されたPhotoshop ファイルもサポートしているため、プロセス全体ですべてのレイヤーを維持できます。

注：「?どのように大きなことができます私は印刷」の解像度とプリントサイズの多くのより完全な議論はで見つけることができると「?どのくらいの解像度ドIの必要性」セクション、上の開始 ページ163。

ON1サイズ変更メイン画面の概要



ON1 Resizeは、写真を編集するための使いやすいワークエリアを提供します。以下は、以下を含む主なセクションの概要です。

- A. **ツールウェル:** ここにツールがあります。
- B. **設定/ヘルプ:** ここで、設定やヘルプにアクセスできます。下部のボタンは、プリセットペインの表示/非表示を切り替えます。
- C. **プリセット:** さまざまなプリンター、用紙の種類、印刷サイズのプリセットのライブラリが含まれています。
- D. **検索:** プリセットを検索できる場所です。
- E. **プレビューウィンドウ:** これは、画像のプレビューと作業を行うメインセクションです。
- F. **ズームビュー/ソフトブーフ:** スライダーはズームレベルを設定します。アイコンはソフト校正をオンまたはオフにします。
- G. **ツールオプションバー:** 現在選択されているツールのオプションを一覧表示します。
- H. **ナビゲーター/レベル/情報ペイン:** ナビゲーター、レベル（ヒストグラム）、および一般的な写真情報。
- I. **ピクセル寸法:** 画像のピクセル寸法を表示します。
- J. **ドキュメントサイズ:** サイズ変更した写真のサイズを設定します。
- K. **コントロールペイン:** 画像設定、シャープニング、フィルムグレイン、タイリング、ギャラリーラップオプションにアクセスします。
- L. **キャンセル/完了:** 画像をリセット、キャンセル、または閉じるためのボタン。

M. **モジュールセレクト**: 参照または編集に移動します。

N. **エクスポート/共有ボタン**: 画像をエクスポートまたは共有します (サイズ変更とは別に)。

プレビューエリアのナビゲート

プレビュー領域は、画像のプレビューと作業を行うメインセクションです。このウィンドウをナビゲートするには、表示ツールを使用できます。

このツールは、サイズ変更モジュールで画像を開くときに選択されるデフォルトのツールであり、プレビューウィンドウで画像の倍率を調整します。ズームツールを選択した状態で、プレビューウィンドウをクリックしてズームインし、クリックした場所で画像を中央に配置します。

Option / Altキーを押しながら、拡大された画像をパンします。また、ツールウェルの[表示]ツールをダブルクリックして、画像を1:1 (または100%) の拡大表示に設定し、すべてのピクセルを表示することもできます。これは、細部を調べる場合や、写真のサイズ変更によるシャープ化の効果をプレビューする場合に最適です。

ナビゲーター、レベル、情報

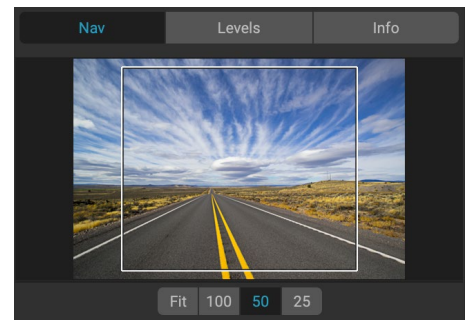
メインウィンドウの右側のコントロールパネルの上部には、ナビゲーター、ルーペ、レベル、および情報ペインがあります。これらの4つのペインは、画像の詳細を検査および表示するのに役立ちます。

ナビゲーターペイン

これにより、画像の鳥瞰図が得られます。白い四角の領域は、プレビューペインに表示される画像領域を示します。白い領域内をクリックしてドラッグすると、ビューをパンできます。

[ナビゲーター]ペインの下部には、いくつかのズームプリセットがあります。ズームプリセットをクリックしてアクティブにします。

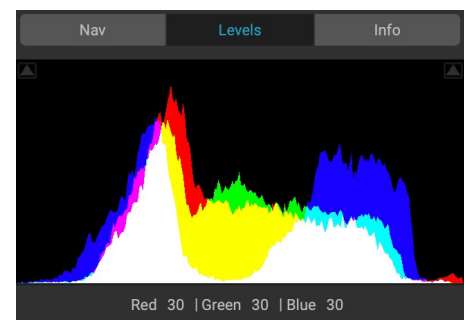
- **FIT**: 現在のキャンバスサイズに合わせてズームします。
- **100**: 100%または実際のピクセルにズームします。
- **50**: 50%にズーム
- **25**: 25%にズーム



レベルペイン

これにより、画像のRGB値 (多くの場合、ヒストグラムと呼ばれる) に基づいて、シャドウ、ミッドトーン、およびハイライト領域のカラーチャートが得られます。これは、画像内でクリッピングされている可能性のある領域を表示するのに役立ちます。クリッピングとは、画像に純粋な黒または白が含まれており、ハイライトまたはシャドウの詳細が失われていることを意味する場合があります。

ヒストグラムの左側は影を表し、右側はハイライトを表します。各端の上部には三角形があります。三角形が点灯している場合、ヒストグラムのその側にクリッピングがあります。矢印をクリックすると、画像のクリッピングオーバーレイがアクティブになります。画像の青いオーバーレイの部分は真っ黒で、赤いオーバーレイの部分は真っ白です。三角形のいずれかをクリックすると、クリッピングビューを再びオフにできます。いつでもJキーを



押したままにして、一時的にクリッピングビューを有効にすることもできます。クリッピングビューは、画像の明るさとコントラストを調整するときに役立ちます。

[レベル]ペインには、ペインの下部のカーソルの下にRGB値も表示されます。

情報ペイン

情報ペインには、次のような重要な写真のメタデータが表示されます。

- カメラの種類
- ファイルタイプ
- 焦点距離とレンズ情報
- キャプチャされた日付と時刻
- 暴露情報
- ISO
- シャッター速度
- 絞り
- 露出値
- ファイル名
- 色空間
- 寸法
- ファイルサイズ

Nav		Levels	Info
Sony ILCE-7R			
16 mm (16-35mm F2.8)			
10/20/14 11:14 AM			PSD
ISO 400	1/1000	f/11	EV 0
File Name AlvordDesert2014-0410 copy.psd			
Color Space sRGB IEC61966-2.1			
Dimensions 7130x4759 @ 300 ppi			
File Size 194.2 MB (16-bit)			

カメラでGPSを使用できる場合は、GPSボタンが表示され、クリックして画像が撮影された場所のGPS座標を取得できます。この機能は、カメラまたはモバイルデバイスでGPSが有効になっている場合にのみ機能します。そうしないと、GPSボタンが表示されません。

切り抜きツール

切り抜きツールは、画像全体の切り抜きとサイズ変更に使われます。編集モジュールの非破壊クロップツールとは異なり、サイズ変更のクロップツールは、クロップボックスの外側のピクセルをすべて削除し、同時にキャンバスサイズを変更します。

画像を切り抜くには、切り抜きツールを選択します。次に、トリミングツールオーバーレイのコーナーハンドルを調整します。クロップボックスの外側の領域は、ガイダンスとして暗く表示されます。トリミングボックス内で画像のサイズを変更して移動できます。満足したら、ツールオプションバーの[適用]ボタンを押すか、Enterキーを押します。

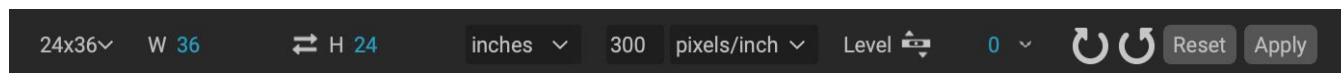


リサイズのクロップオーバーレイ。

切り抜きツールオーバーレイの使用

- **動画**: ボックス内に、トリミングボックス内で画像を移動しクリックしてドラッグするには。キーボードの矢印キーを使用して画像を微調整することもできます。
- **クロップボックスのサイズ変更**: クロップボックスのサイズを変更するには、サイズ変更ハンドルをクリックしてドラッグします。コーナーハンドルをクリックすると、2つの側面を同時に調整できます。サイドハンドルをクリックすると、そのサイドを調整できます。Shiftキーを押しながらサイズを調整すると、ボックスの縦横比が維持されます。切り抜きボックスを回転するには、ツールが回転するようになるまで角の外側に移動します。ツールオプションバーで、トリミングボックスのアスペクト比またはサイズを設定することもできます。

切り抜きツールのオプションバー

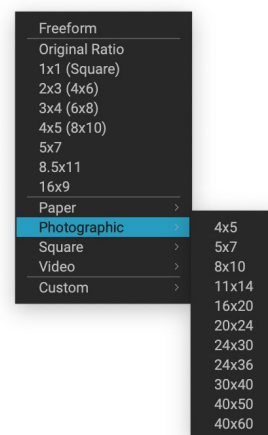


- **プリセットポップアップ**: ポップアップは、トリミングツールモード、アスペクト比、ドキュメントサイズのプリセットを制御します。
- **幅**: トリミングボックスの幅を設定します。
- **寸法の交換**: 幅と高さを交換します。クロップボックスを回転させるのに便利です。
- **高さ**: クロップボックスの高さを設定します。
- **単位**: ピクセル、インチ、センチメートルなどの測定単位を決定します。
- **レベルリングツール**: このツールをクリックして、画像内のレベルにする必要がある要素にドラッグします。
- **角度**: 回転角度を確認して調整します。
- **回転**: 画像を90度回転します。
- **キャンセル**: 切り抜きツールをリセットします。
- **適用**: トリミングを適用し、写真のサイズを変更します。

切り抜きツールモード

トリミングツールは3つのモードで動作します。これらのモードはすべて、ツールオプションバーの[プリセット]ポップアップからアクセスできます。

- **フリーフォーム**: このモードでは、トリミングボックスを自由に調整できます。画像のサイズは変更されません。トリミングボックスの外側の領域は切り取られます。一般的に使用するために形状を変更したり、イメージを再構成したいだけの場合は、このモードを使用します。
- **アスペクト比**: トリミングボックスをアスペクト比にロックできます。これにより、クロップボックスの形状は変更されず、サイズだけが変更されます。このオプションを使用して、画像のサイズを変更せずに比率を維持しながら、既存のピクセルをトリミングします。
- **ドキュメントサイズプリセット**: これらを使用して、画像のトリミングとサイズ変更を同時に行うことができます。特定のサイズで画像を印刷することが目的であることがわかっている場合は、同時に画像のトリミングとサイズ変更を行うことができます。多くの一般的なサイズが含まれてお



トリミングツールのプリセットポップアップには、ほぼすべてのアスペクト比または印刷サイズのオプションが含まれています。

り、独自のサイズを作成できます。

画像の水平化

切り抜きツールには、画像を自動的に回転させて水平にするための特別な水平調整ツールがあります。これにアクセスするには、まず切り抜きツールを選択してから、次を実行します。

- ・ トリミングツールのオプションバーからレベルリングツールを選択します。カーソルがレベルリングツールに変わります。
- ・ 画像を横切る水平線または垂直線のいずれかをクリックしてドラッグします。マウスを離すと、画像は自動的に正しい角度に回転します。

画像サイズの調整

サイズ変更では、ドキュメントサイズペインまたは切り抜きツールのオプションバーを使用して、画像サイズを調整できます。これらの領域の情報は相互に関連しており、一緒にロックされています。いずれかのペインで値を調整すると、もう一方のペインが変更されます。

[ドキュメントサイズ]ペインには、現在必要なドキュメントサイズ、または何も調整していない場合は元のサイズが表示されます。[幅]または[高さ]フィールドに入力して、ドキュメントサイズを変更します。

幅と高さのフィールドは、写真の比率を維持するために一緒にロックされます。幅を変更すると、比例して高さも変更されます。サイズ変更は、非比例スケーリングをサポートしていません。画像の縦横比を変更する場合は、切り抜きツールを使用します。

注：写真を不均等に引き伸ばす必要がある場合は、現像の変形ペインを使用します。（[より多くの<?>ページ](#)。）

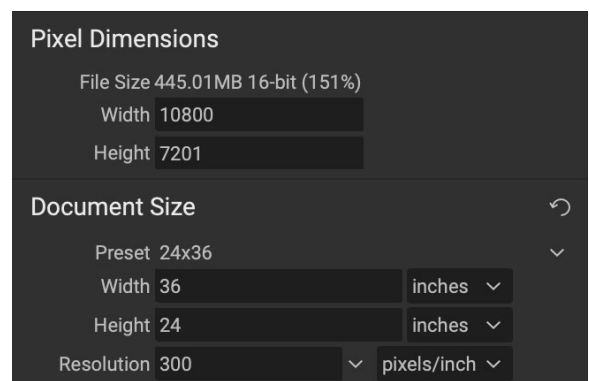
ドキュメントサイズプリセットを使用すると、写真のトリミングとサイズ変更を同時に簡単に行うことができます。幅と高さを自動的に設定するには、いずれかを選択するだけです。これにより、切り抜きツールも選択されるため、写真に合わせてドキュメントのサイズを調整できます。また、ピクセル/インチまたはドット/インチとして知られる解像度を制御します。これは、出力デバイスに基づいて調整することが重要です。

ピクセルサイズペインには、ピクセル単位の画像サイズ、ファイルサイズ、ビット深度、およびスケーリング係数が表示されます。

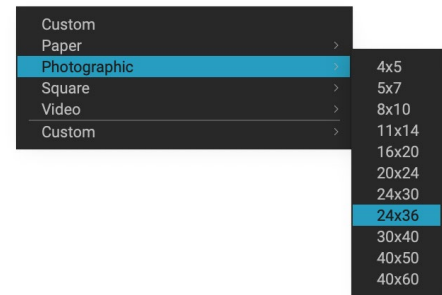
ドキュメントサイズプリセットの使用

ドキュメントサイズのプリセットにより、画像のトリミングとサイズ変更を同時に行うことができます。多くの場合、ON1Resizeを使用している場合、既知の一般的なサイズで印刷出力用のファイルを作成します。このような場合、ドキュメントサイズプリセットを使用すると、ドキュメントサイズを設定し、必要な比率に画像をトリミングするための最速の方法になります。

ドキュメントサイズプリセットを使用するには、次の手順に従います。



1. [ドキュメントサイズ]ペインの[ドキュメントサイズ]プリセットプルダウンまたは切り抜きツールのオプションバーから目的のサイズを選択します。[ドキュメントサイズ]フィールドが自動的に入力され、選択したドキュメントサイズプリセットの比率に一致するトリミングボックスが画像に描画されることがわかります。
2. 必要に応じて、トリミングボックスを回転を選択して、トリミングボックスを適切な方向に回転します。画像の向きに合わせて自動的に回転しますが、別の方法でトリミングした場合は、回転する必要があります。
3. トリミングツールを使用して、必要な画像領域が含まれるようにトリミングボックスの位置を変更し、サイズを変更できます。トリミングボックスの縦横比とドキュメントサイズはロックされているため、要求したドキュメントサイズが常に完成することに注意してください。
4. 出力デバイスに必要な解像度に調整します。何を選択したらよいかわからない場合は、一般的な設定の解像度ドロップダウンメニューを使用してください。



Photographic Documentプリセットカテゴリには、多くの従来の印刷サイズが含まれています。

Resizeには、一般的に使用される多くの印刷、紙、およびビデオのドキュメントサイズプリセットが付属していますが、独自に作成することもできます。

- 画像を選択して、サイズ変更を起動します。
- [ドキュメントサイズプリセット]プルダウンから、[カスタム]> [カスタムサイズの管理]を選択します。
- [追加]ボタンをクリックします。
- ハイライトされた無題の名前をダブルクリックし、プリセットに名前を付けます。
- 幅と高さをダブルクリックして、適切な値を入力します。
- 単位をクリックして、適切な単位を選択します。
- [OK]ボタンをクリックします。

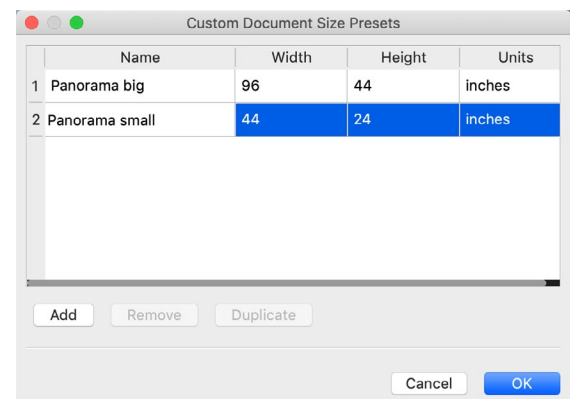


Photo RAW 内で独自のカスタム印刷サイズプリセットを簡単に作成できます。

ヒント: 間違ったドキュメントサイズプリセットを選択した場合、別のプリセットを選択して変更できます。ドキュメントサイズプリセットを選択した後で使用しない場合は、[ドキュメントサイズ]ペインの[リセット]ボタンまたは切り抜きツールオプションバーの[キャンセル]ボタンを押します。

また、「クロップをロック」オプションは、指定されたクロップの縦横比とドキュメントサイズの設定をロックします。これは、ドキュメントサイズプリセットを使用するとデフォルトでオンになります。

設定ペイン

[設定]ペインには、サイズ変更方法、またはアルゴリズムとその設定を選択するためのコントロールが含まれています。すべての画像は異なり、ここで正しい設定を選択すると、結果の品質が向上します。

画像タイプ

開始するには、[画像の種類]ドロップダウンメニューのいずれかのプリセットを試してください。このポップアップには、さまざまな画像カテゴリ（ポートレート、風景など）のプリセットが含まれています。いずれかを選択すると、テクスチャ、しきい値、滑らかさの設定が自動的に調整されます。

方法

[メソッド]ドロップダウンでは、画像のサイズ変更使用するメソッドまたはアルゴリズムを選択します。オプションは次のとおりです。

- **Genuine Fractals**：これは、Perfect Resize10年以上にわたって標準にしてきた、特許取得済みの古典的なフラクタルベースのアルゴリズムです。
- **ON1 サイズ変更ポートレート**：これは、ポートレート画像用に設計されたGenuine Fractalsアルゴリズムの新しいバリエーションです。少し柔らかく、肌や髪の毛のテクスチャを表現するのに適しています。

テクスチャコントロール

Genuine Fractalsメソッドを選択すると、画像に基づいてサイズ変更アルゴリズムを調整する他のコントロール（テクスチャ、しきい値、滑らかさ）がいくつかあります。これらはすべて、画像のテクスチャを処理する必要があります。詳細な観点から画像を分析する場合、エッジ、連続トーン、テクスチャの3つのカテゴリに分類できます。

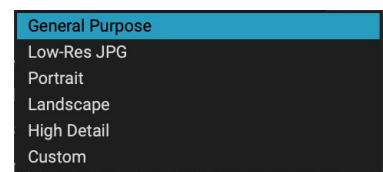
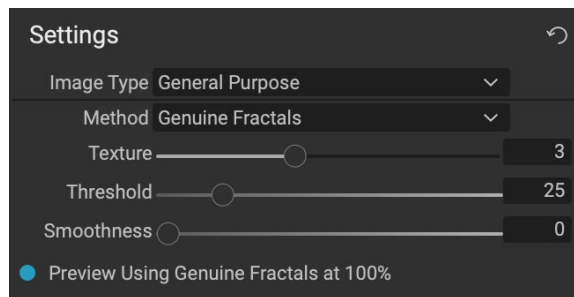
エッジは、画像内の被写体のエッジを定義するシャープなディテールです。あなたの拡大が品質を維持するためにこれらが維持されることは最重要です。肌や空などの連続トーン領域は、ほとんどが単色または段階的な色です。これらの領域には詳細がほとんどないため、これらのサイズは簡単に変更できます。

Resizeの命名法では、テクスチャはこれら2つの間にある領域です。これらはまだ詳細を含んでいるが、鋭いエッジではない領域です。これらは、岩の表面、樹皮、布地、動物の毛皮などです。これらのテクスチャ領域のディテールの量は、知覚されるシャープネスと画像の品質に大きな影響を与える可能性があります。

ON1Resizeを使用すると、これらの領域に影響を与える主要なアルゴリズム変数を制御できます。また、さまざまな画像タイプや主題にプリセットを使用して、これらのテクスチャ領域を再現するのに最適な結果を得ることができます。

画像の見た目を調整するときの設定ペインのスライダーの考え方は次のとおりです。

- **テクスチャ**：これは、画像のエッジのない平らな領域の細部の量を制御します。画像にエッジが定義されていない細部がたくさん含まれている場合（葉、岩、樹皮などの多くの有機パターン、または布地などの人工パターン）、量を4または5の設定に増やすとよい場合があります。5を超える設定では、元の画像がスキャンされたフィルムからのものでない限り、望ましくない凹凸のあるノイズパターンがしばしば発生します。デフォルト3よりも低い設定は、はっきりとした詳細（砂、雪、空）は



[設定]ペインの[画像の種類]メニューのオプション。

ないが、風景画像、建築、ポートレートなどの硬い前景の被写体がある連続トーンの大きな領域の画像に役立ちます。

- **しきい値**：これは、強化されるハードエッジの詳細の量を制御します。デフォルト設定は25です。しきい値を下げると、アルゴリズムがエッジ情報に集中します。これは、ポートレートや画像のノイズを減らすのに役立ちます。25を超える設定は、画像のより平坦な領域の細部の量を増やします。100までの設定は、非常に詳細な画像（髪や羽）に役立ちます。しきい値設定を高くすると、ON1サイズ変更プロセスも高速になります。これらのコントロールの調整を開始する良い方法は、しきい値を100に設定してから、画像のノイズが大きくなる（バンプが大きくなる）まで量を上げ、しきい値を下げて連続トーン領域のノイズを滑らかにすることです。連続トーンがほとんどまたはまったくない詳細な画像の場合は、4の値と100のしきい値を試してください。ポートレート画像またはJPEGアーティファクトのある画像の場合は、2～3のしきい値と25以下のしきい値を試してください。
- **滑らかさ**：滑らかさスライダーは、ハードカーブエッジに沿ったアーチファクトを減らすために使用されます。必要な最低の設定を使用してください。

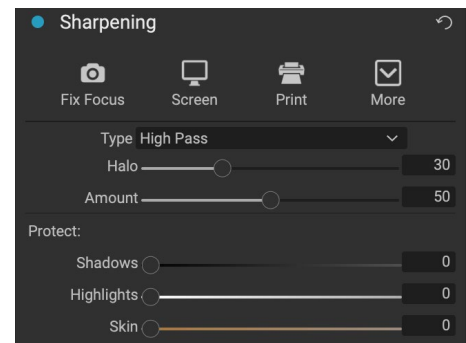
[設定]ペインの最後の項目である[**100%**でGenuine Fractalsを使用してプレビュー]は、そのアルゴリズムを使用して100%ズームで品質をプレビューします。したがって、[設定]ペインの項目と[シャープ]ペインのコントロールをより正確に調整できます

シャープニングペイン

シャープペインには、画像にシャープネスを追加するためのコントロールが含まれています。

ON1Resizeには、3つのシャープニング方法があります。

- **アンシャープマスク**：一般的なシャープ化に適しています。Photoshopのアンシャープマスク機能に似ています。サイズ変更のシャープは、色のアーチファクトを防ぐために画像の輝度のみ適用されるという点で異なります。
- **ハイパス**：ハイパスシャープニングは、元の画像が鮮明でない場合に役立ちます。
- **プログレッシブ**：アンシャープマスクに似ていますが、画像の細部のサイズに応じて異なる量をシャープにします。小さな詳細は、大きな詳細よりも強化されています。



シャープニングコントロールを使用すると、印刷前にシャープニングを追加するワークフロー手順を節約でき、プリンターのドットゲインによるシャープネスの損失を補正できます。シャープニングは、印刷の直前にワークフローの最後にのみ適用する必要があります。画像のサイズを変更した後に追加のレタッチまたは合成作業を行う場合は、シャープコントロールを無効にする必要があります。

出力用に画像をシャープにするには、[ドキュメントサイズ]ペインコントロールを調整した後、次の手順を使用します。

1. 画像を1:1にズームインします。これを簡単に行うには、[ナビゲータ]ペインにある1:1ズームプリセットを使用します。
2. ペインのタイトルバーでオン/オフコントロールを切り替えて、シャープコントロールを有効にします。
3. 画像に最適な結果が得られるシャープニング方法を選択します。これを判断するには実験が必要な場合があります。

4. 量スライダーを調整して、必要なシャープネスの量を決定します。
5. ハイライトスライダーとシャドウスライダーを使用して、画像の最も暗い領域と最も明るい領域にシャープネスが適用されないようにして、ノイズのシャープネスを防ぐことができます。

フィルムグレインペイン

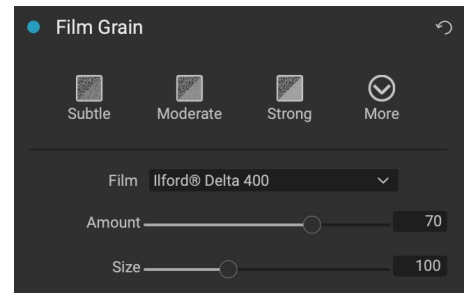
フィルムグレイン設定は、イメージに対するシミュレートされたフィルムグレイン（ノイズ）の量を制御します。適度な量の粒子を追加すると、画像が視覚的に鮮明に見え、欠陥（JPGアーティファクトなど）を隠すのに役立ちます。

フィルムグレインの追加は、モノクロ画像に特に役立ちます。印刷の直前に追加する必要があります。画像のサイズを変更した後、Photoshop またはレイヤーで他のレタッチまたは合成作業を行う必要がある場合は、サイズ変更でフィルムグレインコントロールを無効にする必要があります。

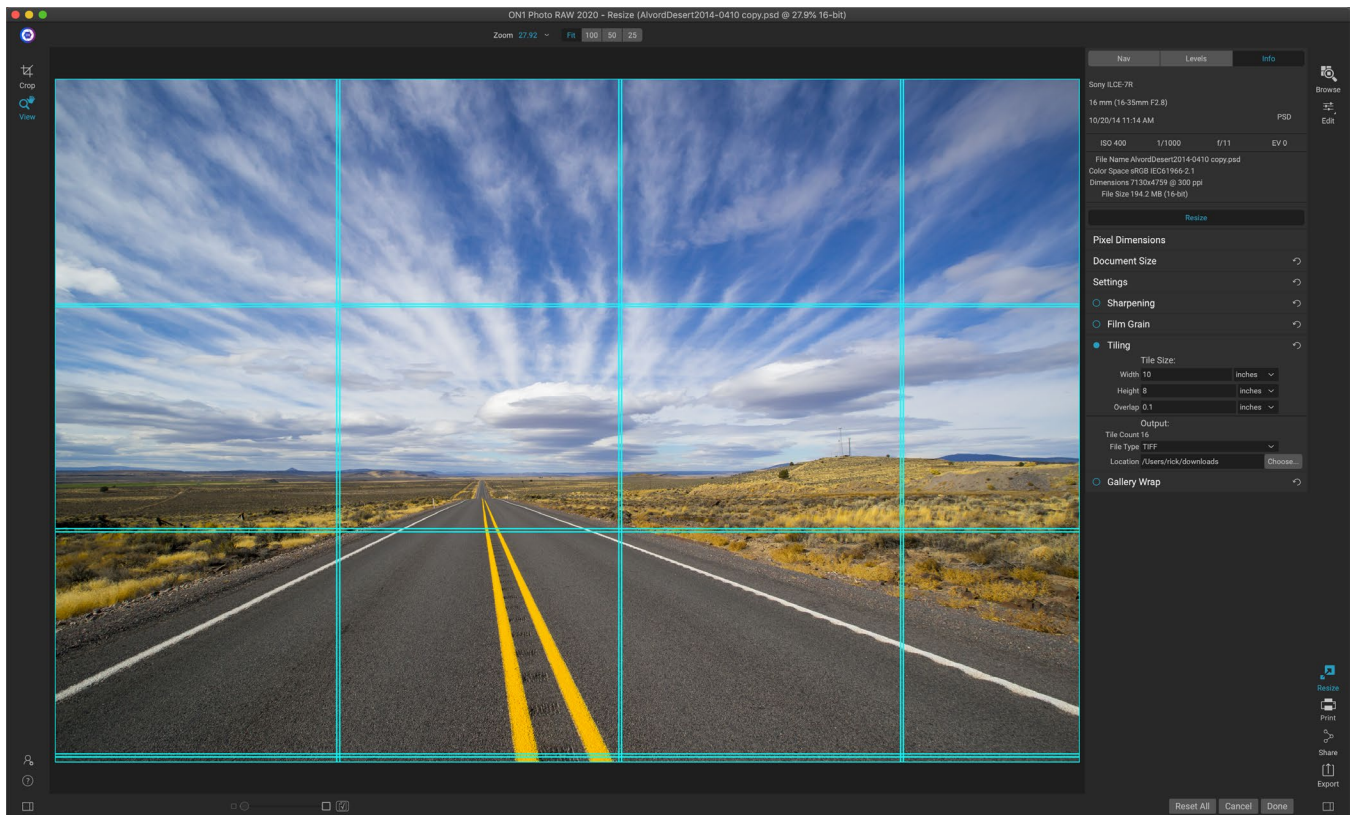
画像にフィルムグレインを追加するには、次の手順を実行します。

1. 画像を1:1にズームインします。これを簡単に行うには、[ナビゲータ]ペインにある1:1ズームプリセットを使用します。
2. フィルムグレインペインのタイトルバーでオン/オフコントロールを切り替えて、フィルムグレインコントロールを有効にします。
3. 希望する量のフィルム粒子が追加されるまで、スライダーを上下に調整します。

ペインのタイトルバーでオン/オフコントロールを切り替えることで、フィルムグレインの効果だけをプレビューできます。



タイルペイン



サイズを大きくしたいが大きなプリンターがない場合、Resizeのタイリング機能を使用すると、小さい用紙サイズで柔軟なタイル印刷を作成できます。

サイズ変更のタイル機能は、画像をより小さなプリンターで印刷できるように、拡大部分をより小さな部分に分割します。たとえば、高さ8フィート、幅12フィートの壁画を作成することもできますが、プリンターは24インチ幅のストリップしか印刷できません。タイル機能を使用すると、幅24インチ、高さ8フィートの4つのファイルを自動的に作成して、セクションに壁画を作成できます。

タイリング機能を使用すると、印刷する用紙のサイズを指定するだけで、ページをオーバーラップさせることができます。次に、ON1Resizeは画像のサイズを変更し、個々のタイルに分割します。

タイルペインを使用するには：

1. ペインヘッダーのオン/オフスイッチを切り替えて、タイルをオンにします。
2. [幅]および[高さ]フィールドを、印刷する用紙のサイズと向きに設定するか、代わりに行と列の数を選択できます。
3. オーバーラップサイズを設定します。オーバーラップにより各タイルがオーバーラップするため、複数のパネルを一緒にテープで貼り付けることができ、フチなしで印刷しない場合はプリンターの余白を修正します。
4. タイルごとに新しく作成されたファイルのファイルタイプを設定します。
5. 新しいファイルの保存先フォルダーを設定します。各ファイルには、元のファイル名とファイル名で示されるタイルを使用して名前が付けられます。

プレビューには、作成される各タイルのシアンガイドラインが表示されます。タイルペインの下部には、作成されるタイルの数が表示されます。

ギャラリーラップ



ギャラリーラップ機能を使用すると、4つの異なるラップタイプから選択でき、ラップするエッジの厚さおよび不透明度を調整できます。

ギャラリーラップ機能は、キャンバスに印刷できるように設計されています。キャンバスの拡大を作成する場合、画像の一部を木製のストレッチャーバーで囲むのが一般的です。これらは数インチの厚さで、キャンバスの取り付けに役立ちます。これらは一般にギャラリーラップと呼ばれます。ただし、画像の端近くに重要な詳細がある場合、ラッピングプロセスで失われる可能性があります。ON1Resizeのギャラリーラップ機能は、元の画像を犠牲にすることなく、画像のエッジ付近の領域を反射またはストレッチすることにより、自動的に拡張マージンを作成します。取り付けバーの厚さを選択し、さまざまなオプションを使用して追加のマージンを作成できます。

ギャラリーラップ機能を使用するには：

1. ペインのタイトルバーのオン/オフスイッチを切り替えて、ギャラリーラップ機能をオンにします。
2. 厚さコントロールを、追加するマージンの量に設定します。目安としては、ストレッチャーバーの厚さに0.5インチを加えたものを使用することをお勧めします。
3. 使用するタイプを選択します（さまざまなオプションの詳細については、以下のリストを参照してください）。
4. ギャラリーラップウィングにカラーオーバーレイを追加する場合は、色と不透明度を設定します。

ギャラリーラップ機能には、マージンを追加し、ラップの外観を調整するためのいくつかの設定があります。

- **反映**：画像の周囲の厚さ設定に等しい領域をコピーしてから、各辺を反転させて余白として追加します。これは優れた汎用テクニックです。
- **Reflect Soft**：Reflectメソッドと同じですが、追加されたマージンをソフトにします。
- **Stretch**：Stretchメソッドは、画像の端の周りの小さな領域を取り、それを引き伸ばしてマージンを追加します。

- ・ **ストレッチソフト**：ストレッチと同じですが、追加されたマージンをソフトにします。

厚さスライダーは、キャンバスストレッチャーバーの厚さを制御します。一般的に、ほとんどのギャラリーラップには2インチが適しています。

[オーバーレイカラー]および[不透明度]スライダーを使用して、ラップを暗くしたり、ラップ領域に単色を追加したりできます。（不透明度のデフォルトは0です。つまり、カラーオーバーレイは追加されません。）

[新しいレイヤーに追加]オプションは、ラップウィングを画像とマージするのではなく、独自のレイヤーに配置します。これは、レイヤードワークフローでレイヤーまたはPhotoshopして作業する場合にのみ適用されます。

プリセット

Resizeには、DevelopおよびEffectsで使用されるものとよく似たプリセットシステムが組み込まれていますが、さまざまな種類の用紙やプリンターで非常に特殊なクロップを取得できるように設計されています。これらには、フォトラボの印刷サイズの設定、およびEpson、Canon、HP多くの大判プリンター、マット、レジンコーティング、キャンバスタイプが含まれます。

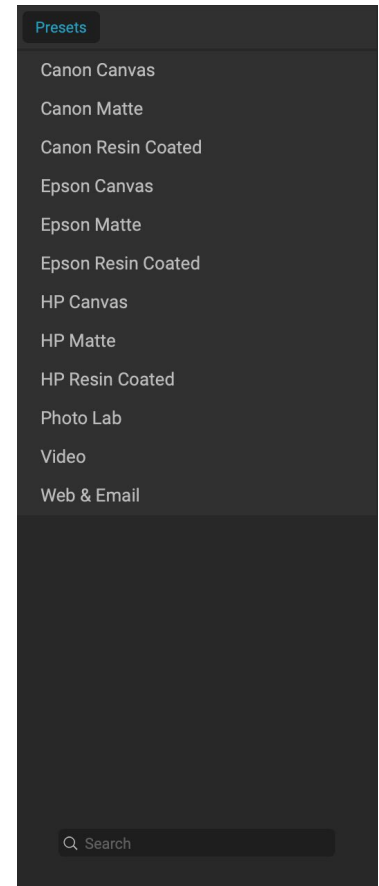
ドキュメントのサイズと設定、および他のペインの設定を設定できることに加えて、サイズ変更プリセットには常にトリミング調整が含まれています。つまり、プリセットを適用するたびに、[サイズ変更]は[トリミング]ツールを選択し、ファイルの上にトリミングオーバーレイを配置します。そこで、写真の適切なトリミング領域にオーバーレイを移動（またはトリミングのサイズを変更）できます。

プリセットを適用するには、使用するカテゴリを[プリセット]パネルから選択します。カテゴリが展開され、そのグループで使用可能なプリセットのリストが表示されます。次に、適用するプリセットをクリックします。

プリセットを保存する

保存したい設定ができたら、[プリセット]メニューに移動して[プリセットの保存]を選択し、保存するカテゴリを選択します。画像にプリセットを適用し、設定を調整する場合左側のパネルで、[プリセット]メニューから[現在の設定でプリセットを更新]を選択して、新しい設定でそのプリセットを更新できます。

プリセットを削除するには、プリセットブラウザーでプリセットを右クリックし、プリセットの削除を選択します。



注：Extras Manager内からResizeプリセットをインポートおよび削除することもできます。「[エクストラ](#)」ページ<?>多くのための。

サイズ変更のソフトプルーフ

ON1Photo RAW のソフトプルーフ機能を使用すると、プリンターにインストールされているカラープロファイルを使用して、印刷時に写真がどのように見えるかを確認できます。ソフトプルーフは、印刷時に問題が発生する可能性のある場所を特定するのに役立ちます。そのため、トーン、色、効果を調整して、編集ビジョンに近い印刷物を作成できます。

通常、Photo RAW で画像を表示しているときは、モニターのディスプレイプロファイルのレンズを通して画像を表示しています。コンピューターのディスプレイの色域は、ほとんどの写真プリンターの色域よりも広いため、画面上で表示できる一部の色は印刷時に再現できません。これが発生すると、プリントエンジンで発生するカラープロファイル変換により、プリンタが印刷できない色が、できる限り近い色に置き換えられます。これは、特に特定の色範囲で、画像の色が微妙に（または広範囲に）シフトする可能性があることを意味します。

ソフトプルーフは、[表示]メニューから、またはメインの[サイズ変更]ウィンドウの中央下にある[プレビュー]ボタンの左側にあるソフトプルーフアイコンをクリックしてオンにします。メインプレビューウィンドウの背景は、プロファイリングしている用紙の色に合わせて変化します。

[表示]メニューの[ソフト校正を有効にする]コマンドの下に、追加のソフト校正オプションがあります。オプションは次のとおりです。

- **色域警告：** チェックすると、ソフトプルーフされている現在のプリンタープロファイルに対応しない色が（赤いオーバーレイを介して）画像に表示されます。
- **プロファイル：** [プロファイル]サブメニューには、現在使用可能なプリンタープロファイルが一覧表示されます。いずれかを選択すると、そのプロファイルを使用するように画面上の表示が変更されます。
- **意図：** Photo RAWは、ソフトプルーフ時に2つの異なるレンダリング「意図」を提供します。これらは、ディスプレイから印刷に色を変換するために使用されます。知覚は、変換中に色域を縮小します。これにより、画像内の色の関係が保持されます。他のインテントタイプである相対は、現在の色域外の色のみを変換しますが、これにより、変換後に2つの色（1つは色域内、もう1つは外側）が同一になることがあります。

どちらのレンダリングインテントも完全



これらの3つのスクリーンショットは、サイズ変更で表示されるソフトプルーフオプションの結果を示しています。一番上の画像はソフト校正がオフになっています（ディスプレイのカラープロファイルを使用しています）。中央の画像は、ソフトプルーフがオンになっており、エプソンのエキシビジョンファイバーペーパー用のプリンタープロファイルを使用しています。下の画像では、色域警告がオンになっています。色域外の色は、明るい赤のオーバーレイで強調表示されます。

ではなく、望ましいものでもありません。多くの場合、画像の構成、編集意図、印刷される紙などの問題です。多くの場合、相対的な表示と知覚的な表示を切り替えて、どちらがより良い印刷を提供するかを確認する必要があります。

- ・ **用紙とインクのシミュレーション：** この設定をオンにすると、Photo RAW は、選択した用紙タイプの白色点（モニターの白色点の代わり）と、紙の実際の黒濃度（ディスプレイの黒色点の代わり）を使用します。印刷と一致させようとしている場合、通常はこの設定をオンにする必要があります。

ソフトプルーフによる画像の調整は、多くの場合試行錯誤です。色域外の色をなくすのは簡単ですが、現代のほとんどの写真プリンター（家庭用プリンターとオンライン印刷サービスの両方）は、色を適切に近似するのに非常に優れています。

注： Resize内から写真のトーンを編集することはできないため、重要な画像をResizeに取り込む前に、Editモジュールでソフトプルーフチェックを実行することをお勧めします。

ソフトプルーフを表示するときに最も探したいのは、スクリーンと印刷の間のトーン、コントラスト、色の精度です。ホームプリンターを使用する場合は、テストプリントを使用して、編集モジュール調整の適切な組み合わせに焦点を合わせます。Photo RAWのバージョン機能は、設定を微調整して適切に印刷するときに非常に役立ちます（バージョンの操作の詳細については、この<?>ページをご覧ください）。

サイズ変更について：印刷できるサイズは？

多くの場合、ON1 Resizeを使用してどのくらいの大きさを印刷できるかを尋ねられます。元の画像がシャープで、細部が細かくノイズが少ない場合、元のサイズの1000%まで大きくすることができます。1000%は元のファイルのサイズの10倍です。たとえば、8 "x 10"の元のファイルは80 "x100"にサイズ変更できます。表示距離がこれの大きな役割を果たします。標準表示距離は、印刷の対角線の2倍です。たとえば、8 "x10"の場合、約2フィート離れています。80 "x100"は約21フィートです。それはたくさんのように思えますが、その画像はほぼ7'x9'です。多くの写真家は、標準の表示距離よりも画像を詳しく調べていることに注意してください。

画像は色、色調、シャープネスで認識されます。他の補間技術は、色と調性を維持しますが、画像を均一に「膨張させる」ことによりシャープネスを犠牲にします。画像はまだ見慣れています、鮮明ではありません。補間の量によっては、これは標準の表示距離であっても深刻で目立つ場合があります。ON1 サイズ変更は、すべてのサイズで画像の色、色調、シャープネスを維持します。適切な距離で見ると、常に同じように見えます。

100%で見たときの忠実度は、ON1 サイズ変更によって作成された ON1 同じであると仮定するのは非現実的です。ON1サイズ変更は、知覚的にイメージをシャープにするエッジを維持しますが、過去に存在しなかった詳細を作成することはできません。シャッターが押されると、有限量の詳細がキャプチャされます。これについて考える良い方法は、葉の上の虫を見ることです。虫眼鏡で見ると、肉眼で見たときよりも詳細を見ることができます。同じ昆虫のデジタル写真を撮り、コンピューターでそれを見て、過去100%に拡大すると、それ以上詳細は表示されません。表示される情報は、カメラがキャプチャしたものによって制限されます。ON1 Resizeも同じように機能し、新しい詳細を作成することはできませんが、利用可能な詳細の有限量を使用してサイズを大きくします。

ON1サイズ変更は魔法ではありません。私たちは皆 CSIを 見ましたが、そこで彼らはセキュリティ写真を撮り、犠牲者の目の反射を拡大して殺人者を見て、驚くべき結果を出しました。これは空想科学小説です。以前はなかった詳細を作成することはできません。ただし、元のファイルのディテールが良好でノイズが少ない場合は、ファイルから非常に見栄えの良い拡大を作成できます。これは、ON1 Resizeが他のどのソフトウェアよりも優れていることです。

どのくらいの解像度が必要ですか？

これに答えるには、次の2つのことを知る必要があります。

1. 作成する必要がある印刷のサイズ。
2. 最良の結果を得るためにプリンターが必要とする解像度。

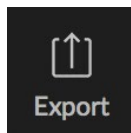
プリントのサイズは好きな大きさです。これは、プリンターのサイズによって制限される場合があります。解像度は、特定の距離におけるピクセルの密度であり、通常はピクセルまたはドット/インチで測定されます。最新のインクジェットプリンターのほとんどは、1インチあたり1200～4800ドットの範囲で印刷します（プリンターメーカーが実際に意味するのは、1インチあたり1200～4800滴のインクです）。インクジェットプリンターは、4～12のインク色の小さな丸い小滴を多数使用して、数百万色の1つである可能性のある画像内の1つの正方形ピクセルを再現します。よくある間違いは、ファイルの解像度をプリンターの解像度に設定することです。いくつかの特別なプリンターを除くすべてで、これは巨大なファイルにつながります。秘密は、人間の目では1インチあたり250～300ピクセルを超えないことです。したがって、ファイルの理想的な解像度はこれに近いはずですが、印刷サイズと解像度がわかれば、ON1 Resizeを使用してファイルを希望の出力にサイズ変更するのは簡単です。解像度を入力してから、印刷の幅または高さを入力します。画像の比率に基づいて、対応する寸法がON1 Resizeによって自動的に入力されることがON1 ます。

フィルム、デジタルカメラセンサー、および用紙の比率はすべて異なる場合があるため、比率を考慮してください。たとえば、ほとんどのデジタルカメラセンサーは、高さが幅の2/3または1:1.5になるように調整されています。米国で最も一般的な用紙サイズは、8.5×11インチまたは約1:1.25の文字です。このようなプロポーションの不一致は一般的であり、用紙サイズのプロポーションに合わせて元の画像をトリミングする必要があります。構図を損なわずに画像をトリミングできない場合は、印刷サイズをより長い寸法に調整する必要があります。

元のサイズよりも大きい画像のサイズを変更するには、新しいピクセルを作成する必要があります。このプロセスは、補間またはリサンプリングと呼ばれます。これを行うには、アルゴリズムと呼ばれる数学的な方法が数多くあります。多くのピクセル編集アプリケーションで使用される最も一般的な方法は、バイキュービック補間と呼ばれます。バイキュービックとその新しいバリエーションであるバイキュービックスムーザーおよびバイキュービックシャープは、隣接するピクセルの小さなグループを平均化して、追加する新しいピクセルの色の値を決定します。この手法は高速ですが、エッジを区別しないため、画像全体でシャープネスとディテールが均一に失われます。

Resizeの特許取得済みのスケーリングアルゴリズムは、バイキュービック法や他の補間法とは根本的に異なります。他のメソッドは近くのピクセルをサンプリングして新しいピクセル値を1つずつ決定しますが、ON1 Resizeはフラクタルスケーリングと呼ばれるサンプリング手法を使用します。フラクタルスケーリングは、近くの「ブロック」、ピクセルの正方形グループ、さまざまなサイズをサンプリングし、それらを元の画像の小さなバージョンと比較し、これらのパッチをモザイク化して元の大きなバージョンを作成します。これを繰り返し行うことにより、多くの場合、エッジ、滑らかな領域、テクスチャなどの画像の特性が、より大きなバージョンごとに強化されます。ノイズは強調されず、シャープなディテールが維持されます。この数の計算はすべて、バイキュービックなどのシングルパス補間法よりも少し時間がかかる場合がありますが、待つ人には良いことが起こり、報酬ははるかに優れた結果になります。

書き出す



エクスポートは、ON1 Photo RAW 2020全体で利用できる特別なパネルです。最終ファイルを参照、編集、またはサイズ変更からエクスポートする場合でも、エクスポートプロセスのエンジンになります。[エクスポート]ペインでは、使いやすいパネルでサイズ変更の多くの機能が提供されるため、写真を驚くほどの柔軟性、容易さ、および制御でエクスポートできます。

写真を選択している限り、エクスポートペインはどのモジュールからでも常に使用できます（参照としてグループとして選択したファイルをバッチエクスポートすることもできます）。

パネルを開くには、モジュールセレクトアの右下隅にある[エクスポート]アイコンをクリックするか、[ファイル]メニューから[エクスポート]を選択します。選択すると、Photo RAWウィンドウの右側に[エクスポート]パネルが開き、写真のエクスポートを準備するときにオプションのグループを選択できます。デフォルトでは、パネルには3つのアクティブなペインが含まれており、使用するのは非常に簡単です。ファイルタイプ、場所、および名前の変更はすべてパネルの下部にあります。これらはファイルのエクスポートに必要な最小限のオプションですが、パネルに次のペインを追加して、エクスポートコントロールを拡大することもできます：写真サイズ、透かし、シャープニング、タイリング、ギャラリーラップ。

ファイルタイプ

[ファイルの種類]では、エクスポートするファイルに割り当てるカラープロファイルとともに、写真のエクスポート形式を選択できます。タイプのオプションは、Photoshop、Photoshop Large Document、JPEG、TIFF、およびPNGです。

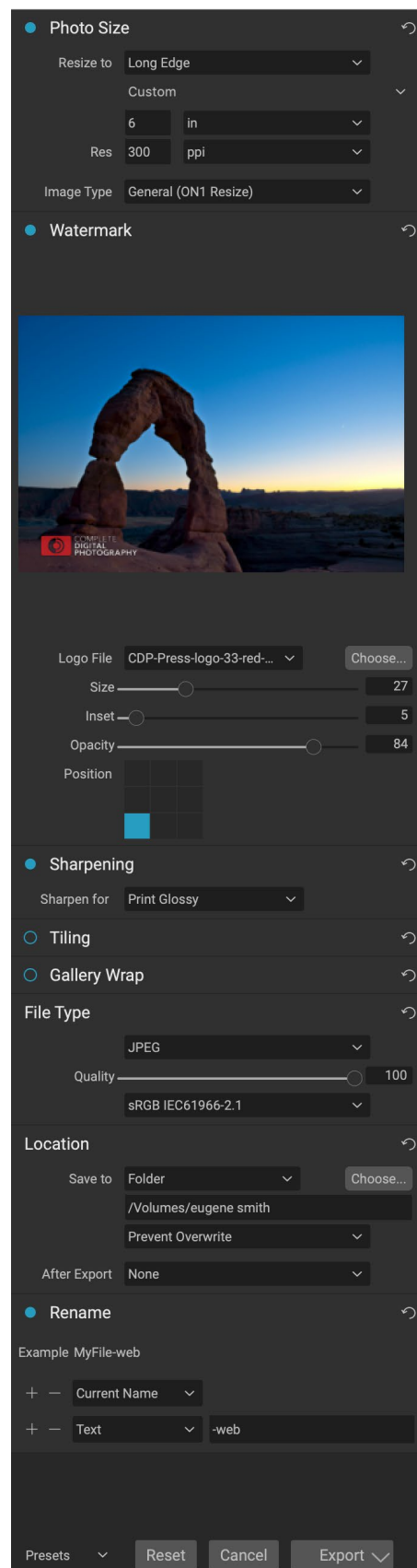
JPEGとして保存すると、最高100の品質設定を選択できます。

ロケーション

[選択]ボタンをクリックして場所を選択するか、[保存先]ポップアップをクリックして、次のようなその他のオプションを選択します。

- **現在のフォルダー** は、元のファイルと同じ場所にファイルを書き込みます。
- **フォルダで** は、選択ボタンを押して場所を選択できます
- **Round Trip** (Adobe Lightroomを介してエクスポートする場合のみ使用可能) は、元のファイルを保存し、同じ形式、ビット深度、色空間、名前を使用します。

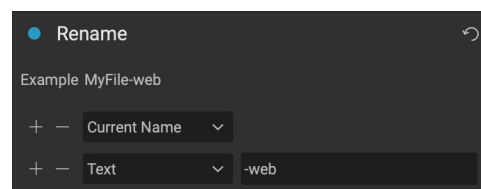
このペインの他のオプションに関しては、「上書き禁止」が選択されている場合、「コピー」という単語がファイルに追加されます。そうでな



い場合、宛先が現在の場所に設定されている場合、元の画像が上書きされます。[エクスポート後]メニューから[Finderで表示] (MacOS) または[エクスプローラーで表示] (Windows) オプションを選択して、画像をエクスポートしたフォルダーをPhoto RAW開くこともできます。

リネーム

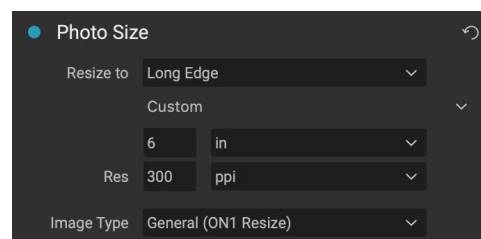
このオプションを使用して、ファイル名を変更できます。オプションには、現在の名前、テキスト、日付、番号が含まれます。右側のフィールドでは、カスタム名を入力できます。プラスアイコンとマイナスアイコンを使用すると、命名要素を追加または削除できます。現在の名前は、ファイル拡張子なしのソース名を使用します。テキストは、カスタムテキスト文字列を割り当てるために使用されます。日付を使用すると、12の標準形式のいずれかで今日の日付を追加できます。数値は、フィールドに入力された数値から自動的に増分される数値を作成します。リセットすると、現在のすべての設定がクリアされます。



写真サイズ

[写真サイズ]ペインには、最初に開いたときに元の画像サイズが表示されます。[幅]または[高さ]フィールドに入力してドキュメントのサイズを変更するか、[サイズ変更]ポップアップの下にあるポップアップメニューをクリックして、標準のフォト用紙サイズを含むさまざまなプリセットサイズから選択できます。

写真の縦横比を維持するために、幅と高さのフィールドは一緒にロックされていることに注意してください。幅を変更すると、比例して高さが変更されます。エクスポートは、非比例スケーリングをサポートしていません。画像の縦横比を変更する場合は、トリミングが必要です。



[写真サイズ]ペインの[ロングエッジ]および[ショートエッジ]オプションは、一方のエッジを特定の長さまたは幅にロックし、もう一方のエッジのサイズを気にしない場合に便利です。写真にとって重要なオプションを選択し、サイズを入力するだけで、それに応じてエクスポートによって写真のサイズが変更されます。

注: エクスポートには切り抜きのオプションはありません。写真のアスペクト比と異なるアスペクト比を選択すると、エクスポート時に、新しい比率に合わせて写真が中央から切り取られます。別の比率にトリミングする場合は、サイズ変更を使用することをお勧めします。

下矢印をクリックして、測定単位を切り替えることができます。また、1インチあたりのピクセル数で解像度を制御します。この設定を使用して、出力デバイスを最適化します。

写真サイズのプリセットを使用すると、画像の幅/高さをプリセットサイズで簡単に設定できます。ドロップダウンメニューを使用してプリセットサイズを選択するか、カスタムを選択して独自のサイズを作成します。

[画像タイプ]ドロップダウンには、サイズ変更のためのいくつかのオプションがあります。

- **General (ON1 Resize)** は、Genuine Fractals としても知られる ON1Resizeアルゴリズムを使用します。これは、10年以上にわたってPerfect Resize 標準化した、特許取得済みのフラクタルベースの古典的なアルゴリズム です。

- **低解像度 JPG** は、低解像度JPEGの拡大に最適です（この設定では バイ キュービックアルゴリズムを使用します）。
- **ポートレートは、ポートレートの** サイズ変更に適しています。アーティファクトから肌の色調を保護します（バイキュービックアルゴリズムを使用）。
- **風景** は風景写真に最適です（ON1 サイズ変更アルゴリズムを使用）。
- **高詳細** は、多くの小さなアイテムを含む画像に最適です（ON1サイズ変更アルゴリズムを使用）。

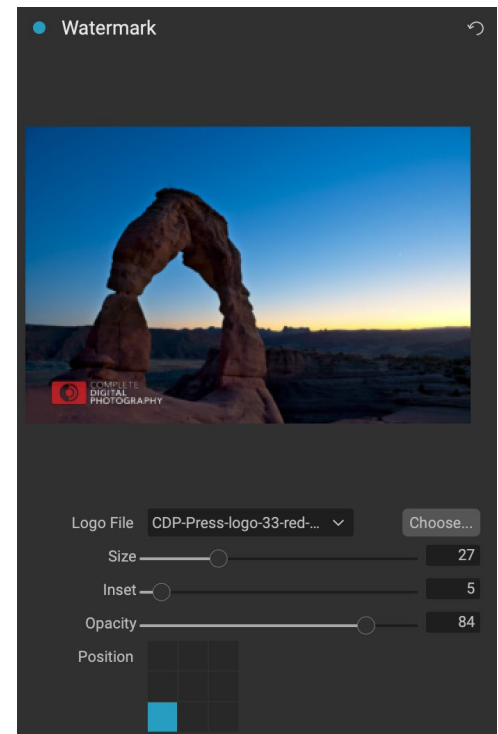
透かし

透かしモジュールを使用すると、ロゴ、署名、または著作権に最もよく使用されるオーバーレイを画像に追加できます。通常、透かしには透明な背景が必要なので、透かしファイルがPNGまたはPSDであることを確認してください。

モジュールには次のオプションがあります。

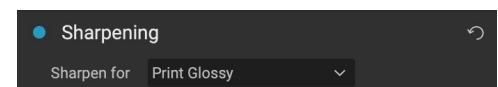
- **選択**：[選択]ボタンをクリックして、透かしとして使用するファイルを選択します。
- **サイズ**：このスライダーは、透かしファイルのサイズを制御します。
- **インセット**：これは、位置に基づいて、ファイルがエッジからインセットされる割合を決定します（以下を参照）。
- **不透明度**：透かしの不透明度を設定します。
- **位置**：このグリッドは、透かしの位置を設定します。希望する場所の四角をクリックします。

透かしを使用する場合は、使用する透かしファイルが十分に大きいことを確認してください。たとえば、300 ppiの画像で2インチ幅で表示したい場合、透かしは少なくとも600ピクセルの幅が必要です。または、ソーシャルメディアへの投稿時など、写真全体に表示する場合は、Web用にエクスポートするサイズと同じサイズ（通常は1000ピクセル以上）である必要があります。小さすぎる透かしファイルを使用すると、ピクセル化された透かしの外観が作成されます。



研ぎ

シャープペインは、画像にシャープネスを追加し、画面または印刷作業の一般的なオプションとして設計されています。これらのコントロールを使用すると、印刷前にシャープネスを追加するワークフロー手順を節約でき、プリンターからのドットゲインによるシャープネスの損失を補うことができます。シャープニングは、印刷の直前に、ワークフローの最後にのみ適用する必要があります。画像のサイズを変更した後に追加のレタッチまたは合成作業を行う予定がある場合は、シャープコントロールを無効にする必要があります。



タイリング

エクスポートのタイル機能は、画像をより小さなプリンターで印刷できるように、拡大部分をより小さな部分に分割します。

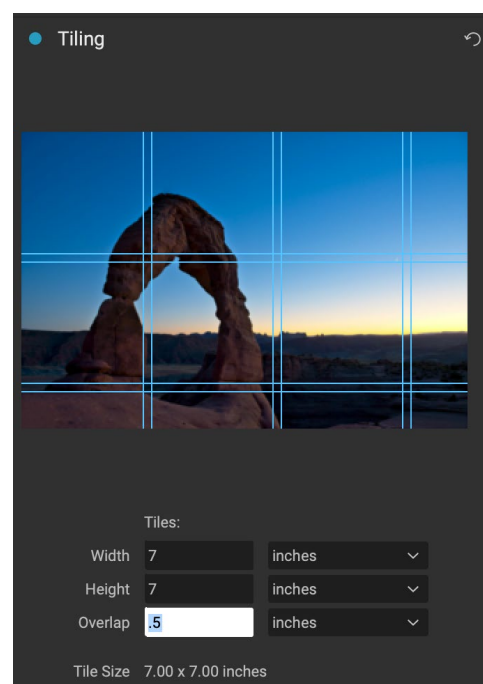
たとえば、高さ8フィート、幅12フィートの壁画を作成することもできますが、プリンターは24インチ幅のストリップしか印刷できません。タイル機能を使用すると、幅24インチ、高さ8フィートの4つのファイルを自動的に作成して、セクションに壁画を作成できます。

タイリング機能を使用すると、印刷する用紙のサイズを指定するだけで、ページをオーバーラップさせることができます。次に、エクスポートにより画像のサイズが変更され、個々のタイルに分割されます。

タイルペインを使用するには、次の手順に従います。

1. 幅/高さフィールドを、印刷する用紙のサイズと向きに設定するか、代わりに行と列の数を選択します。
2. オーバーラップサイズを設定します。オーバーラップにより各タイルがオーバーラップするため、複数のパネルを一緒にテープで貼り付けることができ、フチなしで印刷しない場合はプリンターの余白を修正します。

プレビューには、作成される各タイルのシアンガイドラインが表示されます。



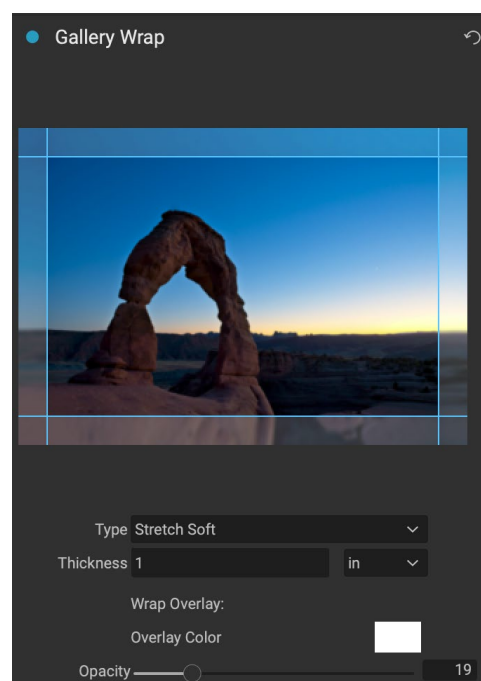
ギャラリーラップ

ギャラリーラップ機能は、キャンバスに印刷できるように設計されています。キャンバスの拡大を作成する場合、画像の一部を木製のストレッチャーバーで囲むのが一般的です。これらは、キャンバスのマウントに使用されます。これらは一般にギャラリーラップと呼ばれます。ただし、写真の重要な詳細が画像の端近くにある場合、ラッピングプロセスで失われる可能性があります。ON1Resizeのギャラリーラップ機能は、画像のエッジ付近の領域を反射またはストレッチすることにより、マージンを自動的に拡張し、写真家が元の画像を犠牲にすることなくギャラリーラップを作成できるようにします。ギャラリーラップ機能を使用すると、キャンバスマウンティングバーの厚さを選択でき、追加のマージンを作成するためのさまざまなテクニックを提供します。

ギャラリーラップ機能を使用するには、次の手順に従ってください。

1. 厚さコントロールを、追加するマージンの量に設定します。目安としては、ストレッチャーバーの厚さに0.5インチを加えたものをお勧めします。
2. 使用するタイプを選択します。
3. ラップウィングにオーバーレイを追加する場合は、色と不透明度を設定します。

ギャラリーラップ機能には、マージンを追加し、ラップの外観を調整するためのいくつかの設定があります。[タイプ]ポップアップには4つのオプションがあります。



- **反映**：画像の周囲の厚さ設定に等しい領域をコピーしてから、各辺を反転させて余白として追加します。これは優れた汎用テクニックです。
- **Reflect Soft**：Reflectメソッドと同じですが、追加されたマージンをソフトにします。
- **Stretch**：Stretchメソッドは、画像の端の周りの小さな領域を取り、それを引き伸ばしてマージンを追加します。
- **ストレッチソフト**：ストレッチと同じですが、追加されたマージンをソフトにします。

厚さスライダーは、キャンバスストレッチャーバーの厚さを制御します。一般的に、ほとんどのギャラリーラップには2インチが適しています。

[オーバーレイカラーの不透明度の追加]スライダーを使用して、ラップを暗くしたり、ラップ領域に単色を追加したりすることもできます。

プリセットのエクスポート

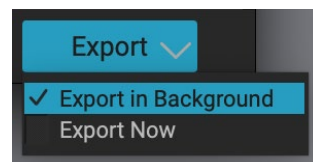
プリセットは、エクスポートウィンドウペインで選択したすべての設定と詳細を記憶しています。設定のグループをプリセットとして保存するには、パネルの下部にある[プリセットの保存]ボタンをクリックします。プリセットに名前を付けると、エクスポートパネルの上部にあるプリセットポップアップに表示されます。

注：ON1Photo RAW 2020の他の部分のプリセットとは異なり、エクスポートパネルからプリセットをエクスポートまたはインポートすることはできません。

エクスポートオプション

エクスポート設定が設定されると、ペインの下部にある[エクスポート]ボタンのポップアップからアクセスできるエクスポートの2つのオプションがあります。

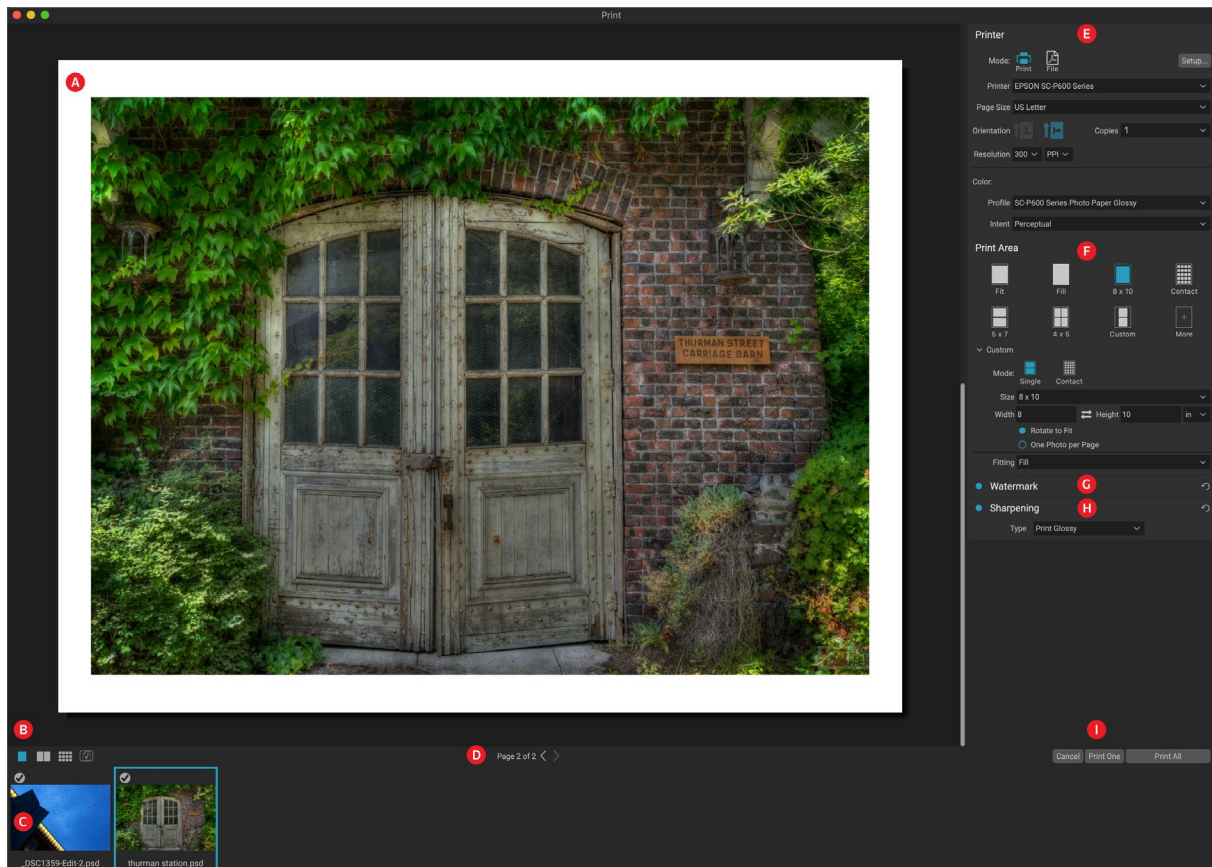
- **バックグラウンドでエクスポート**：エクスポートプロセス中にON1 Photo RAW 内で作業を続ける場合は、このオプションを選択します。アプリの処理能力のすべてがエクスポート操作専用ではないため、時間がかかります。
- **今すぐエクスポート**：エクスポートプロセスをより迅速に行う場合は、これを選択します。エクスポートが完了するまで、Photo RAW内で作業することはできません。



オプションを取得するには、ペインの下部にある[エクスポート]ボタンの下矢印の上でマウスボタンを押したままにして、選択を行います。押したままボタンをクリックするだけで、デフォルトは「今すぐエクスポート」になりますが、Photo RAW を変更すると最後の設定が記憶されます。

印刷

ON1 Photo RAW2020には、任意のサイズで写真を印刷できる柔軟な印刷エンジンがあります。写真を個別に印刷できます。1枚の紙に複数の写真パッケージスタイル。画像を評価するためのコンタクトシート。Photo RAWをプラグインとして使用している場合でも、どのモジュールからでも印刷できます。



印刷ウィンドウを開くには、モジュールセクターの[印刷]アイコンをクリックするか、[ファイル]メニューから[印刷]コマンドを選択します。次のコンポーネントがあります。

- A. **プレビュー**：印刷中の写真を表示します。
- B. **ビューセクタ**：印刷中の写真を個別に、見開きページビュー、またはグリッドビューで表示できます。右端のアイコンは、ソフトブルーフィンギングのオンとオフを切り替えます。
- C. **フィルムストリップ**：印刷用に選択されたすべての写真を表示し、印刷のオン/オフを切り替えるチェックマークを付けます。（フィルムストリップは、印刷用に単一の画像が選択されている場合は表示されません。）
- D. **ページビュー**：印刷中のページ数を表示し、ページ間を移動できます。
- E. **プリンターペイン**：プリンター、ページ設定、ページサイズ、コピー数、解像度、プリンタープロファイルおよびレンダリングインテントと同様に、出力のオプション（プリンターまたはPDF）が含まれます。
- F. **[印刷領域]ペイン**：印刷イメージサイズを調整および選択するためのオプションが含まれています。
- G. **透かしペイン**：印刷された写真に透かしを追加します。

H. **シャープニング**: 印刷プロセス中のシャープニングのオプション。

I. **印刷/キャンセル**: 1つ印刷（現在の画像）、すべて印刷、またはキャンセル。

印刷オプション

[印刷]ウィンドウの4つのペイン（プリンター、印刷領域、透かし、およびシャープニング）は、それぞれ特定の印刷関連タスクを処理します。

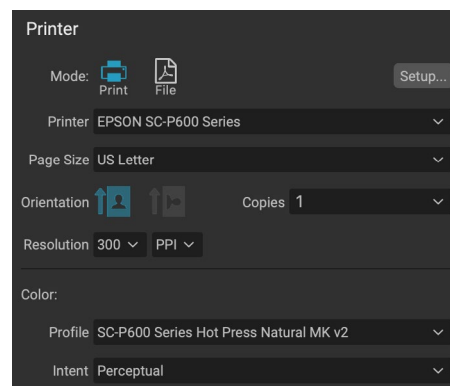
プリンターペイン

[プリンタ]ペインでは、出力にプリンタ固有の機能を設定します。ペイン上部のアイコンをクリックして選択する2つのモードがあります。接続されたプリンターに印刷できるPrintと、選択範囲をPDFに印刷するFileです。

プリンターへの出力を選択するときは、プリンターの詳細、印刷先の用紙サイズ、解像度、向き、および部数を設定します。解像度を選択するときは、プリンターの最適な解像度で印刷していることを確認してください。たとえば、ほとんどの写真プリンターは、240～360 ppiのファイルで最適に機能します。（Photo RAWは、内部リサンプリングエンジンを使用して、写真が選択した印刷解像度にあることを確認します。）

ペインの下部には、プリンター固有のカラープロファイルを選択するためのセクションがあります。印刷する用紙タイプのメディアプロファイルを選択します。

レンダリングの意図は、プリンターの色範囲（または色域）に収まるように画像の色を変換することに関連しています。デフォルトのインテントである知覚は、写真のすべての色をプリンターの色範囲内に収まるように比例的に変更します。もう1つのオプションである相対比色は、プリンターの色域から最も近い色域内の色にのみ色を変更します。画像によっては、インテント設定で遊ぶ必要があるかもしれませんが、通常は知覚するのが最適な場所です。（Photo RAWのソフトプルーフ機能を使用して、写真の色域外の色を確認できます。詳細については、「ソフトプルーフ」を参照してください。）



[プリンタ]ペインでは、現在の印刷ジョブのプリンタ固有のオプションを設定します。印刷ジョブをPDFファイルにレンダリングすることもできます。

注: Photo RAW の印刷機能は、フチなし印刷オプションでも機能します。ページ設定ポップアップでプリンタのフチなしオプションを選択してください。プリンタごとに固有のフチなし設定があるため、フチなし印刷をオンにする方法についてはマニュアルを確認してください。

ファイルへの印刷

画像をプリンタに送信することに加えて、現在の印刷ジョブをファイルにエクスポートすることもできます。これは、オンラインサービスに印刷物を送信する場合、またはリモートで印刷する場合に役立ちます。このオプションを使用するには、ペインの上部にある[ファイル]アイコンをクリックします。Photo RAWは、ファイル名とファイルを保存する場所を尋ねます。[ページサイズ]ポップアップからファイルのページサイズを選択し、印刷領域の設定を調整します。[印刷]を選択すると、Photo RAWはPhoto RAWのPDFを作成し、前に指定した名前と宛先で保存します。

印刷領域ペイン

[印刷領域]ペインでは、印刷のサイズと写真の印刷方法のオプションを設定します。また、写真を個別に印刷するか、パッケージスタイルにするか、評価目的でコンタクトシートを作成するかを選択できます。

ペインの上部には、現在の写真を印刷サイズに収めるか、印刷サイズ全体を埋めるためのプリセットスタイルが含まれています。8x10、5x7、4x6などの一般的な印刷サイズで印刷するためのオプション。およびコンタクトシートに印刷するためのオプション。ペインの下部にある[カスタム]セクションからカスタム印刷サイズを作成することもできます。印刷サイズの幅と高さを設定し、画像を印刷サイズに合わせるか、フレームを塗りつぶすかを設定します。この印刷サイズをスタイルとして保存する場合は、ペインの上部にある[その他]ポップアップをクリックし、メニューから[新しいスタイルとして保存]を選択します。その後、印刷するたびに[その他]ポップアップからそのスタイルを呼び出すことができます。

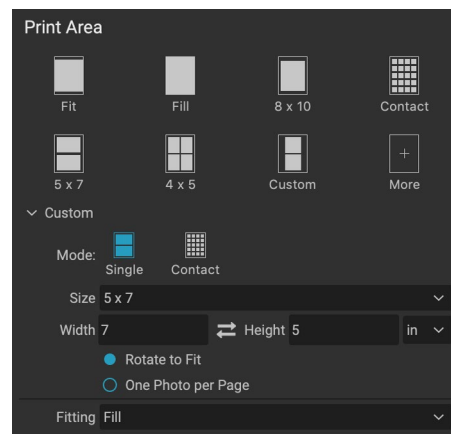
複数の写真を印刷する場合、Photo RAWは、選択した印刷サイズの写真を、プリンターペインで定義されている用紙サイズにできるだけ多く配置しようとします。1ページに1枚の写真のみを印刷するには、印刷領域ペインの下部にあるそのオプションをクリックします。

ページサイズと印刷サイズ

ページサイズと印刷サイズの違いを理解する価値があります。場合によっては、2つは同一になります。たとえば、4x6インチのフォト用紙に印刷する場合は、[プリンター]ペインの[ページサイズ]ポップアップでそのオプションを選択し、次に[印刷領域]の[カスタム]ポップアップで4x6を選択します。写真のアスペクト比に応じて、適切な切り抜きを得るために[フィット]または[塗りつぶし]を選択する必要がある場合があります。Fitは、写真の大きさの範囲内で写真全体にフィットします。つまり、最終的なプリントの周りに余分な空白ができる可能性があります。[塗りつぶし]は、選択した印刷サイズのサイズに合わせて写真のサイズを変更し、画像を中央に配置します。

この例では、4x6インチプリントのアスペクト比は2:3です。印刷する写真にそのアスペクト比がある場合、フィットと塗りつぶしはまったく同じことを行います。写真はトリミングなしで印刷領域を塗りつぶします。

大きい用紙に複数の印刷を生成するパッケージ印刷の場合、印刷する特定のサイズの用紙を[プリンター]ペインで設定し、[印刷領域]ペインで各写真に適切な印刷サイズを設定します。



印刷領域ペインは、印刷する写真の実際の印刷サイズを設定するためのものです。

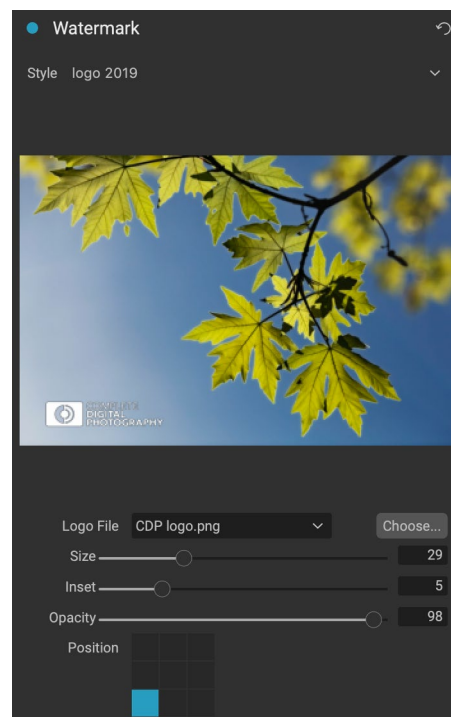
透かしペイン

[透かし]ペインは、印刷された画像にオーバーレイを追加し、ほとんどの場合、ロゴ、署名、または著作権に使用されます。通常、透かしには透明な背景が必要なので、透かしファイルがPNGまたはPSDであることを確認してください。

モジュールには次のオプションがあります。

- **選択** : [選択]ボタンをクリックして、透かしとして使用するファイルを選択します。透かしファイルを追加すると、ロゴファイルのポップアップに保存されます。
- **サイズ** : このスライダーは、透かしファイルのサイズを制御します。
- **インセット** : これは、位置に基づいて、ファイルがエッジからインセットされる割合を決定します（以下を参照）。
- **不透明 度** : 透かしの不透明度を設定します。
- **位置** : このグリッドは、透かしの位置を設定します。希望する場所の四角をクリックします。

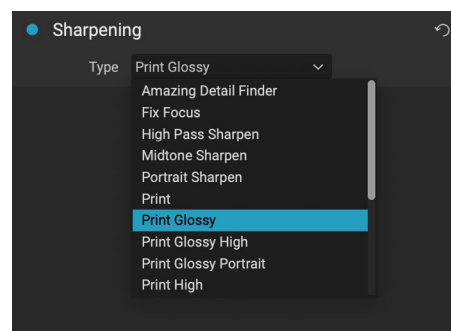
透かしを使用する場合は、使用する透かしファイルが十分に大きいことを確認してください。たとえば、300ppiの画像で2インチ幅で表示したい場合、透かしは少なくとも600ピクセルの幅が必要です。そうしないと、印刷でピクセル化されて表示される可能性があります。



シャープニングペイン

ほとんどの場合、印刷するメディアの種類に応じて、たとえば光沢紙は追加のシャープニングの恩恵を受けることがよくあります。たとえば、印刷時に追加のシャープニングステップを追加する必要があります。これは、編集モジュールで適用した可能性のあるものをを超える追加レベルのシャープニングです。

シャープペインでは、印刷プロセス中に写真に適用されるシャープの種類を選択できます。ポップアップメニューには、標準印刷、光沢紙、ディテール、ハイパスシャープニングなどの一般的なシャープニングのオプションセットがあります。画像によっては、ここでの設定で遊ぶ必要があるかもしれません。写真の小さな部分にテストプリントを実行すると、プリントの適切なシャープネスのレベルを判断するのに非常に役立ちます。



シャープペインを使用して、印刷画像にシャープを追加します。

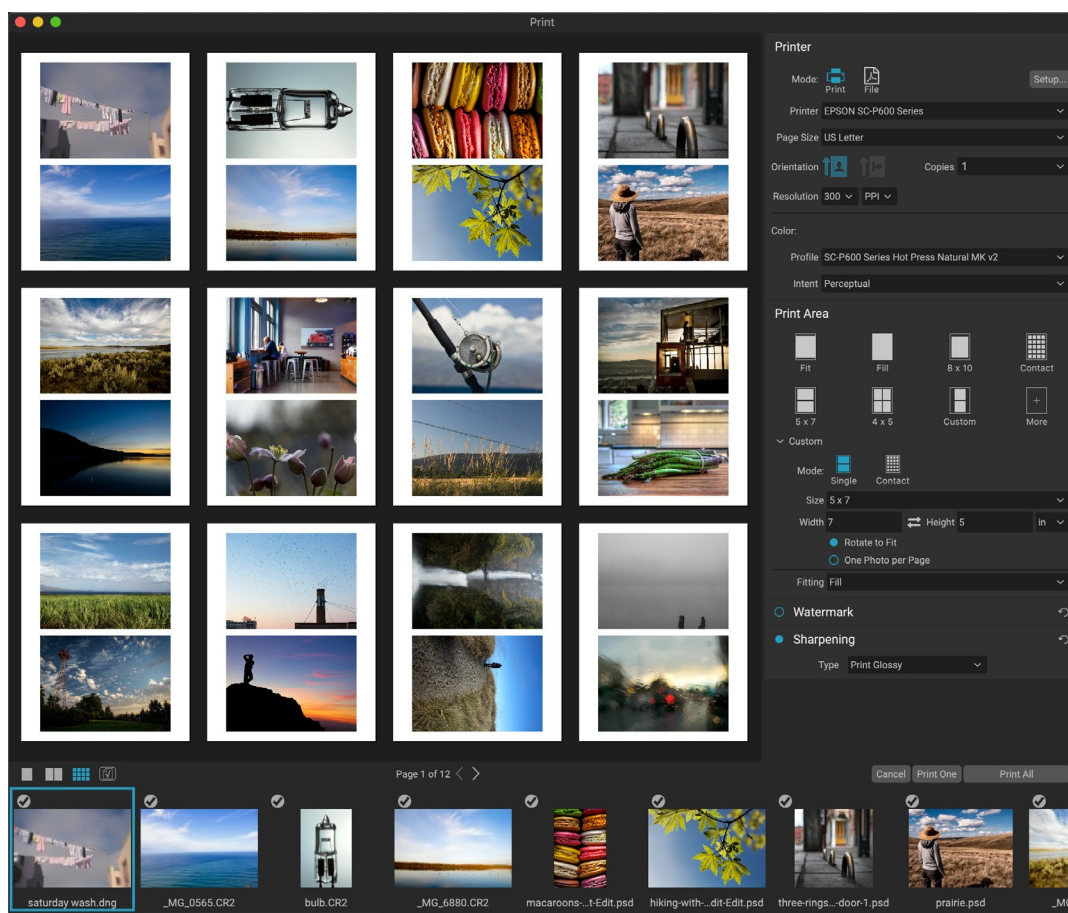
Photo RAW 基本的な印刷

ON1Photo RAW 2020インターフェイス全体で印刷が可能です。[編集]または[サイズ変更]モジュールで写真を表示している場合、または参照のグリッドビューまたは詳細ビューで画像を選択している場合、[印刷]アイコンをクリックすると、その画像の[印刷]ウィンドウが開きます。右側の4つのペインでオプションを設定し、[印刷]ボタンをクリックして写真を出力できます。

使用するメディアタイプに選択したカラープロファイルを使用して、印刷前に最終画像の画面上でプルーフを取得する場合は、プレビュー領域の下にあるソフトプルーフアイコンをクリックします。

複数の写真を印刷する

TO-複数の写真のようにパッケージを印刷したり、接触あなたが（参照または編集）、グリッドまたはフィルムストリップビューから印刷すると、印刷アイコンをクリックしたい画像をシートを選択します。選択した写真がウィンドウ下部のフィルムストリップに表示され、プレビュー領域に現在のページ（プリンターのページサイズ）と印刷サイズの設定が表示されます。一度に大量の写真を印刷する場合は、プレビューの下に[ページビュー]ボタンを使用して、ページを切り替えることができます。さらにページを表示するには、ウィンドウの左下にある見開きページまたはすべてのページを表示アイコンをクリックします。

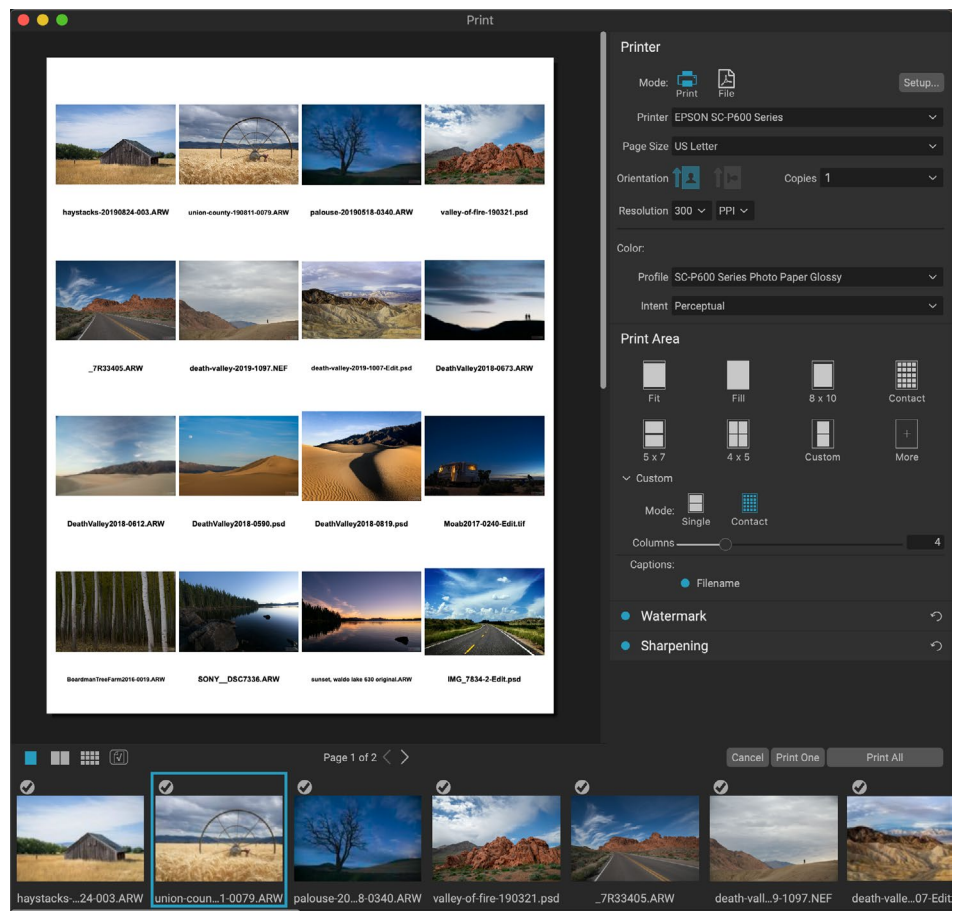


印刷機能は、複数ページのパッケージスタイルを印刷するための広範なオプションを提供します。ここでは、Epson P600プリンターで、レターサイズのシートに5x7インチで印刷する24枚の写真を選択しました。プレビューウィンドウの下にある[すべてのページを表示]ボタンをクリックすると、印刷するすべての写真を見ることができます。[印刷]をクリックすると、現在選択されているページが印刷されます。[すべて印刷]をクリックすると、コレクションが印刷されます。

写真を印刷したくない場合は、フィルムストリップでその写真のチェックマークをクリックします。現在選択されているすべての写真を印刷するには、[印刷]をクリックします。1ページでテスト印刷を試してみたい場合は、[1ページ印刷]ボタンをクリックして、ページビューのリストにある現在選択されているページを印刷します。

コンタクトシートの印刷

画像のグループを評価したいが、フォトペーパーの大きなシートを無駄にしたいくない場合は、印刷ウィンドウのコンタクトシート機能を使用します。印刷する写真を選択し、[プリンタ]ペインで用紙サイズを設定し、[印刷領域]ペインで[連絡先]アイコンをクリックします。



[コンタクトシート]オプションを使用すると、キャプション付きの高品質のプリントで写真の大きなグループを評価できます。

パッケージモードから連絡先モードに切り替えると、[印刷領域]ペインの[カスタム]セクションにある2つのオプションがあります。

- **列**: ページ幅全体の列数を設定できます。列の数が少ないほど、個々のセルが大きくなります。
- **キャプション**: 現在、Photo RAW では、印刷する写真の下にキャプションとしてファイル名を追加できます。ラベルの左側にあるボタンをクリックして、これをオンまたはオフにします。（今後のリリースでキャプションオプションを追加する予定です。）

プレビューエリアの下にページビューコントロールを使用してページ間を移動できます。印刷の準備ができたなら、[すべて印刷]ボタンをクリックして、コンタクトシートを印刷します。

SMUGMUGへの共有



SmugMug 写真共有およびホスティングサービスのメンバーである場合、ON1 Photo RAW 2020は、1つまたは複数の写真をサービスに投稿するための使いやすいメカニズムを提供します。これは、モジュールセクターの右下のセクションにある Photo RAW全体にある[共有]メニューからアクセスできます。Windows、[共有]ボタンのポップアップには SmugMugオプションのみが含まれます。MacOS、SmugMug 以外の共有オプションがあります（ページ177 これらのオプションの詳細については）。

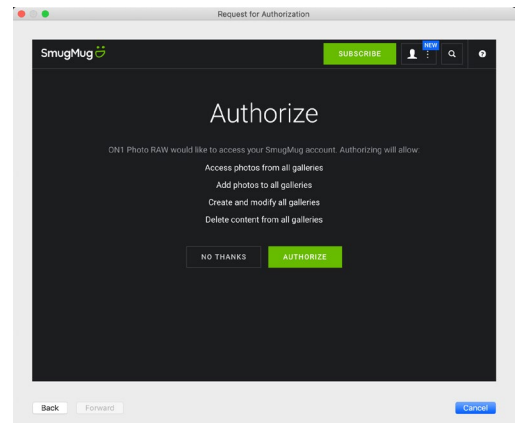
「共有」ポップアップメニューから「SmugMug」を選択すると、現在選択されている写真または写真のグループを共有できます。サービスに初めてアクセスすると、Photo RAW内に認証ウィンドウが表示されます。アカウント情報とパスワードを入力し、[認証]ボタンをクリックします。

承認されると、写真をアップロードできるウィンドウが表示されます。ウィンドウには、いくつかのオプションが含まれています。

- [写真のメタデータを使用]コントロールをクリックして、タイトル、キャプション、キーワードで使用する写真のメタデータを含めます。
- ギャラリーポップアップでは、既存のギャラリーに写真を追加したり、新しいギャラリーを作成したりできます。
- ポップアップの左側にある[ギャラリーを開く]リンクをクリックすると、現在選択されているギャラリーがデフォルトのWebブラウザで開きます。
- [サイズ]ポップアップには、フルサイズ、および4000または2000ピクセル（長辺）の3つのオプションがあります。

適切なオプションを選択したら、[共有]ボタンをクリックします。Photo RAW は、選択した写真の高品質JPEGを作成し、SmugMug公開します。

SmugMug詳細については、 [SmugMug.com](https://smugmug.com)を ご覧ください。



SmugMugと初めて共有するときは、アカウントにログインし、Photo RAWがサイトのギャラリーに投稿することを確認するように求められます。



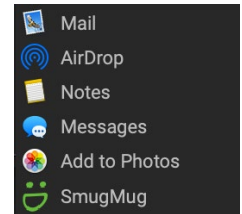
Photo RAWからSmugMug投稿するときに、メタデータを含めたり、写真を入れたいギャラリーを選択したり、アップロードした写真のサイズを選択したりできます。

その他の共有オプション (MACOS のみ)



SmugMug 公開に加えて、ON1 Photo RAW 2020のMacOSバージョンには、ON1 他の写真共有オプションが含まれています。

- **メール:** 共有された写真を使用して Apple Mailに新しいメールメッセージを作成します。
- **AirDrop** : Apple の AirDropネットワーク機能を使用して、ローカルの MacOS または iOSデバイスと共有します。
- **メモ:** 共有写真を Appleのメモアプリに追加します。新しいメモを作成するか、既存のメモに写真を追加するかを選択できます。
- **メッセージ:** 写真をApple のメッセージアプリに共有します。
- **写真に 追加** : 写真をApple の写真アプリに追加します。
- **SmugMug:** SmugMug サービスに写真を投稿します ([ページ 176](#) 詳細については)。



共有オプションのすべてが同じ操作を実行します。Photo RAW、リストから選択した写真と、選択したターゲットと共有してのフルサイズのJPEGをエクスポートします。

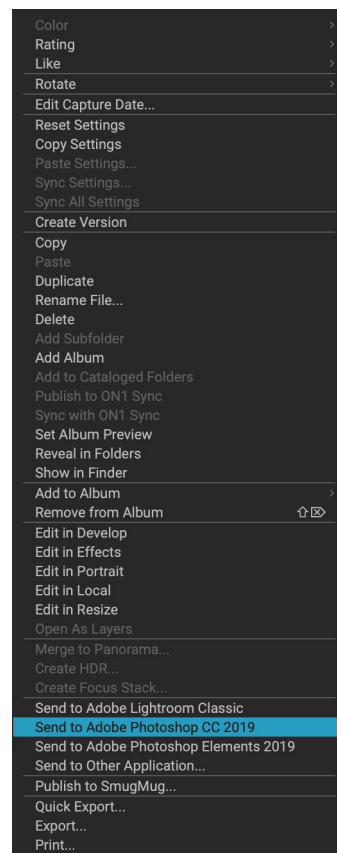
他のアプリケーションに送信

ON1 Photo RAW 2020内の参照モジュールは、表示中の画像を他のアプリケーションに送信して編集することができます。これは、右クリックのコンテキストメニューまたは[編集]メニューから使用できる[送信]オプションを使用して行います。ON1Browseは、次の一般的なフォトマネージャーまたはエディターを自動的に検出し、インストールされている最新バージョンをリストします。

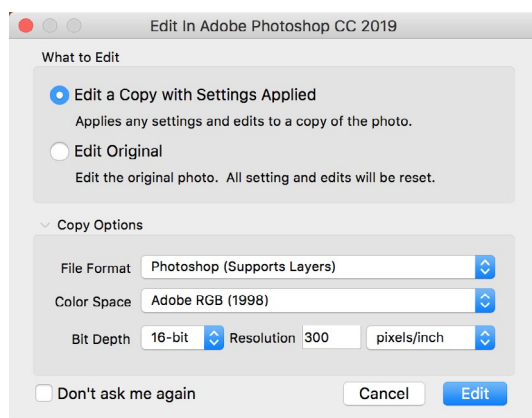
- Adobe Photoshop
- Adobe Photoshop Lightroom
- Adobe Photoshop Elements

写真を送信したいアプリケーションをセットアップできます。[他のアプリケーションに送信]オプションを選択するだけです。次に、写真を送信するアプリケーションを選択します。アプリケーションは記憶され、他の「送信先」オプションとともにリストされます。（たとえば、メールクライアントを使用している場合は、写真を簡単にメールで送信できるように追加できます。）

別のアプリケーションに画像を送信すると、ON1 Photo RAW 2020の[編集]ダイアログボックスが表示されます。編集した写真または編集前の元の画像のいずれかを送信するオプションがあります。コピーを送信する場合は、ファイルの種類、色空間、ビット深度、解像度を選択するオプションがあります。毎回同じオプションセットを使用する場合は、ウィンドウの[次回から確認しない]チェックボックスをオンにすると、プロンプトは表示されません。（この設定を変更するには、Photo RAW [設定]の[ファイル]ペインに移動します。）



[送信]セクションは、[参照]ポップアップメニュー内の写真を右クリックすると使用できます。



[コピーオプション]セクションが展開された[編集]ダイアログ。

パート6：
ON1 PHOTO RAW 2020リファレンス
メニュー、設定、キーボードショートカット

閲覧メニュー

ON1 Photo RAW (MacOS のみ)

- **ON1 についての写真:** [バージョン情報]ボックスを開き、バージョン番号を表示します。(これは Windowsヘルプ]メニューにありWindows)
- **設定:** 設定ダイアログを開きます。(Windows 編集]メニュー)
- **ON1 Photo RAW 終了:** ON1 Photo RAW2020を終了します。

ON1 Photo RAW 2020	
About ON1 Photo RAW 2020	
Preferences...	⌘,
Services	
▶	
Hide ON1 Photo RAW 2020	⌘H
Hide Others	⇧⌘H
Show All	
Quit ON1 Photo RAW 2020	⌘Q

ファイルメニュー

- **新しいキャンバス:** 選択したサイズで新しい.onphotoファイルを作成し、レイヤーで開きます。
- **フォルダー の参照 :** 参照するフォルダーを選択できる参照ダイアログを開きます。
- **ホームの参照:** ホームのピクチャフォルダーに移動します。
- **デスクトップの参照:** デスクトップに移動します。
- **インポート:** インポートウィンドウを開きます。
- **カタログフォルダーの追加:** フォルダーを選択して、フォルダーペインのカタログフォルダーセクションに追加できます。
- **カタログ化フォルダーの 削除 :** 選択したフォルダーをカタログ化フォルダーペインから削除します。
- **Extrasの管理:** Extras Managerを開き、Borders、Backgrounds、Textures、PresetsなどのExtrasをインポートおよび管理できます。
- **クイックエクスポート:** 現在の画像をPhotoshop、TIFF、JPEG、またはPNG形式で保存します。
- **レイヤーとして 開く :** 選択したファイルを編集モジュールでレイヤーとして開きます
- **送信先 (リスト) : リストで** 選択したアプリケーションに画像を送信します。
- **RAW Plus JPGをグループ化:** RAWとJPGのペアを一緒にスタックして、混乱を減らします。
- **パノラマにマージ:** 選択した画像を取得し、パノラマの作成ウィンドウを開きます。
- **HDRの作成:** 選択した画像を取得し、HDRの作成ウィンドウを開きます。
- **フォーカススタックの作成:** 選択した写真を撮影し、フォーカススタックウィンドウを開きます。
- **エクスポート:** エクスポートサイドパネルを開きます。
- **印刷:** 印刷ウィンドウを開きます。

File	
New Canvas...	⌘N
Browse Folder...	⌘B
Browse Home	
Browse Desktop	
Import...	
Add Cataloged Folder...	
Remove Cataloged Folder...	
Manage Extras...	
Quick Export...	⇧⌘S
Open as Layers	
Send to Adobe Lightroom Classic	
Send to Adobe Photoshop CC 2019	
Send to Adobe Photoshop Elements 2019	
Send to QuickTime Player	
Send to Other Application...	
Group RAW Plus JPG	
Merge to Panorama...	
Create HDR...	
Create Focus Stack...	
Export...	
Print...	⌘P

編集メニュー

- **元に戻す**：最後のファイル操作を削除します。
- **やり直し**：元に戻す操作をやり直します。これは、最後に行った操作が元に戻す場合にのみ使用できます。
- **すべて 選択**：現在のフォルダー内のすべての画像を選択します。
- **なしを選択**：現在のフォルダー内のすべての画像の選択を解除します。
- **選択解除**：現在のアイテムの選択を解除します。
- **コピー**：現在選択されているアイテムをコピーします。
- **貼り付け**：クリップボード内のアイテムを現在の場所に貼り付けます。
- **複製**：選択したファイルの物理コピーを、元のファイルと同じ場所に作成します。
- **ファイルの名前を変更**：選択したファイルまたはフォルダーの名前を変更します。
- **削除**：選択したファイルやフォルダーをごみ箱に移動します。
- **サブフォルダーの追加**：現在選択されているフォルダー内に新しい空のサブフォルダーを追加します。

Edit	
Undo	⌘Z
Redo	⇧⌘Z
Select All	⌘A
Select None	⌘D
Deselect	/
Copy	⌘C
Paste	⌘V
Duplicate	
Rename File...	
Delete	⌘X
Add Subfolder	

アルバムメニュー

- **アルバムの作成**：新しいアルバムを作成します。
- **アルバムの名前を変更**：選択したアルバムの名前を変更します。
- **アルバムの 削除**：選択したアルバムを削除します。
- **アルバムに 追加**：選択した写真を使用可能なアルバムに追加します。
- **アルバムから削除**：選択した写真をアルバムから削除します。

Album	
Create Album...	
Rename Album...	
Delete Album	
Remove from Album	⇧⌘X

写真メニュー

- ・ **色**：写真の色評価を設定します（なし、赤、黄、緑、青、紫）
- ・ **評価**：星評価を設定します（0～5つ星）
- ・ **いいね**：写真を「いいね」、「拒否」、または「未設定」に設定します
- ・ **自動アドバンス**：チェックすると、写真に適用された色、評価などの設定により、その写真の写真が保存され、次の写真に進みます。
- ・ **90度CW回転**：画像を時計回りに90° 回転します
- ・ **90度CCW回転**：画像を反時計回りに90° 回転します
- ・ **キャプチャ日を編集**：タイムゾーンの変更を考慮するための設定など、キャプチャされたメタデータの日付を調整します。
- ・ **GPS座標から場所を設定**：保存されたGPS座標から場所名情報を検索し、適切なIPTCメタデータフィールドに埋め込みます。
- ・ **メタデータを埋め込む**：選択した写真に調整されたメタデータを保存します。（特定のファイル形式にのみ適用されます。）
- ・ **写真からメタデータを読み取る**：生のファイルから埋め込まれたメタデータを読み取り、XMPサイドカーファイルにある可能性のあるデータを上書きします。（メタデータが異なるアプリと同期していないように見える場合に役立ちます。）
- ・ **メタデータプリセットの保存**：現在の画像のメタデータフィールドの一部またはすべてをプリセットとして保存できます。
- ・ **メタデータプリセットの削除**：保存したメタデータプリセットを削除できます。
- ・ **プレビューの更新**：選択した画像のプレビューを再構築します。（画像が正しく表示されない問題がある場合に役立ちます。）

Photo	
Color	▶
Rating	▶
Like	▶
Auto Advance	
Rotate 90 Degrees CW	⌘]
Rotate 90 Degrees CCW	⌘[
Edit Capture Date...	
Set Location from GPS Coordinates	
Embed Metadata	
Read Metadata from Photo	
Save Metadata Preset...	
Delete Metadata Preset...	
Refresh Preview	

設定メニュー

- ・ **すべての設定を リセット**：写真に適用されている すべての設定を リセットします。
- ・ **現像設定を リセット**：現像タブで適用された設定のみをリセットします。
- ・ **エフェクト設定の リセット**：[エフェクト]タブで適用された設定のみをリセットします。
- ・ **ポートレート設定の リセット**：ポートレートに 適用された設定をリセットします。
- ・ **すべてのレタッチツールを リセット**：編集モジュールで適用されたレタッチをリセットします。
- ・ **ローカル調整のリセット**：写真に加えられたすべてのローカル調整を削除します。
- ・ **トリミングのリセット**：現在の画像のトリミングを元の状態にリセットします。
- ・ **テキストのリセット**：現在の写真からテキストブロックを削除し

Settings	
Reset All Settings	⇧⌘R
Reset Develop Settings	
Reset Effects Settings	
Reset Portrait Settings	
Reset All Retouching Tools	
Reset Local Adjustments	
Reset Crop	
Reset Text	
Copy Settings	⇧⌘C
Paste Settings...	⇧⌘V
Sync Settings...	⇧⌘S
Sync All Settings	⇧⇧⌘S
Create Version	⌘'
Save Settings as Preset...	
Update Preset with Current Settings...	
Rename Preset...	
Delete Preset	
Export Preset...	
Import Preset...	
Get More Presets...	

ます。

- **設定のコピー：** 写真に適用されたすべての編集モジュール設定をコピーします。
- **設定の貼り付け：** コピーした設定を（オプション付きで）貼り付けます。
- **設定の同期：** 主に選択された画像（スーパーセクションで表される）の編集設定を選択範囲内の残りの画像（オプション付き）に選択的に適用します。
- **すべての設定を同期：** 主に選択した写真のすべての編集モジュール設定を、選択した残りの画像に同期します。
- **バージョンの作成：** ファイルをハードドライブに複製せずに、写真の仮想コピーを作成します。
- **設定をプリセットとして保存：** 選択した写真の編集設定をプリセットとして保存します。
- **現在の設定でプリセットを更新する：プリセットのある画像の設定が変更されている場合、新しい設定でプリセットを更新できます。**
- **プリセットの名前を変更：プリセットの名前を変更します。**
- **プリセットの削除：** プリセットを削除します。
- **プリセットのエクスポート：** プリセットをON1プリセットファイルとしてエクスポートします。
- **プリセットのインポート：** ON1プリセットファイルをインポートします。
- **プリセットのON1：** ON1.comの写真プリセットページに移動します。

ON1Sync (プレビュー)

- **プレビューに登録：** ON1の今後の同期製品に関する情報メッセージを表示し、利用可能な場合はパブリックプレビューにサインアップするためのリンクを表示します。

ON1 Sync

Enroll in Preview

表示メニュー

- **大きなサムネイル：** グリッドビューのサムネイルのサイズを大きくします。
- **小さいサムネイル：** サムネイルのサイズを小さくします。
- **ズームイン：** 詳細、フィルムストリップ、または比較ビューで画像を拡大し、詳細を表示します。
- **ズームアウト：ズームアウト** して、ウィンドウ内により多くの画像を収めます。
- **画面に合わせる：** プレビューウィンドウに完全に収まるように、画面上の画像のサイズを変更します。
- **実際のピクセル：** 画像の100%ビューにズームインします。
- **正方形のサムネイル：** 親指を正方形に変更します。
- **常にファイル名を表示：** グリッドビューでサムネイルのファイル名ラベルをオンのままにします。
- **フィルター** を有効にする： フィルターペインを有効/無効にします。
- **検索テキスト：** フィルター検索ボックスにカーソルを置きます。
- **ラベルで** フィルター： 画像を色でフィルターします。
- **評価で** フィルター： 星評価で画像をフィルターします。
- **いいねでフィルター：** いいね/嫌いで画像をフィルターします。
- **フィルターのリセット：** フィルターを リセットします。
- **並べ替え：** ファイル名、日付、評価、ラベルなどで並べ替えます。
- **上部のサブフォルダーを並べ替える：** 並べ替える ときに、グリッドの上部にサブフォルダーを配置します。
- **クリッピングの表示：** クリッピングオーバーレイビューを表示し、現在の画像の純粋な白または黒のピクセルを表示します。
- **フォーカスマスクを** 表示： 現在の画像のフォーカスされている部分に緑色のオーバーレイを表示します。
- **表示モード：** サムネイル（グリッド）、写真（詳細）、フィルムストリップまたは比較ビューから選択します。
- **プレビューの背景色：** プレビューの背景色を変更します。
- **プリセットブラウザーモード：** プリセットパネルブラウザービューを1、2、または3列に設定します。

View	
Bigger Thumbnails	+
Smaller Thumbnails	-
Zoom In	⌘+
Zoom Out	⌘-
Fit to Screen	⌘0
Actual Pixels	⇧⌘0
Square Thumbnails	
Always Show Filename	
Enable Filters	⌘L
Search Text	⌘F
Filter by Label	▶
Filter By Rating	▶
Filter by Likes	▶
Reset Filters	⇧⌘L
Sort	▶
Sort Subfolders at the Top	
Show Clipping	⇧J
Show Focus Mask	⇧⇧J
View Mode	
Preview Background Color	
Preset Browser	

ウィンドウメニュー

- ・ **最小化**： ON1 Photo RAW 2020を最小ON1 ます。
- ・ **ズーム**： ウィンドウを ズームし ます。
- ・ **全画面モード**：**全画面モードを開始** または終了します。
- ・ **デュアルモード**： 2番目のディスプレイで使用する新しいブラウザーウィンドウを追加します。
- ・ **フォルダー**： フォルダーペインを開閉します。
- ・ **アルバム**： アルバムペインを開閉します。
- ・ **フィルター**： フィルターペインを開閉します。
- ・ **テザー撮影**： テザー撮影ペインを開閉します。
- ・ **最近**： 最近のペインを開いたり隠したりします。
- ・ **情報**： 情報ペインを開いて非表示にします。
- ・ **メタデータ**： メタデータペインを開いて非表示にします。
- ・ **キーワードリスト**： キーワードリストペインを開閉します。
- ・ **参照パネルを表示**：参照パネルを 非表示/表示します。
- ・ **バンパーラベルを表示**： モジュールセクターのテキストラベルを非表示/表示します。
- ・ **写真パネルを表示**：写真パネルを 非表示/表示します。
- ・ **パネルを非表示**： 左パネルと右パネルの両方を非表示/表示します。

Window	
Minimize	
Zoom	
Full Screen Mode	⌘F
Dual Mode	▶
Folders	⌘2
Albums	⌘3
Filters	⌘4
Tethered Shooting	⌘5
Recent	⌘6
Info	⌘7
Metadata	⌘8
Keyword List	⌘9
✓ Show Bumper Labels	
✓ Show Browse Panel	⌘←
✓ Show Photo Panel	⌘→
Hide Panels	⇧⌘I

助けて

- ・ **検索**：メニューオプションを検索します（MacOSのみ）。
- ・ **ON1Photo RAW2020オンラインヘルプ**：デフォルトのWebブラウザでON1.comサポートページを開きます。
- ・ **ビデオチュートリアル**：デフォルトのWebブラウザでON1.com製品トレーニングページを開きます。
- ・ **はじめに**：初期のPhoto RAW起動画面を開きます。
- ・ **更新の確認**： ON1 更新サーバーをチェックして、現在のバージョンを実行しているかどうかを確認します。更新について通知し、更新プロセスを順を追って説明します。
- ・ **サインイン/サインアウト**：ON1アカウントのログイン情報を使用して、ON1 Photo RAW 2020のコピーを認証します。
- ・ **フィードバックの提供**：デフォルトのWebブラウザを開き、ON1Webサイトのフィードバックページに ON1ます。
- ・ **ON1 Photo RAW 2020について（Windowsのみ）**：バージョン番号が表示された[バージョン情報]ボックスを開きます。
- ・ **ON1 製品の改善に ON1**：[ON1 製品の改善]ダイアログを開きます。
- ・ **ON1ログを表示**：ON1 Photo RAW 2020で問題が発生した場合にON1 サポートを支援できる診断ツール。

Help	
Search	
ON1 Photo RAW 2020 Online Help...	
Video Tutorials	
Getting Started...	
Check for Updates	
Sign-Out...	
Provide Feedback...	
Help Improve ON1 Products...	
Show ON1 Log	

編集メニュー

ON1 Photo RAW (MacOS のみ)

- **ON1 Photo RAW について** : [バージョン情報]ボックスを開き、バージョン番号を表示します。（これはWindowsヘルプ]メニューにあり Windows）
- **設定** : 設定ダイアログを開きます。（Windows編集]メニュー）
- **ON1Photo RAW終了** : ON1Photo RAW2020を終了します。

ON1 Photo RAW 2020	
About ON1 Photo RAW 2020	
Preferences...	⌘,
Services	▶
Hide ON1 Photo RAW 2020	⌘H
Hide Others	⇧⌘H
Show All	
Quit ON1 Photo RAW 2020	⌘Q

ファイルメニュー

- **新しいキャンバス** : 指定したサイズで新しいレイヤード.onphoto ファイルを作成します。
- **Canvas Size** : 現在のレイヤー化ファイルのサイズを変更できます。
- **クイックエクスポート** : 現在の画像をPhotoshop、TIFF、JPEGまたはPNG形式で保存します。
- **エクスポート** : エクスポートサイドパネルを開きます。
- **印刷** : 印刷ダイアログボックスを開きます。
- **Extrasの管理** : Extras Managerウィンドウを開きます。

File	
New Canvas...	⌘N
Canvas Size...	⇧⌘C
Quick Export...	⇧⌘S
Export...	
Print...	⌘P
Manage Extras...	

編集メニュー

- **元に戻す** : 最後のファイル操作を削除します。
- **やり直し** : 元に戻す操作をやり直します。これは、最後に行った操作が元に戻す場合にのみ使用できます。
- **切り取り** : 現在選択されているアイテムを 切り取り ます。
- **コピー** : 現在選択されているアイテムをコピーします。
- **貼り付け** : クリップボード内のアイテムを現在の場所に 貼り付け ます（コピーします）。
- **削除** : 現在の画像を削除します（フィルムストリップモードのみ）。
- **元に戻す** : 現在の写真の元の状態に戻します。
- **環境設定 (Windows)** : 環境設定ダイアログを開きます。

Edit	
Undo	⌘Z
Redo	⇧⌘Z
Undo Delete	
Redo Delete	
Cut	⌘X
Copy	⌘C
Paste	⌘V
Delete	
Revert	

レイヤーメニュー

- **ファイルからレイヤー**を追加：現在のドキュメントにレイヤーとして新しいファイルを追加できます。
- **削除**：現在選択されているレイヤーを削除します。
- **複製**：現在選択されているレイヤーを複製します。
- **レイヤープロパティのリセット**：適用されているレイヤーマスクを削除するか、現在のレイヤーに変換します。
- **レイヤーの結合**：現在のレイヤーとその下のレイヤーを結合します。
- **Merge Visible**：表示されているすべてのレイヤーを新しいマージされたレイヤーにマージします。
- **New Stamped Layer**：表示されているレイヤーを新しい複合レイヤーにマージし、表示されているレイヤーをそのまま残します。
- **可視レイヤーの整列**：コンテンツに基づいて可視レイヤーを整列します。

Layer	
Add Layer from File...	⇧ ⌘ O
Delete	
Duplicate	⌘ J
Reset Layer Properties	
Merge Layer	⌘ E
Merge Visible	⇧ ⌘ E
New Stamped Layer	⇧ ⌘ J
Align Visible Layers	

写真メニュー

- **自動アドバンス**：チェックされている場合、写真に適用された色、評価などの設定は、その写真の写真を保存し、次の写真に進みます。
- **90度CW回転**：画像を時計回りに90°回転します
- **90度CCW回転**：画像を反時計回りに90°回転します

Photo	
✓ Auto Advance	
Rotate 90 Degrees CW	⌘]
Rotate 90 Degrees CCW	⌘ [

マスクメニュー

- **マスクの反転**：マスクを反転します。隠されていたものが表示され、その逆も同様です。
- **マスクのリセット**：マスクを白にリセットします。
- **マスクのコピー**：マスクをコピーします。
- **マスクの貼り付け**：マスクを貼り付けます。
- **輝度マスクの作成**：写真の黒または白の色調値に基づいて、輝度レイヤーマスクを作成します。
- **マスクの表示**：現在のマスクを赤いオーバーレイまたはグレースケールとして表示します。
- **表示モード**：マスク表示モードを赤のオーバーレイまたはグレースケールに設定します。

Mask	
Invert Mask	⌘ I
Reset Mask	
Copy Mask	
Paste Mask	
Create Luminosity Mask	
Show Mask	⌘ M
View Mode	▶

設定メニュー

- **すべての設定をリセット**：写真の編集モジュール設定をすべてリセットします。
- **現像設定のリセット**：現像で適用された設定をリセットします。
- **エフェクト設定のリセット**：エフェクトで適用された設定をリセットします。
- **ポートレート設定のリセット**：ポートレートに適用された設定をリセットします。
- **すべてのレタッチツールをリセット**：編集で適用されたレタッチをリセットします。
- **ローカル調整のリセット**：ローカル調整をリセットします。
- **トリミングのリセット**：写真のトリミングをリセットします。
- **テキストのリセット**：写真に作成されたテキストブロックをリセットします。
- **設定のコピー**：写真に適用されたすべての設定（現像、効果、レタッチ）をコピーします。
- **設定の貼り付け**：コピーした設定を（オプション付きで）貼り付けます。
- **設定の同期**：主に選択した画像の編集モジュール設定を、選択した残りの画像に選択的に適用します。
- **すべての設定を同期**：主に選択した画像のすべての編集モジュール設定を、選択した残りの画像に適用します。
- **バージョンの作成**：ファイルをハードドライブに複製せずに、写真の仮想コピーを作成します。
- **設定をプリセットとして保存**：選択した写真の編集設定をプリセットとして保存します。
- **現在の設定でプリセットを更新する**：プリセットのある画像の設定が変更されている場合、新しい設定でプリセットを更新できます。
- **プリセットの名前を変更**：プリセットの名前を変更します。
- **プリセットの削除**：プリセットを削除します。
- **プリセットのエクスポート**：プリセットをON1プリセットファイルとしてエクスポートします。
- **プリセットのインポート**：ON1プリセットファイルをインポートします。
- **より多くのプリセットを取得**：に移動ON1の写真プリセットWebページ。

Settings	
Reset All Settings	⇧⌘R
Reset Develop Settings	
Reset Effects Settings	
Reset Portrait Settings	
Reset All Retouching Tools	
Reset Local Adjustments	
Reset Crop	
Reset Text	
Copy Settings	⇧⌘C
Paste Settings...	⇧⌘V
Sync Settings...	⇧⌘S
Sync All Settings	⇧⇧⌘S
Create Version	⌘'
Save Settings as Preset...	
Update Preset with Current Settings...	
Rename Preset...	
Delete Preset	
Export Preset...	
Import Preset...	
Get More Presets...	

表示メニュー

- ・ **ズームイン** : 1つのインクリメントズームインプレビューウィンドウ。これにより、プレビュー画像が大きくなります。
- ・ **ズームアウト** : プレビューウィンドウを1つずつズームアウトします。これにより、プレビュー画像が小さくなります。
- ・ **画面に合わせる** : これにより、画像全体が一度に画面に表示されるようにプレビュー画像が設定されます。これを画像全体の概要と考えてください。これは、ほとんどの場合に使用する設定です。
- ・ **実際のピクセル** : これにより、プレビュー画像が実際のピクセルまたは100%とも呼ばれる1:1にズームするように設定されます。この設定により、画像のすべてのピクセルを表示できます。これは、精密な調整を行うときに役立ちます。
- ・ **プリセットブラウザー** : プリセットパネルブラウザービューを1、2、または3列に設定します。
- ・ **クリッピングの表示** : クリッピングオーバーレイビューを表示し、現在の画像に純粋な白または黒のピクセルを表示します。
- ・ **フォーカスマスクを表示** : 現在の画像のフォーカスされている部分に緑色のオーバーレイを表示します。
- ・ **プレビューの表示** : プレビューを有効または無効に切り替えます。
- ・ **比較** : 現在の画像の調整可能な分割画面ビューを表示します。プレビュー領域の左側に変更前のビューがあります。
- ・ **表示モード** : フィルムストリップビューと詳細ビューを切り替えます。
- ・ **背景色のプレビュー** : 背景色のオプションを設定できます。
- ・ **ソフト校正を有効にする** : 現在の画像のソフト校正を有効にします。
- ・ **色域警告** : プリンターが再現できない色を赤いオーバーレイで表示します。
- ・ **プロファイル** : インストールされているプリンターとディスプレイプロファイルのリストを表示します。プロファイルを選択すると、そのプロファイルの用紙タイプにソフト校正が適用されます。
- ・ **Intent** : 現在の画像の知覚的または相対的なレンダリングIntentを切り替えることができます。
- ・ **紙とインクのシミュレーション** : オンにすると、Photo RAWは選択したプロファイルの白点と黒点を考慮してディスプレイの白点と黒点を設定します。

View	
Zoom In	⌘+
Zoom Out	⌘-
Fit to Screen	⌘O
Actual Pixels	⇧⌘O
Preset Browser	▶
Show Clipping	⇧J
Show Focus Mask	⇧⇧J
✓ Show Preview Compare	\ ⌘Y
View Mode	▶
Preview Background Color	▶
Enable Soft Proofing	⇧S
✓ Gamut warning	
Profiles	▶
Intent	▶
✓ Simulate Paper and Ink	

- ・ **最小化**：画面を最小化します。
- ・ **ズーム**：ウィンドウをフルサイズに ズームし ます。
- ・ **全画面**：全画面モードを切り替えます（メニューを非表示にします）。
- ・ **デュアルモード**：デュアルディスプレイモードをオンにします
- ・ **ナビゲーター**：ナビゲーター、ルーペ、ヒストグラム、情報ペインを表示または非表示にします。
- ・ **レイヤー**：レイヤーペインを折りたたみます。
- ・ **ソロモード**：一度に1つのペインのみを開いたままにします。
- ・ **レイヤーの表示**：レイヤーペインを完全に非表示/表示します。
- ・ **クイックビューブラウザを開く**：選択したプリセットカテゴリのクイックビューブラウザオーバーレイを開きます。
- ・ **バンパーラベルを表示**：モジュールセクターのテキストラベルを非表示/表示します。
- ・ **ブラウザパネルの表示**：ブラウザパネルを 非表示/表示します。
- ・ **コントロールパネルの表示**：コントロールパネルの 表示/非表示を切り替えます。
- ・ **パネルを非表示**：すべてのパネルを非表示または表示します。
- ・ **ドキュメント名**：開いている画像の名前、ズームレベル、ビット深度を表示します。

Window	
Minimize	⌘M
Zoom	
Full Screen	⌘F
Dual Mode	▶
Navigator	⌘1
Layers	⌘2
Solo Mode	
✓ Show Layers	
Open Quick View Browser	⌘↑
Show Bumper Labels	
✓ Show Browser Panel	⌘←
✓ Show Control Panel	⌘→
Hide Panels	⇧⌘I
moab-20190930-132.arw @ 28.9% 16-bit	

HのELP

- ・ **検索**：メニューオプションを検索します（MacOSのみ）。
- ・ **ON1 Photo RAW2020オンラインヘルプ**：デフォルトのWebブラウザで ON1.comサポートページを開きます。
- ・ **ビデオチュートリアル**：デフォルトのWebブラウザで ON1.com製品トレーニングページを開きます。
- ・ **はじめに**：初期のPhoto RAW 起動画面を開きます。
- ・ **更新の確認**：ON1 更新サーバーで確認して、現在のバージョンを実行しているかどうかを確認します。新しいバージョンがある場合は、通知され、更新プロセスを順を追って説明されます。
- ・ **サインイン/サインアウト**：ON1 アカウントのログイン情報を使用して、ON1 Photo RAW 2020のコピーを認証します。
- ・ **フィードバックの提供**：デフォルトのWebブラウザを開き、ON1Webサイトのフィードバックページに ON1 ます。
- ・ **ON1 Photo RAW について (Windows のみ)**：バージョン番号が表示された[バージョン情報]ボックスを開きます。
- ・ **ON1製品の改善にON1**：[ON1 製品の改善]ダイアログを開きます。
- ・ **ON1ログを表示**：ON1Photo RAW2020で問題が発生した場

Help	
Search	<input type="text"/>
ON1 Photo RAW 2020 Online Help...	
Video Tutorials	
Getting Started...	
Check for Updates	
Sign-Out...	
Provide Feedback...	
Help Improve ON1 Products...	
Show ON1 Log	

メニューのサイズ変更

ON1Photo RAW (MacOSのみ)

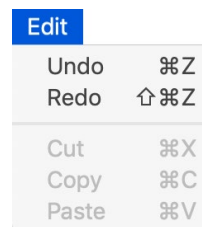
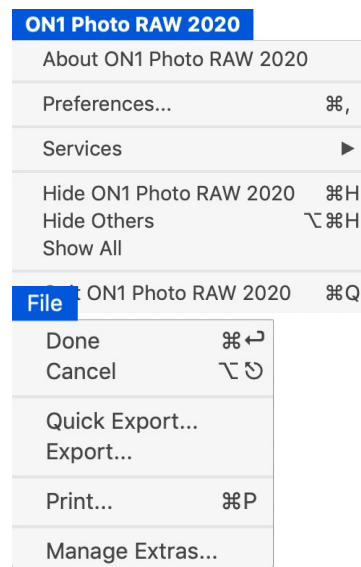
- **ON1 Photo RAWについて** : [バージョン情報]ボックスを開き、バージョン番号を表示します。(これはWindowsヘルプ]メニューにありWindows)
- **設定** : 設定ダイアログを開きます。(Windows 編集]メニュー)
- **ON1 Photo RAW終了** : ON1Photo RAW2020を終了します。

ファイルメニュー

- **完了** : 現在の画像を保存して、参照 (または外部ソース) に戻ります。
- **キャンセル** : サイズ変更操作をキャンセルし、参照 (または外部ソース) に戻ります。
- **クイックエクスポート** : 現在の画像をPhotoshop、TIFF、JPEGまたはPNG形式で保存します
- **エクスポート** : エクスポートペインを呼び出します。
- **印刷** : 印刷ダイアログボックスを開きます。
- **Extrasの管理** : Extras Managerウィンドウを開きます。

編集メニュー

- **元に戻す** : 最後のファイル操作を削除します。
- **やり直し** : 元に戻す操作をやり直します。
- **切り取り** : 現在選択されているアイテムを 切り取り ます。
- **コピー** : 現在選択されているアイテムをコピーします。
- **貼り付け** : クリップボードにアイテムを貼り 付け ます。
- **環境設定 (Windows)** : 環境設定ダイアログを開きます。



設定メニュー

- **すべての設定を リセット**：サイズ変更で行った設定をリセットします。
- **サイズ変更設定のリセット**：設定ペインで行われた変更をリセットします。
- **トリミングのリセット**：トリミングを リセットします。
- **設定をプリセットとして保存**：現在のサイズ変更設定をプリセットとして保存します。
- **現在の設定でプリセットを更新する**：プリセットが適用された画像の設定が変更されている場合、これによりプリセットを更新して新しい設定を反映できます。
- **プリセットの名前を変更**：現在のプリセットの 名前を変更し ます。
- **プリセットの削除**：現在選択されている プリセットを 削除します。
- **プリセットのエクスポート**：現在のプリセットを.onresizeファイルとしてエクスポートします。
- **Import Preset**：ON1Resizeプリセットファイルをインポートします。
- **ほかのプリセットを取得**開きます。ON1Webブラウザでのプリセットページを。

Settings	
Reset All Settings	⇧ ⌘ R
Reset Resize Settings	
Reset Crop	
Save Settings as Preset...	
Update Preset with Current Settings...	
Rename Preset...	
Delete Preset	
Export Preset...	
Import Preset...	
Get More Presets...	

表示メニュー

- **ズームイン**：1つのインクリメントズームインプレビューウィンドウ。これにより、プレビュー画像が大きくなります。
- **ズームアウト**：プレビューウィンドウを1つずつ ズームアウトし ます。これにより、プレビュー画像が小さくなります。
- **画面に合わせる**：これにより、画像全体が一度に画面に表示されるようにプレビュー画像が設定されます。これを画像全体の概要と考えてください。これは、ほとんどの場合に使用する設定です。
- **実際のピクセル**：これにより、プレビュー画像が実際のピクセルまたは100%とも呼ばれる1:1にズームするように設定されます。この設定により、画像のすべてのピクセルを表示できます。これは、精密な調整を行うときに役立ちます。
- **クリッピングの表示**：クリッピングオーバーレイビューを表示し、現在の画像に純粋な白または黒のピクセルを表示します。
- **背景色のプレビュー**：背景色のオプションを設定できます。
- **ソフトプルーフを有効にする**：ソフトプルーフを オンにします。
- **色域警告**：プリンターが再現できない色を赤いオーバーレイで表示します。
- **プロファイル**：インストールされているプリンターとディスプレイプロファイルのリストを表示します。プロファイルを選択すると、そのプロファイルにソフト校正が適用されます。

View	
Zoom In	⌘ +
Zoom Out	⌘ -
Fit to Screen	⌘ 0
Actual Pixels	⇧ ⌘ 0
Show Clipping	⇧ J
Preview Background Color	▶
Enable Soft Proofing	⇧ S
✓ Gamut warning	
Profiles	▶
Intent	▶
✓ Simulate Paper and Ink	

窓

- **Intent** : 現在の画像の知覚的または相対的なレンダリングインテント を切り替えることができます。
- **紙とインクのシミュレーション** : オンにすると、Photo RAWは選択したプロファイルの白点と黒点を考慮してディスプレイの白点と黒点を設定します。

- **最小化** : 画面を最小化します。
- **ズーム** : ウィンドウをフルサイズに ズームし ます (メニューバーを非表示にしません)。
- **全画面** : 全 画面モードを切り替えます (メニューバーを非表示にします)。
- **ナビゲーター/ルーペ/ヒストグラム** : ナビゲーター、ルーペ、ヒストグラム (レベル)、および情報ペインを表示または非表示にします。
- **ピクセル寸法** : ピクセル寸法ペインを開閉します。
- **ドキュメントサイズ** : [ドキュメントサイズ]ペインを開閉します。
- **設定** : 設定ペインを開閉します。
- **シャープニング** : シャープニングペインを開閉します。
- **フィルムグレイン** : フィルムグレインペインを開閉します。
- **タイル** : タイルペインを開閉します。
- **ギャラリーラップ** : ギャラリーラップペインを開閉します。
- **ソロモード** : 有効にすると、この機能は一度に1つのコントロールペインのみを開いたままにします。
- **コントロールパネルの表示** : コントロールパネルを 表示または非表示にします。
- **パネルを 非表示** : すべてのパネルを非表示または表示します。
- **ドキュメント名** : 開いている画像の名前、ズームレベル、ビット深度を表示します。

Window	
Minimize	⌘M
Zoom	⌘F
Full Screen	⌘F
Navigator/Loupe/Histogram	⌘1
Pixel Dimensions	⌘2
Document Size	⌘3
Settings	⌘4
Sharpening	⌘5
Film Grain	⌘6
Tiling	⌘7
Gallery Wrap	⌘8
Solo Mode	
✓ Show Control Panel	⌘→
Hide Panels	→⌘
_DSC0820-a7s copy1.psd @ 51.7% 16-bit	

助けて

- **検索** : メニューオプションを検索します (MacOSのみ)。
- **ON1Photo RAW 2020オンラインヘルプ** : デフォルトのWebブラウザで ON1.comサポートページを開きます。
- **ビデオチュートリアル** : デフォルトのWebブラウザでON1.com製品トレーニングページを開きます。
- **はじめに** : 初期のPhoto RAW 起動画面を開きます。
- **更新の確認** : ON1更新サーバーで確認して、現在のバージョンを実行しているかどうかを確認します。新しいバージョンがある場合は、通知され、更新プロセスを順を追って説明されます。
- **サインイン/サインアウト** : ON1 アカウントのログイン情報を使用して、ON1 Photo RAW 2020のコピーを認証します。
- **フィードバックの提供** : デフォルトのWebブラウザを開き、

Help	
Search	
ON1 Photo RAW 2020 Online Help... Video Tutorials Getting Started...	
Check for Updates Sign-Out... Provide Feedback... Help Improve ON1 Products... Show ON1 Log	

ON1Webサイトのフィードバックページに ON1 ます。

- **ON1 Photo RAWについて (Windowsのみ)** : バージョン番号が表示された[バージョン情報]ボックスを開きます。
- **ON1 製品の改善に ON1** : [ON1製品の改善]ダイアログを開きます。
- **ON1ログを表示** : ON1 Photo RAW2020で問題が発生した場合にON1サポートを支援できる診断ツール。

環境設定

ON1Photo RAW2020には、[設定]ウィンドウで設定できるシステム全体の設定がいくつかあります。設定にアクセスするには、画面の左下にある歯車アイコンをクリックするか、ON1Photo RAW2020メニュー（MacOS）または Windows編集]メニューから[設定]を選択しWindows。

[設定]ウィンドウには、[全般]、[ファイル]、[プラグイン]、[システム]、[サービス]の5つのタブがあります。各タブの設定について以下に説明します。

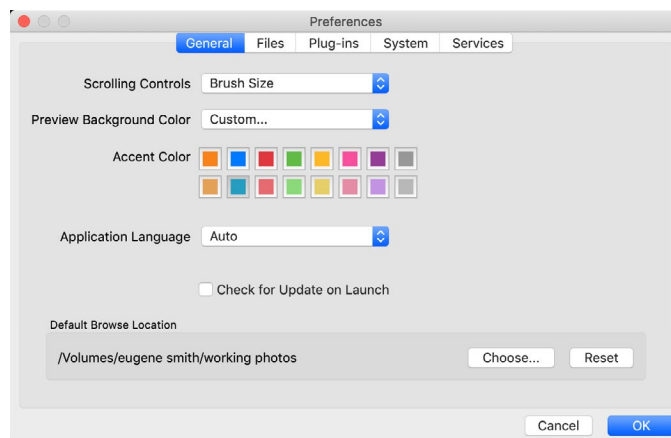
一般設定

[全般設定]タブでは、背景色、スクロールコントロールなど、Photo RAWワークスペースの基本設定を調整します。

スクロールコントロール

マウスのスクロールホイールまたはスクロールジェスチャの動作を選択できます。オプションは次のとおりです。

- ・ **なし**：デフォルト。
- ・ **プレビューズーム**：プレビューウィンドウのズームを調整します。上にスクロールするとズームが増加し、下にスクロールするとズームが減少します。
- ・ **パンのプレビュー**：パンツールまたはナビゲーターを使用するなどして、画像をパンします。パンが快適であり、速すぎたり遅すぎたり、ぎくしゃくしないことが重要です。
- ・ **ブラシサイズ**：ブラシツールなど、関連する場合、現在のツールのサイズを調整します。



背景色のプレビュー

プレビュー画像の背景の色を選択できます。デフォルトの色は黒です。黒、白、ライトグレー、ダークグレー、カスタムのオプションがあります。カスタムオプションには、独自の背景色を選択できるカラーピッカーがあります。

アクセントの色

Photo RAW インターフェイスでハイライトされたアイテム（フォルダー、タブ、選択）の表示色を選択できます。

アプリケーション言語

ON1Photo RAW2020の表示言語を変更できます。Autoはシステムのデフォルト言語（使用可能な場合）を使用します。

起動時に更新を確認する

デフォルトで有効になっている場合、ON1 Photoを起動すると、製品はON1のソフトウェア更新サーバーと通信します。更新が利用可能な場合、ダウンロードまたはスキップするように求められます。

デフォルトの参照場所

既定では、参照の画像のショートカットは、画像（Mac）またはマイピクチャ（Windows）のいずれかです。この設定でその場所を変更できます。

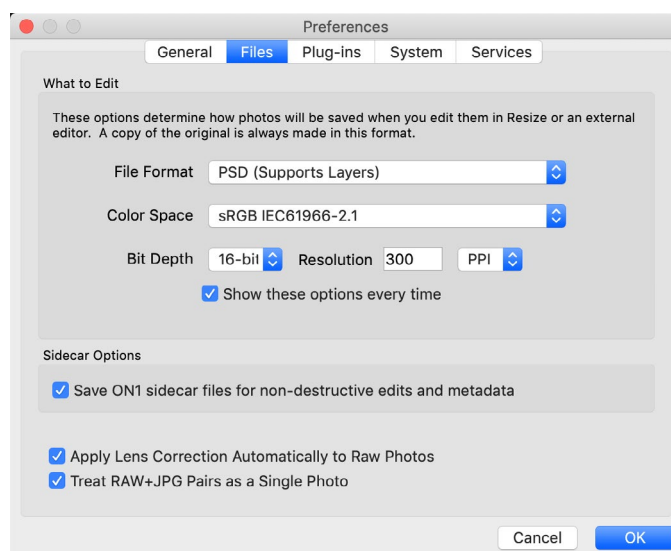
ファイル

[ファイル]タブは、外部アプリケーションからプラグインとしてResizeでファイルを開くとき、またはブラウザ内から外部エディターに送信するコピーを作成するときに、ON1Photo RAWが作成するファイルタイプを決定するために使用されます。

編集するもの

[ファイル]タブの[編集対象]セクションには5つのオプションがあります。

1. **ファイル形式**：作成するファイルの種類を設定します：PSD、TIFF、またはJPEG。階層化されたワークフローを使用する場合は、PSDを選択する必要があります。
2. **カラースペース**：ファイルのコピーを開くときのデフォルトのカラースペースを設定します。リストには、Adobe RGB 1998、Apple RGB（MacOS）、sRGB、ProPhoto RGB、またはColorMatch RGB ます。（一般設定で使用するためにプロファイルをインポートした場合、ここでも利用できます。）
3. **ビット深度**：ファイルのコピーを開くときのファイルのビット深度を設定します。
4. **解像度**：ファイルのコピーを開くときの解像度を設定します。
5. **毎回これらのオプションを表示する**：Lightroom または Photoshopから写真を開くために事前定義されたファイル特性のセットを使用したくない場合は、このボックスをクリックします。



サイドカーオプション

ON1Photo RAW 2020で画像を編集するときに ON1 固有の「サイドカー」ファイルを作成する場合は、このボックスをクリックします。これは、複数のコンピューター（たとえば、外付けハードドライブ）で同じイメージライブラリを使用していて、各コンピューターで編集内容を表示したい場合に役立ちます。

レンズ補正を自動的に適用する

このオプションをオンにすると、ON1Photo RAW は、詳細モード、フィルムストリップモード、または比較モードで表示するときに、すべての生の写真でレンズ補正を自動的に使用します。

RAW + JPGペアを単一の写真として扱う

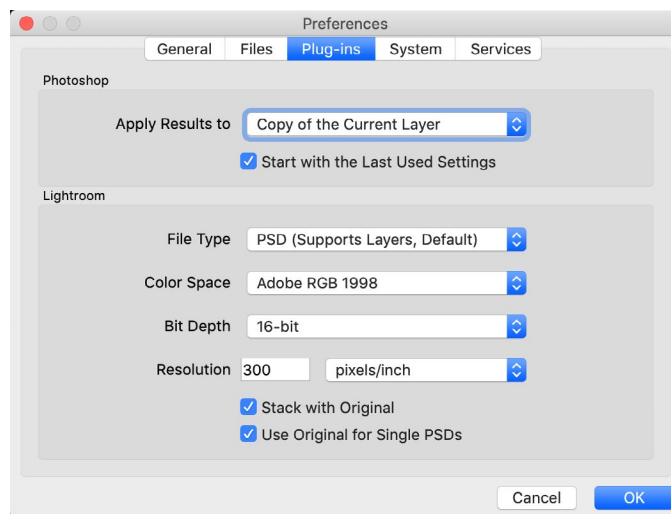
RAW + JPGを撮影する場合、このオプションを使用して、参照内で両方の写真を「スタック」できます。（RAW + JPGのペアは、サムネイルの左下隅に小さなアイコンで表示されます。）

プラグイン

[プラグイン]タブは、Photo RAW をPhotoshop または Lightroom プラグインとして使用する場合に固有であり、これらのアプリからファイルを開く際の条件を設定できます。

Photoshop

- **結果の適用先**：Photoshop編集するときに、現在のレイヤーのコピーまたは現在のレイヤーにエフェクトを追加することを選択できます。ON1 Photoを起動するときに、最後に使用した設定で開始することもできます。



Lightroom

作業に示すように、Lightroom、上記のセクション、この設定は、あなたがプラグインエクストラメニューを経由して開かれたファイルに対して特定のオプションを選択できますLightroom：

- **Photoshop ファイルの** 名前を付けて保存：Lightroomから開いた Photoshopファイルをスマート写真または通常のPSDとして保存する方法を制御します。
- **ファイルの種類**：ファイルの種類のドロップダウンメニューで、作成するファイルの種類を決定します。デフォルトはPSDで、レイヤーを維持します。JPGまたはTIFFを選択することもできます。これらの形式が好まれ、レイヤーの維持を気にしない場合です。最後のオプションはソースと同じで、元のファイルのファイルタイプを維持しますが、Lightroom rawファイルはPSDとして保存されます。
- **色空間**：作業色空間を設定します。AdobeRGB、sRGB、またはProPhoto RGB。
- **ビット深度**：ファイルのビット深度を設定します。ピクセルあたり8ビットまたは16ビットです。
- **解像度**：解像度ドロップダウンメニューにより、ファイルの解像度が決まります。
- **オリジナルとスタック**：有効にすると、新しいイメージがオリジナルのイメージとスタックされます。
- **単一のPSDに**オリジナルを使用：有効にすると、単一のPSDファイルを選択した場合、コピーを作成せずに直接編集されます。

システム

[システム]タブには、Photo RAW 2020のパフォーマンス関連の特性が表示されます。

メモリ使用量

- ・ **システム使用量**: アプリケーションが使用するRAMの量を指定します。最大値（デフォルト値）は80%です。
- ・ **VRAM Usage**: アプリケーションで使われるビデオメモリ (VRAM) の量を指定します。最大値（デフォルト）は80%です。

スクラッチフォルダーの場所

この設定により、メモリキャッシュを移動またはリセットできるため、Photo RAW 実行中に編集操作を高速化できます。これは、システムドライブのスペースが限られており、より高速な外部ドライブをキャッシュとして使用する場合に役立ちます。このキャッシュ情報は、アプリケーションを終了するたびに消去されます。

キャッシュを参照

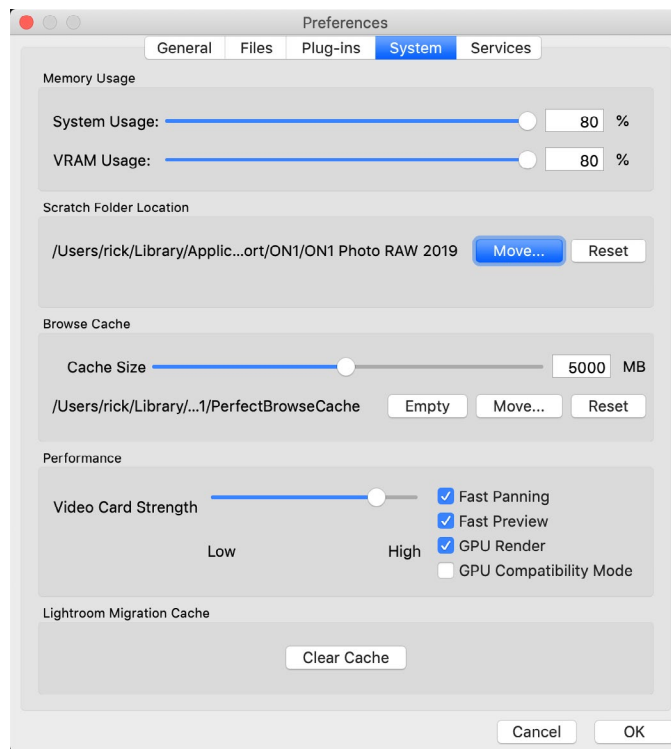
ON1 Photo RAW 2020は、サムネイルプレビューをディスクに保存するため、次回フォルダーを参照するときにはるかに高速に読み込まれます。この設定により、メモリキャッシュサイズを調整したり、キャッシュを空にしたり、別の場所に移動したり、参照で問題が発生した場合にリセットしたりできます。

ヒント: ブートボリュームとして小さなソリッドステートドライブを使用している場合、カタログ化されたフォルダーを使用しているときに参照キャッシュが多くのスペースを占有する可能性があるため、キャッシュを別のドライブに移動する必要があります。

性能

[パフォーマンス]セクションは、特定のセットアップに合わせてPhoto RAWを最適化できるように設計されています。行うことができる調整は次のとおりです。

- ・ **ビデオカードの強度** は、画像のプレビューの更新と、ブラシとグラデーションツールオーバーレイの動きのバランスをとります。ブラシが付着している場合は、下げてみてください。ハイエンドのビデオカードをお持ちの場合は、プレビューの更新を高速化するために、それを有効にしてみてください。



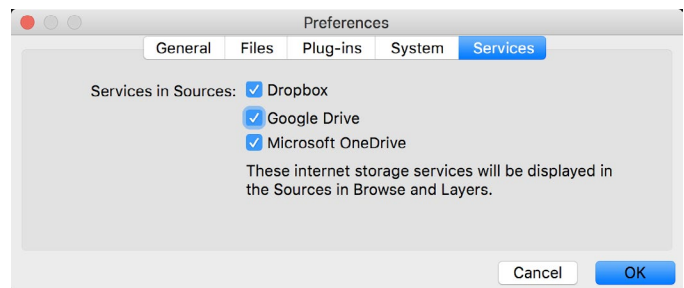
- **高速パン** は、写真のパン中にプレビューの品質を低下させ（シャープさを低下させます）、パンのパフォーマンスを向上させます。
- **高速プレビュー**は、ペイントブラシのパフォーマンスを向上させるためにペイントまたはその他の調整を行っているときに、プレビューの品質を低下させます（シャープにしなくなります）。ハイエンドビデオカードをお持ちの場合、これはオフです。
- **GPU Render**は、GPU（ビデオカード）を使用して、プリセットサムネイル、エクスポート、印刷、共有、およびキャッシュをレンダリングします。これにより、パフォーマンスが大幅に向上します。これをサポートするシステムではデフォルトでオンになっています。ローエンドGPUでは無効になっている場合があります。

Lightroom移行キャッシュ

Lightroom Migration Assistantで問題が発生した場合は、ここでキャッシュをクリアできます。（「[Lightroom カタログをPhoto RAW 移動する](#)」ページ<?>。）

サービス

このタブは、[参照]および[レイヤー]の[ソース]ペインに表示されるオンラインストレージサービスを制御します。現在、ON1 Photo RAW 2020はDropbox、Google Drive、およびMicrosoft OneDriveをMicrosoft OneDrive。Photo RAW2020は、インストールプロセス中にコンピューター上でサービスが見つかった場合、それらのサービスを自動的に追加しますが、これらのサービスを後で追加（または削除）する場合は、このタブを使用して管理します。





ON1 PHOTO RAW

Common Keyboard Hotkeys

	Windows	macOS
Change Modules/Tabs		
Browse		G
Develop		D
Effects		S
Portrait		I
Local Adjustments		A
Resize		Y
Preview Navigation		
Zoom-in	^ +	⌘ +
Zoom-out	^ —	⌘ —
Fit to Screen	^ 0	⌘ 0
Zoom to 100% (1:1)	^ ⌘ 0	⌘ ⌘ 0
Pan Photo		hold space
View & Window Modes		
Grid View		G
Photo View		E
Filmstrip View		F
Compare View (Browse)		C
Fullscreen	n/a	⌘ ^ F
Hide Right Panel	^ →	⌘ →
Hide Left Panel	^ ←	⌘ ←
Hide Both Panels	→	
Split-Screen Compare (Develop/Effects)	^ Y	⌘ Y
Preview and Masking Views		
Original View (Preview Off)		\
Show Mask		O
Show Clipping		hold J
Enable Soft Proof	⌘ S	⌘ S
Browse		
Change Thumbnail Size		+ / —
Browse a Folder	^ B	⌘ B
Select All	^ A	⌘ A
Select None	^ D	⌘ D
Deselect		/
Set Rating		1-5
Set Label		6-0
Dislike		X
Like		P
Clear Like/Dislike		U
Delete		⌘
Enable Filters	^ I	⌘ I
Search Text	^ F	⌘ F

	Windows	macOS
Presets		
Open Quick View Browser	⌘ ↑	⌘ ↑
Insert Preset	⌘ click	⌘ click
Photo Settings		
Rotate 90	^]	⌘]
Rotate -90	^ [⌘ [
Reset All Settings	⇧ ^ R	⇧ ⌘ R
Copy Settings	⇧ ^ C	⇧ ⌘ C
Paste Settings	⇧ ^ V	⇧ ⌘ V
Sync Settings	⇧ ⌘ S	⇧ ⌘ S
Create Version	^ '	⌘ '
Brushing		
Bigger Brush]
Smaller Brush		[
Increase Brush Opacity	⌘]	⌘]
Decrease Brush Opacity	⌘ [⌘ [
Increase Brush Feather		⇧]
Decrease Brush Feather		⇧ [
Set Brush Opacity	⌘ 1-0	⌘ 1-0
Toggle Perfect Brush	^ R	⌘ R
Hold Perfect Brush Color	hold ^	hold ⌘
Toggle Paint-in/Paint-out	⇧ X or hold	⌘ /⌘
Invert Mask	^ i	⌘ i
Draw Straight Line		⇧ click
Misc		
Quick Export	⇧ ^ S	⇧ ⌘ S
Print	^ P	⌘ P
Undo	^ Z	⌘ Z
Redo	⇧ ^ Z	⇧ ⌘ Z
Quit	^ Q	⌘ Q
Tools		
Crop		c
Adjustment Brush		K
Adjustable Gradient		⇧ K
Perfect Eraser		Q
Retouch Brush		R
Clone Stamp		S
Masking Brush		B
Gradient Mask/Masking Bug		M
Refine Mask		N
Zoom/Pan		Z
Move/Transform		V
Text		T
Portrait		⇧ I
Chisel		H
Blur		L

^ Control ⌘ Command ⌘ Alt ⌘ Option ⇧ Shift →| Tab



ON1 Photo RAW 2020ユーザーガイド

©2016-2019 ON1Inc.

改訂1.00、2019年10月 (初期バージョン2020)

©2006-2019 ON1 Inc.この文書およびそれに記載されているソフトウェアは、著作権で保護されています。 ON1、onOne、および onOneロゴは ON1、Incの商標です Apple、Macintosh、および MacOSは Apple、Incの商標です Microsoft、Windows は Microsoft、Incの商標ですAdobe、Photoshop、LightroomClassic、PhotoshopElements はAdobe商標です株式会社Kodakイーストマンの登録商標であるKodak 社 FujiとFujifilm登録商標ですFujifilm株式会社、Ilfordの登録商標であるHarman Technologies社ON1これらの企業に関連付けられていません。他のすべての商標は、それぞれの所有者の財産です。ON1Inc.が使用するアクティベーションシステムは、特許番号5,490,216の下でライセンスされています。ライセンス開示の完全なリストについては、ソフトウェアとともにインストールされたLICENSE.TXTファイルを参照してください。